

平成28年度
県民アンケート調査
報告書

平成28年11月

奈良県

— 目 次 —

第1章 調査の実施概要.....	1
1 調査の目的.....	3
2 調査の設計.....	3
3 調査票の配付・回収の状況.....	3
4 標本抽出計画と集計にあたっての整理事項.....	3
(1) 標本抽出計画と集計母数（集計対象数）.....	3
(2) 地域別、ライフステージ別、旧住民・新住民別、奈良での就労別の集計区分について	4
(3) 調査結果の精度.....	6
5 回答者の状況.....	6
(1) 地域.....	6
(2) 性.....	7
(3) 年齢.....	7
(4) 婚姻状況.....	7
(5) 世帯構成.....	8
(6) 子どもの成長段階（複数回答）.....	8
(7) ライフステージ（複数回答）.....	8
(8) 旧住民・新住民別.....	9
(9) 勤め先の所在地.....	9
6 本報告書における集計方法、数値の取り扱いについて.....	10
第2章 調査結果の分析.....	11
I 生活全般に関すること.....	13
I-1 現在の暮らし向きの実感.....	13
I-2 1年前と比較した暮らし向きの実感.....	18
I-3 1年前と比較した暮らし向きの変化の理由.....	23
I-4 日頃の生活での悩みや不安の有無.....	28
I-5 日頃の生活での悩みや不安の内容.....	33
I-6 奈良県の住みよさの評価.....	35
I-7 将来の奈良県での定住意向.....	40
I-8 将来的に奈良県に定住したい／したくない理由.....	45
II 生活に関する重要度・満足度について.....	50
II-1 県全体の重要度、満足度、ニーズ得点の順位.....	50
II-2 県全体の重要度と満足度の関係.....	53
II-3 地域別の重要度と満足度の関係及び経年比較.....	66
II-4 県全体と属性別の重要度・満足度の傾向の比較.....	78
III～XI 県民の生活に関する意識やニーズについて.....	98
III 奈良県への愛着について.....	98
IV 産業構造の改革について.....	100
V 観光振興について.....	エラー! ブックマークが定義されていません。
VI 農林業の振興について.....	エラー! ブックマークが定義されていません。
VII 健康づくりの推進について.....	エラー! ブックマークが定義されていません。
VIII スポーツ振興について.....	エラー! ブックマークが定義されていません。
IX 医療の充実について.....	エラー! ブックマークが定義されていません。

- X 子育て支援・結婚について..... エラー! ブックマークが定義されていません。
- XI 文化振興について エラー! ブックマークが定義されていません。
- XII 回答者に関する事 エラー! ブックマークが定義されていません。
 - (1) 性別 エラー! ブックマークが定義されていません。
 - (2) 年齢 エラー! ブックマークが定義されていません。
 - (3) 居住地域 エラー! ブックマークが定義されていません。
 - (4) 婚姻状況 エラー! ブックマークが定義されていません。
 - (5) 世帯構成 エラー! ブックマークが定義されていません。
 - (6) ライフステージ エラー! ブックマークが定義されていません。
 - (7) 子どもの成長段階 エラー! ブックマークが定義されていません。
 - (8) 生まれたときから奈良県に住んでいるかエラー! ブックマークが定義されていません。
 - (9) 奈良県での居住理由 エラー! ブックマークが定義されていません。
 - (10) 働いている場所 エラー! ブックマークが定義されていません。

資料 使用した調査票..... エラー! ブックマークが定義されていません。

第 1 章 調査の実施概要

1 調査の目的

身近な暮らしに関する事柄についての重要度や満足度のほか、「産業構造の改革」や「医療の充実」等のテーマについて県民の皆さまの意識やニーズを把握し、今後の県政運営に役立てることを目的に、今年度もアンケート調査を実施しました。

2 調査の設計

- 調査地域 奈良県全域
- 調査対象 県内在住の満20歳以上の男女・個人
- 調査標本数 5,000人
- 標本抽出法 層化二段無作為抽出法
- 調査方法 郵送配付・郵送回収。調査期間内に、はがきによるお礼状兼督促状の配付1回
- 調査時期 平成28年5月20日（金）～6月8日（水）

3 調査票の配付・回収の状況

- 調査票配付件数 5,000件
- 回収件数（率） 2,750件（55.0%）
- 有効回答数（率）*1 2,667件（53.3%）

4 標本抽出計画と集計にあたっての整理事項

（1）標本抽出計画と集計母数（集計対象数）

今回の調査では、標本数（アンケート送付数）を県下39市町村の母集団構成比（人口比率）に応じて配分しました。ただし、人口が少ない町村については「目標精度15%、信頼度85%」を確保するための最低必要数を考慮して標本抽出率を決定しました。

	標本抽出計画			有効回答	
	母集団*2	母集団構成比	抽出標本数 (調査票配付数)	回収数	構成比
地域1（北部）	570,210人	49.6%	2,302件	1,271件	47.7%
地域2（西部）	119,541人	10.4%	485件	252件	9.4%
地域3（中部）	311,903人	27.1%	1,266件	659件	24.7%
地域4（東部）	80,612人	7.0%	384件	209件	7.8%
地域5（南東部）	35,422人	3.1%	374件	181件	6.8%
地域6（南西部）	31,762人	2.8%	189件	95件	3.6%
合計	1,149,450人	100.0%	5,000件	2,667件	100.0%

*1 「有効回答数」は、「回収数」から白票、調査期間中に県外へ転居された方の回答票、居住市町村不明・無回答の回答票など無効票83件を除いた集計母数対象件数。「有効回答率」は、調査票配付件数に対する「有効回答数」の比率。

*2 平成27年1月1日現在住民基本台帳登録人口（20歳以上）

(2) 地域別、ライフステージ別、旧住民・新住民別、奈良での就労別の集計区分について

調査結果の集計・分析は、県民にとって身近な生活に関する事柄の重要度と満足度のほか、「生活全般の状況」、「奈良県への愛着」、「産業構造の改革」、「観光振興」、「農林業の振興」、「健康づくりの推進」、「スポーツ振興」、「医療の充実」、「子育て支援・結婚」、「文化振興」について、「地域別」での傾向、回答者の年代や家族構成等の要素に基づく「ライフステージ別」での傾向、出生時から現在までの奈良県での在住状況に基づく「旧住民・新住民別」での傾向、就労地域に基づく「奈良での就労別」での傾向を明らかにすることを特に重視しています。

地域別の集計については、39市町村個々の結果を39市町村間で比較することは困難なため、標本抽出計画で設定した6地域ごとに比較を行っています。また、ライフステージ別や旧住民・新住民別、奈良での就労別の集計についても、以下のように集計区分を整理・集約して行っています。

地域の区分

地域1（北部）……奈良市・大和郡山市・天理市・生駒市・山添村・川西町・三宅町・田原本町
地域2（西部）……平群町・三郷町・斑鳩町・安堵町・上牧町・王寺町・河合町
地域3（中部）……大和高田市・橿原市・御所市・香芝市・葛城市・高取町・明日香村・広陵町
地域4（東部）……桜井市・宇陀市・曾爾村・御杖村
地域5（南東部）……吉野町・大淀町・下市町・黒滝村・天川村・下北山村・上北山村・川上村・東吉野村
地域6（南西部）……五條市・野迫川村・十津川村

ライフステージの区分と区分の設定条件

若者…20～29歳で、夫婦のみの世帯以外の世帯の回答者
夫婦…20～64歳で、夫婦のみの世帯の回答者
育児期…小学校入学前の子どもがいる世帯の回答者
教育期前期…小・中学生・高校生・高専生の子どもがいる世帯の回答者
教育期後期…専門学校生・短大生・予備校生・大学生（院生）の子どもがいる世帯の回答者
単身高齢者…65歳以上の単身世帯の回答者
高齢者夫婦…65歳以上の夫婦のみの世帯の回答者

旧住民・新住民の区分と区分の設定条件

旧住民（奈良県にずっと住んでいる人）……生まれたときから奈良県に住んでいる回答者
新住民（奈良県に新しくきた人）……生まれたときは奈良県に住んでおらず、移住してきた回答者

奈良での就労の区分と区分の設定条件

奈良県内で働いている人…就労場所が奈良県内の回答者
奈良県外で働いている人…就労場所が奈良県外の回答者

【地域の区分】



(3) 調査結果の精度

今回の調査は標本調査のため、調査結果（標本測定値）から母集団の意識や課題、要望を推定することができます。ただ、標本（調査対象）抽出の際に生じる標本誤差を考慮したうえで調査結果を分析し、また母集団の意識や課題、要望を推定する必要があります。

世論調査では、信頼度95%（同じ調査を標本（調査対象）を変えて行った場合、100回中95回までは同様の結果が得られる（5回程度は異なる結果が出ることは許容される）と考えてもよい）の水準を求めるのが一般的とされています。

これに基づき、今回の調査における標本測定値の標本誤差は以下の数式で求められます。

$$\varepsilon = \pm 1.96 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

ε : 標本誤差
 ± 1.96 : 信頼度95%の時の信頼係数
 N : 母集団数（本調査では1,149,450人）
 n : 標本数（回収数。本調査では有効回答2,667件）
 P : 標本測定値（50%のときに最大）

上記の式に必要な数値をあてはめて計算すると、「 ε （標本誤差）=1.90%」（小数第3位四捨五入）という数値が得られます。このことから、今回と同じ調査を調査対象を変えて行った場合、ある設問のある選択肢の回答比率が50%であった場合、その回答比率の誤差は $\pm 1.90\%$ （48.10%～51.90%）の範囲内であると考えても間違いはないといえます。

5 回答者の状況

(1) 地域

地域名	当該市町村名	H28		H27	
		有効回答数	構成比	有効回答数	構成比
地域1（北部）	奈良市、大和郡山市、天理市、生駒市、山添村、川西町、三宅町、田原本町	1,271	47.7%	1,287	47.3%
地域2（西部）	平群町、三郷町、斑鳩町、安堵町、上牧町、王寺町、河合町	252	9.4%	243	8.9%
地域3（中部）	大和高田市、橿原市、御所市、香芝市、葛城市、高取町、明日香村、広陵町	659	24.7%	693	25.5%
地域4（東部）	桜井市、宇陀市、曽爾村、御杖村	209	7.8%	219	8.0%
地域5（南東部）	吉野町、大淀町、下市町、黒滝村、天川村、上北山村、下北山村、川上村、東吉野村	181	6.8%	196	7.2%
地域6（南西部）	五條市、野迫川村、十津川村	95	3.6%	83	3.1%
県全体		2,667	100.0%	2,721	100.0%

(2) 性

	H28		H27	
	有効回答数	構成比	有効回答数	構成比
男性	1,142	42.8%	1,141	41.9%
女性	1,519	57.0%	1,566	57.6%
無回答	6	0.2%	14	0.5%
県全体	2,667	100.0%	2,721	100.0%

(3) 年齢

①10歳区分

	H28					H27	
	有効回答数				構成比	有効回答数	構成比
	男性	女性	無回答				
20歳代	316	143	172	1	11.8%	178	6.5%
30歳代	320	122	198	0	12.0%	281	10.3%
40歳代	460	187	271	2	17.2%	401	14.7%
50歳代	553	221	332	0	20.7%	465	17.1%
60歳代	656	285	371	0	24.6%	655	24.1%
70歳代以上	360	183	175	2	13.5%	729	26.8%
無回答	2	1	0	1	0.1%	12	0.4%
県全体	2,667	1,142	1,519	6	100.0%	2,721	100.0%

②5歳区分

	H28					H27	
	有効回答数				構成比	有効回答数	構成比
	男性	女性	無回答				
20～24歳	167	82	85	0	6.3%	77	2.8%
25～29歳	149	61	87	1	5.6%	101	3.7%
30～34歳	136	53	83	0	5.1%	135	5.0%
35～39歳	184	69	115	0	6.9%	146	5.4%
40～44歳	234	97	136	1	8.8%	190	7.0%
45～49歳	226	90	135	1	8.5%	211	7.8%
50～54歳	304	123	181	0	11.4%	201	7.4%
55～59歳	249	98	151	0	9.3%	264	9.7%
60～64歳	337	143	194	0	12.6%	319	11.7%
65～69歳	319	142	177	0	12.0%	336	12.3%
70歳以上	360	183	175	2	13.5%	729	26.8%
無回答	2	1	0	1	0.1%	12	0.4%
県全体	2,667	1,142	1,519	6	100.0%	2,721	100.0%

(4) 婚姻状況

	H28					H27	
	有効回答数				構成比	有効回答数	構成比
	男性	女性	無回答				
未婚	510	254	255	1	19.1%	381	14.0%
既婚	1,914	820	1,092	2	71.8%	1,905	70.0%
離婚・死別	227	64	162	1	8.5%	359	13.2%
無回答	16	4	10	2	0.6%	76	2.8%
県全体	2,667	1,142	1,519	6	100.0%	2,721	100.0%

(5) 世帯構成

	H28		H27	
	有効 回答数	構成比	有効 回答数	構成比
単身	192	7.2%	261	9.6%
夫婦のみ	652	24.4%	729	26.8%
2世代家族（親子家庭）	1,424	53.4%	1,186	43.6%
3世代家族（親子孫家庭）	342	12.8%	418	15.4%
その他	39	1.5%	69	2.5%
無回答	18	0.7%	58	2.1%
県全体	2,667	100.0%	2,721	100.0%

(6) 子どもの成長段階（複数回答）

	H28		H27	
	有効 回答数	構成比	有効 回答数	構成比
3歳以下	166	6.2%	135	5.0%
4歳以上で小学校入学前	119	4.5%	96	3.5%
小学生	273	10.2%	253	9.3%
中学生	172	6.4%	170	6.2%
高校生・高専生	201	7.5%	170	6.2%
専門学校生・短大生・予備校生・大学生（院生）	256	9.6%	217	8.0%
非該当・無回答	1,863	69.9%	2,000	73.5%
県全体	2,667	100.0%	2,721	100.0%

(7) ライフステージ（複数回答）※1

	H28		H27	
	有効 回答数	構成比	有効 回答数	構成比
若者	306	11.5%	143	5.3%
夫婦	292	10.9%	232	8.5%
育児期	239	9.0%	169	6.2%
教育期前期	484	18.1%	372	13.7%
教育期後期	256	9.6%	200	7.4%
単身高齢者	74	2.8%	147	5.4%
高齢者夫婦	359	13.5%	437	16.1%
非該当・無回答	889	33.3%	1,196	44.0%
県全体	2,667	100.0%	2,721	100.0%

※1 「単身高齢者」、「高齢者夫婦」でいう「高齢者」とは、65歳以上の回答者を指す。65歳以上の実有効回答者数は679人、構成比は25.5%である。

(8) 旧住民・新住民別

	H28		H27	
	有効 回答数	構成比	有効 回答数	構成比
旧住民（奈良県にずっと住んでいる人）	1,385	51.9%	1,484	54.5%
新住民（奈良県に新しくきた人）	1,262	47.3%	1,166	42.9%
無回答	20	0.7%	71	2.6%
県全体	2,667	100.0%	2,721	100.0%

(9) 勤め先の所在地

	H28		H27	
	有効 回答数	構成比	有効 回答数	構成比
県内（奈良県内で働いている人）	1,178	44.2%	1,099	40.4%
県外（奈良県外で働いている人）	449	16.8%	355	13.0%
無回答	1,040	39.0%	1,267	46.6%
県全体	2,667	100.0%	2,721	100.0%

6 本報告書における集計方法、数値の取り扱いについて

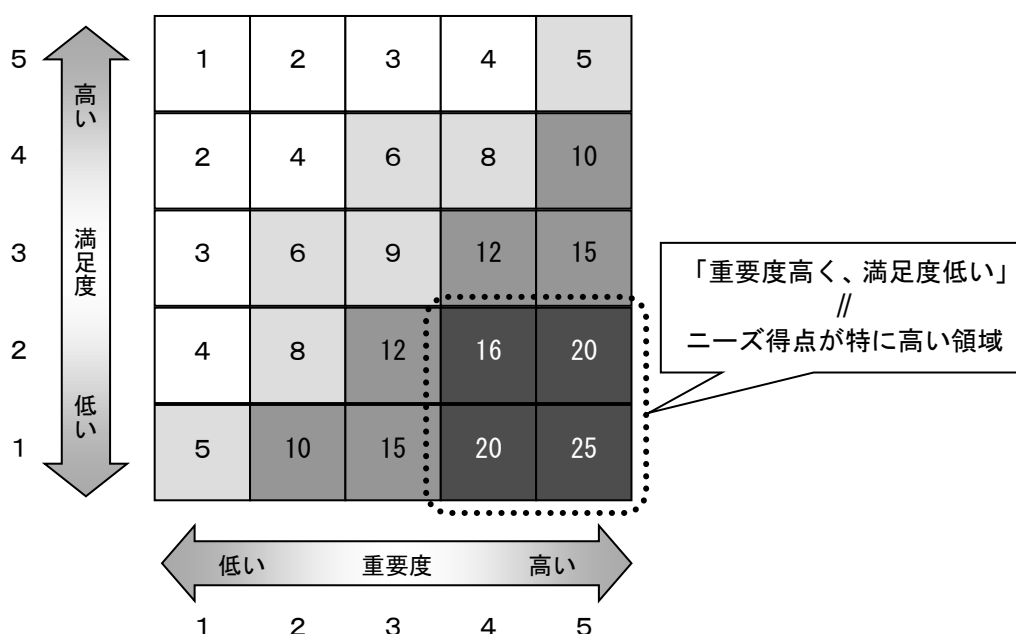
- 経年比較、前年度比較を行った図表にて、四捨五入等の関係上、本報告書に記載した数値と昨年度以前の報告書に記載した数値が一致しない場合があります。
- 問1～問10、問12～問42（設問番号は、巻末「参考資料 使用した調査票」参照）は百分率（%）による集計で、小数第2位を四捨五入しています。単数回答設問の回答比率の合計は、四捨五入の関係で100.0%にならない場合があります。また、複数回答設問は当該設問に回答すべき人数を集計母数としており、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- 問11は加重平均（点）による集計で、小数第3位を四捨五入しています。加重平均は、「（〈選択肢の回答者数〉×〈選択肢ごとの配点（5点～1点）〉）÷〈無回答者を除く当該設問の回答者数〉」により求められます。

図表 加重平均の集計結果の見方

選択肢の配点		1点	2点	3点	4点	5点
設問番号・選択肢	問11-① 重要度	全く重要 ではない	さほど重要 ではない	どちらとも いえない	かなり重要	きわめて重要
	問11-② 満足度	ほとんど 満たされていない	あまり 満たされていない	どちらとも いえない	かなり 満たされている	十分 満たされている

- 問11の重要度と満足度の関係を指標化し分析するため、「ニーズ得点」を算出しています。ニーズ得点は、「〈重要度〉×〈6－満足度〉」により求められ、重要度が高く、満足度の低い項目ほど高くなります（色の濃いエリア）。

図表 重要度と満足度からみたニーズ得点の配点



第2章 調査結果の分析

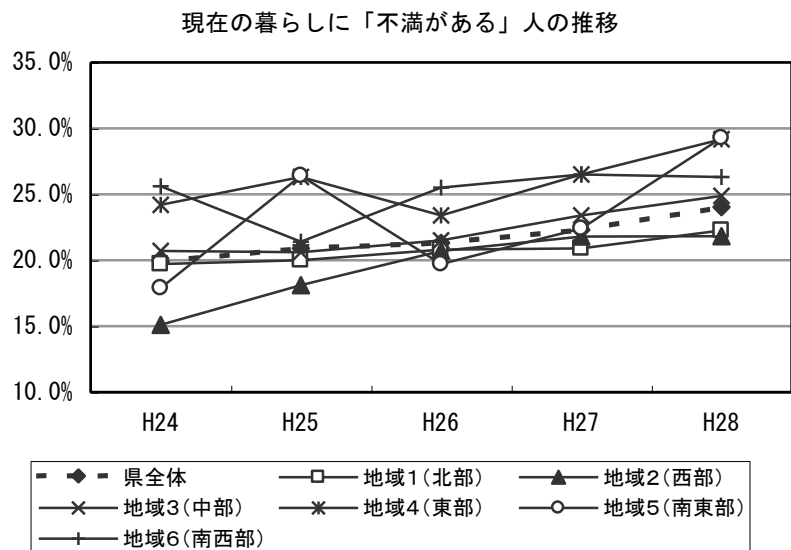
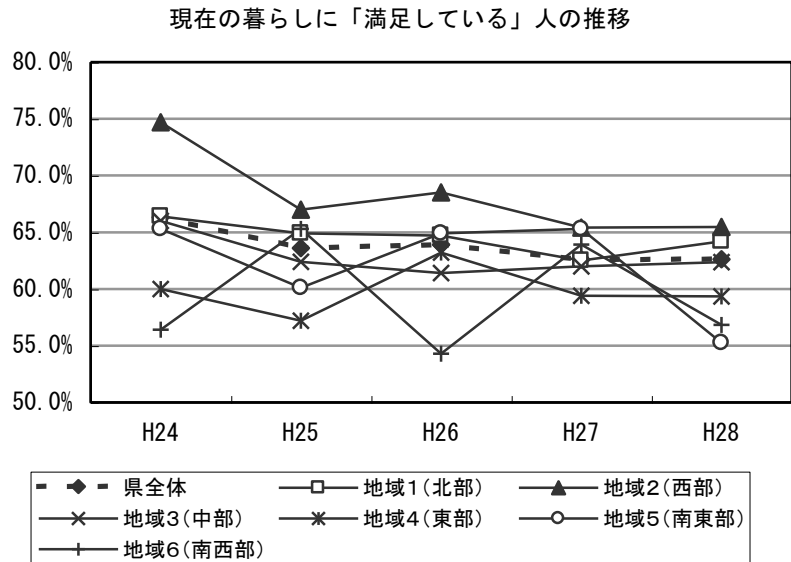
I 生活全般に関すること

I-1 現在の暮らし向きの実感（問1）

（1）経年比較

図表 現在の暮らし向きの実感（経年比較／県全体、地域別）

		満足している	不満である
県全体	H24	66.3%	19.9%
	H25	63.6%	20.9%
	H26	63.9%	21.3%
	H27	62.6%	22.3%
	H28	62.6%	24.0%
地域1 (北部)	H24	66.4%	19.7%
	H25	64.9%	20.0%
	H26	64.7%	20.8%
	H27	62.5%	20.9%
	H28	64.2%	22.3%
地域2 (西部)	H24	74.7%	15.1%
	H25	67.0%	18.1%
	H26	68.5%	20.7%
	H27	65.4%	21.8%
	H28	65.5%	21.8%
地域3 (中部)	H24	66.0%	20.7%
	H25	62.4%	20.6%
	H26	61.4%	21.5%
	H27	62.0%	23.4%
	H28	62.4%	24.9%
地域4 (東部)	H24	60.0%	24.2%
	H25	57.2%	26.3%
	H26	63.2%	23.4%
	H27	59.4%	26.5%
	H28	59.3%	29.2%
地域5 (南東部)	H24	65.3%	17.9%
	H25	60.1%	26.4%
	H26	64.9%	19.7%
	H27	65.3%	22.4%
	H28	55.2%	29.3%
地域6 (南西部)	H24	56.4%	25.6%
	H25	65.3%	21.4%
	H26	54.3%	25.5%
	H27	63.9%	26.5%
	H28	56.8%	26.3%



■県全体

現在の暮らし向きの実感について5カ年の調査結果を比較すると、「満足」している人（「満足している」と「十分とはいえないが一応満足している」の合計）は60%を超えて推移していますが、減少傾向にあります。一方で、「不満」（「やや不満である」と「不満である」の合計）を抱えている人は過去5年間では一貫して増加しています。平成27年度と比較すると、「満足」している人は横ばい、「不満」を抱えている人は1.7ポイント増加しています。

■地域別

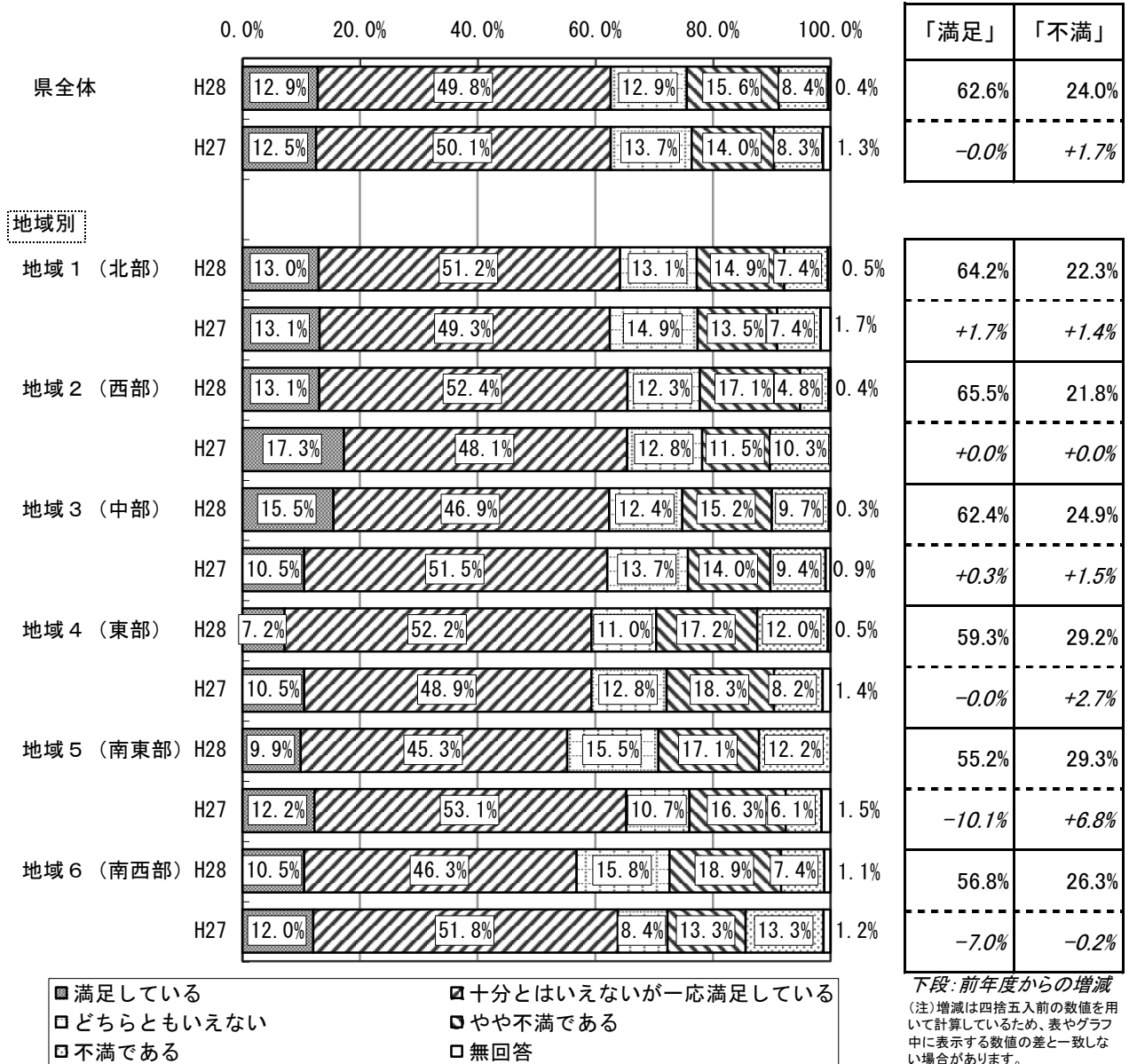
平成24年度と比較すると、「満足」している人は、『地域6（南西部）』（0.4ポイント増）を除いて減少しており、特に『地域5（南東部）』（10.1ポイント減）、『地域2（西部）』（9.2ポイント減）で大きく減少しています。「不満」を抱えている人は、すべての地域において増加しています。

平成27年度と比較すると、「満足」している人の減少幅、「不満」を抱えている人の増加幅はとも

に『地域5（南東部）』が最も大きくなっています。

（2）今年度調査結果

図表 現在の暮らし向きの実感（単数回答／県全体、地域別）



(注) 母数については6～9ページの「回答者の状況」参照

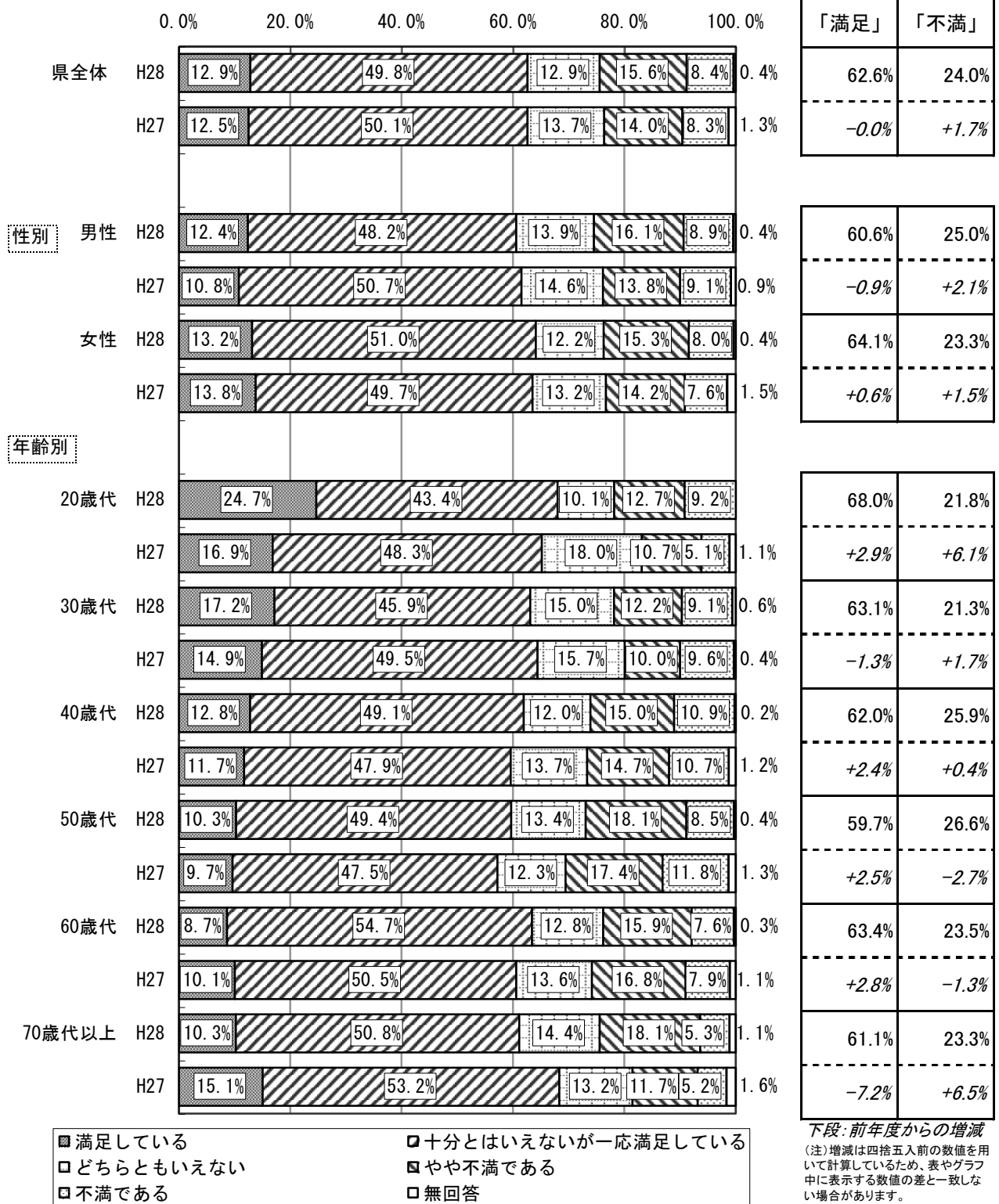
■県全体

現在の暮らし向きの実感について、62.6%の人が「満足」しています。一方で、24.0%の人が「不満」を抱えています。平成27年度と比較すると、「満足」している人は62.0%で横ばい、「不満」を抱えている人は22.3%から1.7ポイント増加しています。

■地域別

「満足」している人が最も多いのは、『地域2（西部）』（65.5%）となっています。一方で、「不満」を抱えている人が最も多いのは、『地域5（南東部）』（29.3%）、次いで『地域4（東部）』（29.2%）となっています。平成27年度と比較すると、「満足」している人は『地域5（南東部）』（10.1ポイント減）、『地域6（南西部）』（7.0ポイント減）で減少しています。一方で「不満」を抱えている人は『地域5（南東部）』（6.8ポイント増）で増加しています。

図表 現在の暮らし向きの実感（単数回答／県全体、性別、年齢別）



(注) 母数については6~9ページの「回答者の状況」参照

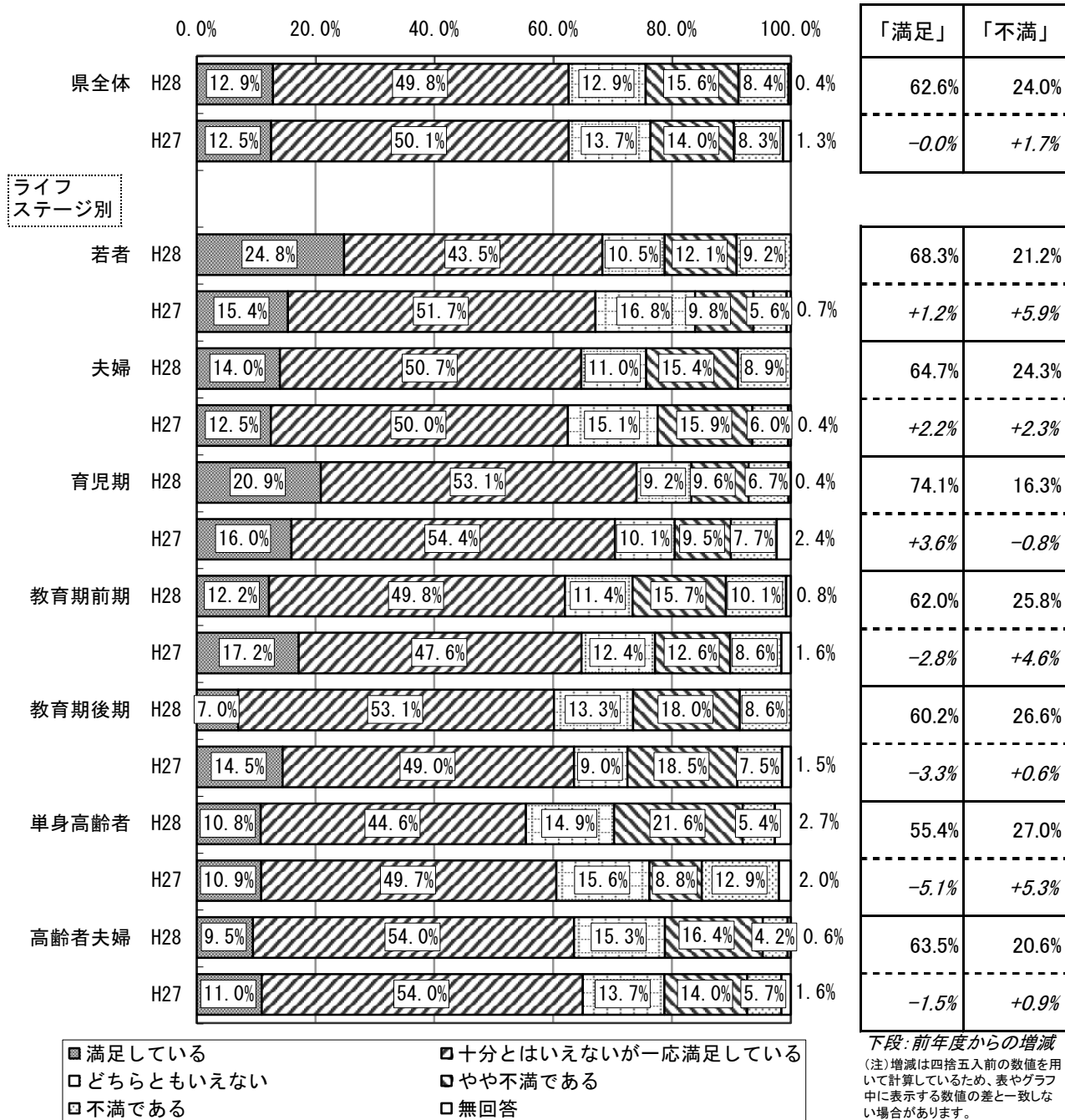
■性別

「満足」している人は、『女性』(64.1%)が『男性』(60.6%)と比べ多くなっています。平成27年度と比較すると「不満」を抱いている人は『男性』(2.1ポイント増)、『女性』(1.5ポイント増)ともに増加しています。

■年齢別

「満足」している人が最も多いのは、『20歳代』(68.0%)、「不満」を抱いている人が最も多いのは、『50歳代』(26.6%)となっています。平成27年度と比較すると、「満足」している人は『70歳代以上』(7.2ポイント減)で減少しており、「不満」を抱いている人は『70歳代以上』(6.5ポイント増)、『20歳代』(6.1ポイント増)で増加しています。

図表 現在の暮らし向きの実感(単数回答/県全体、ライフステージ別)

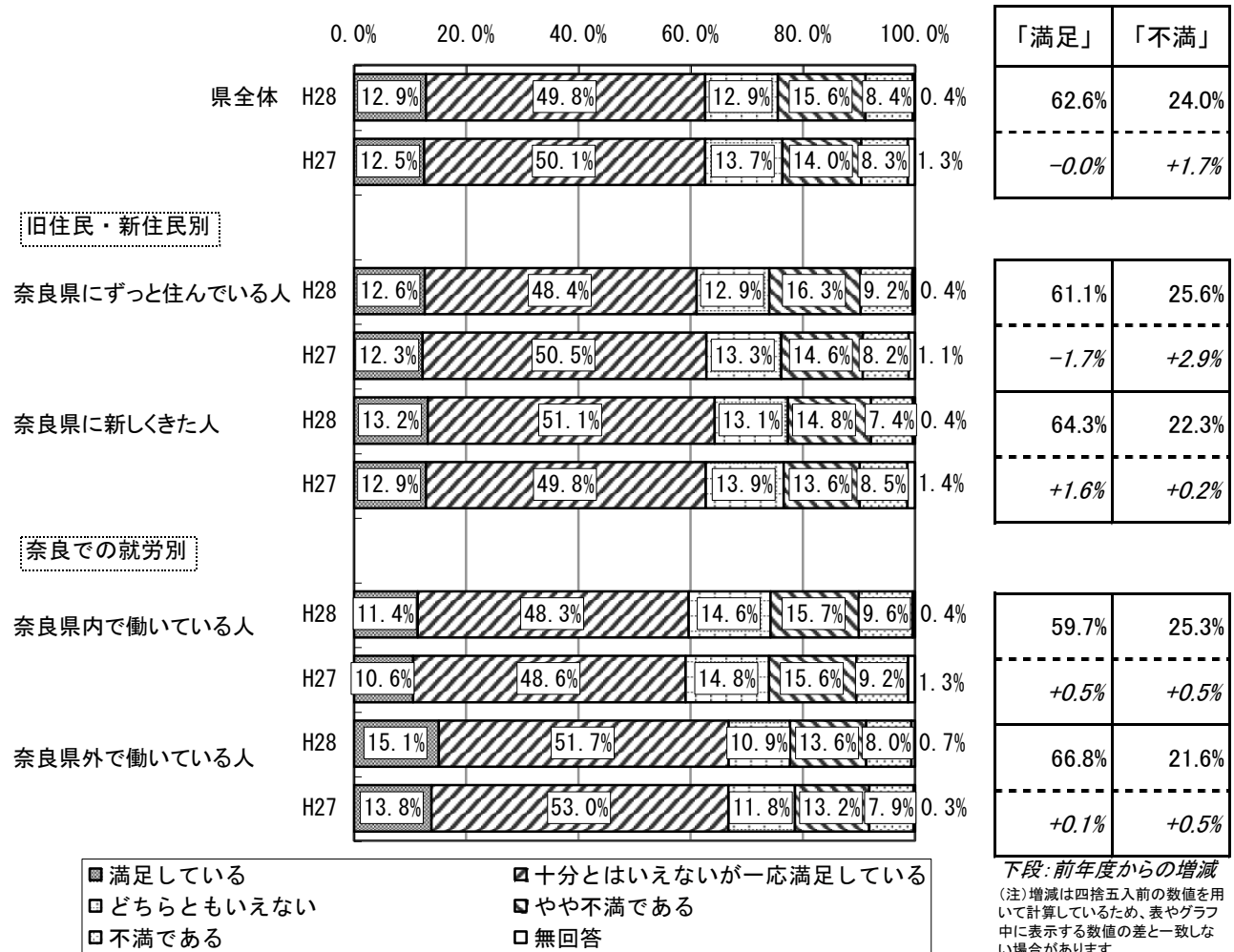


(注) 母数については6~9ページの「回答者の状況」参照

■ライフステージ別

「満足」している人が最も多いのは、『育児期』（74.1%）、次いで『若者』（68.3%）となっています。一方で、「不満」を抱いている人が最も多いのは、『単身高齢者』（27.0%）となっています。平成27年度と比較すると、「満足」している人は『育児期』（3.6ポイント増）、『夫婦』（2.2ポイント増）、『若者』（1.2ポイント増）で増加しており、『単身高齢者』（5.1ポイント減）は減少しています。「不満」を抱いている人は『若者』（5.9ポイント増）、『単身高齢者』（5.3ポイント増）、『教育期前期』（4.6ポイント増）で増加しています。

図表 現在の暮らし向きの実感（単数回答／県全体、旧住民・新住民別、奈良での就労別）



(注) 母数については6～9ページの「回答者の状況」参照

■旧住民・新住民別

「満足」している人は、『奈良県に新しくきた人』（64.3%）が、『奈良県にずっと住んでいる人』（61.1%）と比べ多くなっています。平成27年度と比較すると、『奈良県に新しくきた人』は「満足」が1.6ポイント増加しているのに対し、『奈良県にずっと住んでいる人』は「不満」が2.9ポイント増増加しています。

■奈良での就労別

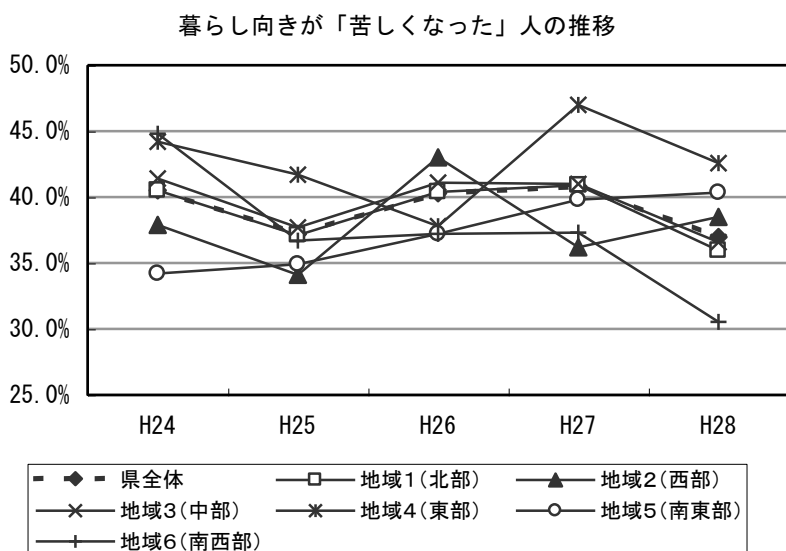
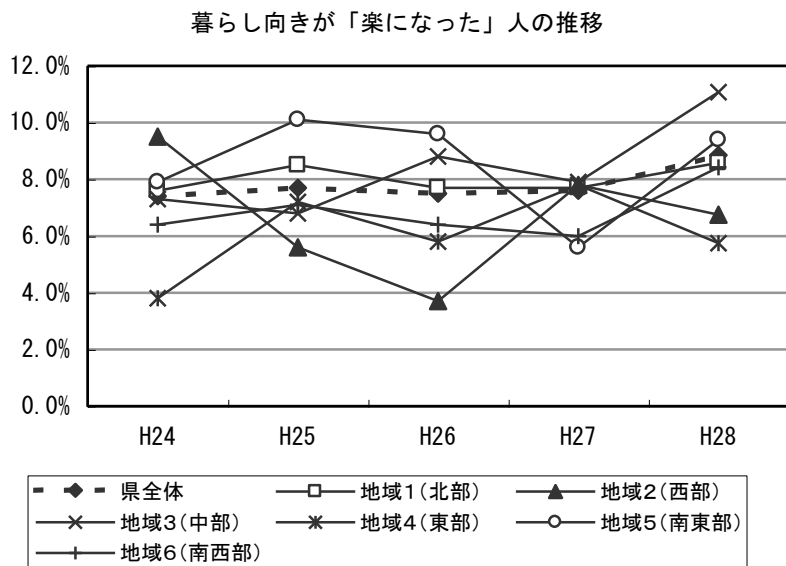
「満足」している人は、『奈良県外で働いている人』（66.8%）が、『奈良県内で働いている人』（59.7%）と比べ多くなっています。平成27年度と比較して、大きな変化はみられません。

I-2 1年前と比較した暮らし向きの実感（問2）

（1）経年比較

図表 1年前と比較した暮らし向きの実感（経年比較／県全体、地域別）

		楽になった	苦しくなった
県全体	H24	7.4%	40.5%
	H25	7.7%	37.2%
	H26	7.5%	40.3%
	H27	7.6%	40.8%
	H28	8.8%	37.0%
地域1 （北部）	H24	7.6%	40.5%
	H25	8.5%	37.1%
	H26	7.7%	40.4%
	H27	7.7%	40.9%
	H28	8.6%	36.0%
地域2 （西部）	H24	9.5%	37.9%
	H25	5.6%	34.1%
	H26	3.7%	43.0%
	H27	7.8%	36.2%
	H28	6.7%	38.5%
地域3 （中部）	H24	7.3%	41.4%
	H25	6.8%	37.7%
	H26	8.8%	41.1%
	H27	7.9%	41.0%
	H28	11.1%	36.6%
地域4 （東部）	H24	3.8%	44.2%
	H25	7.2%	41.7%
	H26	5.8%	37.8%
	H27	7.8%	47.0%
	H28	5.7%	42.6%
地域5 （南東部）	H24	7.9%	34.2%
	H25	10.1%	34.9%
	H26	9.6%	37.2%
	H27	5.6%	39.8%
	H28	9.4%	40.3%
地域6 （南西部）	H24	6.4%	44.8%
	H25	7.1%	36.7%
	H26	6.4%	37.2%
	H27	6.0%	37.3%
	H28	8.4%	30.5%



■県全体

1年前と比較した暮らし向きの実感について5カ年の調査結果を比較すると、「楽になった」（「とても楽になった」＋「少し楽になった」）と感じている人は平成24年度からほぼ横ばいとなっていました。今回調査では平成27年度から1.2ポイントの増加となっています。一方で、「苦しくなった」（「少し苦しくなった」＋「とても苦しくなった」）と感じている人は平成25年度を除いてほぼ40%で推移してきましたが、今回調査では平成27年度から3.8ポイントの減少となっています。

■地域別

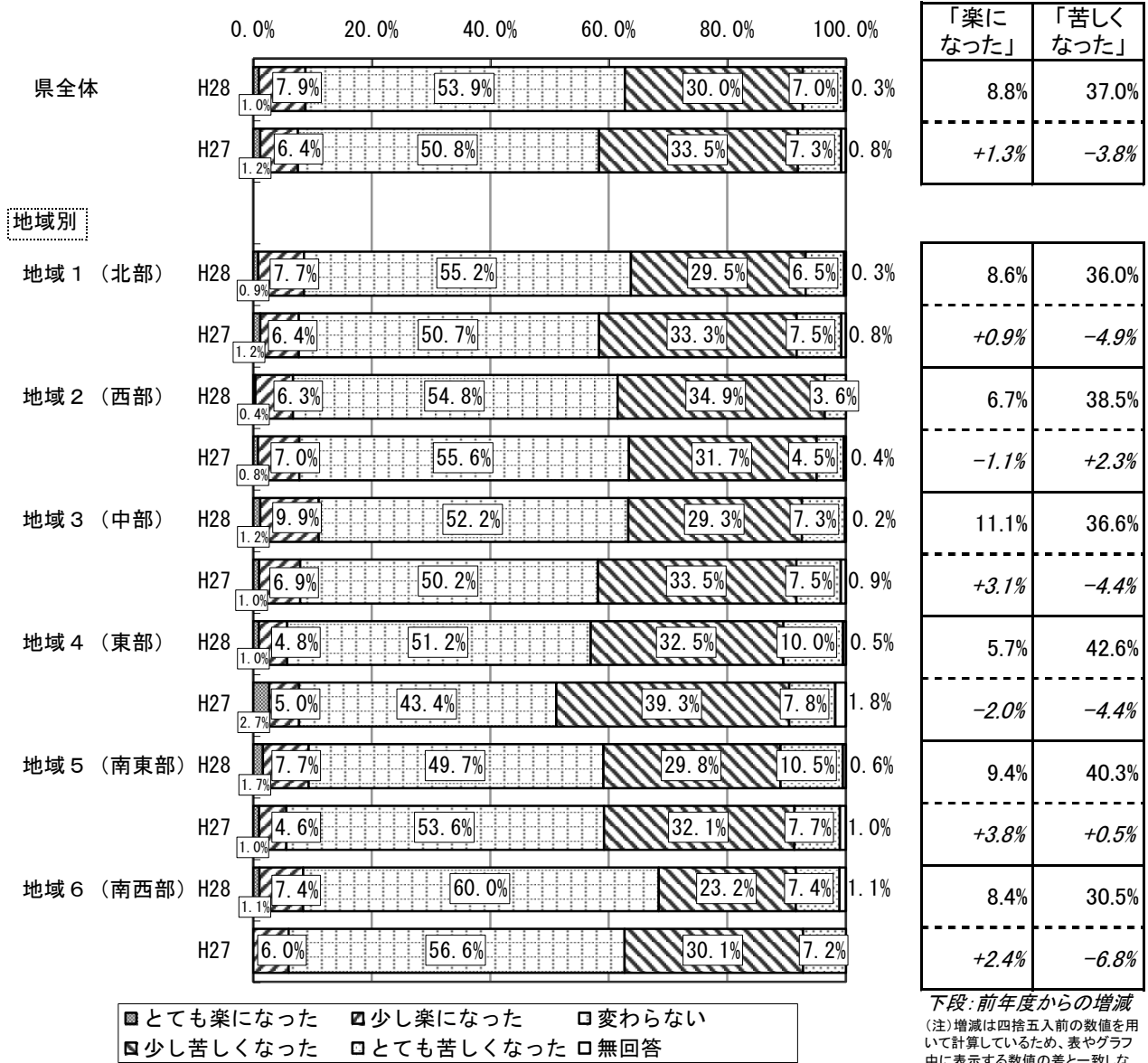
「楽になった」と感じている人は、平成24年度と比較すると、『地域2（西部）』（2.8ポイント減）で減少し、他の地域においては増加しています。平成27年度と比較すると『地域5（南東部）』（3.8ポイント増）、『地域3（中部）』（3.2ポイント増）などで増加しています。一方で『地域4（東部）』（2.1ポイント減）、『地域2（西部）』（1.1ポイント減）では減少しています。

「苦しくなった」と感じている人は、平成24年度と比較すると、『地域2（西部）』と『地域5（南

東部』では増加、それ以外の地域では減少しています。平成27年度との比較でも、『地域2（西部）』と『地域5（南東部）』では増加、それ以外の地域では減少しています。

(2) 今年度調査結果

図表 1年前と比較した暮らし向きの実感（単数回答／県全体、地域別）



(注) 母数については6～9ページの「回答者の状況」参照

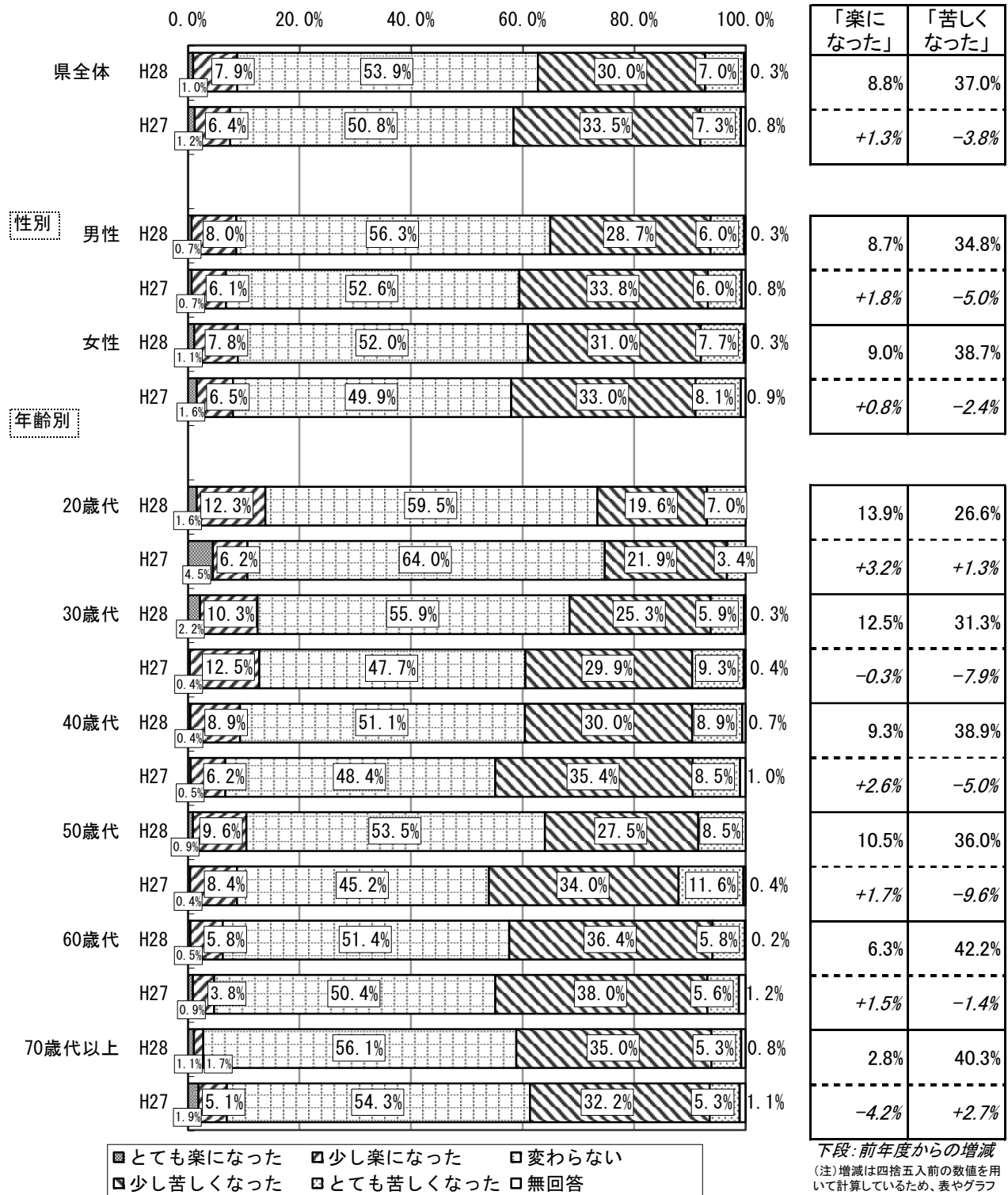
■県全体

1年前と比較した暮らし向きの実感について、37.0%の人が「苦しくなった」と感じています。平成27年度と比較すると、「苦しくなった」と感じている人は3.8ポイント減少しています。

■地域別

「苦しくなった」と感じている人が最も多いのは『地域4（東部）』（42.6%）、次いで『地域5（南東部）』（40.3%）となっています。平成27年度と比較すると、「苦しくなった」と感じている人は『地域2（西部）』（2.3ポイント増）と『地域5（南東部）』（0.5ポイント増）で増加しており、他の地域では減少しています。一方で、「楽になった」と感じている人は『地域2（西部）』（1.1ポイント減）と、『地域4（東部）』（2.0ポイント減）が減少しており、他の地域では増加しています。

図表 1年前と比較した暮らし向きの実感（単数回答／県全体、性別、年齢別）



(注) 母数については6～9ページの「回答者の状況」参照

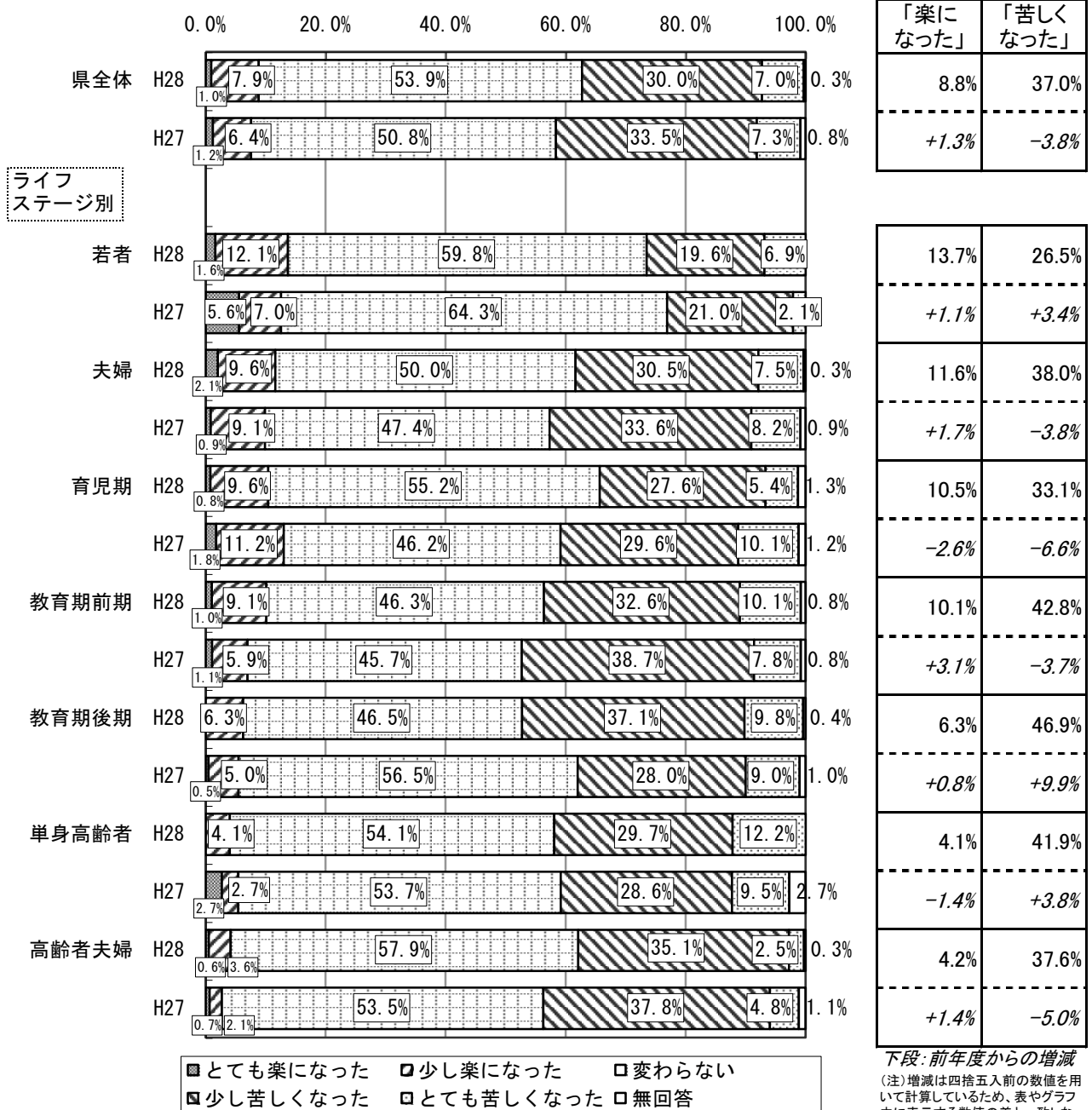
■性別

「苦しくなった」と感じている人は、『女性』(38.7%)が『男性』(34.8%)と比べ多くなっています。平成27年度と比較すると、「苦しくなった」と感じている人は、『男性』(5.0ポイント減)、『女性』(2.4ポイント減)ともに減少しています。『男性』は「楽になった」と感じている人が(1.8ポイント増)増加しています。

■年齢別

「苦しくなった」と感じている人は、『60歳代』(42.2%)が最も多く、次いで『70歳代以上』(40.3%)となっています。平成27年度と比較すると、「苦しくなった」と感じている人は、『70歳代以上』(2.7ポイント増)と『20歳代』(1.3ポイント増)が増加しており、他の年齢層は減少しています。

図表 1年前と比較した暮らし向きの実感(単数回答/県全体、ライフステージ別)

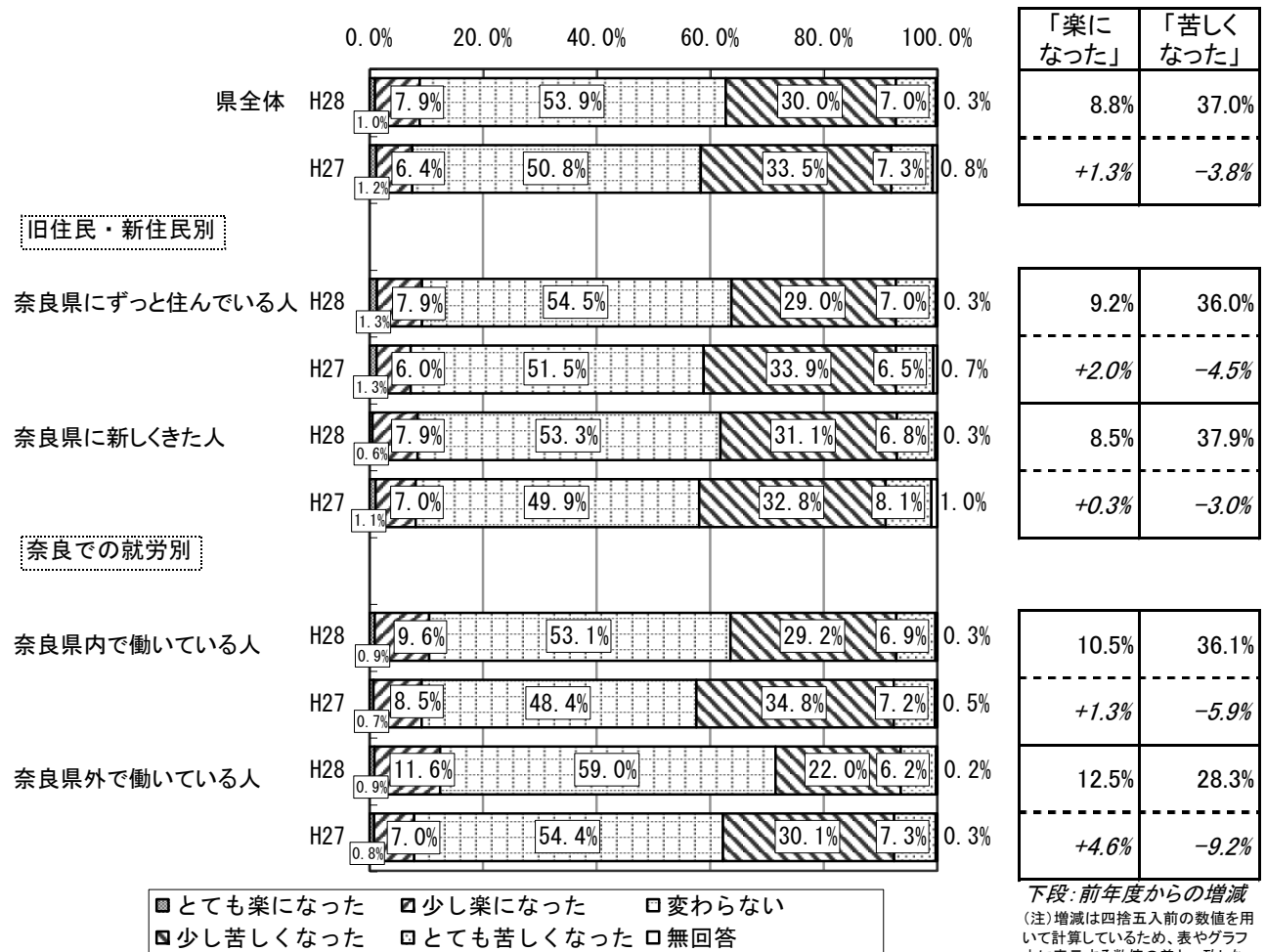


(注) 母数については6~9ページの「回答者の状況」参照

■ライフステージ別

「苦しくなった」と感じている人は、『教育期後期』(46.9%)が最も多く、次いで『教育期前期』(42.8%)となっています。平成27年度と比較すると、「苦しくなった」と感じている人は、『教育期後期』(9.9ポイント増)、『単身高齢者』(3.8ポイント増)、『若者』(3.4ポイント増)で増加しています。

図表 1年前と比較した暮らし向きの実感（単数回答／県全体、旧住民・新住民別、奈良での就労別）



(注) 母数については6～9ページの「回答者の状況」参照

■旧住民・新住民別

「苦しくなった」と感じている人は、『奈良県に新しくきた人』(37.9%)が、『奈良県にずっと住んでいる人』(36.0%)と比べ多くなっています。平成27年度と比較すると、「苦しくなった」と感じている人は、『奈良県にずっと住んでいる人』(4.5ポイント減)、『奈良県に新しくきた人』(3.0ポイント減)とともに減少しています。

■奈良での就労別

「苦しくなった」と感じている人は、『奈良県内で働いている人』(36.1%)が『奈良県外で働いている人』(28.3%)と比べ多くなっています。平成27年度と比較すると、「苦しくなった」と感じている人は『奈良県外で働いている人』(9.2ポイント減)、『奈良県内で働いている人』(5.9ポイント減)とともに減少しています。

I-3 1年前と比較した暮らし向きの変化の理由（問3、問4）

（1）今年度調査結果

図表 1年前と比較して暮らし向きの実感が、「とても楽になった」または「少し楽になった」と答えた理由（5つ以内で複数回答／県全体、地域別、性別、年齢別、ライフステージ別、旧住民・新住民別、奈良での就労別）

		母数	か給 ら料 や 収 益 が 増 加 し た	減教 育 に か か る 費 用 が	手就 業 、 就 職 な ど で 働 き	か特 別 な 出 産 、 病 気 な ど	が下 な ど で 毎 日 の 生 活 費	家族 の減 少 や 物 価 の 低	か ら か か る 支 出 が 減 つ た	が税 金 や 保 険 料 の 支 払 い	加有 上 昇 に よ り 、 資 産 が 増 え た	らる 業 業 や 商 売 な ど に か か	そ の 他	無 回 答
県全体		236	<u>39.4%</u>	<u>24.6%</u>	<u>21.6%</u>	21.2%	16.1%	11.9%	5.1%	4.7%	0.8%	19.5%	3.4%	
地域別	地域1（北部）	109	<u>39.4%</u>	<u>25.7%</u>	<u>17.4%</u>	16.5%	12.8%	13.8%	3.7%	6.4%	0.9%	22.9%	3.7%	
	地域2（西部）	17	<u>52.9%</u>	17.6%	<u>35.3%</u>	<u>29.4%</u>	11.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	23.5%	0.0%	
	地域3（中部）	73	<u>35.6%</u>	<u>28.8%</u>	<u>23.3%</u>	17.8%	19.2%	6.8%	5.5%	4.1%	1.4%	15.1%	4.1%	
	地域4（東部）	12	<u>58.3%</u>	16.7%	33.3%	33.3%	<u>41.7%</u>	<u>50.0%</u>	16.7%	8.3%	0.0%	8.3%	0.0%	
	地域5（南東部）	17	<u>29.4%</u>	<u>11.8%</u>	<u>11.8%</u>	<u>35.3%</u>	<u>11.8%</u>	<u>11.8%</u>	0.0%	0.0%	0.0%	23.5%	5.9%	
	地域6（南西部）	8	<u>37.5%</u>	25.0%	<u>37.5%</u>	<u>50.0%</u>	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%	
性別	男性	99	<u>42.4%</u>	17.2%	<u>20.2%</u>	14.1%	15.2%	<u>19.2%</u>	4.0%	7.1%	2.0%	20.2%	4.0%	
	女性	136	<u>37.5%</u>	<u>30.1%</u>	22.8%	<u>26.5%</u>	16.9%	6.6%	5.9%	2.9%	0.0%	19.1%	2.2%	
年齢別	20歳代	44	<u>47.7%</u>	9.1%	<u>36.4%</u>	<u>11.4%</u>	<u>11.4%</u>	9.1%	4.5%	2.3%	0.0%	18.2%	2.3%	
	30歳代	40	<u>67.5%</u>	7.5%	<u>17.5%</u>	<u>37.5%</u>	7.5%	15.0%	7.5%	7.5%	5.0%	20.0%	2.5%	
	40歳代	43	<u>44.2%</u>	<u>23.3%</u>	<u>20.9%</u>	14.0%	7.0%	9.3%	2.3%	2.3%	0.0%	25.6%	4.7%	
	50歳代	58	<u>24.1%</u>	<u>53.4%</u>	20.7%	17.2%	<u>27.6%</u>	8.6%	5.2%	3.4%	0.0%	13.8%	1.7%	
	60歳代	41	<u>26.8%</u>	22.0%	14.6%	<u>26.8%</u>	<u>24.4%</u>	17.1%	7.3%	9.8%	0.0%	17.1%	4.9%	
	70歳代以上	10	<u>10.0%</u>	<u>10.0%</u>	<u>10.0%</u>	<u>30.0%</u>	<u>10.0%</u>	<u>20.0%</u>	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%	10.0%	
	（複数回答）	若者	42	<u>50.0%</u>	9.5%	<u>38.1%</u>	9.5%	<u>11.9%</u>	9.5%	4.8%	2.4%	0.0%	16.7%	2.4%
ライフステージ別	夫婦	34	<u>41.2%</u>	<u>32.4%</u>	8.8%	<u>23.5%</u>	17.6%	17.6%	2.9%	2.9%	0.0%	26.5%	0.0%	
	育児期	25	<u>56.0%</u>	8.0%	<u>12.0%</u>	<u>36.0%</u>	0.0%	8.0%	4.0%	0.0%	0.0%	24.0%	12.0%	
	教育期前期	49	<u>44.9%</u>	<u>18.4%</u>	<u>14.3%</u>	12.2%	6.1%	8.2%	2.0%	6.1%	0.0%	24.5%	8.2%	
	教育期後期	16	<u>43.8%</u>	<u>43.8%</u>	<u>37.5%</u>	0.0%	6.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	6.3%	
	単身高齢者	3	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	
	高齢者夫婦	15	<u>20.0%</u>	6.7%	<u>20.0%</u>	<u>46.7%</u>	<u>33.3%</u>	<u>20.0%</u>	6.7%	0.0%	0.0%	6.7%	0.0%	
	新旧住民別	奈良県にずっと住んでいる人	128	<u>43.0%</u>	<u>24.2%</u>	<u>25.0%</u>	21.1%	14.1%	13.3%	6.3%	4.7%	1.6%	21.9%	2.3%
奈良県に新しくきた人		107	<u>35.5%</u>	<u>25.2%</u>	17.8%	<u>20.6%</u>	18.7%	10.3%	3.7%	4.7%	0.0%	16.8%	4.7%	
奈良での就労別	奈良県内で働いている人	124	<u>43.5%</u>	<u>29.0%</u>	<u>25.0%</u>	20.2%	15.3%	9.7%	6.5%	5.6%	1.6%	15.3%	3.2%	
	奈良県外で働いている人	56	<u>51.8%</u>	14.3%	<u>23.2%</u>	<u>17.9%</u>	7.1%	<u>17.9%</u>	1.8%	1.8%	0.0%	19.6%	0.0%	

（注）集計結果は「県全体」の今回の結果が多い項目順に並べている。

太字は「その他」および「無回答」を除いた各属性区分の上位3項目を示し、下線を付した数値は最多項目を示している。

母数は問2で「楽になった」と答えた人数であり、第1章「5 回答者の状況」とは異なる。

図表 1年前と比較して暮らし向きの実感が、「とても苦しくなった」または「少し苦しくなった」と答えた理由（5つ以内で複数回答／県全体、地域別、性別、年齢別、ライフステージ別、旧住民・新住民別、奈良での就労別）

	全 体	か ら 給 料 ま た は 収 入 が 減 少 し た	い が 増 え た か ら の 支 払	税 金 や 保 険 料 の 支 払	活 動 費 が 増 え た か ら の 生 活 費	上 昇 が 多 く な る か ら 	家 族 の 増 加 や 毎 日 の 生 活 費	え た か ら の 支 出 が 増 え た	ど か ら の 出 産 や 病 が あ つ た	結 婚 や 別 居 の 出 産 費 が あ つ た	た り 予 貯 金 が 減 り し た	利 率 の 低 下 に よ り し た	か ら の 働 き 手 が 減 つ た	失 業 や 退 職 が あ つ た	た か ら の 営 業 費 が 増 え た	家 業 や 商 売 な ど に か か る 費 用 が 増 え た	そ の 他	無 回 答
県全体	986	63.0% (+2.9)	41.4% (▲1.5)	37.3% (▲3.7)	27.8% (▲1.1)	23.5% (+7.1)	20.7% (+2.4)	19.3% (+0.3)	18.1% (▲1.3)	6.6% (+0.0)	11.8% (+4.1)	1.7% (+0.9)						
地域別	地域1(北部)	457	63.5% (+0.9)	42.2% (▲1.7)	37.6% (▲3.6)	27.4% (▲3.6)	23.0% (+5.3)	19.9% (+2.0)	20.1% (+3.4)	18.2% (+0.3)	2.8% (▲3.8)	13.3% (+5.2)	1.5% (+0.6)					
	地域2(西部)	97	60.8% (+0.6)	41.2% (▲4.2)	42.3% (+0.2)	23.7% (▲2.4)	17.5% (▲6.3)	18.6% (▲5.3)	26.8% (+2.9)	16.5% (+2.9)	5.2% (+0.6)	15.5% (+10.9)	1.0% (+1.0)					
	地域3(中部)	241	65.6% (+4.6)	41.1% (▲1.2)	36.5% (▲9.6)	30.7% (+5.4)	30.7% (+13.5)	20.7% (+3.8)	18.3% (▲2.9)	14.1% (▲4.2)	9.5% (+4.6)	9.1% (+1.4)	2.1% (+1.4)					
	地域4(東部)	89	58.4% (▲0.8)	42.7% (▲0.0)	44.9% (+7.1)	33.7% (+6.5)	21.3% (+10.7)	29.2% (+11.7)	16.9% (▲4.5)	30.3% (+4.1)	9.0% (▲3.6)	9.0% (+0.3)	2.2% (+2.2)					
	地域5(南東部)	73	61.6% (+15.5)	41.1% (+2.6)	24.7% (▲6.1)	23.3% (▲12.6)	17.8% (+11.4)	17.8% (▲7.8)	13.7% (▲6.8)	19.2% (▲6.5)	16.4% (+11.3)	9.6% (+5.7)	2.7% (+1.5)					
	地域6(南西部)	29	58.6% (+10.2)	27.6% (▲7.9)	31.0% (+8.5)	17.2% (▲5.3)	13.8% (+4.1)	20.7% (+14.2)	10.3% (▲2.6)	13.8% (▲18.5)	13.8% (+4.1)	10.3% (▲2.6)	0.0% (▲3.2)					
性別	男性	397	66.0% (+4.5)	46.9% (▲0.5)	34.0% (▲5.2)	27.2% (▲2.8)	22.4% (+6.1)	15.6% (+1.7)	22.9% (+4.2)	14.9% (▲1.0)	8.3% (+0.2)	13.4% (+8.1)	0.5% (▲0.2)					
	女性	588	60.9% (+1.6)	37.6% (▲2.3)	39.6% (▲0.2)	28.2% (▲0.2)	24.3% (+7.5)	24.1% (+3.0)	16.8% (▲2.3)	20.2% (▲1.7)	5.4% (▲0.1)	10.7% (+1.7)	2.6% (+1.6)					
年齢別	20歳代	84	63.1% (▲14.7)	42.9% (▲8.3)	28.6% (▲7.0)	26.2% (▲4.9)	13.1% (+4.2)	11.9% (▲12.5)	7.1% (+0.5)	14.3% (+9.8)	6.0% (+3.7)	15.5% (+13.3)	1.2% (+1.2)					
	30歳代	100	59.0% (▲13.7)	45.0% (▲4.1)	51.0% (▲7.2)	32.0% (▲6.2)	40.0% (+6.4)	31.0% (+12.8)	6.0% (▲3.1)	15.0% (▲0.5)	4.0% (▲0.5)	9.0% (+4.5)	1.0% (+0.1)					
	40歳代	179	72.6% (+0.5)	39.7% (▲4.7)	46.4% (▲7.6)	27.9% (▲1.6)	64.8% (+19.3)	15.6% (+4.3)	14.5% (+1.5)	8.9% (▲3.6)	7.8% (+3.8)	5.0% (▲0.1)	1.1% (▲0.0)					
	50歳代	199	72.9% (+1.2)	40.2% (+6.2)	33.2% (▲6.0)	31.2% (▲2.3)	27.1% (+6.9)	21.6% (▲0.1)	14.1% (▲2.9)	15.1% (▲10.4)	10.1% (+4.4)	9.0% (+4.3)	1.5% (+1.5)					
	60歳代	277	59.9% (▲2.3)	40.4% (▲4.3)	30.7% (▲7.1)	24.5% (+0.4)	3.2% (+0.5)	23.1% (+4.9)	27.4% (+4.0)	28.9% (+2.3)	5.8% (▲1.6)	14.4% (+8.1)	1.8% (+1.5)					
	70歳代以上	145	45.5% (+12.3)	42.8% (+0.1)	40.7% (+8.9)	26.9% (+1.0)	1.4% (▲2.3)	19.3% (+0.7)	32.4% (+6.5)	17.2% (+1.2)	4.1% (▲5.7)	18.6% (+3.7)	3.4% (+1.6)					
ライフステージ別(複数回答)	若者	81	65.4% (▲22.4)	43.2% (▲11.3)	29.6% (+2.4)	25.9% (▲4.4)	12.3% (+3.3)	9.9% (▲8.3)	7.4% (+1.3)	14.8% (+11.8)	6.2% (+3.1)	16.0% (+16.0)	1.2% (+1.2)					
	夫婦	111	71.2% (+4.2)	37.8% (▲9.6)	26.1% (▲15.1)	26.1% (▲10.0)	6.3% (+0.1)	27.0% (+0.2)	17.1% (▲12.8)	27.9% (▲2.0)	9.0% (+1.8)	7.2% (+4.1)	1.8% (+0.8)					
	育児期	79	62.0% (▲3.6)	49.4% (+3.1)	65.8% (▲1.3)	30.4% (▲1.0)	51.9% (+13.1)	38.0% (+17.1)	6.3% (▲1.1)	10.1% (▲0.3)	5.1% (+0.6)	5.1% (+0.6)	0.0% (▲1.5)					
	教育期前期	207	64.3% (▲2.8)	36.2% (▲1.9)	46.4% (▲9.1)	29.0% (+2.4)	77.8% (+20.6)	12.6% (+5.6)	9.2% (▲1.2)	9.7% (▲0.7)	5.3% (▲2.8)	5.8% (+3.5)	3.4% (+2.8)					
	教育期後期	120	63.3% (▲0.2)	35.0% (+6.6)	30.8% (▲1.6)	23.3% (▲13.2)	65.8% (+9.1)	17.5% (+8.0)	15.8% (+3.7)	15.0% (▲6.6)	9.2% (+5.1)	6.7% (▲0.1)	1.7% (+1.7)					
	単身高齢者	31	35.5% (+5.1)	32.3% (▲1.7)	38.7% (+17.3)	16.1% (+3.6)	3.2% (+3.2)	3.2% (▲20.0)	22.6% (▲7.8)	16.1% (+3.6)	3.2% (▲2.1)	32.3% (+9.0)	3.2% (+1.4)					
	高齢者夫婦	135	40.0% (▲3.0)	43.0% (▲7.0)	31.1% (▲0.1)	20.7% (▲3.5)	0.0% (▲2.7)	26.7% (+9.5)	33.3% (+11.8)	21.5% (+4.3)	5.2% (▲0.2)	18.5% (+7.8)	3.7% (+2.6)					
新旧住民別	奈良県にずっと住んでいる人	498	64.3% (+1.6)	44.4% (+0.4)	37.3% (▲7.0)	29.7% (▲1.1)	23.7% (+7.5)	17.7% (▲0.8)	18.5% (▲2.4)	17.1% (▲2.4)	9.2% (+2.1)	10.8% (+5.8)	2.0% (+1.2)					
	奈良県に新しくきた人	478	61.7% (+3.2)	38.1% (▲4.3)	37.7% (▲0.5)	25.7% (▲1.5)	23.8% (+6.7)	24.1% (+5.4)	20.1% (+2.5)	19.2% (+0.4)	3.8% (▲1.5)	12.8% (+2.7)	1.5% (+0.8)					
奈良での就労別	奈良県内で働いている人	425	76.0% (+0.3)	43.3% (▲0.3)	35.5% (▲6.1)	32.2% (▲1.6)	30.6% (+7.6)	20.9% (+6.2)	14.4% (▲2.6)	10.6% (▲5.7)	9.4% (▲1.2)	8.5% (+3.3)	1.4% (+0.8)					
	奈良県外で働いている人	127	75.6% (+2.7)	40.2% (▲1.2)	34.6% (▲9.7)	24.4% (▲0.4)	28.3% (+2.8)	16.5% (+0.7)	12.6% (+2.1)	15.7% (+8.2)	9.4% (+6.4)	13.4% (+6.6)	0.0% (▲0.8)					

(注) 集計結果は「県全体」の今回の結果が多い項目順に並べている。
 太字は「その他」および「無回答」を除いた各属性区分の上位3項目を示し、下線を付した数値は最多項目を示している。また、網かけは平成27年度よりも5ポイント以上増えた項目（「その他」および「無回答」を除く）を示している。

■県全体

1年前と比較した暮らし向きが「楽になった」（「とても楽になった」＋「少し楽になった」）と感じている人に対してその理由を尋ねたところ、「給料や収益が増加したから」（39.4％）が最も多く、次いで「教育にかかる費用が減ったから」（24.6％）、「就業、就職などで働き手が増えたから」（21.6％）となっています。

1年前と比較した暮らし向きが「苦しくなった」（「少し苦しくなった」＋「とても苦しくなった」）と感じている人に対してその理由を尋ねたところ、「給料や収益が増えない、または減少したから」（63.0％）が最も多く、次いで「税金や保険料の支払いが増えたから」（41.4％）、「家族の増加や物価の上昇などで毎日の生活費が増えたから」（37.3％）が多くなっています。平成27年度と比較すると、「教育にかかる費用が増えたから」（7.1ポイント増）、「給料や収益が増えない、または減少したから」（2.9ポイント増）などの項目で増加しています。

■地域別

「楽になった」理由をみると、『地域5（南東部）』と『地域6（南西部）』では「結婚、出産、病気など特別な出費がなかったから」、それ以外の地域では「給料や収益が増加したから」が最も多くなっています。

「苦しくなった」理由をみると、すべての地域で「給料や収益が増えない、または減少したから」が最も多くなっています。平成27年度と比較すると、『地域5（南東部）』では「給料や収益が増えない、または減少したから」（15.5ポイント増）、「教育にかかる費用が増えたから」（11.4ポイント増）、「家業や商売などにかかる営業経費が増えたから」（11.3ポイント増）、『地域6（南西部）』では「結婚、出産、病気など特別な出費があったから」（14.2ポイント増）、『地域3（中部）』では「教育にかかる費用が増えたから」（13.5ポイント増）などが増加しています。

■性別

「楽になった」理由をみると、男女ともに「給料や収益が増加したから」が最も多く、次いで『男性』では「就業、就職などで働き手が増えたから」、『女性』では「教育にかかる費用が減ったから」が多くなっています。

「苦しくなった」理由をみると、『男性』『女性』ともに「給料や収益が増えない、または減少したから」が最も多く、次いで『男性』では「税金や保険料の支払いが増えたから」、『女性』では「家族の増加や物価の上昇などで毎日の生活費が増えたから」となっています。平成27年度と比較すると、「教育にかかる費用が増えたから」が7.5ポイント増加しています。

■年齢別

「楽になった」理由をみると、『50歳代』では「教育にかかる費用が減ったから」、『70歳代以上』では「結婚、出産、病気など特別な出費がなかったから」、それ以外の年齢層では「給料や収益が増加したから」が最も多くなっています。

「苦しくなった」理由をみると、すべての年齢層において「給料や収益が増えない、または減少したから」が最も多くなっています。平成27年度と比較すると、『40歳代』では「教育にかかる費用が増えたから」（19.3ポイント増）、『30歳代』では「結婚、出産、病気など特別な出費があったから」（12.8ポイント増）などが増加しています。

■ライフステージ別

「楽になった」理由をみると、件数の少ない『単身高齢者』を除いて、『高齢者夫婦』では「結婚、出産、病気など特別な出費がなかったから」、それ以外では「給料や収益が増加したから」が最も多くなっています。

「苦しくなった」理由をみると、『若者』『夫婦』のライフステージで「給料や収益が増えない、または減少したから」が最も多く、『教育期前期』『教育期後期』では「教育にかかる費用が増えたから」、『育児期』『単身高齢者』では「家族の増加や物価の上昇などで毎日の生活費が増えたから」が最も多くなっています。平成27年度と比較すると、『育児期』では「結婚、出産、病気など特別な出費があったから」(17.1ポイント増)、『教育期前期』では「教育にかかる費用が増えたから」(20.6ポイント増)、『単身高齢者』では「家族の増加や物価の上昇などで毎日の生活費が増えたから」(17.3ポイント増)などが増加しています。

■旧住民・新住民別

「楽になった」理由をみると、どちらの住民においても「給料や収益が増加したから」が最も多くなっています。

「苦しくなった」理由をみると、どちらの住民においても、「給料や収益が増えない、または減少したから」が最も多くなっています。平成27年度と比較すると、『奈良県内にずっと住んでいる人』では「教育にかかる費用が増えたから」(7.5ポイント増)、『奈良県に新しくきた人』でも「教育にかかる費用が増えたから」(6.7ポイント増)が増加しています。

■奈良での就労別

「楽になった」理由をみると、どちらの就労状況においても「給料や収益が増加したから」が最も多くなっています。

「苦しくなった」理由をみると、どちらの就労状況においても、「給料や収益が増えない、または減少したから」が最も多くなっています。平成27年度と比較すると、『奈良県内で働いている人』では「教育にかかる費用が増えたから」(7.6ポイント増)、『奈良県外で働いている人』では「失業、退職、病気などで働き手が減ったから」(8.2ポイント増)が増加しています。

(2) 暮らし向きの変化の程度とその理由 (問2 × 問4)

図表 暮らし向きの悪化の程度とその理由 (設問間クロス/県全体)

(上段：件数、下段：比率)

順位	問4 暮らし向きが苦しくなった理由	問2 1年前と比較した暮らし向きの実感		
		計	少し苦しくなった	とても苦しくなった
1位	給料や収益が増えない、または減少したから	621 63.0%	503 62.9%	118 63.4%
2位	税金や保険料の支払いが増えたから	408 41.4%	319 39.9%	89 47.8%
3位	家族の増加や物価の上昇などで毎日の生活費が増えたから	368 37.3%	287 35.9%	81 43.5%
4位	家や自動車、家電などにかかる支出が増えたから	274 27.8%	222 27.8%	52 28.0%
5位	教育にかかる費用が増えたから	232 23.5%	178 22.3%	54 29.0%
6位	結婚、出産、病気など特別な出費があったから	204 20.7%	167 20.9%	37 19.9%
7位	利率の低下などにより預貯金が目減りしたから	190 19.3%	157 19.6%	33 17.7%
8位	失業、退職、病気などで働き手が減ったから	178 18.1%	129 16.1%	49 26.3%
9位	家業や商売などにかかる営業経費が増えたから	65 6.6%	47 5.9%	18 9.7%
母数		986	800	186

(注) 上記図表は暮らし向きが「少し苦しくなった」または「とても苦しくなった」と感じている回答者が、どのような理由で暮らし向きが悪化したのかを把握するため、問2と問4のクロス集計を行った結果である。
 なお、対象者数は、問2で現在の暮らし向きが「苦しくなった」と回答した人数である。

■県全体

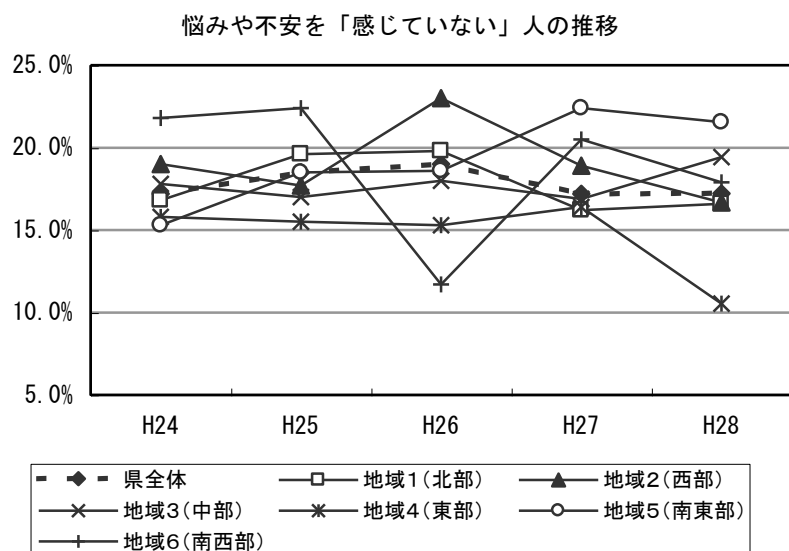
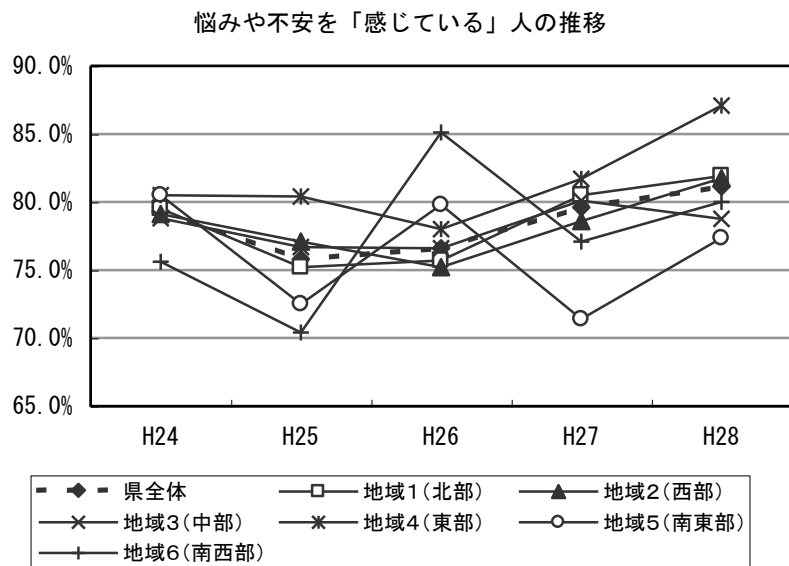
暮らし向きの変化の理由について、暮らし向きが「とても苦しくなった」と答えた人は「少し苦しくなった」と答えた人に比べ、「失業、退職、病気などで働き手が減ったから」(10.2ポイント差)が10ポイント以上高くなっており、次いで「税金や保険料の支払いが増えたから」(7.9ポイント差)や「家族の増加や物価の上昇などで毎日の生活費が増えたから」(7.6ポイント差)などで差が大きくなっています。

I-4 日頃の生活での悩みや不安の有無（問5）

（1）経年比較

図表 日頃の生活での悩みや不安の有無（経年比較／県全体、地域別）

		悩みや不安を感じている	悩みや不安を感じていない
県全体	H24	79.3%	17.2%
	H25	75.8%	18.5%
	H26	76.6%	19.0%
	H27	79.6%	17.2%
	H28	81.1%	17.2%
地域1 （北部）	H24	79.5%	16.8%
	H25	75.2%	19.6%
	H26	75.7%	19.8%
	H27	80.5%	16.2%
	H28	81.9%	16.6%
地域2 （西部）	H24	79.1%	19.0%
	H25	77.1%	17.7%
	H26	75.2%	23.0%
	H27	78.6%	18.9%
	H28	81.7%	16.7%
地域3 （中部）	H24	78.8%	17.8%
	H25	76.7%	17.0%
	H26	76.6%	18.0%
	H27	80.1%	16.9%
	H28	78.8%	19.4%
地域4 （東部）	H24	80.5%	15.8%
	H25	80.4%	15.5%
	H26	78.0%	15.3%
	H27	81.7%	16.4%
	H28	87.1%	10.5%
地域5 （南東部）	H24	80.5%	15.3%
	H25	72.5%	18.5%
	H26	79.8%	18.6%
	H27	71.4%	22.4%
	H28	77.3%	21.5%
地域6 （南西部）	H24	75.6%	21.8%
	H25	70.4%	22.4%
	H26	85.1%	11.7%
	H27	77.1%	20.5%
	H28	80.0%	17.9%



■県全体

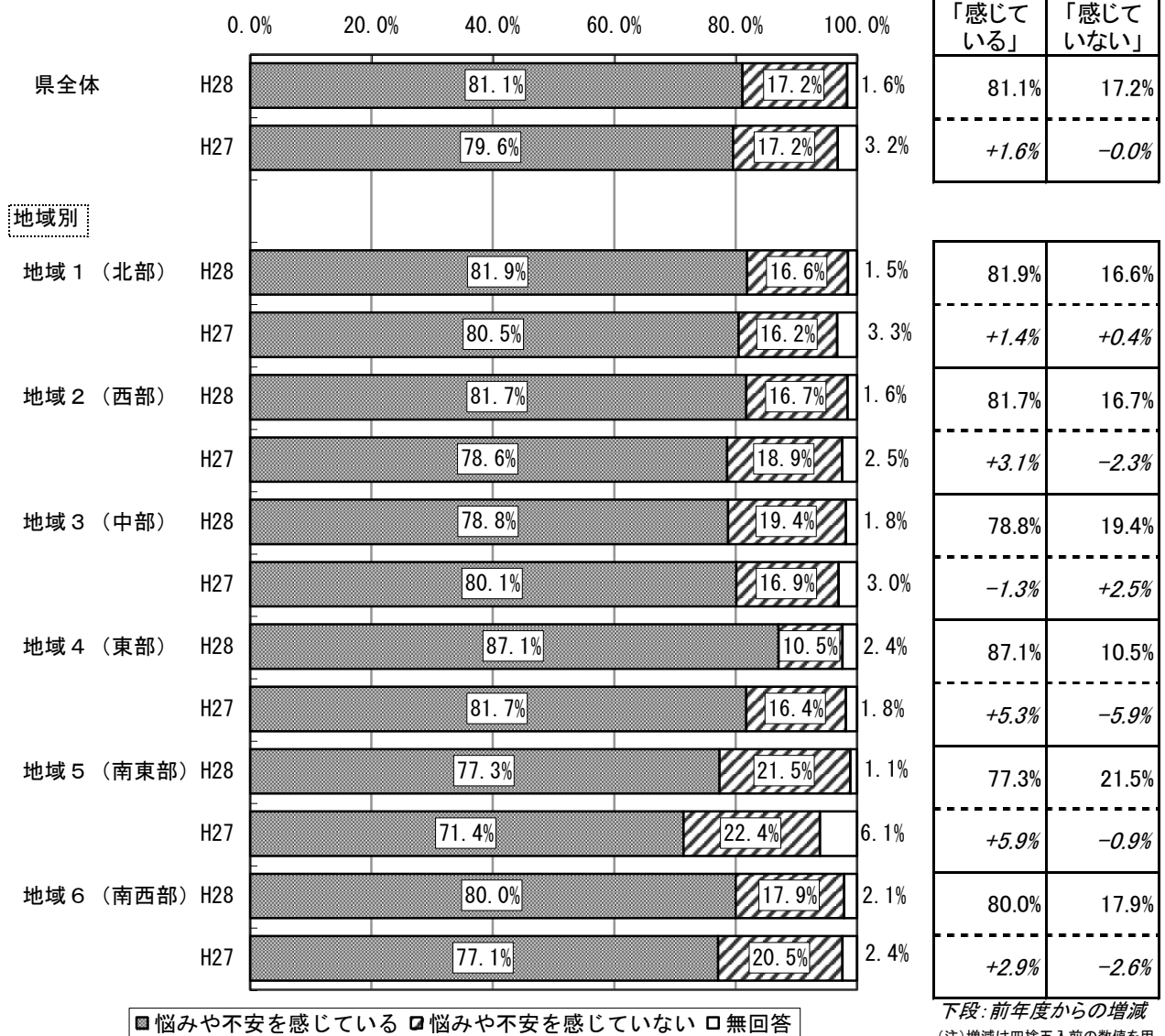
日頃の生活での悩みや不安の有無について5ヵ年の調査結果を比較すると、「悩みや不安を感じている」と答えた人は平成26年度以降は増加となっています。平成27年度と比較すると、「悩みや不安を感じている」と答えた人は1.5ポイント増加し、「悩みや不安を感じていない」と答えた人は横ばいとなっています。

■地域別

「悩みや不安を感じている」と答えた人は、平成24年度と比較すると、『地域5（南東部）』（3.2ポイント減）、『地域3（中部）』（増減なし）を除いた地域で増加しています。平成27年度と比較すると、『地域3（中部）』（1.3ポイント減）を除いた地域で増加しており、増加幅が大きいのは『地域5（南東部）』（5.9ポイント増）、『地域4（東部）』（5.4ポイント増）などとなっています。

(2) 今年度調査結果

図表 日頃の生活での悩みや不安の有無（単数回答／県全体、地域別）



(注) 母数については6～9ページの「回答者の状況」参照

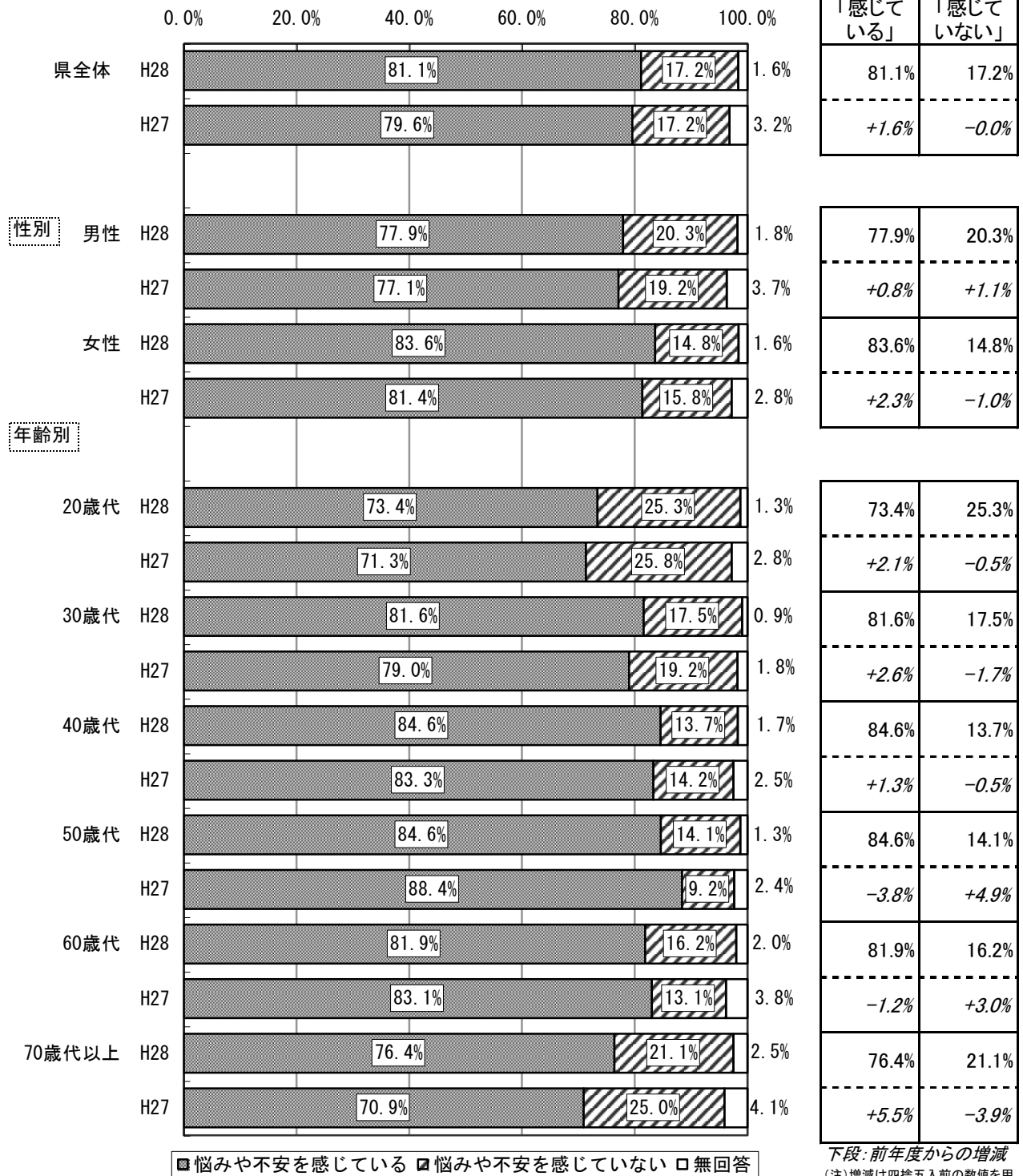
■ 県全体

日頃の生活での悩みや不安の有無について、「悩みや不安を感じている」と答えた人は、81.1%で、平成27年度と比較すると1.6ポイント増加しています。

■ 地域別

「悩みや不安を感じている人」と答えた人は、『地域4 (東部)』(87.1%)が最も多くなっています。平成27年度と比較すると、「悩みや不安を感じている」と答えた人は、『地域3 (中部)』(1.3ポイント減)で減少していますが、他の地域では増加しています。

図表 日頃の生活での悩みや不安の有無（単数回答／県全体、性別、年齢別）



(注) 母数については6～9ページの「回答者の状況」参照

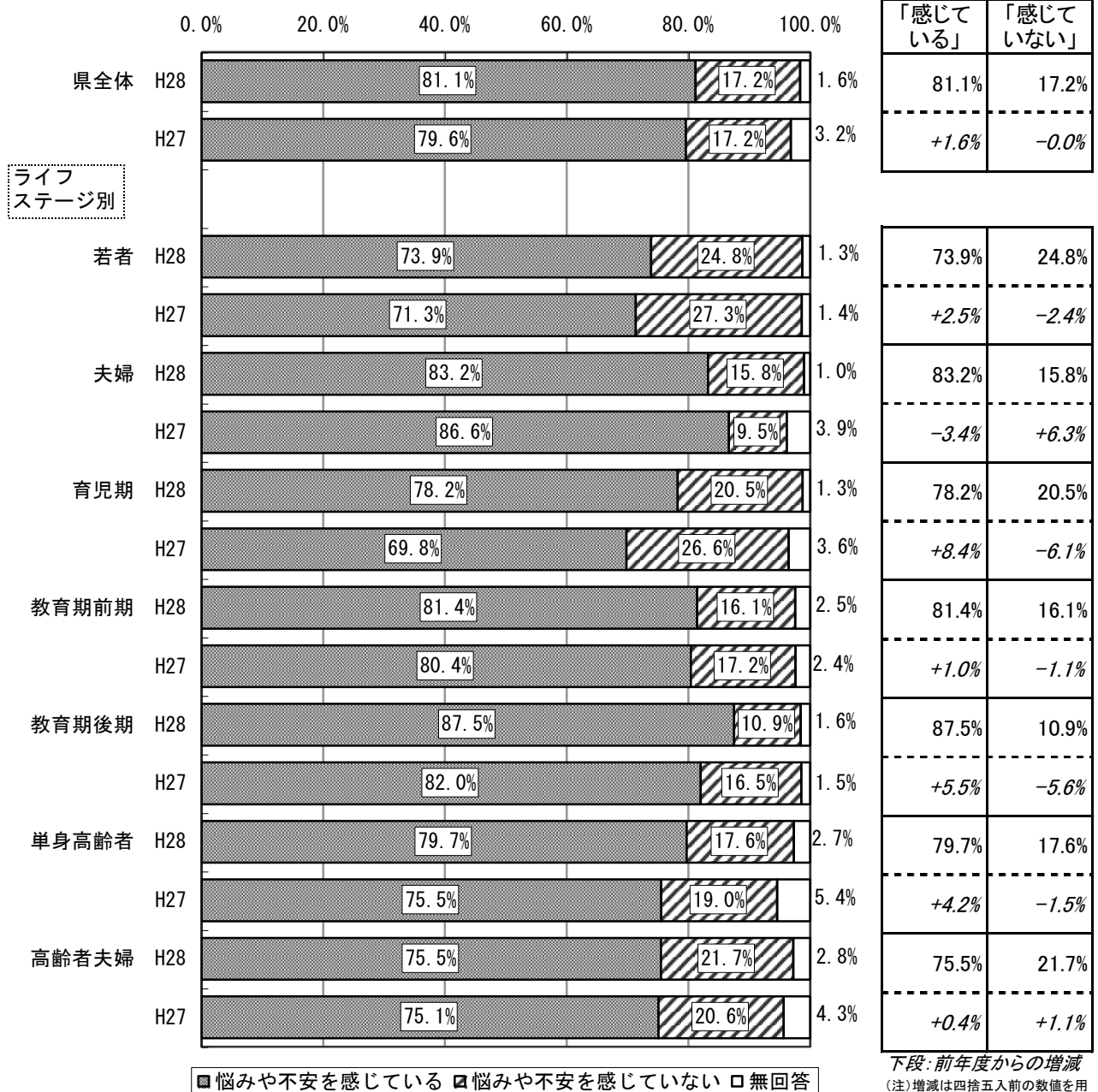
■性別

「悩みや不安を感じている」と答えた人は、『女性』(83.6%)が『男性』(77.9%)と比べ多くなっています。平成27年度と比較すると「悩みや不安を感じている」と答えた人は、『女性』(2.3ポイント増)『男性』(0.8ポイント増)ともに増加しています。

■年齢別

「悩みや不安を感じている」と答えた人が最も多いのは、『40歳代』『50歳代』（ともに84.6%）で、次いで『60歳代』（81.9%）となっています。平成27年度と比較すると、「悩みや不安を感じている」と答えた人は、『50歳代』と『60歳代』で減少しており、他の年齢層では増加して、特に『70歳代以上』（5.5ポイント増）では5ポイント以上増加しています。

図表 日頃の生活での悩みや不安の有無（単数回答／県全体、ライフステージ別）

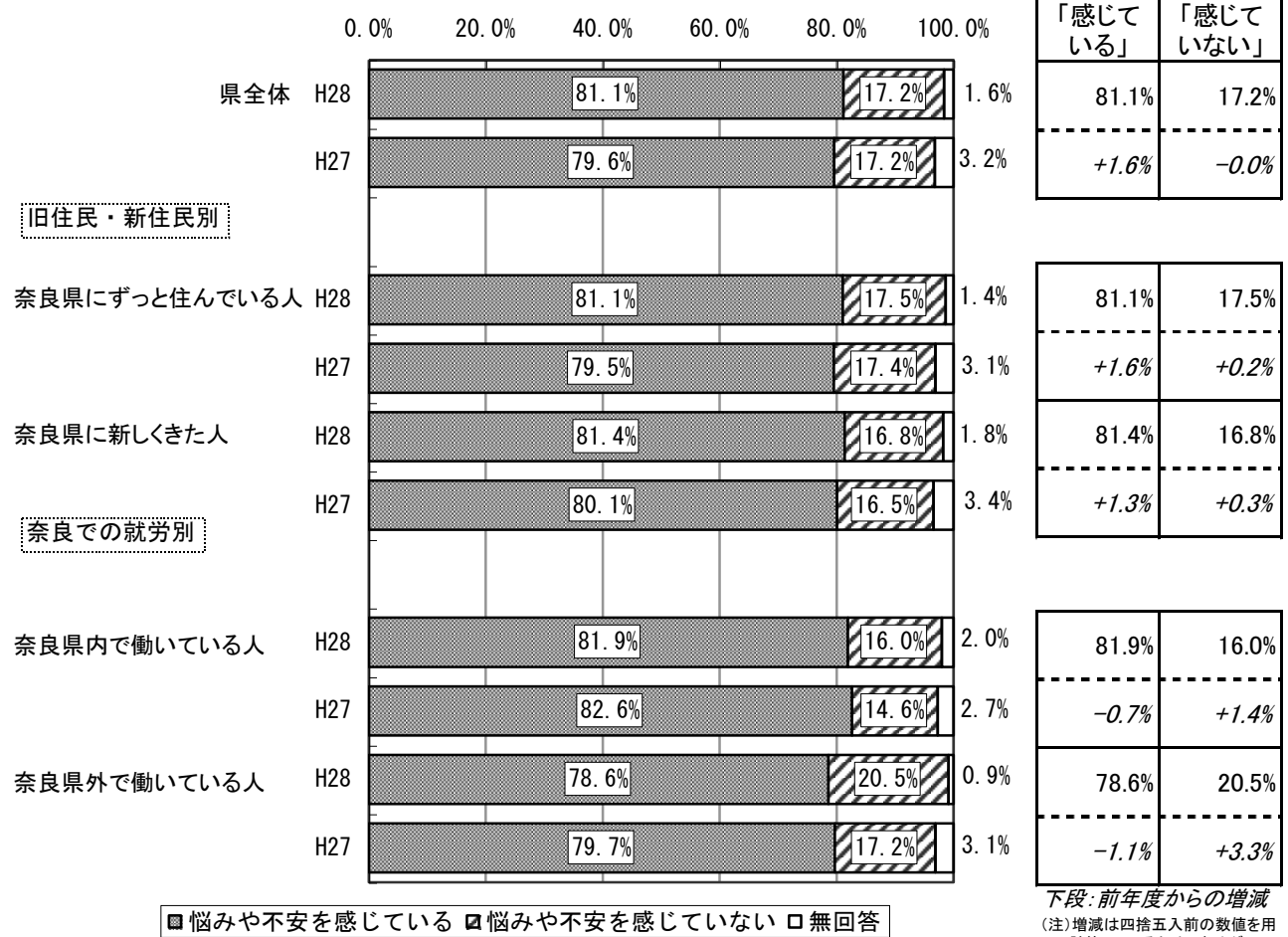


(注) 母数については6～9ページの「回答者の状況」参照

■ライフステージ別

「悩みや不安を感じている」と答えた人は、『教育期後期』（87.5%）で他のライフステージと比べて多くなっています。平成27年度と比較すると、『夫婦』（3.4ポイント減）で減少しています。他のライフステージでは増加しており、特に『育児期』では8.4ポイントと大幅に増加しています。

図表 日頃の生活での悩みや不安の有無（単数回答／旧住民・新住民別、奈良での就労別別）



(注) 母数については6～9ページの「回答者の状況」参照

■旧住民・新住民別

「悩みや不安を感じている」と答えた人は、『奈良県に新しくきた人』(81.4%)が『奈良県にずっと住んでいる人』(81.1%)と比べわずかだが多くなっています。平成27年度と比較すると、『奈良県にずっと住んでいる人』(1.6ポイント増)、『奈良県に新しくきた人』(1.3ポイント増)ともに増加しています。

■奈良での就労別

「悩みや不安を感じている」と答えた人は、『奈良県内で働いている人』(81.9%)が『奈良県外で働いている人』(78.6%)と比べ多くなっています。平成27年度と比較すると、『奈良県外で働いている人』(1.1ポイント減)『奈良県内で働いている人』(0.7ポイント減)ともに減少しています。

I-5 日頃の生活での悩みや不安の内容（問6）

図表 日頃の生活での悩みや不安の内容（複数回答／県全体、地域別、職業別、ライフステージ別、性別、年齢別）

		全 体	い 後 の 生 活 設 計 に つ い て	自 分 の 健 康 に つ い て	見 今 後 の 入 り や 資 産 の	家 族 の 健 康 に つ い て	つ 現 在 の 入 り や 資 産 に	学 校 の 就 職 に 結 合 し て	家 族 の 生 活 上 （ 進 婚 な い ）	間 勤 務 先 で の 仕 事 や 人	自 分 の 生 活 上 （ 進 婚 な い ）	自 分 の 生 活 上 （ 進 婚 な い ）	関 係 に 親 族 間 の 人 間	の 事 業 や 家 業 に つ い て の 経 営 上	に 近 隣 に 地 域 と の 関 係	そ の 他	無 回 答
県全体		2,164	61.8% (▲2.1)	59.2% (▲3.2)	54.1% (+1.6)	53.8% (▲0.6)	45.7% (+5.4)	24.6% (+1.1)	14.0% (+5.4)	13.9% (+3.7)	12.9% (▲0.2)	7.8% (+0.6)	7.5% (▲1.3)	3.0% (▲0.3)	0.4% (▲0.4)		
地域別	地域1（北部）	1,041	61.2% (▲1.4)	59.7% (▲0.1)	56.0% (+3.1)	53.7% (+1.6)	45.1% (+4.9)	25.7% (+0.8)	13.2% (+3.9)	15.4% (+4.2)	12.5% (▲1.0)	5.8% (▲0.9)	6.8% (▲2.2)	2.9% (▲0.3)	0.2% (▲0.8)		
	地域2（西部）	206	65.5% (+4.8)	65.5% (+0.6)	54.9% (+8.3)	57.3% (▲5.0)	49.5% (+8.7)	20.4% (▲0.0)	11.2% (+3.8)	7.8% (▲0.1)	9.2% (▲6.5)	5.3% (▲0.4)	4.9% (▲2.5)	2.9% (▲0.8)	0.5% (▲0.0)		
	地域3（中部）	519	58.2% (▲6.5)	55.7% (▲7.4)	53.6% (+0.8)	49.7% (▲6.0)	48.0% (+4.6)	24.9% (+0.7)	18.9% (+10.4)	17.3% (+8.3)	13.7% (+1.8)	9.2% (+3.1)	7.3% (+0.5)	1.7% (▲1.9)	0.8% (+0.2)		
	地域4（東部）	182	68.1% (▲5.6)	61.0% (▲2.1)	52.7% (▲0.3)	57.1% (+3.5)	45.6% (+11.5)	28.6% (+5.1)	12.6% (+6.5)	7.7% (▲1.2)	17.6% (+4.7)	9.3% (+1.0)	8.8% (▲8.0)	3.3% (+1.6)	0.5% (▲0.6)		
	地域5（南東部）	140	66.4% (+4.3)	58.6% (▲17.1)	49.3% (▲0.7)	57.9% (+1.4)	41.4% (+7.9)	20.0% (+2.9)	12.9% (+2.9)	9.3% (+0.0)	14.3% (+2.9)	17.1% (+5.0)	12.9% (+3.6)	5.0% (+2.1)	0.0% (+0.0)		
	地域6（南西部）	76	60.5% (▲3.5)	56.6% (▲2.8)	40.8% (▲21.7)	57.9% (+3.2)	35.5% (▲9.8)	17.1% (▲0.1)	6.6% (▲1.2)	10.5% (▲5.1)	10.5% (▲3.5)	11.8% (▲3.8)	11.8% (+7.2)	7.9% (+3.2)	0.0% (+0.0)		
性別	男性	890	58.5% (▲3.5)	59.7% (+0.0)	56.3% (+0.4)	51.1% (+1.5)	48.0% (+5.4)	21.0% (+0.2)	17.2% (+5.6)	14.8% (+3.2)	10.1% (▲0.7)	8.5% (▲1.1)	8.1% (▲1.1)	2.7% (+0.1)	0.3% (▲0.3)		
	女性	1,270	64.2% (▲1.0)	58.8% (▲5.3)	52.6% (+2.6)	55.7% (▲2.1)	44.1% (+5.3)	27.0% (+1.6)	11.8% (+5.1)	13.3% (+4.0)	14.9% (+1.9)	7.3% (+1.4)	7.1% (▲1.5)	3.1% (▲0.5)	0.4% (▲0.4)		
年齢別	20歳代	232	21.1% (▲2.5)	34.9% (+1.1)	50.4% (▲11.8)	33.2% (+2.5)	47.8% (▲1.0)	4.7% (▲7.9)	31.0% (+5.1)	7.7% (+7.7)	9.9% (+2.0)	2.2% (▲1.8)	3.9% (▲0.8)	0.9% (+0.9)	0.0% (+0.0)		
	30歳代	261	50.2% (+5.1)	42.9% (+5.5)	62.8% (▲2.9)	42.9% (+3.3)	57.5% (▲4.7)	26.1% (▲1.4)	23.0% (+2.3)	10.3% (▲0.6)	5.7% (▲3.2)	5.4% (+2.1)	2.7% (▲4.5)	0.4% (▲0.9)	0.4% (▲0.5)		
	40歳代	389	61.4% (▲0.8)	47.0% (▲2.7)	60.4% (▲4.0)	48.3% (▲1.4)	50.4% (+2.8)	38.3% (+3.9)	17.2% (+3.8)	10.8% (▲0.6)	15.4% (+3.1)	9.0% (+0.6)	7.2% (▲0.6)	2.8% (+1.0)	0.8% (+0.5)		
	50歳代	468	74.8% (▲0.9)	57.9% (▲1.2)	63.7% (+3.8)	54.5% (▲4.4)	46.4% (+7.0)	34.0% (▲1.1)	16.2% (+5.5)	3.8% (▲2.2)	13.9% (+1.0)	12.4% (+3.1)	6.8% (▲0.9)	2.6% (▲0.6)	0.0% (▲1.2)		
	60歳代	537	71.9% (▲4.6)	74.1% (+2.1)	47.9% (▲4.3)	64.2% (+3.6)	40.0% (+4.6)	20.5% (▲1.0)	4.8% (+2.3)	1.5% (▲0.7)	12.1% (▲2.6)	7.4% (▲0.3)	9.3% (▲0.1)	4.5% (+0.1)	0.6% (+0.0)		
	70歳代以上	275	66.2% (+6.0)	85.1% (+4.2)	36.0% (+4.9)	67.3% (+8.1)	36.0% (+5.6)	12.4% (+1.7)	1.1% (+0.1)	0.0% (▲1.0)	14.5% (+1.2)	5.8% (▲0.8)	10.5% (+0.1)	2.9% (▲0.8)	0.4% (▲0.6)		
ライフステージ別（複数回答）	若者	226	20.8% (+1.2)	34.5% (+1.2)	49.1% (▲14.6)	34.1% (+1.7)	48.2% (▲0.8)	4.9% (▲9.8)	31.0% (+3.5)	7.7% (+8.9)	10.2% (+2.3)	2.2% (▲2.7)	4.0% (+1.0)	0.4% (+0.4)	0.0% (+0.0)		
	夫婦	243	72.8% (▲3.8)	65.0% (+5.8)	58.4% (▲2.3)	60.5% (▲0.7)	44.9% (+1.6)	14.8% (+3.9)	7.4% (▲4.5)	3.3% (+0.3)	9.5% (▲4.0)	8.6% (+1.2)	9.9% (▲1.6)	3.7% (▲0.3)	0.4% (+0.4)		
	育児期	187	48.1% (▲1.0)	36.4% (▲6.0)	61.5% (▲2.9)	45.5% (▲2.0)	58.8% (+5.4)	30.5% (▲7.7)	15.0% (+1.4)	7.0% (▲2.4)	15.5% (+1.1)	8.0% (+2.1)	8.6% (▲4.2)	4.8% (+3.1)	0.0% (+0.0)		
	教育期前期	394	57.4% (+1.2)	45.2% (▲2.3)	58.6% (▲0.2)	47.2% (+1.4)	48.5% (+1.3)	49.7% (+1.9)	15.7% (+5.4)	4.3% (▲2.0)	15.5% (▲0.2)	9.1% (▲3.0)	7.4% (▲3.0)	1.8% (+0.4)	0.5% (▲0.5)		
	教育期後期	224	66.5% (▲1.8)	50.0% (▲3.0)	64.3% (+3.9)	48.2% (▲3.0)	46.4% (+5.6)	50.4% (▲0.8)	17.0% (+8.4)	3.1% (▲2.4)	13.8% (▲2.6)	9.4% (+2.1)	6.3% (▲0.5)	3.1% (+2.5)	0.9% (+0.9)		
	単身高齢者	59	55.9% (▲7.1)	86.4% (▲3.6)	33.9% (+8.7)	18.6% (▲3.9)	37.3% (+7.6)	5.1% (▲1.2)	3.4% (+1.6)	0.0% (▲0.9)	20.3% (+8.6)	6.8% (+3.2)	6.8% (▲9.4)	10.2% (+4.8)	0.0% (▲0.9)		
高齢者夫婦	271	67.9% (▲1.3)	81.9% (+5.1)	40.6% (+2.5)	75.3% (+5.8)	34.7% (+4.5)	7.7% (+1.3)	1.1% (▲0.1)	0.7% (+0.1)	13.3% (▲0.7)	3.7% (▲2.1)	12.2% (+2.7)	3.3% (▲0.0)	0.4% (+0.1)			
新旧住民別	奈良県にずっと住んでいる人	1,123	57.7% (▲5.4)	56.0% (▲6.2)	54.8% (+0.3)	51.3% (▲4.9)	45.9% (+5.2)	21.5% (▲2.3)	17.5% (+8.6)	20.1% (+6.7)	12.6% (▲0.1)	9.3% (+0.7)	6.9% (▲2.8)	2.4% (▲0.2)	0.5% (▲0.3)		
	奈良県に新しくきた人	1,027	66.0% (+0.7)	62.4% (▲0.6)	53.5% (+2.4)	56.2% (+2.9)	45.5% (+4.7)	27.9% (+4.5)	10.5% (+2.2)	7.3% (+0.8)	13.0% (▲1.1)	6.0% (+0.8)	8.2% (+0.4)	3.5% (▲0.3)	0.2% (▲0.2)		
就労別の	奈良県内で働いている人	965	62.0% (▲3.6)	53.7% (▲0.3)	60.5% (▲0.8)	49.0% (▲3.4)	50.4% (+4.8)	26.4% (▲1.3)	22.9% (+9.7)	14.4% (+3.6)	11.1% (+0.1)	10.6% (▲2.1)	7.0% (▲0.3)	2.7% (▲0.4)	0.6% (▲0.3)		
	奈良県外で働いている人	353	61.5% (+2.5)	53.5% (+5.1)	57.2% (▲3.2)	51.6% (+9.5)	49.9% (+6.7)	28.0% (+0.8)	19.8% (▲0.3)	20.1% (+2.4)	10.5% (▲2.9)	8.2% (+4.7)	5.4% (▲1.3)	3.1% (▲0.1)	0.0% (▲1.1)		

(注) 集計結果は「県全体」の今回の結果が多い項目順に並べている。

太字は「その他」を除いた今回の結果の各属性区分の上位3項目を示し、下線を付した数値は最多項目を示している。また、網かけは前回よりも5ポイント以上増えた項目を示している。

■県全体

日頃の生活で「悩みや不安を感じている」ことがある人に対して、その内容を尋ねたところ、「老後の生活設計について」(61.8%)が最も多く、次いで「自分の健康について」(59.2%)、「今後の収入や資産の見通しについて」(54.1%)が多くなっています。平成27年度と比較すると、「現在の収入や資産について」「勤務先での仕事や人間関係について」(ともに5.4ポイント増)などが増加しています。

■地域別

いずれの地域においても「老後の生活設計について」が最も多くなっています(『地域2(西部)』では「自分の健康について」も同率)。平成27年度と比較すると、『地域4(東部)』では「現在の収入や資産について」、『地域3(中部)』では「勤務先での仕事や人間関係について」が10ポイント以上増加しており、『地域6(南西部)』では「今後の収入や資産の見通しについて」が20ポイント以上減少しています。

■性別

『男性』は「自分の健康について」(59.7%)が最も多く、次いで「老後の生活設計について」(58.5%)、『女性』は「老後の生活設計について」(64.2%)が最も多く、次いで「自分の健康について」(58.8%)が多くなっています。平成27年度と比較すると、男女ともに「勤務先での仕事や人間関係について」「現在の収入や資産について」が5ポイント以上増加しています。

■年齢別

『40歳代』、『50歳代』では「老後の生活設計について」、『60歳代』、『70歳代以上』では「自分の健康について」、『20歳代』では「自分の生活上(進学、就職、結婚など)の問題について」、『30歳代』では「今後の収入や資産の見通しについて」がそれぞれ最も多くなっています。平成27年度と比較すると、『70歳代以上』では「家族の健康について」(8.1ポイント増)、『20歳代』では「自分の生活上(進学、就職、結婚など)の問題について」(7.7ポイント増)などが増加しています。

■ライフステージ別

『夫婦』、『教育期後期』では「老後の生活設計について」、『育児期』、『教育期前期』では「今後の収入や資産の見通しについて」、『単身高齢者』、『高齢者夫婦』では「自分の健康について」、『若者』では「自分の生活上(進学、就職、結婚など)の問題について」がそれぞれ最も多くなっています。平成27年度と比較すると、『若者』では「自分の生活上(進学、就職、結婚など)の問題について」(8.9ポイント増)、『単身高齢者』では「今後の収入や資産の見通しについて」(8.7ポイント増)などが増加しています。

■旧住民・新住民別

どちらの住民においても、「老後の生活設計について」が最も多くなっています。平成27年度と比較すると、『奈良県にずっと住んでいる人』では「勤務先での仕事や人間関係について」(8.6ポイント増)が最も大きく増加しています。

■奈良での就労別

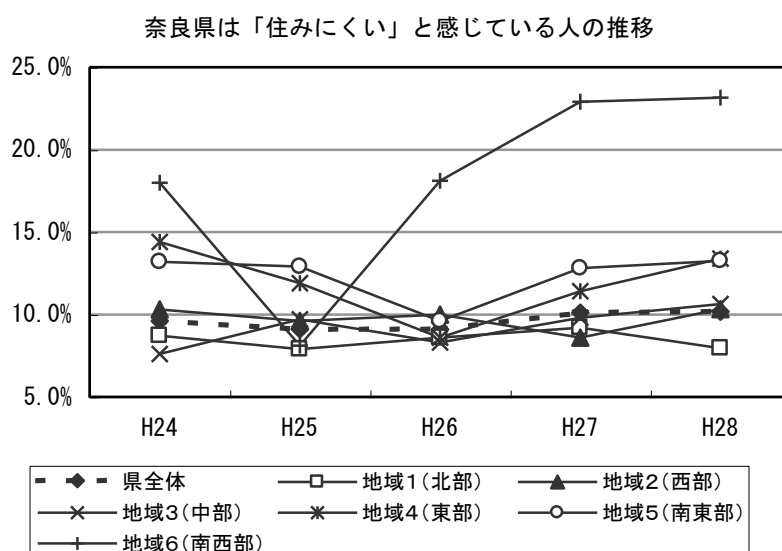
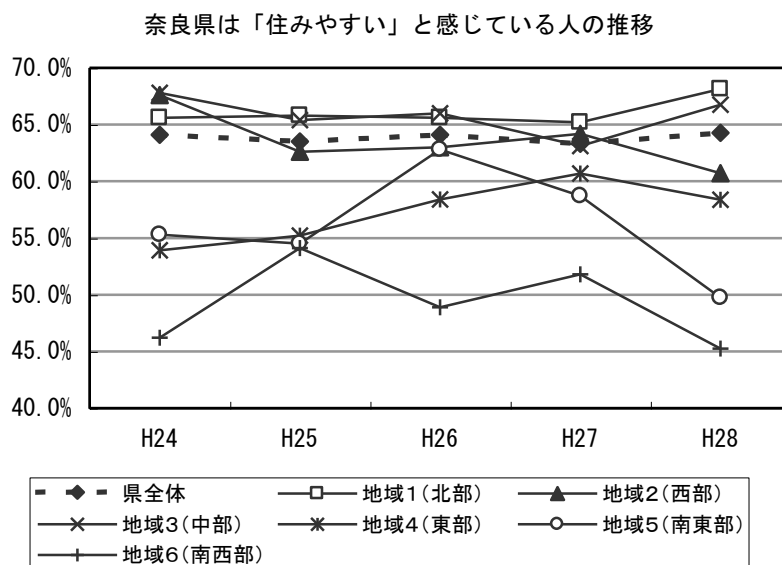
どちらの就労先でも「老後の生活設計について」が最も多くなっています。平成27年度と比較すると、『奈良県内で働いている人』では「勤務先での仕事や人間関係について」(9.7ポイント増)、『奈良県外で働いている人』では「家族の健康について」(9.5ポイント増)がそれぞれ最も大きく増加しています。

I-6 奈良県の住みよさの評価（問7）

（1）経年比較

図表 奈良県の住みよさの評価（経年比較／県全体、地域別）

		住 み や す い	住 み に く い
県全体	H24	64.1%	9.6%
	H25	63.5%	9.1%
	H26	64.1%	9.1%
	H27	63.3%	10.1%
	H28	64.3%	10.2%
地域1 (北部)	H24	65.6%	8.7%
	H25	65.8%	7.9%
	H26	65.6%	8.6%
	H27	65.2%	9.2%
	H28	68.1%	7.9%
地域2 (西部)	H24	67.6%	10.3%
	H25	62.6%	9.6%
	H26	63.0%	10.0%
	H27	64.2%	8.6%
	H28	60.7%	10.3%
地域3 (中部)	H24	67.8%	7.6%
	H25	65.4%	9.7%
	H26	66.0%	8.3%
	H27	63.1%	9.8%
	H28	66.8%	10.6%
地域4 (東部)	H24	53.9%	14.4%
	H25	55.2%	11.9%
	H26	58.4%	8.6%
	H27	60.7%	11.4%
	H28	58.4%	13.4%
地域5 (南東部)	H24	55.3%	13.2%
	H25	54.5%	12.9%
	H26	62.8%	9.6%
	H27	58.7%	12.8%
	H28	49.7%	13.3%
地域6 (南西部)	H24	46.2%	18.0%
	H25	54.1%	8.1%
	H26	48.9%	18.1%
	H27	51.8%	22.9%
	H28	45.3%	23.2%



■県全体

奈良県の住みよさの評価について5カ年の調査結果を比較すると、「住みやすい」（「とても住みやすい」+「どちらかといえば住みやすい」と感じている人は平成24年度から概ね横ばい傾向にあります。一方で、「住みにくい」（「どちらかといえば住みにくい」+「とても住みにくい」と感じている人は平成27年度以降わずかながら増加傾向となっています。平成27年度と比較すると、「住みやすい」と感じている人は1.0ポイント増加しています。一方で、「住みにくい」と感じている人は0.1ポイント増加とほぼ横ばいとなっています。

■地域別

「住みやすい」と感じている人は、平成24年度と比較すると、『地域1（北部）』、『地域4（東部）』では増加、それ以外の地域では減少しています。平成27年度と比較すると、「住みやすい」と感じている人は『地域1（北部）』（2.9ポイント増）、『地域3（中部）』（3.7ポイント増）では増加していますが、他の地域では減少しており、特に『地域5（南東部）』では9.0ポイント減少しています。

また、「住みにくい」と感じている人は、『地域1（北部）』を除くすべての地域で増加しています。

（2）今年度調査結果

図表 奈良県の住みよさの評価（単数回答／県全体、地域別）



(注) 母数については6～9ページの「回答者の状況」参照

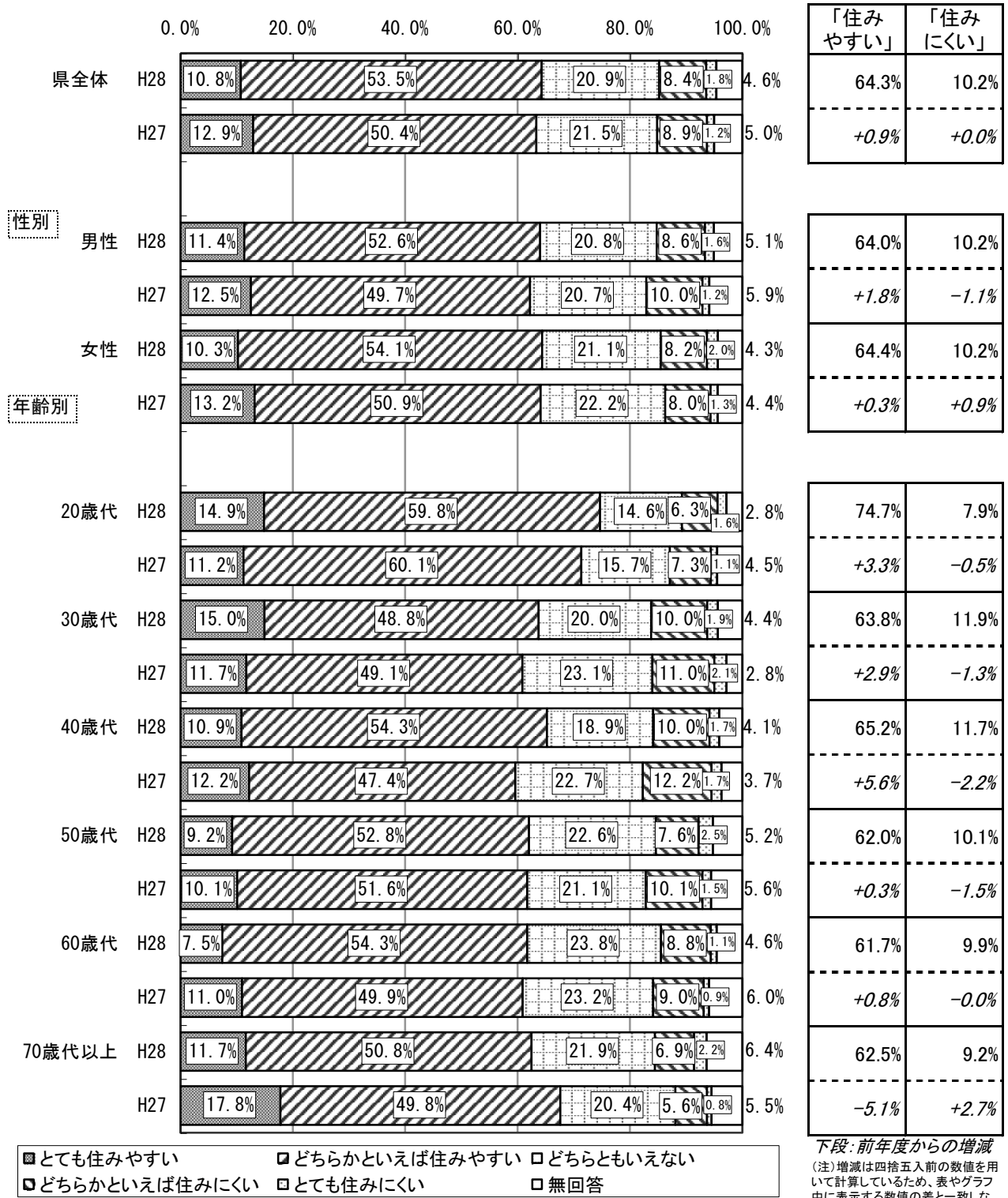
■県全体

奈良県の住みよさの評価について、64.3%の人が「住みやすい」と感じており、「住みにくい」と感じている人は、10.2%となっています。平成27年度と比較すると、「住みやすい」と感じている人は0.9ポイント増加しています。

■地域別

「住みやすい」と感じている人が最も多いのは、『地域1（北部）』（68.1%）となっています。一方で最も少ないのは、『地域6（南西部）』（45.3%）となっています。平成27年度と比較すると、『地域1（北部）』を除くすべての地域で「住みにくい」と感じている人が増加しています。

図表 奈良県の住みよさの評価（単数回答／県全体、性別、年齢別）



(注) 母数については6～9ページの「回答者の状況」参照

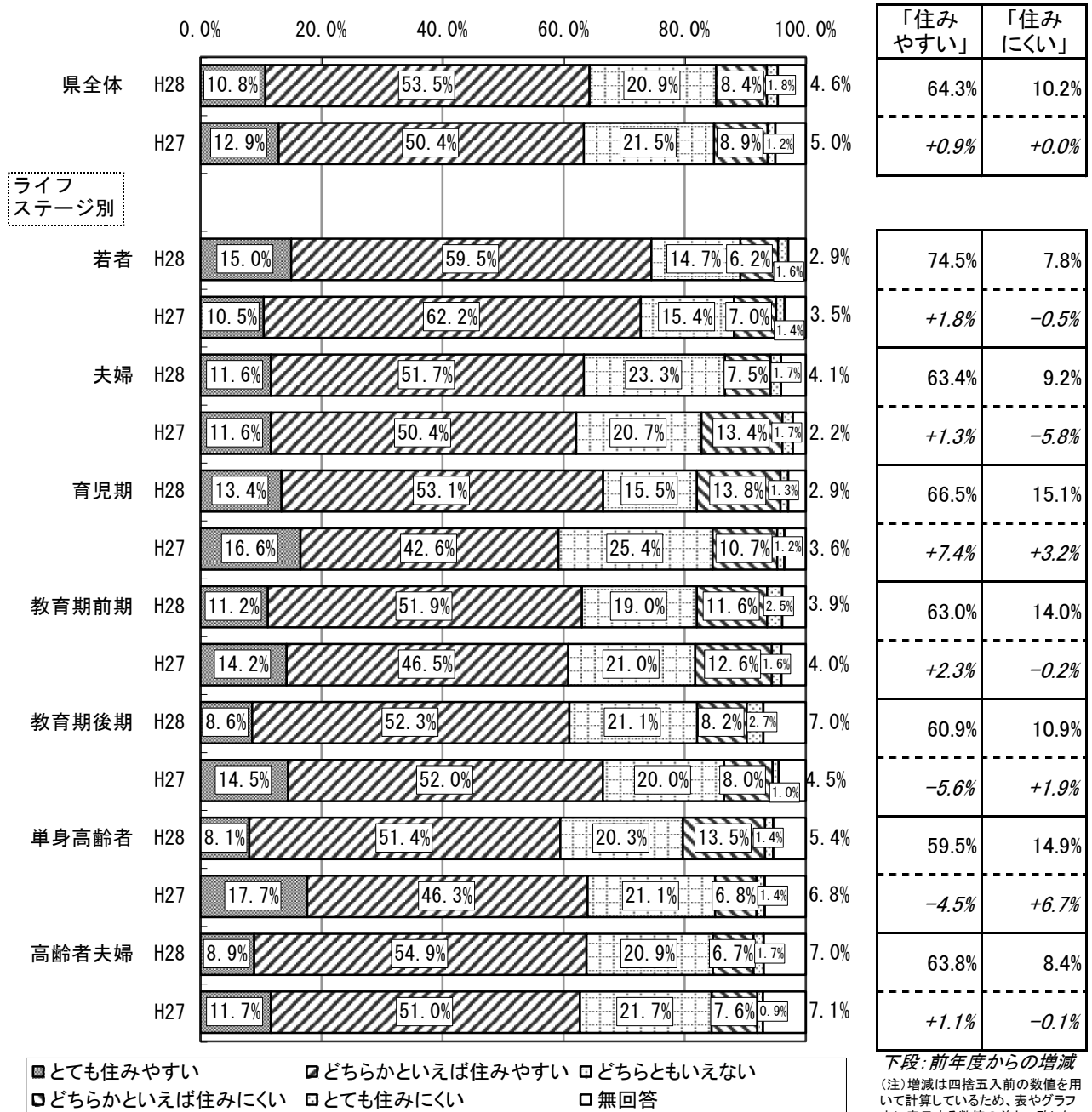
■性別

「住みやすい」と感じている人は、『女性』(64.4%)が『男性』(64.0%)と比べ多くなっています。平成27年度と比較すると、「住みやすい」と感じている人は『男性』(1.8ポイント増)、『女性』(0.3ポイント増)ともに増加しています。

■年齢別

「住みやすい」と感じている人が最も多いのは、『20歳代』（74.7%）となっています。平成27年度と比較すると、『70歳代以上』を除くすべての年齢層で「住みやすい」と感じている人が増加しており、特に『40歳代』では5.6ポイント増加しています。

図表 奈良県の住みよさの評価（単数回答／県全体、ライフステージ別）

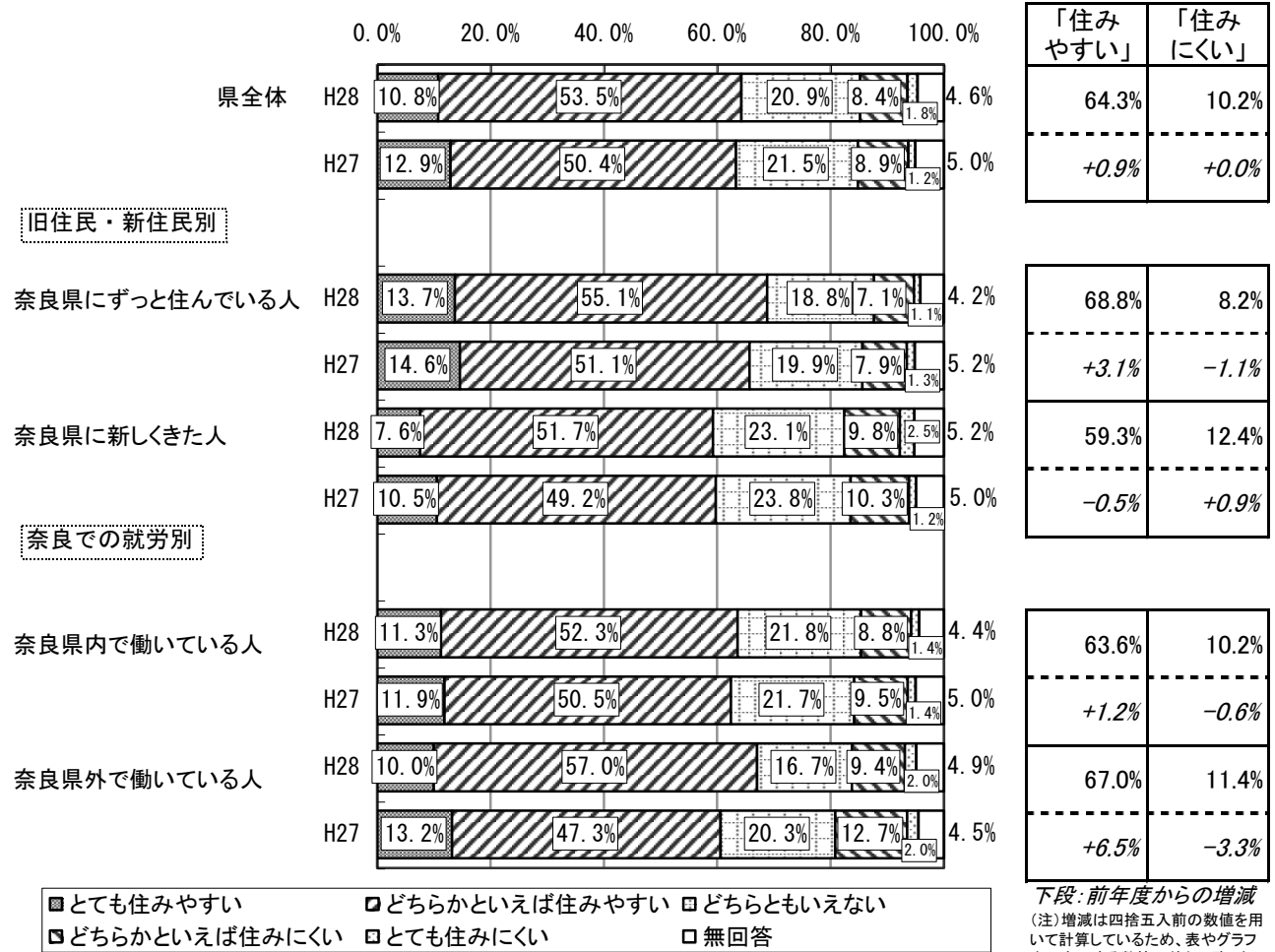


(注) 母数については6～9ページの「回答者の状況」参照

■ライフステージ別

「住みやすい」と感じている人は、『若者』（74.5%）が最も多く、次いで『育児期』（66.5%）となっています。平成27年度と比較すると、「住みやすい」と感じている人は『教育期後期』『単身高齢者』を除いたライフステージで増加し、特に『育児期』では7.4ポイント増加しています。

図表 奈良県の住みよさの評価（単数回答／旧住民・新住民別、奈良での就労別別）



(注) 母数については6～9ページの「回答者の状況」参照

■旧住民・新住民別

「住みやすい」と感じている人は、『奈良県にずっと住んでいる人』(68.8%)が『奈良県に新しくきた人』(59.3%)と比べ多くなっています。平成27年度と比較すると、『奈良県に新しくきた人』が「住みにくい」と感じている人が増加しています。

■奈良での就労別

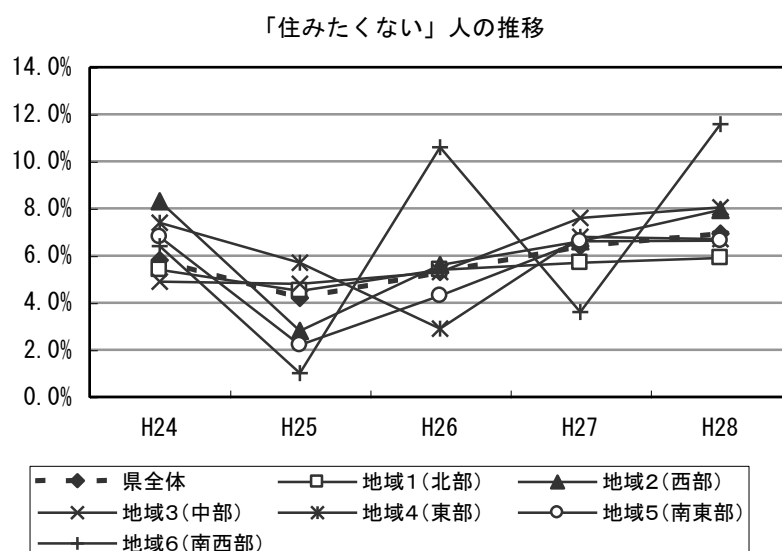
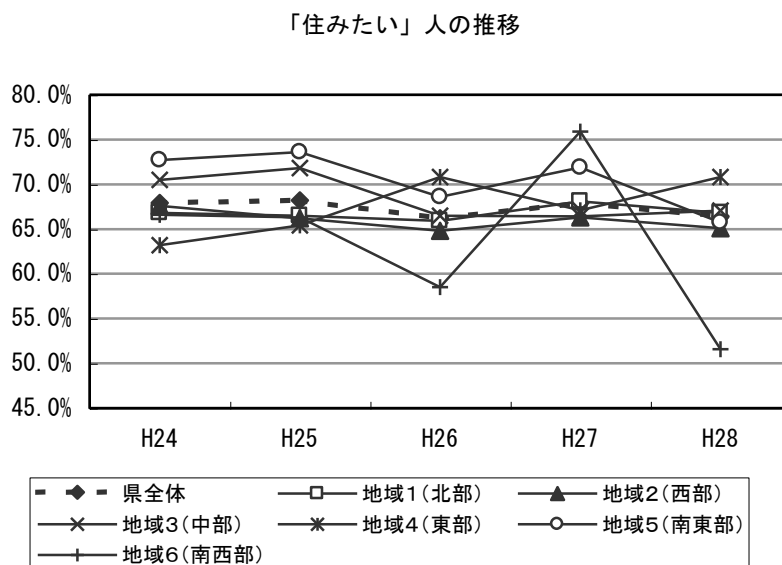
「住みやすい」と感じている人は、『奈良県外で働いている人』(67.0%)が『奈良県内で働いている人』(63.6%)と比べ多くなっています。平成27年度と比較すると、どちらの就労状況においても「住みにくい」と感じている人が減少しています。

I-7 将来の奈良県での定住意向（問8）

（1）経年比較

図表 将来の奈良県での定住意向（経年比較／県全体、地域別）

		住 み た い	住 み た く な い
県全体	H24	67.9%	5.8%
	H25	68.2%	4.2%
	H26	66.2%	5.3%
	H27	67.9%	6.4%
	H28	66.4%	6.9%
地域1 （北部）	H24	66.8%	5.4%
	H25	66.5%	4.5%
	H26	65.9%	5.4%
	H27	68.1%	5.7%
	H28	66.8%	5.9%
地域2 （西部）	H24	67.6%	8.3%
	H25	66.2%	2.8%
	H26	64.8%	5.6%
	H27	66.3%	6.6%
	H28	65.1%	7.9%
地域3 （中部）	H24	70.5%	4.9%
	H25	71.8%	4.8%
	H26	66.5%	5.3%
	H27	66.4%	7.6%
	H28	67.1%	8.0%
地域4 （東部）	H24	63.2%	7.4%
	H25	65.4%	5.7%
	H26	70.8%	2.9%
	H27	67.1%	6.8%
	H28	70.8%	6.7%
地域5 （南東部）	H24	72.7%	6.8%
	H25	73.6%	2.2%
	H26	68.6%	4.3%
	H27	71.9%	6.6%
	H28	65.7%	6.6%
地域6 （南西部）	H24	66.6%	6.4%
	H25	66.3%	1.0%
	H26	58.5%	10.6%
	H27	75.9%	3.6%
	H28	51.6%	11.6%



■ 県全体

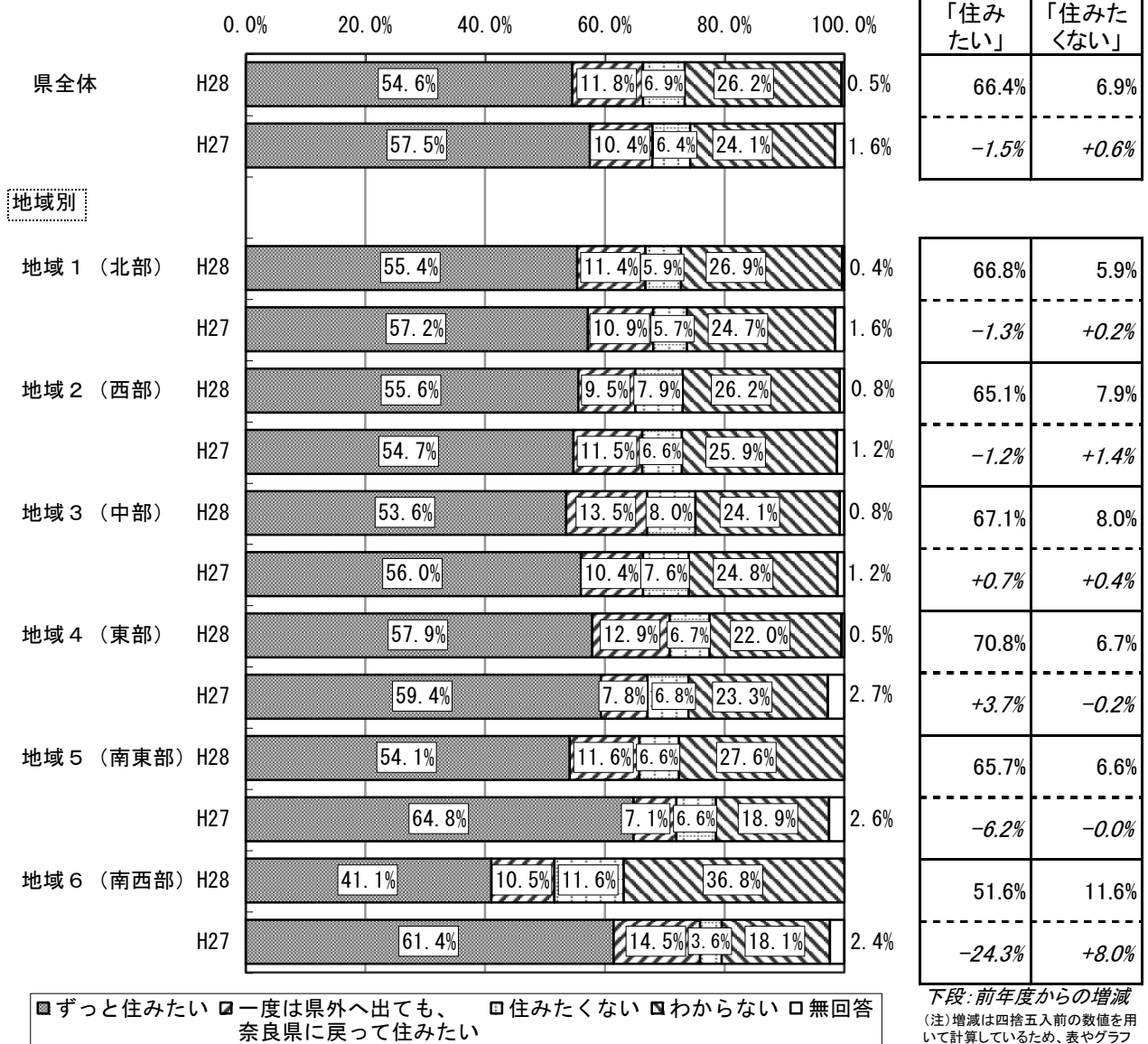
将来の奈良県での定住意向について5ヵ年の調査結果を比較すると、「住みたい」（「ずっと住みたい」+「一度は県外へ出て、奈良県に戻って住みたい」と考えている人は平成24年度から60%台後半で推移しています。また平成27年度と比較すると、「住みたい」と考えている人は1.5ポイント減少しています。

■ 地域別

奈良県に「住みたい」と考えている人は、平成24年度と比較すると、『地域4（東部）』、『地域1（北部）』を除く地域で減少しています。平成27年度と比較すると、「住みたい」と考えている人は『地域4（東部）』（3.7ポイント増）、『地域3（中部）』（0.7ポイント増）を除いた地域で減少しており、特に『地域6（南西部）』では24.3ポイントと大幅に減少しています。

(2) 今年度調査結果

図表 将来の奈良県での定住意向（単数回答／県全体、地域別）



(注) 母数については6～9ページの「回答者の状況」参照

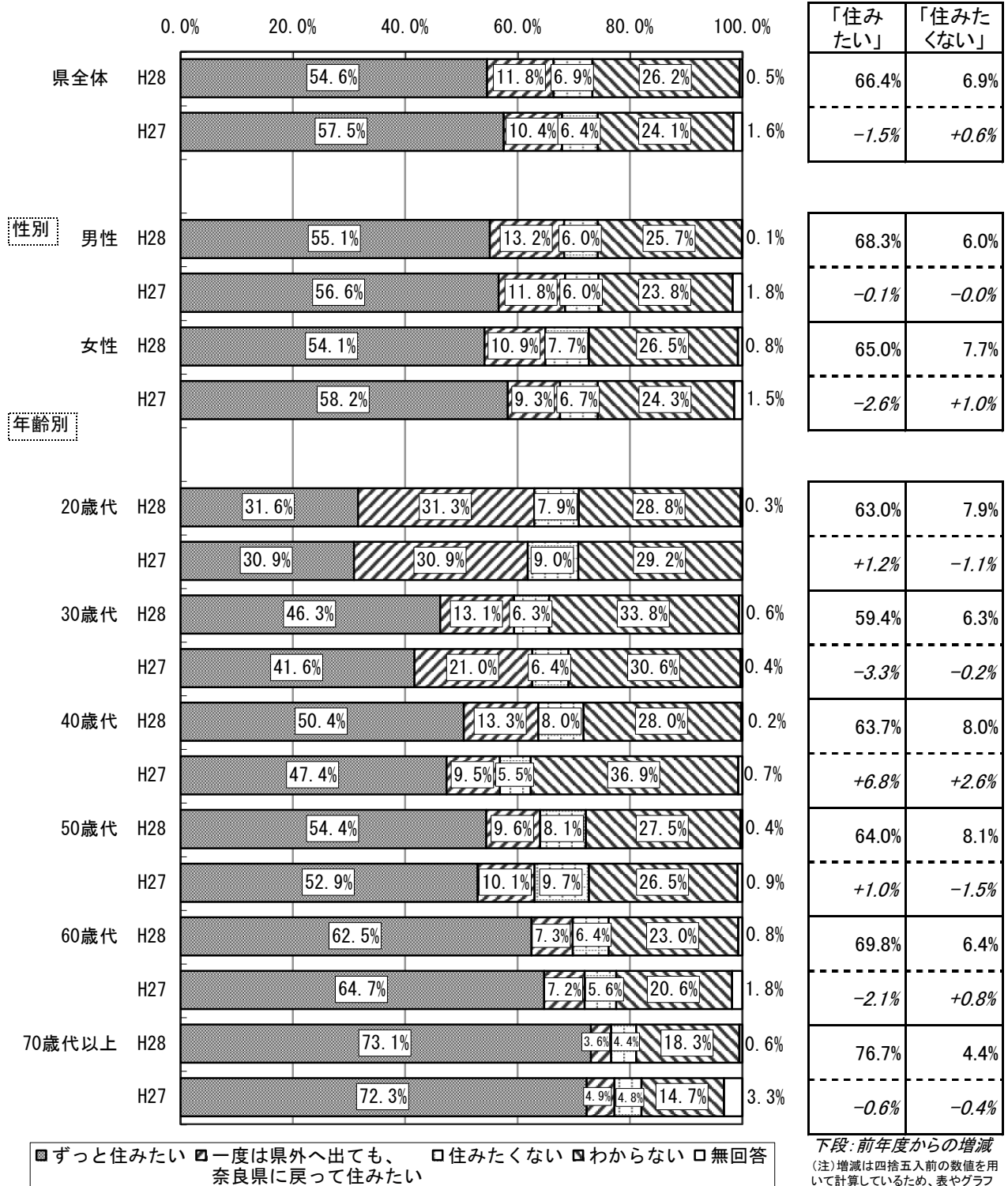
■ 県全体

将来の奈良県での定住意向について、54.6%の人が「ずっと住みたい」と考えており、「一度は県外へ出ても、奈良県に戻って住みたい」と考えている人を合わせると66.4%の人が「住みたい」と考えています。一方で、「わからない」と答えた人は26.2%となっています。平成27年度と比較すると、「住みたい」と考えている人は1.5ポイント減少しています。

■ 地域別

「住みたい」と考えている人が最も多いのは、『地域4 (東部)』(70.8%)となっています。平成27年度と比較すると、「住みたい」と考えている人は『地域3 (中部)』『地域4 (東部)』を除く他の地域では減少しており、特に『地域6 (南西部)』では24.3ポイントと大幅に減少しています。また「住みたくない」と考えている人は『地域4 (東部)』(0.2ポイント減)と『地域5 (南東部)』(増減なし)を除く他の地域で増加しています。

図表 将来の奈良県での定住意向（単数回答／県全体、性別、年齢別）



(注) 母数については6～9ページの「回答者の状況」参照

■性別

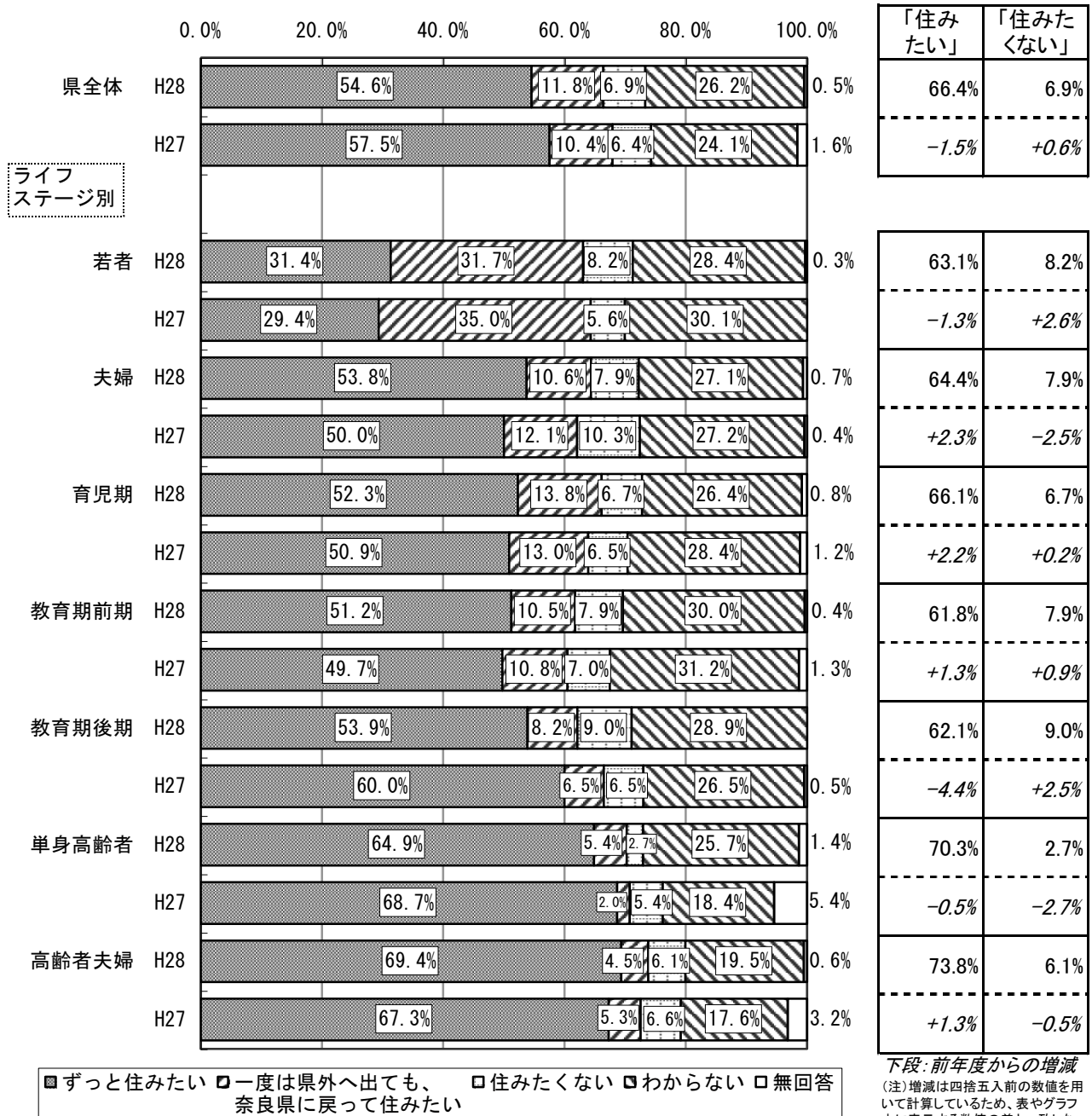
「住みたい」と考えている人は『男性』(68.3%)が『女性』(65.0%)と比べて多くなっています。平成27年度と比較すると、男女ともに「住みたい」と考えている人は減少しています。

■年齢別

「住みたい」と考えている人が最も多いのは『70歳代以上』(76.7%)となっています。「一度は県外へ出て、奈良県に戻って住みたい」と考えている人が最も多いのは『20歳代』(31.3%)で概

ね年齢層が低いほど多くなっています。平成27年度と比較すると、「住みたい」と考えている人は『20歳代』『40歳代』『50歳代』で増加しており、特に『40歳代』では6.8ポイント増加しています。

図表 将来の奈良県での定住意向（単数回答／県全体、ライフステージ別）

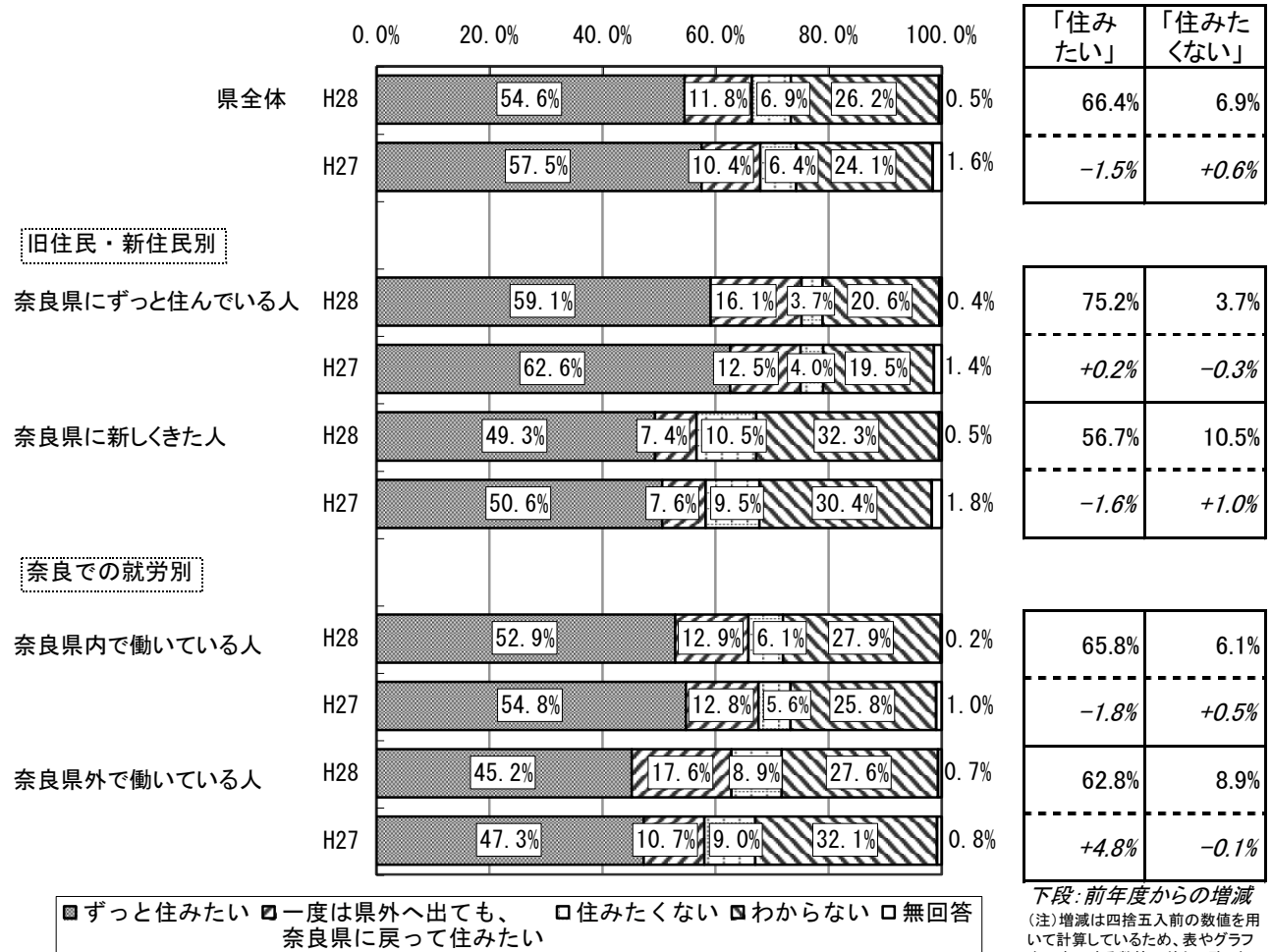


(注) 母数については6～9ページの「回答者の状況」参照

■ライフステージ別

「ずっと住みたい」と考えている人が最も多いのは『高齢者夫婦』(69.4%)、最も少ないのは『若者』(31.4%)となっています。一方で、「一度は県外へ出て、奈良県に戻って住みたい」と考えている人が最も多いのは『若者』(31.7%)となっています。平成27年度と比較すると、「住みたい」と考えている人は『教育期後期』(4.4ポイント減)、『若者』(1.3ポイント減)、『単身高齢者』(0.5ポイント減)を除く他の地域では増加しています。

図表 将来の奈良県での定住意向（単数回答／旧住民・新住民別、奈良での就労別別）



下段：前年度からの増減
 (注)増減は四捨五入前の数値を用いて計算しているため、表やグラフ中に表示する数値の差と一致しない場合があります。

(注) 母数については6～9ページの「回答者の状況」参照

■旧住民・新住民別

「ずっと住みたい」と考えている人は、『奈良県にずっと住んでいる人』(59.1%)が『奈良県に新しくきた人』(49.3%)と比べ多くなっています。また「一度県外に出ても、奈良県に戻って住みたい」と考えている人も『奈良県にずっと住んでいる人』(16.1%)が『奈良県に新しくきた人』(7.4%)と比べ多くなっています。平成27年度と比較すると、「住みたい」と考えている人は『奈良県にずっと住んでいる人』が0.2ポイント増加しており、『奈良県に新しくきた人』は1.6ポイント減少しています。

■奈良での就労別

「住みたい」と考えている人は、『奈良県内で働いている人』(65.8%)が『奈良県外で働いている人』(62.8%)と比べ多くなっています。平成27年度と比較すると、「住みたい」と考えている人は『奈良県内で働いている人』(1.8ポイント減)では減少していますが、『奈良県外で働いている人』(4.8ポイント増)では増加しています。

I-8 将来的に奈良県に定住したい／したくない理由（問9、問10）

（1）今年度調査結果

図表 将来的に奈良県に「ずっと住みたい」または「一度は県外へ出ても、奈良県に戻って住みたい」と答えた理由

（5つ以内で複数回答／県全体、地域別、性別、年齢別、ライフステージ別、旧住民・新住民別、奈良での就労別）

	母数	自然災害が少ないから	緑などの自然環境がよいから	騒音・振動・大気汚染などが少なく周辺環境がよいから	奈良県や身近な地域に愛着を感じるから	買い物など日常生活環境が整っているから	世界遺産や文化財などが多く、歴史的な雰囲気を感じるから	通勤・通学に便利だから	家賃など住居費が安いから	医療が充実しているから	身近に文化やスポーツに親しめる場が多いから	教育環境が充実しているから	福祉サービスが充実しているから	治安を守るための対策が十分だから	お祭りやイベントが多いから	その他	無回答	
県全体	1,771	70.5%	56.4%	47.2%	44.4%	37.4%	35.9%	19.3%	8.4%	5.5%	4.7%	4.0%	3.8%	2.6%	2.2%	7.1%	0.2%	
地域別	地域1（北部）	849	73.5%	55.6%	45.8%	39.7%	40.0%	38.3%	23.1%	7.3%	6.0%	4.7%	5.3%	3.7%	2.5%	2.2%	6.6%	0.0%
	地域2（西部）	164	70.7%	58.5%	56.7%	39.6%	37.2%	44.5%	15.9%	10.4%	9.1%	7.3%	0.6%	4.9%	1.8%	1.8%	6.7%	0.0%
	地域3（中部）	442	73.1%	52.0%	44.6%	47.7%	45.0%	31.4%	20.6%	9.7%	4.8%	5.2%	4.5%	2.3%	2.7%	1.8%	7.7%	0.2%
	地域4（東部）	148	67.6%	59.5%	45.9%	52.0%	30.4%	33.1%	13.5%	6.8%	2.7%	2.7%	2.0%	5.4%	4.1%	4.1%	6.8%	1.4%
	地域5（南東部）	119	52.9%	68.1%	52.9%	56.3%	11.8%	28.6%	5.9%	10.9%	5.0%	4.2%	1.7%	5.0%	2.5%	1.7%	6.7%	0.0%
	地域6（南西部）	49	46.9%	63.3%	53.1%	59.2%	8.2%	30.6%	2.0%	6.1%	2.0%	0.0%	0.0%	8.2%	2.0%	2.0%	12.2%	0.0%
性別	男性	780	69.0%	57.9%	47.2%	43.8%	35.0%	36.3%	22.7%	9.2%	5.9%	6.2%	3.2%	3.5%	2.8%	2.7%	5.9%	0.4%
	女性	987	71.8%	55.0%	47.2%	44.9%	39.2%	35.7%	16.5%	7.7%	5.3%	3.6%	4.7%	4.1%	2.4%	1.8%	8.0%	0.0%
年齢別	20歳代	199	63.3%	43.7%	34.7%	56.3%	31.2%	29.6%	24.6%	16.6%	6.0%	3.5%	6.0%	1.5%	2.0%	3.5%	6.0%	0.5%
	30歳代	190	62.6%	52.1%	38.4%	55.8%	27.4%	30.5%	17.9%	15.8%	3.2%	0.5%	6.8%	1.6%	1.6%	4.2%	11.6%	0.5%
	40歳代	293	62.1%	47.8%	39.6%	42.3%	32.1%	24.9%	30.0%	9.2%	3.1%	3.1%	7.2%	1.7%	1.4%	1.0%	9.2%	0.0%
	50歳代	354	71.2%	57.6%	49.7%	42.9%	36.2%	35.3%	24.3%	7.1%	3.4%	4.8%	3.4%	1.4%	2.3%	1.1%	7.6%	0.0%
	60歳代	458	75.5%	64.6%	53.7%	38.0%	44.3%	43.4%	12.0%	3.7%	3.9%	5.2%	2.0%	4.1%	2.6%	2.0%	5.9%	0.2%
	70歳代以上	276	81.2%	62.0%	56.2%	42.8%	44.6%	43.8%	10.5%	5.8%	14.9%	9.4%	1.4%	11.6%	5.4%	2.9%	3.6%	0.0%
ライフステージ別（複数回答）	若者	193	64.2%	43.0%	35.2%	56.0%	31.6%	30.1%	24.4%	15.5%	6.2%	3.6%	5.2%	1.6%	2.1%	3.6%	5.7%	0.5%
	夫婦	188	70.7%	56.9%	50.5%	48.4%	34.0%	39.4%	16.5%	10.1%	4.3%	3.7%	3.7%	2.1%	3.2%	2.1%	6.9%	0.0%
	育児期	158	55.7%	44.3%	43.0%	49.4%	27.2%	24.7%	17.1%	12.7%	3.2%	0.6%	13.9%	1.9%	1.9%	1.9%	11.4%	0.6%
	教育期前期	299	63.9%	48.8%	41.5%	45.2%	34.1%	27.4%	26.1%	5.4%	3.7%	3.7%	7.7%	1.3%	1.7%	1.0%	9.4%	0.0%
	教育期後期	159	70.4%	53.5%	42.1%	45.9%	40.9%	31.4%	27.7%	5.7%	4.4%	6.9%	5.0%	1.3%	1.9%	0.6%	8.2%	0.0%
	単身高齢者	52	76.9%	65.4%	55.8%	46.2%	40.4%	38.5%	9.6%	11.5%	7.7%	3.8%	0.0%	5.8%	3.8%	5.8%	3.8%	0.0%
	高齢者夫婦	265	79.2%	61.9%	55.5%	37.7%	49.8%	44.9%	10.2%	4.5%	12.5%	10.6%	1.9%	9.4%	3.8%	1.9%	3.0%	0.4%
旧住民・新住民別	奈良県にずっと住んでいる人	1,042	72.1%	52.9%	44.0%	54.4%	32.1%	33.2%	19.0%	8.3%	4.9%	2.8%	3.4%	3.4%	3.2%	2.4%	6.6%	0.3%
	奈良県に新しくきた人	715	68.1%	61.1%	51.7%	29.8%	45.3%	39.7%	19.9%	8.5%	6.4%	7.7%	5.0%	4.5%	1.5%	2.0%	7.7%	0.0%
奈良での就労別	奈良県内で働いている人	775	70.8%	53.0%	41.9%	49.0%	35.0%	31.7%	22.2%	9.5%	3.2%	3.2%	3.9%	1.7%	2.3%	2.2%	8.6%	0.3%
	奈良県外で働いている人	282	59.6%	57.4%	51.1%	39.4%	34.4%	37.6%	33.3%	12.4%	4.6%	4.6%	5.0%	1.1%	1.4%	2.1%	6.7%	0.0%

（注）集計結果は「県全体」の多い項目順に並べている。

太字は「その他」「無回答」を除いた各属性区分の上位3項目を示し、下線を付した数値は最多項目を示している。

図表 将来的に奈良県に「住みたくない」または「わからない」と答えた理由

(5つ以内で複数回答/県全体、地域別、性別、年齢別、ライフステージ別、旧住民・新住民別、奈良での就労別)

		全 体	整 買 つ て い な い 日 常 の 生 活 環 境 が	医 療 が 充 実 し て い な い か ら	通 勤 ・ 通 学 に 不 便 だ か ら	な い か ら	福 祉 サ ー ビ ス が 充 実 し て い な い	を 感 じ な い か ら	奈 良 県 や 身 近 な 地 域 に 愛 着 が あ ら ず	し め る 場 が 少 な い か ら	十 分 だ か ら	災 害 を 防 ぐ た め の 対 策 が 不 十分	か ら	教 育 環 境 が 充 実 し て い な い	十 分 だ か ら	治 安 を 守 る た め の 対 策 が 不 十分	家 賃 な ど 住 居 費 が 高 い か ら	周 辺 環 境 が よ く な い か ら	騒 音 ・ 振 動 ・ 大 気 汚 染 な ど	い ろ い ろ の 自 然 環 境 が よ く な い	そ の 他	無 回 答
県全体		883	41.2% (▲0.3)	35.9% (▲1.9)	35.1% (▲2.2)	29.2% (▲1.1)	24.3% (+5.2)	21.2% (+2.7)	16.1% (+0.4)	11.7% (▲1.4)	8.7% (▲3.0)	6.1% (▲0.4)	3.4% (▲1.4)	1.8% (▲0.8)	26.5% (+4.1)	2.0% (▲1.0)						
地域別	地域1(北部)	417	36.5% (▲2.7)	30.9% (▲2.8)	27.6% (▲7.5)	29.3% (▲7.5)	26.4% (+5.7)	21.3% (+2.2)	12.0% (▲1.6)	10.1% (▲1.9)	6.5% (▲4.0)	8.6% (+0.7)	3.8% (▲1.2)	1.9% (▲1.2)	31.7% (+6.8)	2.4% (▲1.7)						
	地域2(西部)	86	50.0% (▲3.2)	43.0% (+5.0)	30.2% (▲0.1)	33.7% (+2.1)	17.4% (▲2.8)	22.1% (+5.6)	15.1% (+5.0)	11.6% (+1.5)	8.1% (▲4.5)	7.0% (+1.9)	2.3% (▲6.5)	0.0% (▲1.3)	25.6% (+4.1)	0.0% (+0.0)						
	地域3(中部)	212	28.8% (▲2.8)	32.5% (▲8.8)	39.6% (+4.5)	27.4% (▲7.3)	31.6% (+11.6)	16.5% (▲0.8)	17.0% (+0.1)	13.2% (▲1.5)	16.0% (+0.9)	2.4% (▲3.9)	3.8% (+1.1)	3.3% (+0.6)	25.9% (+1.9)	2.4% (▲0.3)						
	地域4(東部)	60	58.3% (+5.3)	48.3% (+15.0)	40.0% (▲17.6)	36.7% (+3.3)	21.7% (+5.0)	35.0% (+15.3)	18.3% (▲5.9)	20.0% (+4.8)	8.3% (▲6.8)	6.7% (+3.6)	1.7% (▲2.9)	0.0% (▲3.0)	18.3% (+6.2)	1.7% (+0.2)						
	地域5(南東部)	62	74.2% (+12.2)	48.4% (+0.4)	53.2% (+7.2)	27.4% (+1.4)	12.9% (+2.9)	27.4% (+10.3)	32.3% (▲3.9)	8.1% (+0.8)	4.8% (▲0.2)	3.2% (▲0.8)	4.8% (▲3.2)	0.0% (▲2.0)	11.3% (▲2.7)	3.2% (▲0.8)						
	地域6(南西部)	46	58.7% (▲8.0)	50.0% (▲16.7)	60.9% (▲16.4)	21.7% (▲28.3)	4.3% (▲1.2)	13.0% (▲3.6)	26.1% (+3.9)	13.0% (▲9.2)	2.2% (+2.2)	2.2% (▲3.4)	0.0% (▲5.6)	2.2% (+2.2)	15.2% (▲1.4)	0.0% (+0.0)						
性別	男性	361	38.8% (▲2.4)	30.5% (▲6.6)	33.2% (▲3.8)	26.6% (▲4.6)	20.8% (▲0.4)	18.0% (▲2.6)	17.2% (+0.4)	11.1% (▲0.4)	10.5% (▲2.1)	5.5% (▲0.9)	4.4% (+0.0)	1.9% (▲0.4)	24.7% (+2.6)	2.5% (+0.7)						
	女性	520	42.7% (+1.0)	39.6% (+1.5)	36.3% (▲1.2)	30.8% (+0.9)	26.9% (+9.2)	23.3% (+6.4)	15.4% (+0.7)	12.1% (▲2.1)	7.5% (▲3.4)	6.5% (▲0.1)	2.5% (▲2.7)	1.7% (▲1.2)	27.9% (+5.0)	1.7% (▲2.0)						
年齢別	20歳代	116	33.6% (+4.2)	15.5% (▲9.5)	48.3% (▲12.0)	11.2% (▲2.0)	25.9% (+3.8)	21.6% (+5.4)	11.2% (+3.9)	12.1% (+6.2)	5.2% (▲5.1)	5.2% (▲2.2)	1.7% (▲2.7)	2.6% (+1.1)	25.0% (+2.9)	0.9% (▲2.1)						
	30歳代	128	39.1% (+1.6)	28.1% (▲10.3)	36.7% (▲11.4)	18.8% (▲10.1)	28.9% (+17.4)	15.6% (+1.2)	9.4% (+0.7)	11.7% (▲12.3)	12.5% (+1.9)	6.3% (+0.5)	1.6% (▲5.2)	2.3% (+0.4)	27.3% (+5.2)	0.0% (▲1.0)						
	40歳代	166	41.0% (+8.6)	38.0% (+0.3)	38.0% (▲7.3)	27.7% (+3.0)	23.5% (▲0.6)	22.9% (+3.5)	7.2% (▲5.7)	16.9% (▲0.8)	7.8% (▲10.4)	4.8% (▲0.5)	4.2% (▲1.7)	1.8% (▲3.5)	31.9% (+7.8)	1.2% (▲0.6)						
	50歳代	197	38.1% (▲1.8)	40.1% (+5.6)	36.0% (▲0.9)	29.9% (+2.0)	21.8% (+2.8)	19.8% (▲0.4)	19.3% (+5.0)	11.7% (▲0.8)	8.1% (+1.0)	5.6% (▲1.0)	3.0% (+1.3)	1.0% (+0.4)	30.5% (+0.1)	0.5% (▲4.3)						
	60歳代	193	48.7% (+1.6)	44.6% (+1.5)	28.5% (▲1.7)	39.4% (▲1.9)	22.8% (+4.8)	23.8% (+2.9)	23.3% (+3.0)	8.3% (▲2.8)	8.8% (▲1.1)	8.3% (▲1.0)	5.2% (+2.3)	1.6% (▲0.8)	21.2% (+2.1)	5.2% (+2.9)						
	70歳代以上	82	46.3% (▲10.0)	41.5% (+0.6)	22.0% (+5.0)	47.6% (▲11.6)	26.8% (+7.1)	23.2% (+7.0)	25.6% (+1.7)	8.5% (▲2.2)	9.8% (▲2.9)	6.1% (+1.9)	3.7% (▲4.8)	2.4% (▲1.1)	19.5% (+3.3)	4.9% (+0.7)						
	ライフステージ別(複数回答)	若者	112	34.8% (▲0.5)	15.2% (▲8.4)	47.3% (▲11.5)	10.7% (+0.9)	26.8% (+9.1)	20.5% (+0.9)	11.6% (+3.8)	11.6% (+3.8)	5.4% (▲6.4)	5.4% (▲0.5)	1.8% (▲4.1)	2.7% (+0.7)	25.0% (+9.3)	0.9% (▲3.0)					
夫婦		102	46.1% (+10.4)	40.2% (▲4.6)	33.3% (+3.4)	26.5% (▲3.4)	22.5% (+1.9)	28.4% (+7.7)	21.6% (+5.5)	3.9% (▲4.1)	11.8% (+3.7)	9.8% (+0.6)	2.9% (▲1.7)	0.0% (▲2.3)	35.3% (+5.4)	2.0% (▲0.3)						
育児期		79	30.4% (▲8.6)	36.7% (▲5.7)	29.1% (▲18.3)	17.7% (▲12.8)	25.3% (+11.8)	19.0% (+7.1)	11.4% (▲0.5)	22.8% (▲7.7)	12.7% (+4.2)	2.5% (▲2.6)	1.3% (▲0.4)	5.1% (+1.7)	35.4% (+15.1)	0.0% (+0.0)						
教育期前期		183	32.8% (▲8.8)	39.3% (+4.1)	37.7% (▲15.1)	31.1% (▲0.5)	23.5% (+3.8)	20.2% (▲0.9)	10.9% (+0.4)	27.3% (▲10.1)	8.2% (+0.7)	4.9% (+1.1)	1.1% (▲1.7)	2.2% (▲1.3)	28.4% (+4.5)	1.1% (▲0.3)						
教育期後期		97	43.3% (+2.4)	40.2% (▲5.2)	50.5% (+15.7)	36.1% (▲3.3)	22.7% (+4.5)	19.6% (+7.5)	15.5% (▲2.7)	17.5% (▲3.7)	7.2% (▲11.0)	1.0% (▲2.0)	4.1% (+1.1)	1.0% (▲2.0)	22.7% (▲6.1)	2.1% (▲1.0)						
単身高齢者		21	52.4% (▲10.5)	28.6% (▲20.0)	38.1% (+18.1)	38.1% (+12.4)	9.5% (▲4.8)	14.3% (▲8.6)	14.3% (▲5.7)	4.8% (▲1.0)	4.8% (▲12.4)	0.0% (▲5.7)	4.8% (+1.9)	0.0% (+0.0)	28.6% (+11.4)	14.3% (+8.6)						
高齢者夫婦		92	52.2% (+5.9)	45.7% (+7.0)	19.6% (+4.5)	44.6% (▲1.7)	27.2% (+6.4)	22.8% (+1.1)	23.9% (▲1.6)	12.0% (+3.5)	9.8% (▲7.2)	4.3% (▲1.3)	6.5% (▲0.1)	2.2% (▲2.5)	20.7% (+5.6)	3.3% (+0.4)						
旧住民・新住民別	奈良県にずっと住んでいる人	337	44.8% (▲0.8)	32.9% (▲4.6)	42.7% (+0.6)	27.0% (▲3.9)	17.5% (+4.9)	20.8% (+0.7)	17.2% (▲3.1)	15.7% (▲1.5)	8.3% (▲4.3)	4.7% (▲0.1)	3.3% (▲1.9)	2.7% (▲0.2)	23.4% (+6.0)	1.5% (▲1.1)						
	奈良県に新しくきた人	541	39.0% (+0.2)	37.5% (▲0.7)	30.3% (▲2.7)	30.5% (+0.5)	28.7% (+4.2)	21.4% (+3.6)	15.3% (+3.1)	9.2% (▲0.8)	8.9% (▲2.3)	7.0% (▲0.7)	3.5% (▲1.0)	1.3% (▲1.3)	28.5% (+2.3)	2.4% (▲0.4)						
奈良での就労別	奈良県内で働いている人	401	39.9% (+1.9)	34.2% (▲0.9)	31.7% (▲6.6)	26.4% (▲2.3)	23.9% (+3.4)	18.5% (▲1.3)	16.7% (+0.5)	10.0% (▲4.5)	9.0% (▲1.7)	8.0% (▲0.4)	3.7% (+0.3)	1.2% (▲1.7)	30.2% (+4.7)	2.5% (▲0.7)						
	奈良県外で働いている人	164	44.5% (+1.4)	33.5% (▲0.0)	47.6% (▲4.5)	25.0% (▲2.4)	21.3% (+2.8)	22.0% (+2.1)	12.2% (+2.6)	10.4% (▲2.6)	6.7% (▲4.9)	3.0% (▲3.8)	3.0% (+0.3)	1.2% (▲0.2)	24.4% (+1.1)	0.6% (▲1.4)						

(注) 集計結果は「県全体」の今回の結果が多い項目順に並べている。

太字は「その他」「無回答」を除いた今回の結果の各属性区分の上位3項目を示し、下線を付した数値は最多項目を示している。また、網かけは前回よりも5ポイント以上増えた項目を示している。

■県全体

将来的に奈良県に「住みたい」人に対してその理由を尋ねたところ、「自然災害が少ないから」(70.5%)が最も多く、次いで「緑などの自然環境がよいから」(56.4%)、「騒音・振動・大気汚染などが少なく周辺環境がよいから」(47.2%)が多くなっています。

将来的に奈良県に「住みたくない」または「わからない」と答えた人に対してその理由を尋ねたところ、「買い物など日常の生活環境が整っていないから」(41.2%)が最も多く、次いで、「医療が充実していないから」(35.9%)、「通勤・通学に不便だから」(35.1%)が多くなっています。平成27年度と比較すると、「奈良県や身近な地域に愛着を感じないから」(5.2ポイント増)が最も増加しています。

■地域別

「住みたい」人の理由をみると、『地域5(南東部)』と『地域6(南西部)』では「緑などの自然環境がよいから」、それ以外の地域では「自然災害が少ないから」がそれぞれ最も多くなっています。

「住みたくない」または「わからない」人の理由をみると、『地域3(中部)』、『地域6(南西部)』では「通勤・通学に不便だから」、それ以外の地域では「買い物など日常の生活環境が整っていないから」がそれぞれ最も多くなっています。平成27年度と比較すると、『地域6(南西部)』で「通勤・通学に不便だから」(16.4ポイント増)、『地域4(東部)』で「身近に文化やスポーツに親しめる場が少ないから」(15.3ポイント増)、「医療が充実していないから」(15.0ポイント増)が大幅に増加しています。

■性別

「住みたい」人の理由をみると、男女ともに「自然災害が少ないから」が最も多く、次いで「緑などの自然環境がよいから」となっています。

「住みたくない」または「わからない」人の理由をみると、男女ともに「買い物など日常の生活環境が整っていないから」が最も多く、次いで『男性』は「通勤・通学に不便だから」、『女性』は「医療が充実していないから」が多くなっています。平成27年度と比較すると、『女性』は「奈良県や身近な地域に愛着を感じないから」(9.2ポイント増)や「身近に文化やスポーツに親しめる場が少ないから」(6.4ポイント増)が前回より増加しています。

■年齢別

「住みたい」人の理由をみると、いずれの年齢層でも「自然災害が少ないから」が最も多く、次いで『20歳代』、『30歳代』では「奈良県や身近な地域に愛着を感じるから」、『40歳代』、『50歳代』、『60歳代』、『70歳代以上』では「緑などの自然環境がよいから」となっています。

「住みたくない」または「わからない」人の理由をみると、『30歳代』、『40歳代』、『60歳代』では「買い物など日常の生活環境が整っていないから」が最も多くなっています。平成27年度と比較すると、『30歳代』では「奈良県や身近な地域に愛着を感じないから」(17.4ポイント増)、『70歳代以上』では「福祉サービスが充実していないから」(11.6ポイント増)が大幅に増加しています。

■ライフステージ別

「住みたい」人の理由をみると、どのライフステージでも「自然災害が少ないから」が最も多くなっています。

「住みたくない」または「わからない」人の理由をみると、『若者』、『教育期後期』では「通勤・通学に不便だから」が、『夫婦』、『単身高齢者』、『高齢者夫婦』では「買い物など日常の生活環境が整っていないから」が、『育児期』、『教育期前期』では「医療が充実していないから」がそれぞれ最も多くなっています。平成27年度と比較すると、『単身高齢者』では「通勤・通学に不便だから」(18.1ポイント増)、「福祉サービスが充実していないから」(12.4ポイント増)、『教育期後期』では「通勤・通学に不便だから」(15.7ポイント増)、『育児期』では「奈良県や身近な地域に愛着を感じないから」(11.8ポイント増)などが大幅に増加しています。

■旧住民・新住民別

「住みたい」人の理由をみると、どちらの住民においても「自然災害が少ないから」が最も多くなっています。

「住みたくない」または「わからない」人の理由をみると、どちらの住民においても「買い物など日常の生活環境が整っていないから」が最も多くなっています。平成27年度と比較すると、『奈良県にずっと住んでいる人』で「奈良県や身近な地域に愛着を感じないから」(4.9ポイント増)が増加していますが、「医療が充実していないから」(4.6ポイント減)は減少しています。

■奈良での就労別

「住みたい」人の理由をみると、どちらの就労先でも「自然災害が少ないから」が最も多くなっています。

「住みたくない」または「わからない」人の理由をみると、『奈良県内で働いている人』は「買い物など日常の生活環境が整っていないから」、『奈良県外で働いている人』は「通勤・通学に不便だから」が最も多くなっています。平成27年度と比較すると、「通勤・通学に不便だから」が『奈良県内で働いている人』(6.6ポイント減)、『奈良県外で働いている人』(4.5ポイント減)ともに減少しています。

(2) 住みにくく移住したいと考えている人の理由（問7×問8×問10）

図表 住みにくく移住したいと考えている人の理由（設問間クロス／県全体）

（上段：件数、下段：比率）

順位	問10 将来的に奈良県に住みたくないまたはわからない理由	計
1位	通勤・通学に不便だから	57 52.8%
2位	買物など日常の生活環境が整っていないから	55 50.9%
3位	医療が充実していないから	48 44.4%
4位	奈良県や身近な地域に愛着を感じないから	46 42.6%
5位	福祉サービスが充実していないから	36 33.3%
6位	教育環境が充実していないから	25 23.1%
7位	災害を防ぐための対策が不十分だから	23 21.3%
8位	身近に文化やスポーツに親しめる場が少ないから	21 19.4%
9位	治安を守るための対策が不十分だから	18 16.7%
10位	家賃など住居費が高いから	5 4.6%
11位	騒音・振動・大気汚染など周辺環境がよくないから	4 3.7%
12位	緑などの自然環境がよくないから	1 0.9%
母数		108

（注）対象者は問7で「住みにくい」（「どちらかといえば住みにくい」+「とても住みにくい」）と回答し、かつ問8で「住みたくない」と回答した人である。

■県全体

奈良県に「住みにくい」と考えていて、かつ奈良県から移住したいと考えている人の理由としては、「通勤・通学に不便だから」（52.8%）が最も多く、次いで「買い物など日常の生活環境が整っていないから」（50.9%）、「医療が充実していないから」（44.4%）、「奈良県や身近な地域に愛着を感じないから」（42.6%）となっています。

Ⅱ 生活に関する重要度・満足度について（問11）

Ⅱ－1 県全体の重要度、満足度、ニーズ得点の順位

（1）重要度の順位

図表 県全体の重要度の順位＜平成28年度調査の重要度の高い順＞（経年比較／県全体）

順位	項目番号	項目	重要度				
			H28	H27	H26	H25	H24
1位	19	急病時に診てもらえる医療機関があること	4.57	<u>4.62</u>	4.57	4.63	<u>4.64</u>
2位	14	住民が犯罪に遭うことなく、その不安も感じることなく暮らせること	4.50	<u>4.53</u>	4.50	4.53	<u>4.57</u>
3位	11	地震、台風、火災などへの対策がしっかりしていること	4.42	<u>4.42</u>	4.39	4.39	4.46
4位	7	子どもたちが、暴力行為・いじめなどを行わないこと	4.42	<u>4.46</u>	4.43	<u>4.46</u>	<u>4.44</u>
5位	12	食品や薬品などの商品・サービスの安全性が確保されていること	4.29	<u>4.32</u>	4.27	4.31	<u>4.31</u>
6位	23	高齢者やその家族が住み慣れた地域で適切な介護サービスを受けられること	4.26	<u>4.40</u>	4.34	4.37	<u>4.37</u>
7位	20	安心して子どもを出産できる医療体制が整っていること	4.24	<u>4.31</u>	4.29	4.32	4.37
8位	30	失業の不安がなく働けること	4.22	<u>4.26</u>	4.24	4.28	<u>4.36</u>
9位	13	家庭や地域において、地震などの自然災害に対する自主的な備えができていないこと	4.19	4.16	4.16	4.19	4.21
10位	25	地域・家庭・学校が一体となって、子どもが健全に育つ環境づくりを行っていること	4.15	<u>4.22</u>	4.19	4.19	<u>4.24</u>
11位	24	高齢者や障害者が安心してまちに出かけられること	4.12	<u>4.21</u>	4.18	4.18	4.18
12位	2	電車、バス、タクシーなどの公共的な交通機関が利用しやすいこと	4.11	<u>4.10</u>	4.07	4.08	<u>4.08</u>
13位	26	イライラやストレスなど精神的緊張が少ないこと	4.06	<u>4.03</u>	<u>4.01</u>	3.98	4.02
14位	33	いろいろな働き方が用意され、自分の生活に合った就業ができること	4.03	4.03	<u>4.03</u>	4.00	4.08
15位	18	市町村の政治に住民の要望や意見が十分採り入れられること	4.00	<u>4.03</u>	4.00	4.03	4.06
16位	22	障害者が住み慣れた地域で自分に合った支援サービスを受けられること	3.99	<u>4.13</u>	4.10	4.14	<u>4.14</u>
17位	8	文化遺産や史跡が大事にされること	3.96	<u>4.00</u>	3.96	3.97	<u>4.00</u>
18位	31	保育所の数や定員を増やすことにより、待機児童を解消すること	3.93	<u>3.94</u>	3.91	3.94	-
19位	21	住んでいる地域において、互いに見守り、助け合うなどつながりが感じられること	3.92	-	-	-	-
20位	27	自分の住む地域の景観や町並みが美しいこと	3.90	3.92	3.92	3.92	3.93
21位	1	品揃えの豊富な店が近くにあること	3.90	<u>3.95</u>	<u>3.92</u>	<u>3.90</u>	<u>3.89</u>
22位	5	小・中学校で子どもの能力を伸ばす教育が受けられること	3.84	3.89	3.95	3.98	<u>4.00</u>
23位	29	ゴミのリサイクルのしくみが整っていること	3.84	<u>3.95</u>	3.90	3.92	3.92
24位	32	県内で買いたいものが販売されていること	3.81	3.76	<u>3.77</u>	3.75	3.80
25位	15	自分が住んでいる地域に活気があり、魅力のある地域になっていること	3.79	3.84	<u>3.84</u>	3.82	<u>3.89</u>
26位	9	生涯を通じて教養を高め、趣味を広げられること	3.77	<u>3.83</u>	3.81	3.82	<u>3.83</u>
27位	6	高校で生徒一人ひとりに適した教育が受けられること	3.76	3.79	3.82	3.83	<u>3.84</u>
28位	17	男女がそれぞれの個性と能力を十分に発揮できる社会が実現すること	3.67	<u>3.72</u>	3.70	<u>3.73</u>	<u>3.71</u>
29位	28	一人ひとりが普段の生活においてCO2削減に取り組むこと	3.67	<u>3.75</u>	3.74	3.76	3.77
30位	10	公園や運動施設・グラウンドなどが利用しやすいこと	3.53	3.53	3.55	3.55	<u>3.55</u>
31位	3	休日の道路の渋滞が解消され、自動車での外出が快適なこと	3.42	3.39	<u>3.42</u>	<u>3.40</u>	<u>3.39</u>
32位	4	平日の道路の渋滞が解消され、自動車での外出が快適なこと	3.38	3.38	<u>3.41</u>	<u>3.39</u>	<u>3.36</u>
33位	16	ボランティア・NPO活動に気軽に参加できること	3.03	3.06	3.06	3.08	3.08
項目全体の平均			3.96	<u>4.00</u>	3.98	3.99	<u>4.02</u>

（注）点数表記は小数第2位までだが、順位決定には小数第3位以下も考慮している。

下線は前回よりも重要度が上昇したこと、網掛けは3年連続で重要度が上昇したことを意味しており、比較の際に小数第3位以下も考慮しているため、前年度と点数が同じ場合にも下線を付していることがある。

なお、「-」はそれ以前の年度において存在しなかった項目を示している。

■県全体

医療、暮らしの安全に関する項目の重要度が高くなっています。平成27年度と比較すると、「地震、台風、火災などへの対策がしっかりしていること」や「家庭や地域において、地震などの自然災害に対する自主的な備えができていないこと」が順位を上げており、災害対策への関心が高まっています。

(2) 満足度の順位

図表 県全体の満足度の順位<平成28年度調査の満足度の高い順> (経年比較/県全体)

順位	項目番号	項目	満足度				
			H28	H27	H26	H25	H24
1位	8	文化遺産や史跡が大事にされること	3.58	<u>3.52</u>	3.53	<u>3.53</u>	3.57
2位	27	自分の住む地域の景観や町並みが美しいこと	3.19	<u>3.16</u>	3.17	<u>3.17</u>	3.18
3位	12	食品や薬品などの商品・サービスの安全性が確保されていること	3.18	3.13	3.11	<u>3.09</u>	<u>3.20</u>
4位	29	ゴミのリサイクルのしくみが整っていること	3.15	3.24	3.20	3.19	3.13
5位	14	住民が犯罪に遭うことがなく、その不安も感じることなく暮らせること	3.14	<u>3.09</u>	3.13	3.08	3.05
6位	1	品揃えの豊富な店が近くにあること	3.09	<u>2.94</u>	<u>3.07</u>	3.09	3.03
7位	4	平日の道路の渋滞が解消され、自動車での外出が快適なこと	3.08	<u>3.05</u>	3.09	<u>3.06</u>	3.13
8位	9	生涯を通じて教養を高め、趣味を広げられること	3.02	<u>2.99</u>	3.03	<u>2.99</u>	3.01
9位	2	電車、バス、タクシーなどの公共的な交通機関が利用しやすいこと	3.01	<u>2.81</u>	3.02	<u>3.01</u>	3.02
10位	3	休日の道路の渋滞が解消され、自動車での外出が快適なこと	2.98	<u>2.97</u>	2.98	<u>2.93</u>	3.02
11位	25	地域・家庭・学校が一体となって、子どもが健全に育つ環境づくりを行っていること	2.98	<u>2.95</u>	2.96	<u>2.94</u>	2.95
12位	21	住んでいる地域において、互いに見守り、助け合うなどつながりが感じられること	2.98	-	-	-	-
13位	5	小・中学校で子どもの能力を伸ばす教育が受けられること	2.96	<u>2.91</u>	2.93	2.89	<u>2.88</u>
14位	32	県内で買いたいものが販売されていること	2.94	2.98	<u>2.98</u>	2.99	<u>2.97</u>
15位	7	子どもたちが、暴力行為・いじめなどを行わないこと	2.94	<u>2.90</u>	2.95	2.90	<u>2.90</u>
16位	26	イライラやストレスなど精神的緊張が少ないこと	2.92	<u>2.94</u>	2.96	2.95	2.91
17位	23	高齢者やその家族が住み慣れた地域で適切な介護サービスを受けられること	2.92	<u>2.87</u>	2.89	2.89	2.88
18位	10	公園や運動施設・グラウンドなどが利用しやすいこと	2.92	<u>2.86</u>	<u>2.90</u>	2.93	2.86
19位	6	高校で生徒一人ひとりに適した教育が受けられること	2.91	<u>2.88</u>	2.93	2.89	<u>2.86</u>
20位	31	保育所の数や定員を増やすことにより、待機児童を解消すること	2.90	2.91	2.89	<u>2.88</u>	-
21位	22	障害者が住み慣れた地域で自分に合った支援サービスを受けられること	2.88	<u>2.82</u>	2.84	2.80	2.78
22位	28	一人ひとりが普段の生活においてCO2削減に取り組むこと	2.86	2.88	2.88	2.85	2.83
23位	19	急病時に診てもらえる医療機関があること	2.84	2.84	2.80	<u>2.73</u>	2.75
24位	16	ボランティア・NPO活動に気軽に参加できること	2.84	<u>2.82</u>	2.85	2.83	2.82
25位	11	地震、台風、火災などへの対策がしっかりしていること	2.83	2.83	2.77	2.72	2.67
26位	24	高齢者や障害者が安心してまちに出かけられること	2.80	<u>2.74</u>	2.77	<u>2.73</u>	2.74
27位	17	男女がそれぞれの個性と能力を十分に発揮できる社会が実現すること	2.78	<u>2.75</u>	2.79	2.76	<u>2.76</u>
28位	20	安心して子どもを出産できる医療体制が整っていること	2.78	<u>2.70</u>	2.72	2.65	2.61
29位	30	失業の不安がなく働けること	2.73	2.70	2.68	2.61	2.57
30位	13	家庭や地域において、地震などの自然災害に対する自主的な備えができていないこと	2.72	2.76	2.71	<u>2.65</u>	2.70
31位	15	自分が住んでいる地域に活気があり、魅力のある地域になっていること	2.69	<u>2.62</u>	2.70	2.68	2.63
32位	33	いろいろな働き方が用意され、自分の生活に合った就業ができること	2.59	2.59	2.59	2.54	2.52
33位	18	市町村の政治に住民の要望や意見が十分採り入れられること	2.53	<u>2.53</u>	2.57	2.53	2.53
項目全体の平均			2.93	2.90	2.92	2.89	2.89

(注) 点数表記は小数第2位までだが、順位の決定には小数第3位以下も考慮している。

下線は前回よりも満足度が低下したこと、網掛けは3年連続で満足度が低下したことを意味しており、比較の際に小数第3位以下も考慮しているため、前年度と点数が同じ場合にも下線を付していることがある。

なお、「-」はそれ以前の年度において存在しなかった項目を示している。

■県全体

政治への住民意向の反映、就業、地域の活性化に関する満足度が低くなっています。平成27年度と比較すると、満足度が低下しているのは7項目で、差が最も大きいのは「ゴミのリサイクルのしくみが整っていること」(0.09低下)となっています。

(3) ニーズ得点の順位

図表 県全体のニーズ得点の順位<平成28年度調査のニーズ得点の高い順> (経年比較/県全体)

順位	項目番号	項目	H28	H27	H26	H25	H24
1位	19	急病時に診てもらえる医療機関があること	14.43	14.61	14.61	<u>15.15</u>	<u>15.08</u>
2位	11	地震、台風、火災などへの対策がしっかりしていること	14.02	14.01	14.18	14.39	<u>14.83</u>
3位	18	市町村の政治に住民の要望や意見が十分採り入れられること	13.88	<u>13.96</u>	13.73	13.98	14.10
4位	30	失業の不安がなく働けること	13.82	14.07	14.07	14.52	14.97
5位	13	家庭や地域において、地震などの自然災害に対する自主的な備えができていないこと	13.76	13.48	13.69	<u>14.05</u>	<u>13.89</u>
6位	33	いろいろな働き方が用意され、自分の生活に合った就業ができること	13.72	13.74	13.76	13.81	14.23
7位	20	安心して子どもを出産できる医療体制が整っていること	13.66	<u>14.22</u>	14.09	14.47	14.82
8位	7	子どもたちが、暴力行為・いじめなどを行わないこと	13.55	<u>13.84</u>	13.51	<u>13.83</u>	<u>13.73</u>
9位	24	高齢者や障害者が安心してまちに出かけられること	13.20	<u>13.72</u>	13.50	<u>13.64</u>	13.62
10位	23	高齢者やその家族が住み慣れた地域で適切な介護サービスを受けられること	13.11	<u>13.75</u>	13.51	13.60	13.63
11位	14	住民が犯罪に遭うことがなく、その不安も感じることなく暮らせること	12.90	<u>13.19</u>	12.91	13.25	<u>13.49</u>
12位	15	自分が住んでいる地域に活気があり、魅力のある地域になっていること	12.56	<u>12.98</u>	12.67	12.69	<u>13.12</u>
13位	25	地域・家庭・学校が一体となって、子どもが健全に育つ環境づくりを行っていること	12.54	<u>12.87</u>	12.75	12.82	12.94
14位	26	イライラやストレスなど精神的緊張が少ないこと	12.50	<u>12.33</u>	<u>12.19</u>	12.16	12.39
15位	22	障害者が住み慣れた地域で自分に合った支援サービスを受けられること	12.48	<u>13.14</u>	12.96	13.26	13.32
16位	2	電車、バス、タクシーなどの公共的な交通機関が利用しやすいこと	12.28	<u>13.10</u>	12.12	<u>12.20</u>	<u>12.15</u>
17位	31	保育所の数や定員を増やすことにより、待機児童を解消すること	12.18	12.16	12.17	12.27	-
18位	12	食品や薬品などの商品・サービスの安全性が確保されていること	12.12	<u>12.42</u>	12.37	<u>12.57</u>	12.06
19位	21	住んでいる地域において、互いに見守り、助け合うなどつながりが感じられること	11.87	-	-	-	-
20位	17	男女がそれぞれの個性と能力を十分に発揮できる社会が実現すること	11.82	<u>12.09</u>	11.87	<u>12.10</u>	12.00
21位	5	小・中学校で子どもの能力を伸ばす教育が受けられること	11.67	12.01	12.10	12.39	<u>12.48</u>
21位	32	県内で買いたいものが販売されていること	11.67	11.37	<u>11.40</u>	11.28	11.52
23位	6	高校で生徒一人ひとりに適した教育が受けられること	11.61	<u>11.81</u>	11.75	11.94	12.06
24位	28	一人ひとりが普段の生活においてCO2削減に取り組むこと	11.52	<u>11.70</u>	11.69	11.86	11.97
25位	1	品揃えの豊富な店が近くにあること	11.33	<u>12.09</u>	<u>11.47</u>	11.33	11.55
26位	9	生涯を通じて教養を高め、趣味を広げられること	11.23	<u>11.51</u>	11.34	<u>11.47</u>	<u>11.45</u>
27位	27	自分の住む地域の景観や町並みが美しいこと	10.97	<u>11.14</u>	11.09	<u>11.11</u>	11.09
28位	29	ゴミのリサイクルのしくみが整っていること	10.96	10.88	10.90	11.03	11.26
29位	10	公園や運動施設・グラウンドなどが利用しやすいこと	10.88	<u>11.09</u>	<u>10.98</u>	10.91	11.14
30位	3	休日の道路の渋滞が解消され、自動車での外出が快適なこと	10.32	10.26	10.33	<u>10.44</u>	<u>10.10</u>
31位	4	平日の道路の渋滞が解消され、自動車での外出が快適なこと	9.88	<u>9.95</u>	9.92	<u>9.95</u>	9.63
32位	8	文化遺産や史跡が大事にされること	9.59	<u>9.92</u>	9.78	<u>9.81</u>	9.73
33位	16	ボランティア・NPO活動に気軽に参加できること	9.58	<u>9.71</u>	9.64	9.78	9.81
項目全体の平均			12.17	<u>12.41</u>	12.28	12.44	<u>12.52</u>

(注) 点数表記は小数第2位までだが、順位決定には小数第3位以下も考慮している。

網かけは前回よりもニーズ得点が上昇したことを意味しており、前回との比較の際に小数第3位以下も考慮しているため、前回と今回との点数が同じ場合に網かけをしていることがある。

なお、「-」はそれ以前の年度において存在しなかった項目を示している。

■県全体

医療、災害対策、政治への住民意向の反映に関する項目のニーズ得点が高くなっています。平成27年度と比較すると、上位5項目のうち、「地震、台風、火災などへの対策がしっかりしていること」「家庭や地域において、地震などの自然災害に対する自主的な備えができていないこと」のニーズ得点が増えています。

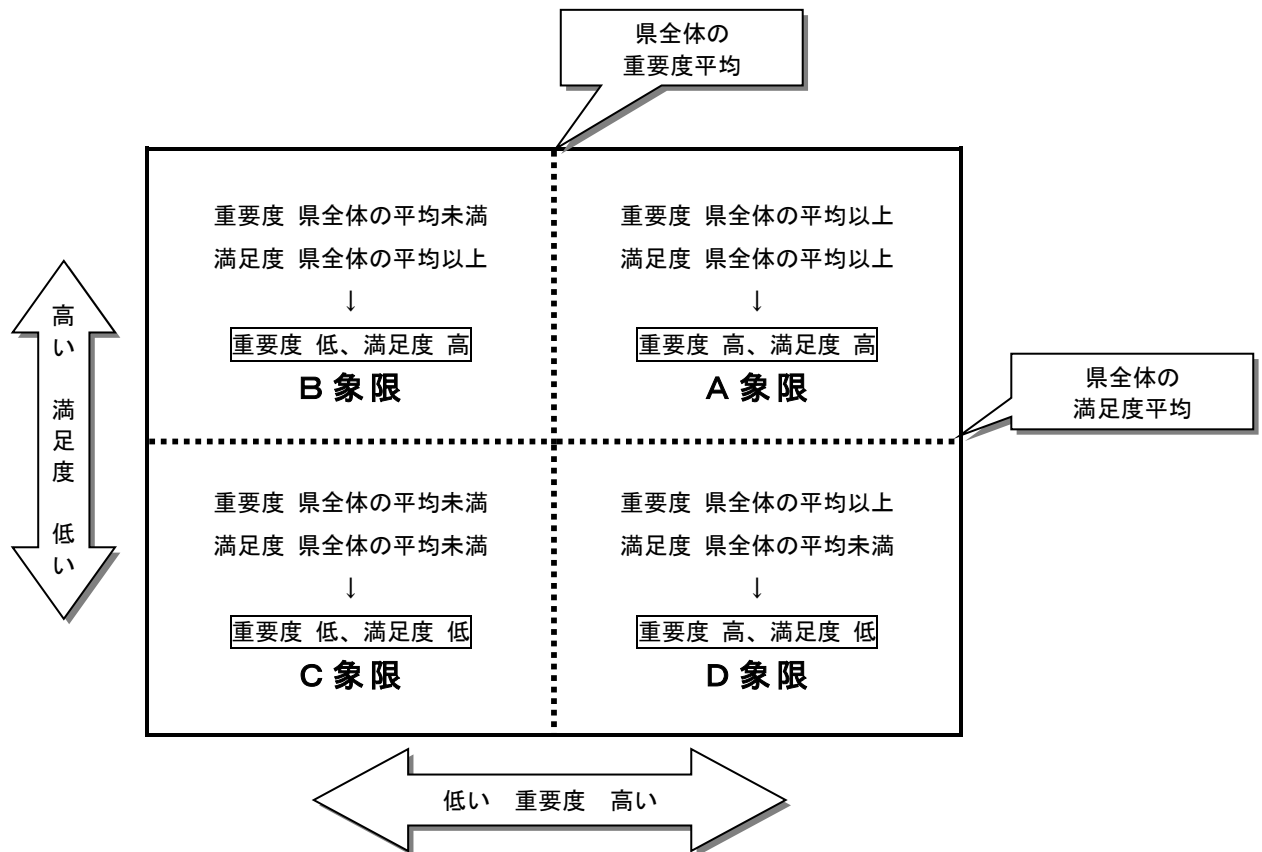
Ⅱ－２ 県全体の重要度と満足度の関係

(1) 重要度と満足度の関係についての考え方

「県民の身近な生活に関する項目」33項目全体での重要度と満足度の平均点を県全体で求め、各平均点と33項目それぞれの重要度・満足度の対応を分析します。

33項目それぞれの重要度・満足度の評価は、「重要度が高く、満足度が高い（A象限）」「重要度が低く、満足度が高い（B象限）」「重要度が低く、満足度が低い（C象限）」「重要度が高く、満足度が低い（D象限）」という4つの象限でその関係を整理することができます。

図表 全体の重要度と満足度の平均点及び33項目の重要度と満足度の関係図



33項目それぞれがどの象限に位置し、県全体の重要度と満足度の平均点に対して重要度あるいは満足度が高いのか、低いのかを検討する際には、以下の点に留意する必要があります。

今回の調査の重要度・満足度それぞれの評価の中間は「どちらともいえない=3.00」ですが、県全体の33項目全体での重要度の平均点は3.96、満足度の平均点は2.93です。重要度は「かなり重要」、満足度は「あまり満たされていない」という評価だといえます。

このことから、重要度については、県全体の重要度の平均点（3.96）が「どちらともいえない」よりも高いことから、県全体の重要度の平均点と「どちらともいえない」の間に属する項目は、県全体の重要度に比べて低い評価になりますが、今回の調査では33項目すべてが3.03以上であり、すべての項目が「重要である」という評価だということになります。

また、満足度については、県全体の満足度の平均点（2.93）が「どちらともいえない」よりも低いことから、県全体の満足度の平均点と2.99（「どちらともいえない」未満）の間に属する項目は、県全体の満足度に比べて高い評価になりますが、厳密には、「あまり満たされていないが、県全体の満足度の平均点からみると満足度は高いほうだ」という解釈ができることとなります。

(2) 県民の身近な生活に関する33項目の重要度と満足度の関係

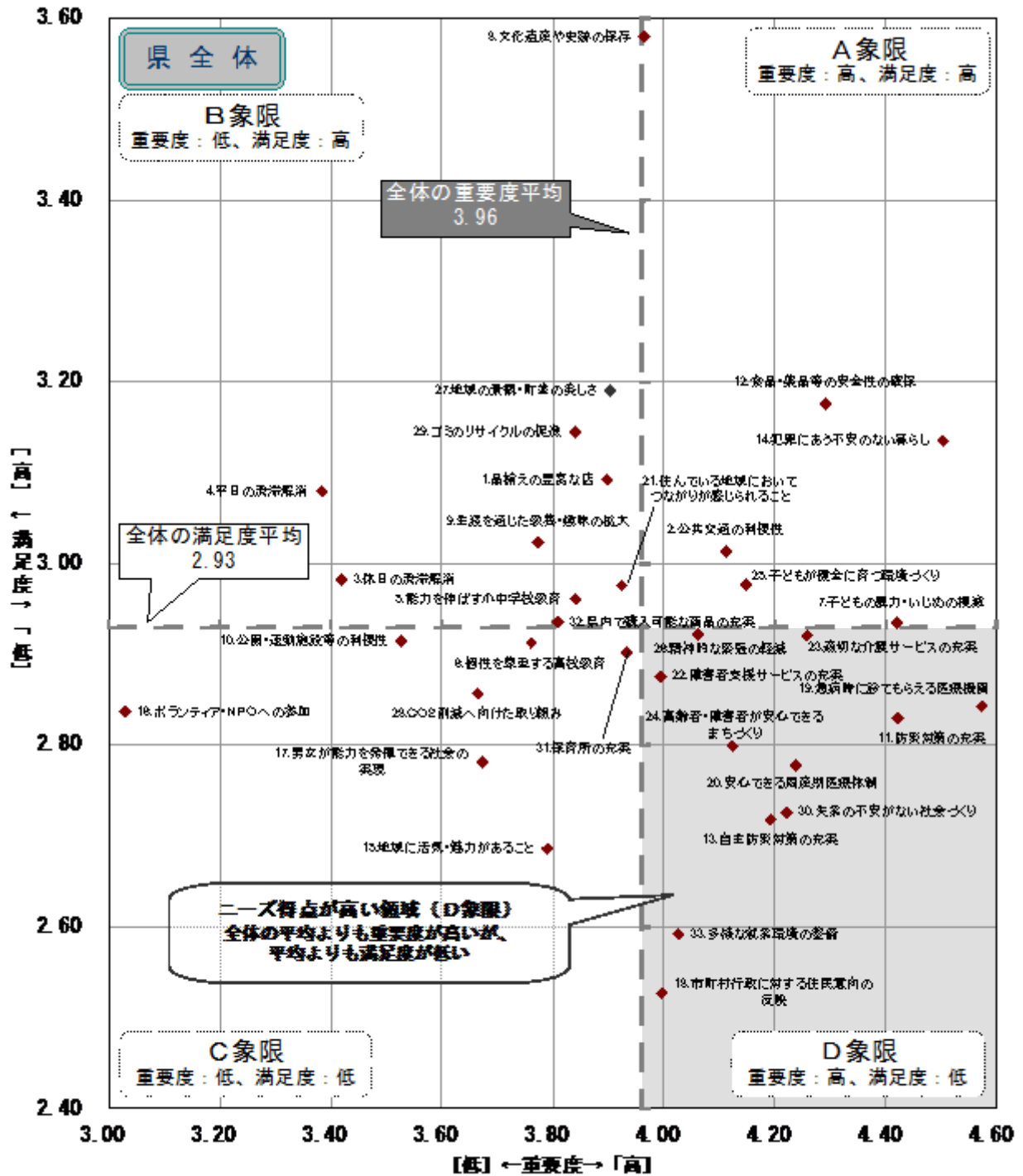
①県全体

図表 項目と項目の略称との対応及び重要度・満足度・ニーズ得点の一覧（ニーズ得点の高い順）（県全体）

順位	項目番号	項目	項目の略称	重要度	満足度	象限	ニーズ得点
1位	19	急病時に診てもらえる医療機関があること	急病時に診てもらえる医療機関	4.57	2.84	D	14.43
2位	11	地震、台風、火災などへの対策がしっかりしていること	防災対策の充実	4.42	2.83	D	14.02
3位	18	市町村の政治に住民の要望や意見が十分採り入れられること	市町村行政に対する住民意向の反映	4.00	2.53	D	13.88
4位	30	失業の不安がなく働けること	失業の不安がない社会づくり	4.22	2.73	D	13.82
5位	13	家庭や地域において、地震などの自然災害に対する自主的な備えができていないこと	自主防災対策の充実	4.19	2.72	D	13.76
6位	33	いろいろな働き方が用意され、自分の生活に合った就業ができること	多様な就業環境の整備	4.03	2.59	D	13.72
7位	20	安心して子どもを出産できる医療体制が整っていること	安心できる周産期医療体制	4.24	2.78	D	13.66
8位	7	子どもたちが、暴力行為・いじめなどを行わないこと	子どもの暴力・いじめの撲滅	4.42	2.94	A	13.55
9位	24	高齢者や障害者が安心してまちに出かけられること	高齢者・障害者が安心できるまちづくり	4.12	2.80	D	13.20
10位	23	高齢者やその家族が住み慣れた地域で適切な介護サービスを受けられること	適切な介護サービスの充実	4.26	2.92	D	13.11
11位	14	住民が犯罪に遭うことがなく、その不安も感じることなく暮らせること	犯罪にあう不安のない暮らし	4.50	3.14	A	12.90
12位	15	自分が住んでいる地域に活気があり、魅力のある地域になっていること	地域に活気・魅力があること	3.79	2.69	C	12.56
13位	25	地域・家庭・学校が一体となって、子どもが健全に育つ環境づくりを行っていること	子どもが健全に育つ環境づくり	4.15	2.98	A	12.54
14位	26	イライラやストレスなど精神的緊張が少ないこと	精神的な緊張の軽減	4.06	2.92	D	12.50
15位	22	障害者が住み慣れた地域で自分に合った支援サービスを受けられること	障害者支援サービスの充実	3.99	2.88	D	12.48
16位	2	電車、バス、タクシーなどの公共的な交通機関が利用しやすいこと	公共交通の利便性	4.11	3.01	A	12.28
17位	31	保育所の数や定員を増やすことにより、待機児童を解消すること	保育所の充実	3.93	2.90	C	12.18
18位	12	食品や薬品などの商品・サービスの安全性が確保されていること	食品・薬品等の安全性の確保	4.29	3.18	A	12.12
19位	21	住んでいる地域において、互いに見守り、助け合うなどつながりが感じられること	住んでいる地域においてつながりが感じられること	3.92	2.98	B	11.87
20位	17	男女がそれぞれの個性と能力を十分に発揮できる社会が実現すること	男女が能力を発揮できる社会の実現	3.67	2.78	C	11.82
21位	5	小・中学校で子どもの能力を伸ばす教育が受けられること	能力を伸ばす小中学校教育	3.84	2.96	B	11.67
22位	32	県内で買いたいものが販売されていること	県内で購入可能な商品の充実	3.81	2.94	B	11.67
23位	6	高校で生徒一人ひとりに適した教育が受けられること	個性を尊重する高校教育	3.76	2.91	C	11.61
24位	28	一人ひとりが普段の生活においてCO2削減に取り組むこと	CO2削減へ向けた取り組み	3.67	2.86	C	11.52
25位	1	品揃えの豊富な店が近くにあること	品揃えの豊富な店	3.90	3.09	B	11.33
26位	9	生涯を通じて教養を高め、趣味を広げられること	生涯を通じた教養・趣味の拡大	3.77	3.02	B	11.23
27位	27	自分の住む地域の景観や町並みが美しいこと	地域の景観・町並の美しさ	3.90	3.19	B	10.97
28位	29	ゴミのリサイクルのしくみが整っていること	ゴミのリサイクルの促進	3.84	3.15	B	10.96
29位	10	公園や運動施設・グラウンドなどが利用しやすいこと	公園・運動施設等の利便性	3.53	2.92	C	10.88
30位	3	休日の道路の渋滞が解消され、自動車での外出が快適なこと	休日の渋滞解消	3.42	2.98	B	10.32
31位	4	平日の道路の渋滞が解消され、自動車での外出が快適なこと	平日の渋滞解消	3.38	3.08	B	9.88
32位	8	文化遺産や史跡が大事にされること	文化遺産や史跡の保存	3.96	3.58	A	9.59
33位	16	ボランティア・NPO活動に気軽に参加できること	ボランティア・NPOへの参加	3.03	2.84	C	9.58
項目全体の平均				3.96	2.93	-	12.17

(注) 点数表記は小数第2位までだが、順位決定には小数第3位以下も考慮している。象限のA～Dの記号の対応は、53ページ参照。

図表 今回調査の重要度と満足度の関係図（県全体）



■県全体

「19. 急病時に診てもらえる医療機関」、「11. 防災対策の充実」「18. 市町村行政に対する住民意向の反映」などのニーズ得点が高くなっています。

②旧住民・新住民別

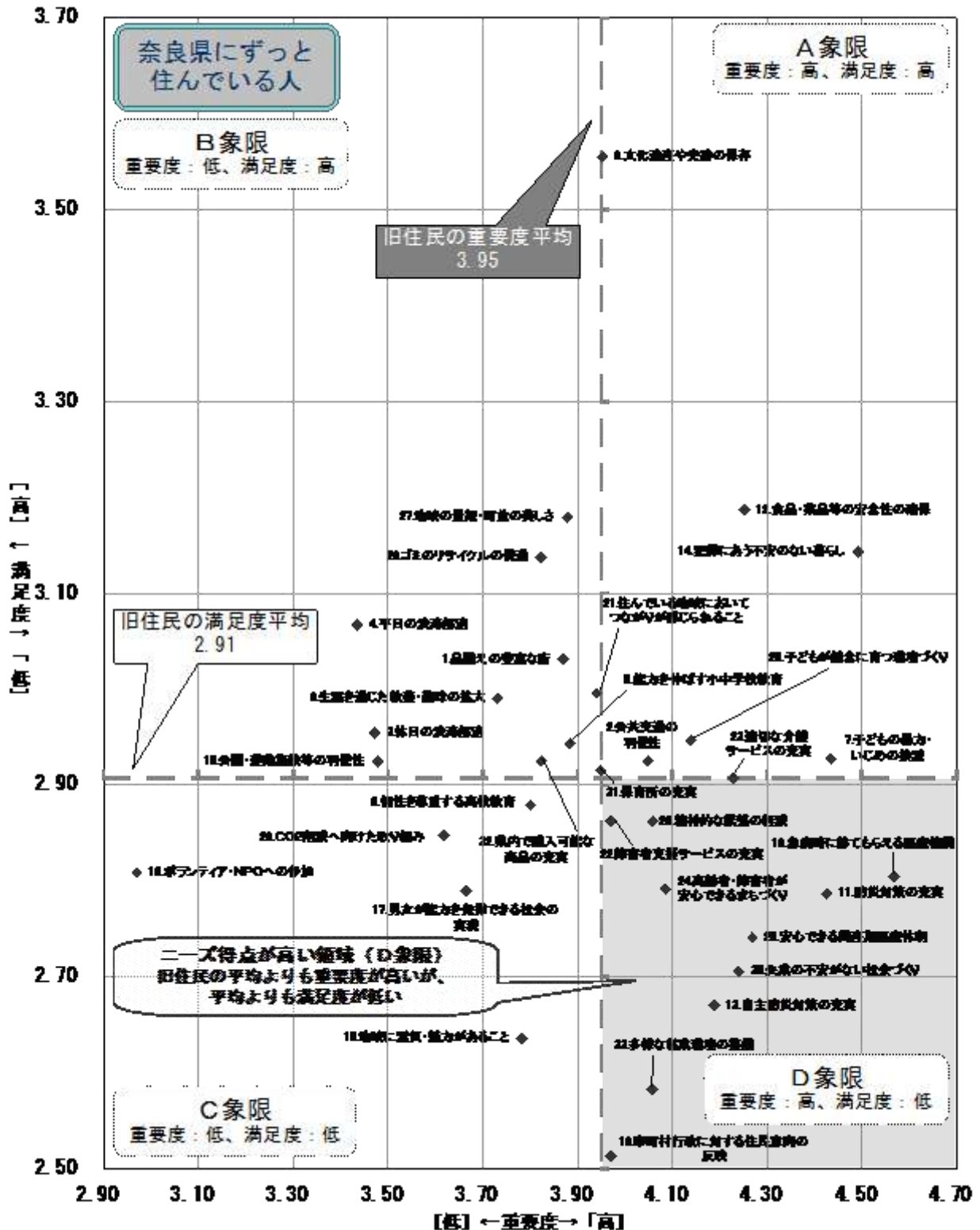
図表 項目と項目の略称との対応及び重要度・満足度・ニーズ得点の一覧（ニーズ得点の高い順）

（旧住民＝奈良県にずっと住んでいる人）

順位	項目番号	項目	項目の略称	重要度	満足度	象限	ニーズ得点
1位	19	急病時に診てもらえる医療機関があること	急病時に診てもらえる医療機関	4.57	2.80	D	14.59
2位	11	地震、台風、火災などへの対策がしっかりしていること	防災対策の充実	4.43	2.79	D	14.22
3位	30	失業の不安がなく働けること	失業の不安がない社会づくり	4.24	2.71	D	13.97
4位	13	家庭や地域において、地震などの自然災害に対する自主的な備えができていないこと	自主防災対策の充実	4.19	2.67	D	13.95
5位	20	安心して子どもを出産できる医療体制が整っていること	安心できる周産期医療体制	4.27	2.74	D	13.91
6位	33	いろいろな働き方が用意され、自分の生活に合った就業ができること	多様な就業環境の整備	4.06	2.58	D	13.86
7位	18	市町村の政治に住民の要望や意見が十分採り入れられること	市町村行政に対する住民意向の反映	3.97	2.51	D	13.85
8位	7	子どもたちが、暴力行為・いじめなどを行わないこと	子どもの暴力・いじめの撲滅	4.43	2.93	A	13.62
9位	24	高齢者や障害者が安心してまちに出かけられること	高齢者・障害者が安心できるまちづくり	4.09	2.79	D	13.11
10位	23	高齢者やその家族が住み慣れた地域で適切な介護サービスを受けられること	適切な介護サービスの充実	4.23	2.91	A	13.08
11位	14	住民が犯罪に遭うことがなく、その不安も感じることなく暮らせること	犯罪にあう不安のない暮らし	4.49	3.14	A	12.83
12位	26	イライラやストレスなど精神的緊張が少ないこと	精神的な緊張の軽減	4.06	2.86	D	12.73
13位	15	自分が住んでいる地域に活気があり、魅力のある地域になっていること	地域に活気・魅力があること	3.78	2.64	C	12.72
14位	25	地域・家庭・学校が一体となって、子どもが健全に育つ環境づくりを行っていること	子どもが健全に育つ環境づくり	4.14	2.95	A	12.64
15位	22	障害者が住み慣れた地域で自分に合った支援サービスを受けられること	障害者支援サービスの充実	3.97	2.86	D	12.46
16位	2	電車、バス、タクシーなどの公共的な交通機関が利用しやすいこと	公共交通の利便性	4.05	2.93	A	12.45
17位	31	保育所の数や定員を増やすことにより、待機児童を解消すること	保育所の充実	3.95	2.92	B	12.18
18位	12	食品や薬品などの商品・サービスの安全性が確保されていること	食品・薬品等の安全性の確保	4.25	3.19	A	11.96
19位	5	小・中学校で子どもの能力を伸ばす教育が受けられること	能力を伸ばす小中学校教育	3.88	2.94	B	11.87
20位	6	高校で生徒一人ひとりに適した教育が受けられること	個性を尊重する高校教育	3.80	2.88	C	11.86
21位	21	住んでいる地域において、互いに見守り、助け合うなどつながりが感じられること	住んでいる地域においてつながりが感じられること	3.94	3.00	B	11.84
22位	17	男女がそれぞれの個性と能力を十分に発揮できる社会が実現すること	男女が能力を発揮できる社会の実現	3.66	2.79	C	11.76
23位	32	県内で買いたいものが販売されていること	県内で購入可能な商品の充実	3.82	2.93	B	11.76
24位	1	品揃えの豊富な店が近くにあること	品揃えの豊富な店	3.87	3.03	B	11.49
25位	28	一人ひとりが普段の生活においてCO2削減に取り組むこと	CO2削減へ向けた取り組み	3.62	2.85	C	11.41
26位	9	生涯を通じて教養を高め、趣味を広げられること	生涯を通じた教養・趣味の拡大	3.73	2.99	B	11.23
27位	27	自分の住む地域の景観や町並みが美しいこと	地域の景観・町並の美しさ	3.88	3.18	B	10.94
28位	29	ゴミのリサイクルのしくみが整っていること	ゴミのリサイクルの促進	3.82	3.14	B	10.94
29位	10	公園や運動施設・グラウンドなどが利用しやすいこと	公園・運動施設等の利便性	3.48	2.92	B	10.70
30位	3	休日の道路の渋滞が解消され、自動車での外出が快適なこと	休日の渋滞解消	3.47	2.95	B	10.57
31位	4	平日の道路の渋滞が解消され、自動車での外出が快適なこと	平日の渋滞解消	3.44	3.07	B	10.07
32位	8	文化遺産や史跡が大事にされること	文化遺産や史跡の保存	3.95	3.56	B	9.66
33位	16	ボランティア・NPO活動に気軽に参加できること	ボランティア・NPOへの参加	2.97	2.81	C	9.48
項目全体の平均				3.95	2.91	-	12.23

（注）点数表記は小数第2位までだが、順位決定には小数第3位以下も考慮している。象限のA～Dの記号の対応は、53ページ参照。

図表 今回調査の重要度と満足度の関係図（旧住民＝奈良県にずっと住んでいる人）



■旧住民・新住民別（旧住民）

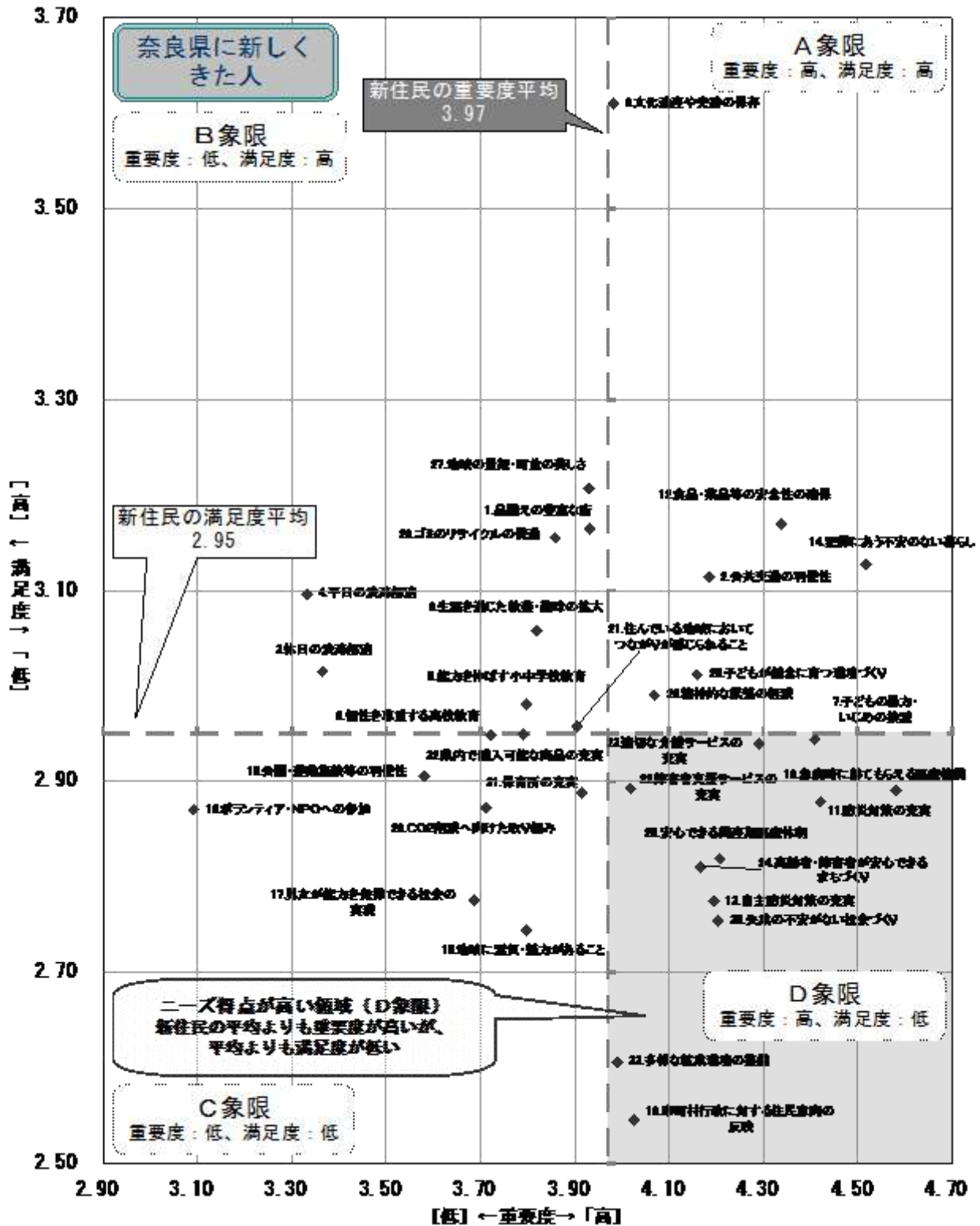
『奈良県にずっと住んでいる人』においては、「19. 急病時に診てもらえる医療機関」、「11. 防災対策の充実」「30. 失業の不安がない社会づくり」などのニーズ得点が高くなっています。

図表 項目と項目の略称との対応及び重要度・満足度・ニーズ得点の一覧（ニーズ得点の高い順）（新住民＝奈良県に新しくきた人）

順位	項目番号	項目	項目の略称	重要度	満足度	象限	ニーズ得点
1位	19	急病時に診てもらえる医療機関があること	急病時に診てもらえる医療機関	4.58	2.89	D	14.24
2位	18	市町村の政治に住民の要望や意見が十分採り入れられること	市町村行政に対する住民意向の反映	4.03	2.55	D	13.91
3位	11	地震、台風、火災などへの対策がしっかりしていること	防災対策の充実	4.42	2.88	D	13.80
4位	30	失業の不安がなく働けること	失業の不安がない社会づくり	4.20	2.75	D	13.65
5位	33	いろいろな働き方が用意され、自分の生活に合った就業ができること	多様な就業環境の整備	3.99	2.61	D	13.54
6位	13	家庭や地域において、地震などの自然災害に対する自主的な備えができていくこと	自主防災対策の充実	4.20	2.77	D	13.53
7位	7	子どもたちが、暴力行為・いじめなどを行わないこと	子どもの暴力・いじめの撲滅	4.41	2.94	D	13.48
8位	20	安心して子どもを出産できる医療体制が整っていること	安心できる周産期医療体制	4.21	2.82	D	13.38
9位	24	高齢者や障害者が安心してまちに出かけられること	高齢者・障害者が安心できるまちづくり	4.17	2.81	D	13.29
10位	23	高齢者やその家族が住み慣れた地域で適切な介護サービスを受けられること	適切な介護サービスの充実	4.29	2.94	D	13.13
11位	14	住民が犯罪に遭うことがなく、その不安も感じることなく暮らせること	犯罪にあう不安のない暮らし	4.52	3.13	A	12.97
12位	22	障害者が住み慣れた地域で自分に合った支援サービスを受けられること	障害者支援サービスの充実	4.02	2.89	D	12.48
13位	25	地域・家庭・学校が一体となって、子どもが健全に育つ環境づくりを行っていること	子どもが健全に育つ環境づくり	4.16	3.01	A	12.43
14位	15	自分が住んでいる地域に活気があり、魅力のある地域になっていること	地域に活気・魅力があること	3.80	2.74	C	12.37
15位	12	食品や薬品などの商品・サービスの安全性が確保されていること	食品・薬品等の安全性の確保	4.34	3.17	A	12.27
16位	26	イライラやストレスなど精神的緊張が少ないこと	精神的な緊張の軽減	4.07	2.99	A	12.24
17位	31	保育所の数や定員を増やすことにより、待機児童を解消すること	保育所の充実	3.91	2.89	C	12.18
18位	2	電車、バス、タクシーなどの公共的な交通機関が利用しやすいこと	公共交通の利便性	4.19	3.11	A	12.08
19位	17	男女がそれぞれの個性と能力を十分に発揮できる社会が実現すること	男女が能力を発揮できる社会の実現	3.69	2.78	C	11.89
20位	21	住んでいる地域において、互いに見守り、助け合うなどつながりが感じられること	住んでいる地域においてつながりが感じられること	3.90	2.96	B	11.88
21位	28	一人ひとりが普段の生活においてCO2削減に取り組むこと	CO2削減へ向けた取り組み	3.71	2.87	C	11.61
22位	32	県内で買いたいものが販売されていること	県内で購入可能な商品の充実	3.79	2.95	C	11.57
23位	5	小・中学校で子どもの能力を伸ばす教育が受けられること	能力を伸ばす小中学校教育	3.80	2.98	B	11.46
24位	6	高校で生徒一人ひとりに適した教育が受けられること	個性を尊重する高校教育	3.72	2.95	C	11.35
25位	9	生涯を通じて教養を高め、趣味を広げられること	生涯を通じた教養・趣味の拡大	3.82	3.06	B	11.24
26位	1	品揃えの豊富な店が近くにあること	品揃えの豊富な店	3.93	3.17	B	11.15
27位	10	公園や運動施設・グラウンドなどが利用しやすいこと	公園・運動施設等の利便性	3.58	2.91	C	11.08
28位	29	ゴミのリサイクルのしくみが整っていること	ゴミのリサイクルの促進	3.86	3.16	B	10.98
29位	27	自分の住む地域の景観や町並みが美しいこと	地域の景観・町並の美しさ	3.93	3.21	B	10.97
30位	3	休日の道路の渋滞が解消され、自動車での外出が快適なこと	休日の渋滞解消	3.36	3.02	B	10.04
31位	16	ボランティア・NPO活動に気軽に参加できること	ボランティア・NPOへの参加	3.09	2.87	C	9.68
32位	4	平日の道路の渋滞が解消され、自動車での外出が快適なこと	平日の渋滞解消	3.33	3.10	B	9.68
33位	8	文化遺産や史跡が大事にされること	文化遺産や史跡の保存	3.98	3.61	A	9.51
項目全体の平均				3.97	2.95	-	12.09

（注）点数表記は小数第2位までだが、順位決定には小数第3位以下も考慮している。象限のA～Dの記号の対応は、53ページ参照。

図表 今回調査の重要度と満足度の関係図（新住民＝奈良県に新しくきた人）



■旧住民・新住民別（新住民）

『奈良県に新しくきた人』においては、「19. 急病時に診てもらえる医療機関」、「18. 市町村行政に対する住民意向の反映」、「11. 防災対策の充実」などのニーズ得点が高くなっています。

③奈良県での就労別

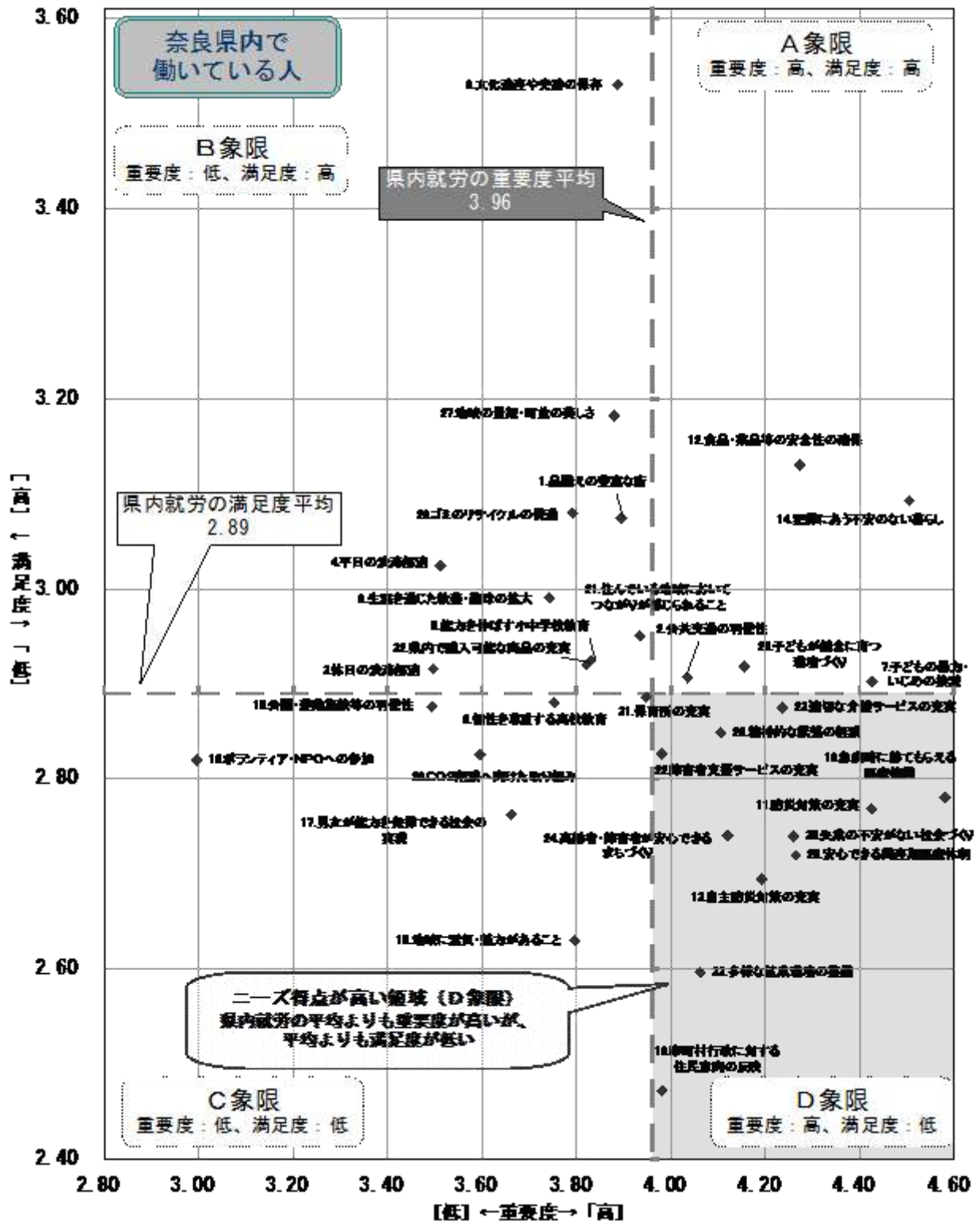
図表 項目と項目の略称との対応及び重要度・満足度・ニーズ得点の一覧（ニーズ得点の高い順）

（奈良県内で働いている人）

順位	項目番号	項目	項目の略称	重要度	満足度	象限	ニーズ得点
1位	19	急病時に診てもらえる医療機関があること	急病時に診てもらえる医療機関	4.58	2.78	D	14.74
2位	11	地震、台風、火災などへの対策がしっかりしていること	防災対策の充実	4.42	2.77	D	14.30
3位	18	市町村の政治に住民の要望や意見が十分採り入れられること	市町村行政に対する住民意向の反映	3.98	2.47	D	14.04
4位	20	安心して子どもを出産できる医療体制が整っていること	安心できる周産期医療体制	4.26	2.72	D	13.98
5位	30	失業の不安がなく働けること	失業の不安がない社会づくり	4.26	2.74	D	13.88
6位	13	家庭や地域において、地震などの自然災害に対する自主的な備えができていないこと	自主防災対策の充実	4.19	2.69	D	13.86
7位	33	いろいろな働き方が用意され、自分の生活に合った就業ができること	多様な就業環境の整備	4.06	2.60	D	13.82
8位	7	子どもたちが、暴力行為・いじめなどを行わないこと	子どもの暴力・いじめの撲滅	4.42	2.90	A	13.71
9位	24	高齢者や障害者が安心してまちに出かけられること	高齢者・障害者が安心できるまちづくり	4.12	2.74	D	13.42
10位	23	高齢者やその家族が住み慣れた地域で適切な介護サービスを受けられること	適切な介護サービスの充実	4.24	2.87	D	13.24
11位	14	住民が犯罪に遭うことがなく、その不安も感じることなく暮らせること	犯罪にあう不安のない暮らし	4.50	3.09	A	13.10
12位	26	イライラやストレスなど精神的緊張が少ないこと	精神的な緊張の軽減	4.11	2.85	D	12.94
13位	25	地域・家庭・学校が一体となって、子どもが健全に育つ環境づくりを行っていること	子どもが健全に育つ環境づくり	4.15	2.92	A	12.80
14位	15	自分が住んでいる地域に活気があり、魅力のある地域になっていること	地域に活気・魅力があること	3.80	2.63	C	12.79
15位	22	障害者が住み慣れた地域で自分に合った支援サービスを受けられること	障害者支援サービスの充実	3.98	2.83	D	12.63
16位	2	電車、バス、タクシーなどの公共的な交通機関が利用しやすいこと	公共交通の利便性	4.04	2.91	A	12.48
17位	31	保育所の数や定員を増やすことにより、待機児童を解消すること	保育所の充実	3.94	2.88	C	12.29
18位	12	食品や薬品などの商品・サービスの安全性が確保されていること	食品・薬品等の安全性の確保	4.27	3.13	A	12.26
19位	21	住んでいる地域において、互いに見守り、助け合うなどつながりが感じられること	住んでいる地域においてつながりが感じられること	3.93	2.95	B	11.99
20位	17	男女がそれぞれの個性と能力を十分に発揮できる社会が実現すること	男女が能力を發揮できる社会の実現	3.66	2.76	C	11.85
21位	5	小・中学校で子どもの能力を伸ばす教育が受けられること	能力を伸ばす小中学校教育	3.83	2.92	B	11.78
22位	32	県内で買いたいものが販売されていること	県内で購入可能な商品の充実	3.82	2.92	B	11.77
23位	6	高校で生徒一人ひとりに適した教育が受けられること	個性を尊重する高校教育	3.75	2.88	C	11.70
24位	28	一人ひとりが普段の生活においてCO2削減に取り組むこと	CO2削減へ向けた取り組み	3.60	2.83	C	11.42
25位	1	品揃えの豊富な店が近くにあること	品揃えの豊富な店	3.90	3.08	B	11.39
26位	9	生涯を通じて教養を高め、趣味を広げられること	生涯を通じて教養・趣味の拡大	3.74	2.99	B	11.27
27位	29	ゴミのリサイクルのしくみが整っていること	ゴミのリサイクルの促進	3.79	3.08	B	11.07
28位	27	自分の住む地域の景観や町並みが美しいこと	地域の景観・町並の美しさ	3.88	3.18	B	10.93
29位	10	公園や運動施設・グラウンドなどが利用しやすいこと	公園・運動施設等の利便性	3.49	2.87	C	10.92
30位	3	休日の道路の渋滞が解消され、自動車での外出が快適なこと	休日の渋滞解消	3.49	2.91	B	10.78
31位	4	平日の道路の渋滞が解消され、自動車での外出が快適なこと	平日の渋滞解消	3.51	3.02	B	10.45
32位	8	文化遺産や史跡が大事にされること	文化遺産や史跡の保存	3.89	3.53	B	9.60
33位	16	ボランティア・NPO活動に気軽に参加できること	ボランティア・NPOへの参加	3.00	2.82	C	9.52
項目全体の平均				3.96	2.89	-	12.33

（注）点数表記は小数第2位までだが、順位決定には小数第3位以下も考慮している。象限のA～Dの記号の対応は、53ページ参照。

図表 今回調査の重要度と満足度の関係図（奈良県内で働いている人）



■奈良での就労別（奈良県内で働いている人）

『奈良県内で働いている人』においては、「19. 急病時に診てもらえる医療機関」、「11. 防災対策の充実」「18. 市町村行政に対する住民意向の反映」、などのニーズ得点が高くなっています。

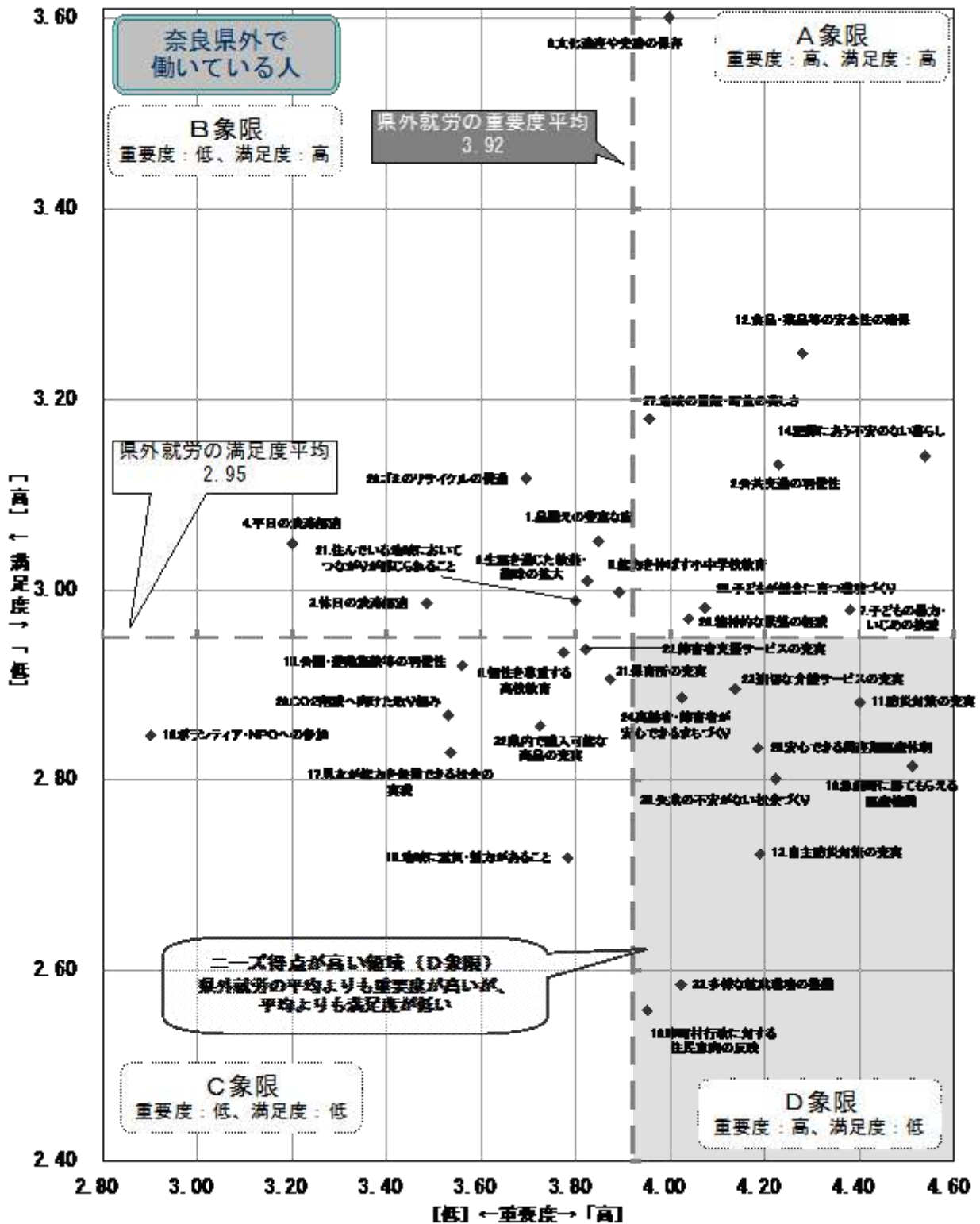
図表 項目と項目の略称との対応及び重要度・満足度・ニーズ得点の一覧（ニーズ得点の高い順）

（奈良県外で働いている人）

順位	項目番号	項目	項目の略称	重要度	満足度	象限	ニーズ得点
1位	19	急病時に診てもらえる医療機関があること	急病時に診てもらえる医療機関	4.51	2.81	D	14.38
2位	33	いろいろな働き方が用意され、自分の生活に合った就業ができること	多様な就業環境の整備	4.03	2.59	D	13.75
3位	13	家庭や地域において、地震などの自然災害に対する自主的な備えができていないこと	自主防災対策の充実	4.20	2.73	D	13.74
4位	11	地震、台風、火災などへの対策がしっかりしていること	防災対策の充実	4.40	2.88	D	13.74
5位	18	市町村の政治に住民の要望や意見が十分採り入れられること	市町村行政に対する住民意向の反映	3.95	2.56	D	13.62
6位	30	失業の不安がなく働けること	失業の不安がない社会づくり	4.23	2.81	D	13.51
7位	20	安心して子どもを出産できる医療体制が整っていること	安心できる周産期医療体制	4.19	2.83	D	13.26
8位	7	子どもたちが、暴力行為・いじめなどを行わないこと	子どもの暴力・いじめの撲滅	4.39	2.98	A	13.24
9位	14	住民が犯罪に遭うことなく、その不安も感じることなく暮らせること	犯罪にあう不安のない暮らし	4.55	3.15	A	12.98
10位	23	高齢者やその家族が住み慣れた地域で適切な介護サービスを受けられること	適切な介護サービスの充実	4.14	2.90	D	12.85
11位	24	高齢者や障害者が安心してまちに出かけられること	高齢者・障害者が安心できるまちづくり	4.03	2.89	D	12.54
12位	15	自分が住んでいる地域に活気があり、魅力のある地域になっていること	地域に活気・魅力があること	3.79	2.72	C	12.43
13位	25	地域・家庭・学校が一体となって、子どもが健全に育つ環境づくりを行っていること	子どもが健全に育つ環境づくり	4.08	2.98	A	12.30
14位	26	イライラやストレスなど精神的緊張が少ないこと	精神的な緊張の軽減	4.04	2.97	A	12.25
15位	2	電車、バス、タクシーなどの公共的な交通機関が利用しやすいこと	公共交通の利便性	4.23	3.13	A	12.14
16位	31	保育所の数や定員を増やすことにより、待機児童を解消すること	保育所の充実	3.88	2.91	C	11.98
17位	12	食品や薬品などの商品・サービスの安全性が確保されていること	食品・薬品等の安全性の確保	4.28	3.25	A	11.78
18位	22	障害者が住み慣れた地域で自分に合った支援サービスを受けられること	障害者支援サービスの充実	3.82	2.94	C	11.71
19位	32	県内で買いたいものが販売されていること	県内で購入可能な商品の充実	3.73	2.86	C	11.71
20位	5	小・中学校で子どもの能力を伸ばす教育が受けられること	能力を伸ばす小中学校教育	3.90	3.00	B	11.68
21位	6	高校で生徒一人ひとりに適した教育が受けられること	個性を尊重する高校教育	3.78	2.94	C	11.57
22位	21	住んでいる地域において、互いに見守り、助け合うなどつながりが感じられること	住んでいる地域においてつながりが感じられること	3.80	2.99	B	11.45
23位	9	生涯を通じて教養を高め、趣味を広げられること	生涯を通じた教養・趣味の拡大	3.83	3.01	B	11.44
24位	1	品揃えの豊富な店が近くにあること	品揃えの豊富な店	3.84	3.05	B	11.35
25位	17	男女がそれぞれの個性と能力を十分に発揮できる社会が実現すること	男女が能力を発揮できる社会の実現	3.54	2.83	C	11.22
26位	27	自分の住む地域の景観や町並みが美しいこと	地域の景観・町並の美しさ	3.96	3.18	A	11.16
27位	28	一人ひとりが普段の生活においてCO2削減に取り組むこと	CO2削減へ向けた取り組み	3.53	2.87	C	11.06
28位	10	公園や運動施設・グラウンドなどが利用しやすいこと	公園・運動施設等の利便性	3.56	2.93	C	10.96
29位	29	ゴミのリサイクルのしくみが整っていること	ゴミのリサイクルの促進	3.69	3.11	B	10.66
30位	3	休日の道路の渋滞が解消され、自動車での外出が快適なこと	休日の渋滞解消	3.49	2.99	B	10.51
31位	8	文化遺産や史跡が大事にされること	文化遺産や史跡の保存	4.00	3.61	A	9.58
32位	4	平日の道路の渋滞が解消され、自動車での外出が快適なこと	平日の渋滞解消	3.21	3.05	B	9.45
33位	16	ボランティア・NPO活動に気軽に参加できること	ボランティア・NPOへの参加	2.90	2.85	C	9.15
項目全体の平均				3.92	2.95	-	11.97

（注）点数表記は小数第2位までだが、順位決定には小数第3位以下も考慮している。象限のA～Dの記号の対応は、53ページ参照。

図表 今回調査の重要度と満足度の関係図（奈良県外で働いている人）



■奈良での就労別（奈良県外で働いている人）

『奈良県外で働いている人』においては、「19. 急病時に診てもらえる医療機関」、「33. 多様な就業環境の整備」「13. 自主防災対策の充実」などのニーズ得点が高くなっています。

(3) 県民の身近な生活に関する33項目の重要度と満足度の前回調査との比較

図表 重要度と満足度の関係の前回調査との比較

項目番号	項目	重要度					満足度					ニーズ得点					重要度と満足度の関係				
		H28	H27	H26	H25	H24	H28	H27	H26	H25	H24	H28	H27	H26	H25	H24	H28	H27	H26	H25	H24
1	品揃えの豊富な店が近くにあること	3.90	3.95	3.92	3.90	3.89	3.09	2.94	3.07	3.09	3.03	11.33	12.09	11.47	11.33	11.55	B	B	B	B	B
2	電車、バス、タクシーなどの公共交通機関が利用しやすいこと	4.11	4.10	4.07	4.08	4.08	3.01	2.81	3.02	3.01	3.02	12.28	13.10	12.12	12.20	12.15	A	D	A	A	A
3	休日の道路の渋滞が解消され、自動車での外出が快適なこと	3.42	3.39	3.42	3.40	3.39	2.98	2.97	2.98	2.93	3.02	10.32	10.26	10.33	10.44	10.10	B	B	B	B	B
4	平日の道路の渋滞が解消され、自動車での外出が快適なこと	3.38	3.38	3.41	3.39	3.36	3.08	3.05	3.09	3.06	3.13	9.88	9.95	9.92	9.95	9.63	B	B	B	B	B
5	小・中学校で子どもの能力を伸ばす教育が受けられること	3.84	3.89	3.95	3.98	4.00	2.96	2.91	2.93	2.89	2.88	11.67	12.01	12.10	12.39	12.48	B	B	B	C	C
6	高校で生徒一人ひとりに適した教育が受けられること	3.76	3.79	3.82	3.83	3.84	2.91	2.88	2.93	2.89	2.86	11.61	11.81	11.75	11.94	12.06	C	C	B	C	C
7	子どもたちが、暴力行為・いじめなどを行わないこと	4.42	4.46	4.43	4.46	4.44	2.94	2.90	2.95	2.90	2.90	13.55	13.84	13.51	13.83	13.73	A	D	A	A	A
8	文化遺産や史跡が大事にされること	3.96	4.00	3.96	3.97	4.00	3.58	3.52	3.53	3.53	3.57	9.59	9.92	9.78	9.81	9.73	A	B	B	B	B
9	生涯を通じて教養を高め、趣味を広げられること	3.77	3.83	3.81	3.82	3.83	3.02	2.99	3.03	2.99	3.01	11.23	11.51	11.34	11.47	11.45	B	B	B	B	B
10	公園や運動施設・グラウンドなどが利用しやすいこと	3.53	3.53	3.55	3.55	3.55	2.92	2.86	2.90	2.93	2.86	10.88	11.09	10.98	10.91	11.14	C	C	C	B	C
11	地震、台風、火災などへの対策がしっかりしていること	4.42	4.42	4.39	4.39	4.46	2.83	2.83	2.77	2.72	2.67	14.02	14.01	14.18	14.39	14.83	D	D	D	D	D
12	食品や薬品などの商品・サービスの安全性が確保されていること	4.29	4.32	4.27	4.31	4.31	3.18	3.13	3.11	3.09	3.20	12.12	12.42	12.37	12.57	12.06	A	A	A	A	A
13	家庭や地域において、地震などの自然災害に対する自主的な備えができていないこと	4.19	4.16	4.16	4.19	4.21	2.72	2.76	2.71	2.65	2.70	13.76	13.48	13.69	14.05	13.89	D	D	D	D	D
14	住民が犯罪に遭うことなく、その不安も感じることなく暮らせること	4.50	4.53	4.50	4.53	4.57	3.14	3.09	3.13	3.08	3.05	12.90	13.19	12.91	13.25	13.49	A	A	A	A	A
15	自分が住んでいる地域に活気があり、魅力のある地域になっていること	3.79	3.84	3.84	3.82	3.89	2.69	2.62	2.70	2.68	2.63	12.56	12.98	12.67	12.69	13.12	C	C	C	C	C
16	ボランティア・NPO活動に気軽に参加できること	3.03	3.06	3.06	3.08	3.08	2.84	2.82	2.85	2.83	2.82	9.58	9.71	9.64	9.78	9.81	C	C	C	C	C
17	男女がそれぞれの個性と能力を十分に発揮できる社会が実現すること	3.67	3.72	3.70	3.73	3.71	2.78	2.75	2.79	2.76	2.76	11.82	12.09	11.87	12.10	12.00	C	C	C	C	C
18	市町村の政治に住民の要望や意見が十分採り入れられること	4.00	4.03	4.00	4.03	4.06	2.53	2.53	2.57	2.53	2.53	13.88	13.96	13.73	13.98	14.10	D	D	D	D	D
19	急病時に診てもらえる医療機関があること	4.57	4.62	4.57	4.63	4.64	2.84	2.84	2.80	2.73	2.75	14.43	14.61	14.61	15.15	15.08	D	D	D	D	D
20	安心して子どもを出産できる医療体制が整っていること	4.24	4.31	4.29	4.32	4.37	2.78	2.70	2.72	2.65	2.61	13.66	14.22	14.09	14.47	14.82	D	D	D	D	D
21	住んでいる地域において、互いに見守り、助け合うなどつながりが感じられること	3.92	-	-	-	-	2.98	-	-	-	-	11.87	-	-	-	-	B	-	-	-	-
22	障害者が住み慣れた地域で自分に合った支援サービスを受けられること	3.99	4.13	4.10	4.14	4.14	2.88	2.82	2.84	2.80	2.78	12.48	13.14	12.96	13.26	13.32	D	D	D	D	D
23	高齢者やその家族が住み慣れた地域で適切な介護サービスを受けられること	4.26	4.40	4.34	4.37	4.37	2.92	2.87	2.89	2.89	2.88	13.11	13.75	13.51	13.60	13.63	D	D	D	D	D
24	高齢者や障害者が安心してまちに出かけられること	4.12	4.21	4.18	4.18	4.18	2.80	2.74	2.77	2.73	2.74	13.20	13.72	13.50	13.64	13.62	D	D	D	D	D
25	地域・家庭・学校が一体となって、子どもが健全に育つ環境づくりを行っていること	4.15	4.22	4.19	4.19	4.24	2.98	2.95	2.96	2.94	2.95	12.54	12.87	12.75	12.82	12.94	A	A	A	A	A
26	イライラやストレスなど精神的緊張が少ないこと	4.06	4.03	4.01	3.98	4.02	2.92	2.94	2.96	2.95	2.91	12.50	12.33	12.19	12.16	12.39	D	A	A	B	B
27	自分の住む地域の景観や町並みが美しいこと	3.90	3.92	3.92	3.92	3.93	3.19	3.16	3.17	3.17	3.18	10.97	11.14	11.09	11.11	11.09	B	B	B	B	B
28	一人ひとりが普段の生活においてCO2削減に取り組むこと	3.67	3.75	3.74	3.76	3.77	2.86	2.88	2.88	2.85	2.83	11.52	11.70	11.69	11.86	11.97	C	C	C	C	C
29	ゴミのリサイクルのしつこさが整っていること	3.84	3.95	3.90	3.92	3.92	3.15	3.24	3.20	3.19	3.13	10.96	10.88	10.90	11.03	11.26	B	B	B	B	B
30	失業の不安がなく働けること	4.22	4.26	4.24	4.28	4.36	2.73	2.70	2.68	2.61	2.57	13.82	14.07	14.07	14.52	14.97	D	D	D	D	D
31	保育所の数や定員を増やすことにより、待機児童を解消すること	3.93	3.94	3.91	3.94	-	2.90	2.91	2.89	2.88	-	12.18	12.16	12.17	12.27	-	C	B	C	C	-
32	県内で買いたいものが販売されていること	3.81	3.76	3.77	3.75	3.80	2.94	2.98	2.98	2.99	2.97	11.67	11.37	11.40	11.28	11.52	B	B	B	B	B
33	いろいろな働き方が用意され、自分の生活に合った就業ができること	4.03	4.03	4.03	4.00	4.08	2.59	2.59	2.59	2.54	2.52	13.72	13.74	13.76	13.81	14.23	D	D	D	D	D
項目全体の平均		3.96	4.00	3.98	3.99	4.02	2.93	2.90	2.92	2.89	2.89	12.17	12.41	12.28	12.44	12.52					

(注) 「重要度と満足度の関係」の各年度のA～Dの記号の対応については、53ページ参照。
 網掛けした項目は満足度が当該年度の全項目の平均値を下回るもの（C象限・D象限）であり、濃い網掛けはそのうち重要度が平均値を上回るもの（D象限）、すなわち重要度が高いにもかかわらず満足度が低い項目（ニーズ得点が高い項目）である。
 なお、「-」はそれ以前の年度において存在しなかった項目を示している。

図表 5年間を通じてD象限にある項目（重要度が平均値以上、かつ満足度が平均値未満）

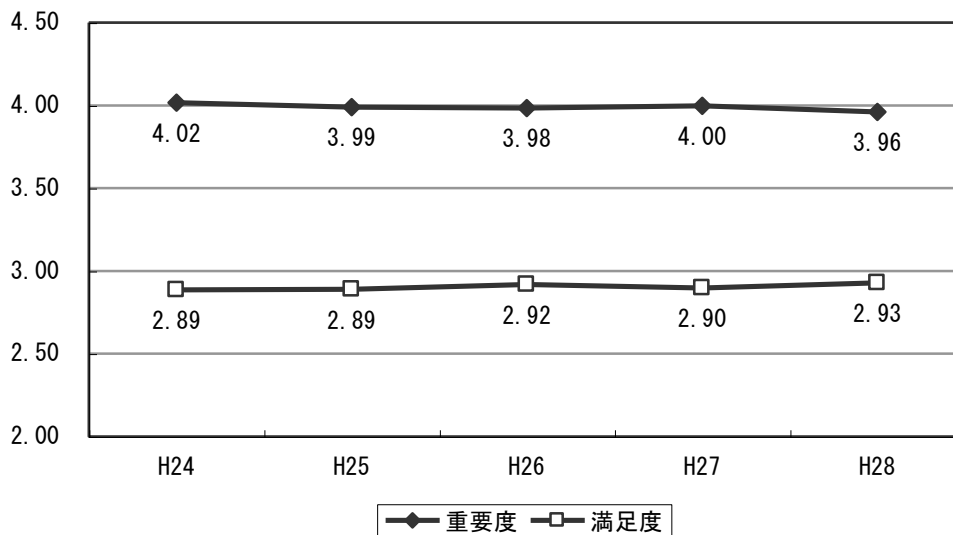
項目番号	項目
11	地震、台風、火災などへの対策がしっかりしていること
13	家庭や地域において、地震などの自然災害に対する自主的な備えができていないこと
18	市町村の政治に住民の要望や意見が十分採り入れられること
19	急病時に診てもらえる医療機関があること
20	安心して子どもを出産できる医療体制が整っていること
22	障害者が住み慣れた地域で自分に合った支援サービスを受けられること
23	高齢者やその家族が住み慣れた地域で適切な介護サービスを受けられること
24	高齢者や障害者が安心してまちに出かけられること
30	失業の不安がなく働けること
33	いろいろな働き方が用意され、自分の生活に合った就業ができること

■ 県全体

県民の身近な生活に関する33項目の重要度と満足度の関係を平成24年度から平成28年度の5年間についてみると、5年間を通じて、重要度が平均値以上であるにもかかわらず、満足度が平均値を下回っていた（D象限にある）ものが10項目ありました。

（4）県民の身近な生活に関する33項目の重要度と満足度の平均値の推移（県全体）

図表 重要度と満足度の平均値の推移（県全体）



■ 県全体

県民の身近な生活に関する33項目の重要度と満足度の平均値の推移をみると、重要度の平均値は平成24年度からほぼ横ばい傾向となっています。また、満足度の平均値はゆるやかながら上昇傾向にあります。

Ⅱ－３ 地域別の重要度と満足度の関係及び経年比較

(1) 地域1 (北部)

図表 重要度と満足度の経年比較<平成28年度調査の重要度の高い順> (地域1 (北部))

順位	項目番号	項目の略称	重要度			満足度			象限	ニーズ得点
			H28	H27	変化	H28	H27	変化		
1位	19	急病時に診てもらえる医療機関	4.55	4.62	▲0.07	2.94	2.96	▲0.02	D	13.92
2位	14	犯罪にあう不安のない暮らし	4.51	4.54	▲0.03	3.12	3.11	+0.01	A	12.99
3位	7	子どもの暴力・いじめの撲滅	4.40	4.48	▲0.08	2.93	2.92	+0.01	D	13.51
4位	11	防災対策の充実	4.38	4.41	▲0.03	2.87	2.87	▲0.00	D	13.71
5位	12	食品・薬品等の安全性の確保	4.28	4.35	▲0.07	3.20	3.15	+0.05	A	11.97
6位	23	適切な介護サービスの充実	4.26	4.40	▲0.14	2.94	2.90	+0.04	D	13.06
7位	30	失業の不安がない社会づくり	4.21	4.24	▲0.03	2.75	2.74	+0.01	D	13.69
8位	20	安心できる周産期医療体制	4.21	4.30	▲0.09	2.91	2.81	+0.10	D	12.99
9位	2	公共交通の利便性	4.18	4.14	+0.04	3.22	2.90	+0.32	A	11.61
10位	13	自主防災対策の充実	4.16	4.16	▲0.00	2.73	2.76	▲0.03	D	13.58
11位	24	高齢者・障害者が安心できるまちづくり	4.14	4.21	▲0.07	2.83	2.78	+0.05	D	13.12
12位	25	子どもが健全に育つ環境づくり	4.13	4.21	▲0.08	2.99	2.99	+0.00	A	12.44
13位	26	精神的な緊張の軽減	4.05	4.02	+0.03	2.93	2.98	▲0.05	D	12.44
14位	18	市町村行政に対する住民意向の反映	4.00	4.01	▲0.01	2.53	2.55	▲0.02	D	13.89
15位	33	多様な就業環境の整備	3.99	4.01	▲0.02	2.61	2.64	▲0.03	D	13.51
16位	22	障害者支援サービスの充実	3.98	4.12	▲0.14	2.90	2.86	+0.04	D	12.35
17位	8	文化遺産や史跡の保存	3.97	4.03	▲0.06	3.62	3.55	+0.07	A	9.45
18位	31	保育所の充実	3.96	3.94	+0.02	2.82	2.89	▲0.07	D	12.59
19位	27	地域の景観・町並の美しさ	3.93	3.93	▲0.00	3.22	3.20	+0.02	B	10.94
20位	1	品揃えの豊富な店	3.90	3.97	▲0.07	3.21	2.98	+0.23	B	10.87
21位	21	住んでいる地域においてつながりが感じられること	3.90	-	-	2.95	-	-	C	11.89
22位	29	ゴミのリサイクルの促進	3.82	3.95	▲0.13	3.13	3.24	▲0.11	B	10.94
23位	5	能力を伸ばす小中学校教育	3.81	3.91	▲0.10	2.99	2.94	+0.05	B	11.49
24位	32	県内で購入可能な商品の充実	3.81	3.74	+0.07	2.93	2.97	▲0.04	C	11.70
25位	9	生涯を通じた教養・趣味の拡大	3.79	3.81	▲0.02	3.04	3.01	+0.03	B	11.23
26位	15	地域に活気・魅力があること	3.76	3.85	▲0.09	2.79	2.66	+0.13	C	12.08
27位	6	個性を尊重する高校教育	3.75	3.80	▲0.05	2.94	2.90	+0.04	C	11.48
28位	17	男女が能力を発揮できる社会の実現	3.66	3.75	▲0.09	2.80	2.77	+0.03	C	11.73
29位	28	CO2削減へ向けた取り組み	3.66	3.74	▲0.08	2.86	2.87	▲0.01	C	11.49
30位	10	公園・運動施設等の利便性	3.52	3.55	▲0.03	2.89	2.82	+0.07	C	10.94
31位	3	休日の渋滞解消	3.44	3.42	+0.02	2.90	2.95	▲0.05	C	10.65
32位	4	平日の渋滞解消	3.39	3.42	▲0.03	3.01	3.03	▲0.02	B	10.13
33位	16	ボランティア・NPOへの参加	3.02	3.03	▲0.01	2.87	2.84	+0.03	C	9.47
項目全体の平均			3.95	4.00	▲0.05	2.95	2.92	+0.03	-	12.06

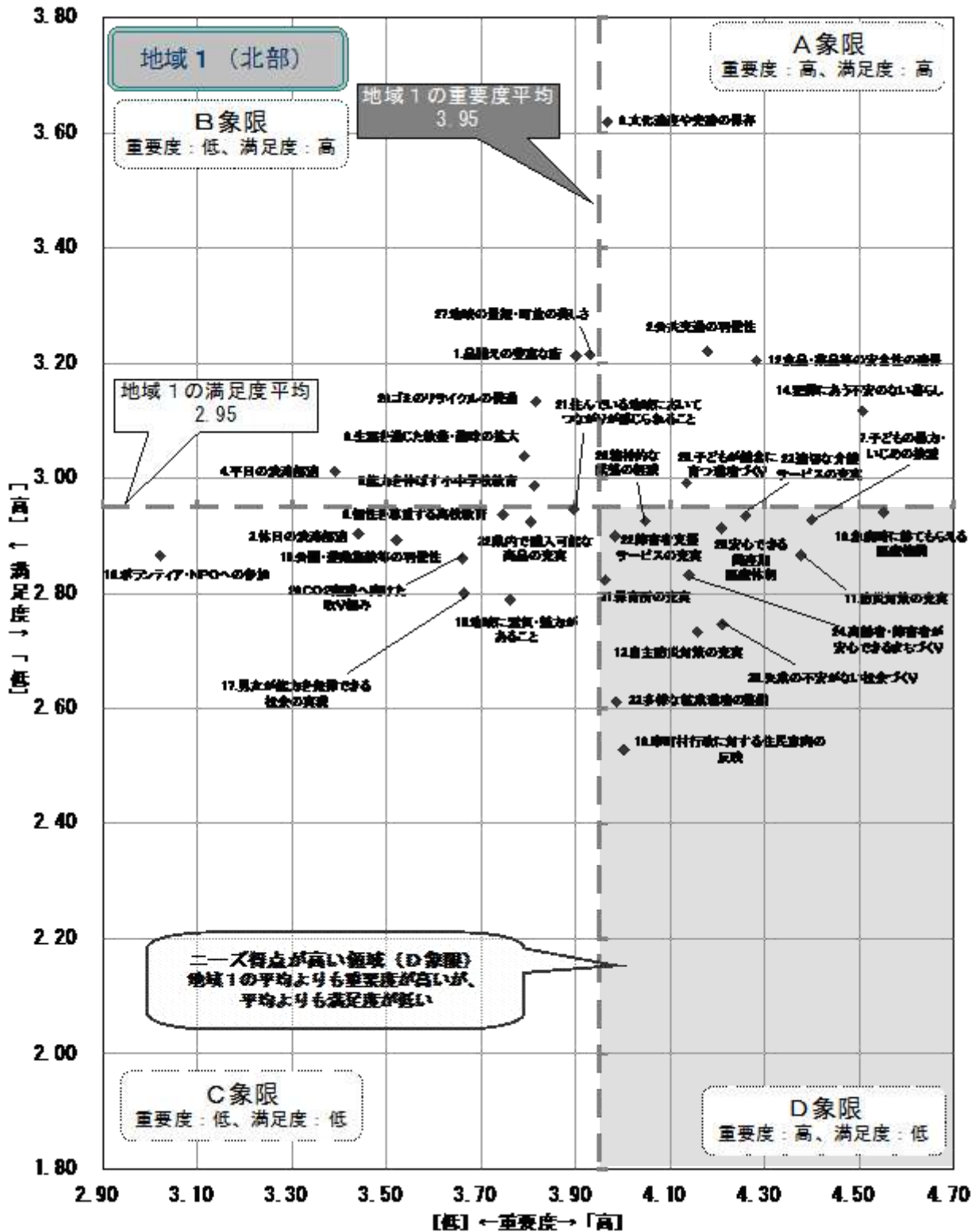
(注) 点数表記は小数第2位までだが、順位決定には小数第3位以下も考慮している。象限のA～Dの記号の対応は、53ページ参照。

網かけは、重要度では今回の点数が前回に比べて上昇したことを示し、満足度では今回の点数が前回に比べて低下したことを示している。ニーズ得点の太字は、ニーズ得点が高い上位3項目を示している。

■地域別 (地域1 (北部))

重要度が上昇したにも関わらず満足度が低下した項目は、「26. 精神的な緊張の軽減」「31. 保育所の充実」「32. 県内で購入可能な商品の充実」「3. 休日の渋滞解消」で、33項目中4項目となっています。

図表 今回調査の重要度と満足度の関係図（地域1（北部））



■地域別（地域1（北部））

『地域1（北部）』においては、「19. 急病時に診てもらえる医療機関」、「18. 市町村行政に対する住民意向の反映」、「11. 防災対策の充実」などのニーズ得点が高くなっています。

(2) 地域2 (西部)

図表 重要度と満足度の経年比較<平成28年度調査の重要度の高い順> (地域2 (西部))

順位	項目番号	項目の略称	重要度			満足度			象限	ニーズ 得点
			H28	H27	変化	H28	H27	変化		
1位	19	急病時に診てもらえる医療機関	4.58	4.62	▲0.04	2.86	2.92	▲0.06	D	14.38
2位	14	犯罪にあう不安のない暮らし	4.51	4.59	▲0.08	3.24	3.11	+0.13	A	12.46
3位	11	防災対策の充実	4.47	4.52	▲0.05	3.00	2.88	+0.12	A	13.42
4位	7	子どもの暴力・いじめの撲滅	4.41	4.44	▲0.03	3.04	2.90	+0.14	A	13.05
5位	12	食品・薬品等の安全性の確保	4.36	4.40	▲0.04	3.20	3.15	+0.05	A	12.22
6位	23	適切な介護サービスの充実	4.31	4.41	▲0.10	2.96	2.98	▲0.02	D	13.11
7位	13	自主防災対策の充実	4.22	4.23	▲0.01	2.82	2.89	▲0.07	D	13.42
8位	20	安心できる周産期医療体制	4.19	4.30	▲0.11	2.82	2.87	▲0.05	D	13.30
9位	30	失業の不安がない社会づくり	4.19	4.23	▲0.04	2.81	2.81	▲0.00	D	13.37
10位	2	公共交通の利便性	4.17	4.20	▲0.03	3.08	2.88	+0.20	A	12.16
11位	24	高齢者・障害者が安心できるまちづくり	4.16	4.26	▲0.10	2.84	2.75	+0.09	D	13.16
12位	25	子どもが健全に育つ環境づくり	4.14	4.26	▲0.12	3.06	2.98	+0.08	A	12.16
13位	26	精神的な緊張の軽減	4.04	4.10	▲0.06	3.02	2.97	+0.05	A	12.06
14位	33	多様な就業環境の整備	4.04	4.00	+0.04	2.69	2.69	+0.00	D	13.35
15位	22	障害者支援サービスの充実	4.01	4.18	▲0.17	2.90	2.94	▲0.04	D	12.44
16位	18	市町村行政に対する住民意向の反映	4.01	4.09	▲0.08	2.64	2.58	+0.06	D	13.48
17位	8	文化遺産や史跡の保存	4.00	4.17	▲0.17	3.65	3.61	+0.04	A	9.41
18位	1	品揃えの豊富な店	3.97	3.96	+0.01	3.11	2.88	+0.23	A	11.46
19位	31	保育所の充実	3.92	3.90	+0.02	2.92	2.98	▲0.06	C	12.07
20位	21	住んでいる地域においてつながりが感じられること	3.91	-	-	3.04	-	-	B	11.58
21位	27	地域の景観・町並の美しさ	3.87	4.08	▲0.21	3.26	3.19	+0.07	B	10.60
22位	29	ゴミのリサイクルの促進	3.87	4.00	▲0.13	3.31	3.31	+0.00	B	10.40
23位	9	生涯を通じた教養・趣味の拡大	3.83	3.96	▲0.13	3.07	3.12	▲0.05	B	11.25
24位	32	県内で購入可能な商品の充実	3.82	3.75	+0.07	2.95	2.96	▲0.01	C	11.64
25位	15	地域に活気・魅力があること	3.78	3.78	+0.00	2.75	2.74	+0.01	C	12.30
26位	28	CO2削減へ向けた取り組み	3.72	3.84	▲0.12	2.96	2.96	▲0.00	C	11.33
27位	17	男女が能力を発揮できる社会の実現	3.71	3.70	+0.01	2.78	2.80	▲0.02	C	11.97
28位	5	能力を伸ばす小中学校教育	3.70	3.80	▲0.10	3.00	2.99	+0.01	B	11.13
29位	6	個性を尊重する高校教育	3.67	3.72	▲0.05	2.97	2.96	+0.01	C	11.12
30位	10	公園・運動施設等の利便性	3.60	3.60	▲0.00	3.06	3.02	+0.04	B	10.57
31位	3	休日の渋滞解消	3.24	3.33	▲0.09	3.10	2.97	+0.13	B	9.41
32位	4	平日の渋滞解消	3.24	3.33	▲0.09	3.10	3.04	+0.06	B	9.40
33位	16	ボランティア・NPOへの参加	3.07	3.15	▲0.08	2.82	2.89	▲0.07	C	9.75
項目全体の平均			3.96	4.03	▲0.07	2.99	2.96	+0.03	-	11.91

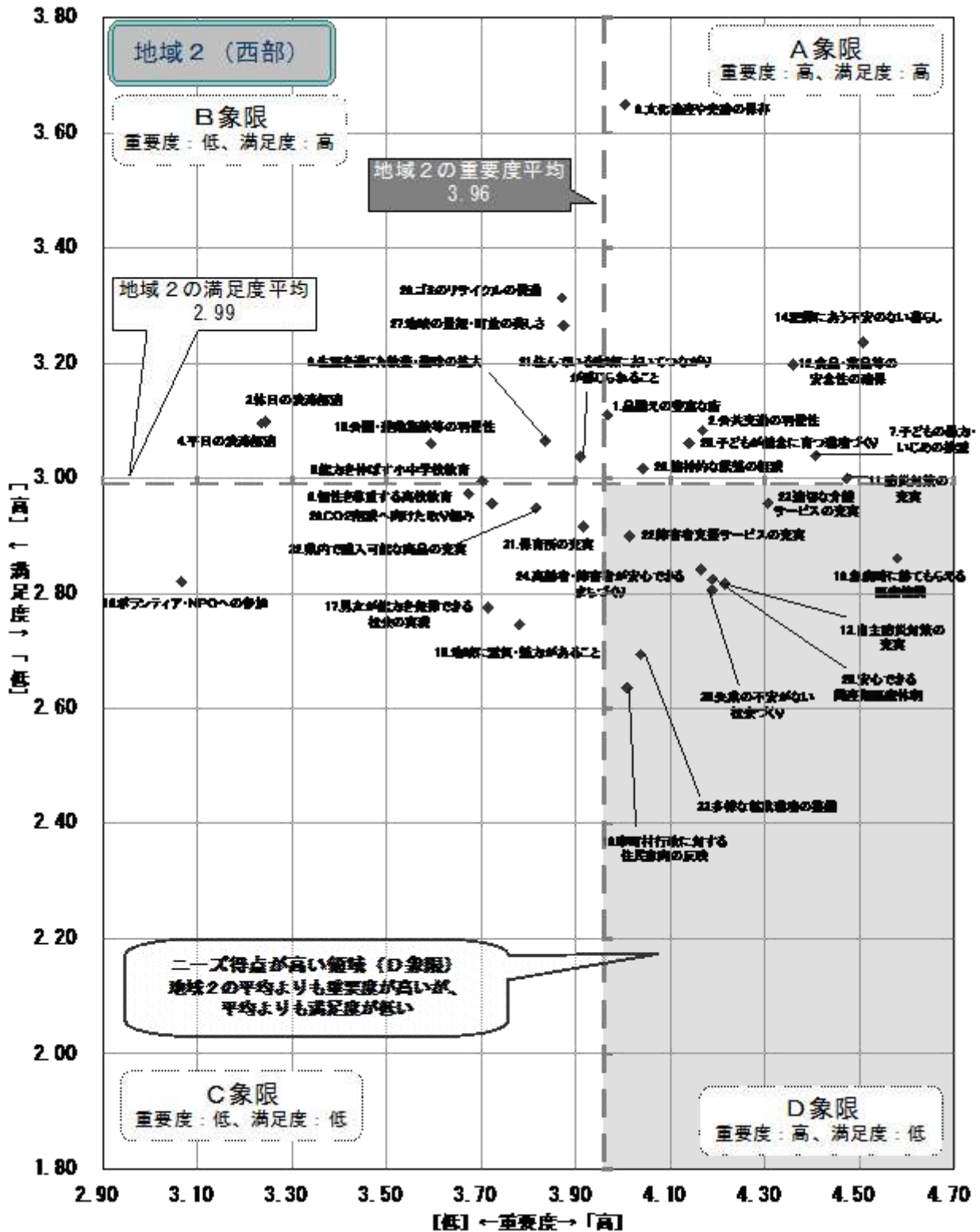
(注) 点数表記は小数第2位までだが、順位決定には小数第3位以下も考慮している。象限のA～Dの記号の対応は、53ページ参照。

網かけは、重要度では今回の点数が前回に比べて上昇したことを示し、満足度では今回の点数が前回に比べて低下したことを示している。ニーズ得点の太字は、ニーズ得点が高い上位3項目を示している。

■地域別 (地域2 (西部))

重要度が上昇したにも関わらず満足度が低下した項目は、「31. 保育所の充実」、「32. 県内で購入可能な商品の充実」「17. 男女が能力を発揮できる社会の実現」で、33項目中3項目となっています。

図表 今回調査の重要度と満足度の関係図（地域2（西部））



■地域別（地域2（西部））

『地域2（西部）』においては、「19. 急病時に診てもらえる医療機関」、「18. 市町村行政に対する住民意向の反映」、「13. 自主防災対策の充実」などのニーズ得点が高くなっています。

(3) 地域3 (中部)

図表 重要度と満足度の経年比較<平成28年度調査の重要度の高い順> (地域3 (中部))

順位	項目番号	項目の略称	重要度			満足度			象限	ニーズ得点
			H28	H27	変化	H28	H27	変化		
1位	19	急病時に診てもらえる医療機関	4.59	4.61	▲0.02	2.83	2.81	+0.02	D	14.54
2位	14	犯罪にあう不安のない暮らし	4.53	4.53	+0.00	3.09	3.01	+0.08	A	13.20
3位	7	子どもの暴力・いじめの撲滅	4.48	4.45	+0.03	2.90	2.83	+0.07	D	13.90
4位	11	防災対策の充実	4.45	4.38	+0.07	2.80	2.85	▲0.05	D	14.24
5位	12	食品・薬品等の安全性の確保	4.32	4.31	+0.01	3.20	3.15	+0.05	A	12.12
6位	20	安心できる周産期医療体制	4.31	4.31	▲0.00	2.78	2.74	+0.04	D	13.86
7位	30	失業の不安がない社会づくり	4.29	4.27	+0.02	2.75	2.68	+0.07	D	13.94
8位	23	適切な介護サービスの充実	4.23	4.40	▲0.17	2.90	2.84	+0.06	D	13.09
9位	13	自主防災対策の充実	4.23	4.12	+0.11	2.70	2.74	▲0.04	D	13.96
10位	25	子どもが健全に育つ環境づくり	4.19	4.21	▲0.02	2.96	2.90	+0.06	A	12.74
11位	26	精神的な緊張の軽減	4.15	4.04	+0.11	2.90	2.86	+0.04	D	12.87
12位	24	高齢者・障害者が安心できるまちづくり	4.12	4.21	▲0.09	2.81	2.77	+0.04	D	13.11
13位	33	多様な就業環境の整備	4.10	4.05	+0.05	2.60	2.58	+0.02	D	13.93
14位	2	公共交通の利便性	4.04	4.09	▲0.05	3.10	3.01	+0.09	A	11.72
15位	22	障害者支援サービスの充実	3.99	4.11	▲0.12	2.87	2.82	+0.05	D	12.49
16位	18	市町村行政に対する住民意向の反映	3.97	4.03	▲0.06	2.54	2.53	+0.01	C	13.75
17位	21	住んでいる地域においてつながりが感じられること	3.96	-	-	2.97	-	-	B	11.99
18位	31	保育所の充実	3.95	3.99	▲0.04	2.88	2.85	+0.03	C	12.33
19位	8	文化遺産や史跡の保存	3.94	3.92	+0.02	3.60	3.49	+0.11	B	9.46
20位	27	地域の景観・町並の美しさ	3.92	3.88	+0.04	3.14	3.12	+0.02	B	11.22
21位	1	品揃えの豊富な店	3.90	3.99	▲0.09	3.33	3.25	+0.08	B	10.43
22位	5	能力を伸ばす小中学校教育	3.89	3.86	+0.03	2.95	2.85	+0.10	B	11.86
23位	29	ゴミのリサイクルの促進	3.84	3.91	▲0.07	3.11	3.21	▲0.10	B	11.10
24位	32	県内で購入可能な商品の充実	3.82	3.78	+0.04	2.99	3.05	▲0.06	B	11.52
25位	6	個性を尊重する高校教育	3.80	3.78	+0.02	2.89	2.86	+0.03	C	11.80
26位	15	地域に活気・魅力があること	3.78	3.81	▲0.03	2.73	2.71	+0.02	C	12.38
27位	9	生涯を通じた教養・趣味の拡大	3.76	3.78	▲0.02	3.06	3.01	+0.05	B	11.07
28位	17	男女が能力を発揮できる社会の実現	3.68	3.68	+0.00	2.80	2.76	+0.04	C	11.79
29位	28	CO2削減へ向けた取り組み	3.65	3.75	▲0.10	2.80	2.84	▲0.04	C	11.68
30位	10	公園・運動施設等の利便性	3.62	3.52	+0.10	2.98	2.95	+0.03	B	10.90
31位	3	休日の渋滞解消	3.55	3.44	+0.11	3.00	2.96	+0.04	B	10.65
32位	4	平日の渋滞解消	3.50	3.40	+0.10	3.10	3.03	+0.07	B	10.16
33位	16	ボランティア・NPOへの参加	3.00	3.02	▲0.02	2.87	2.81	+0.06	C	9.38
項目全体の平均			3.99	3.99	▲0.00	2.94	2.90	+0.03	-	12.22

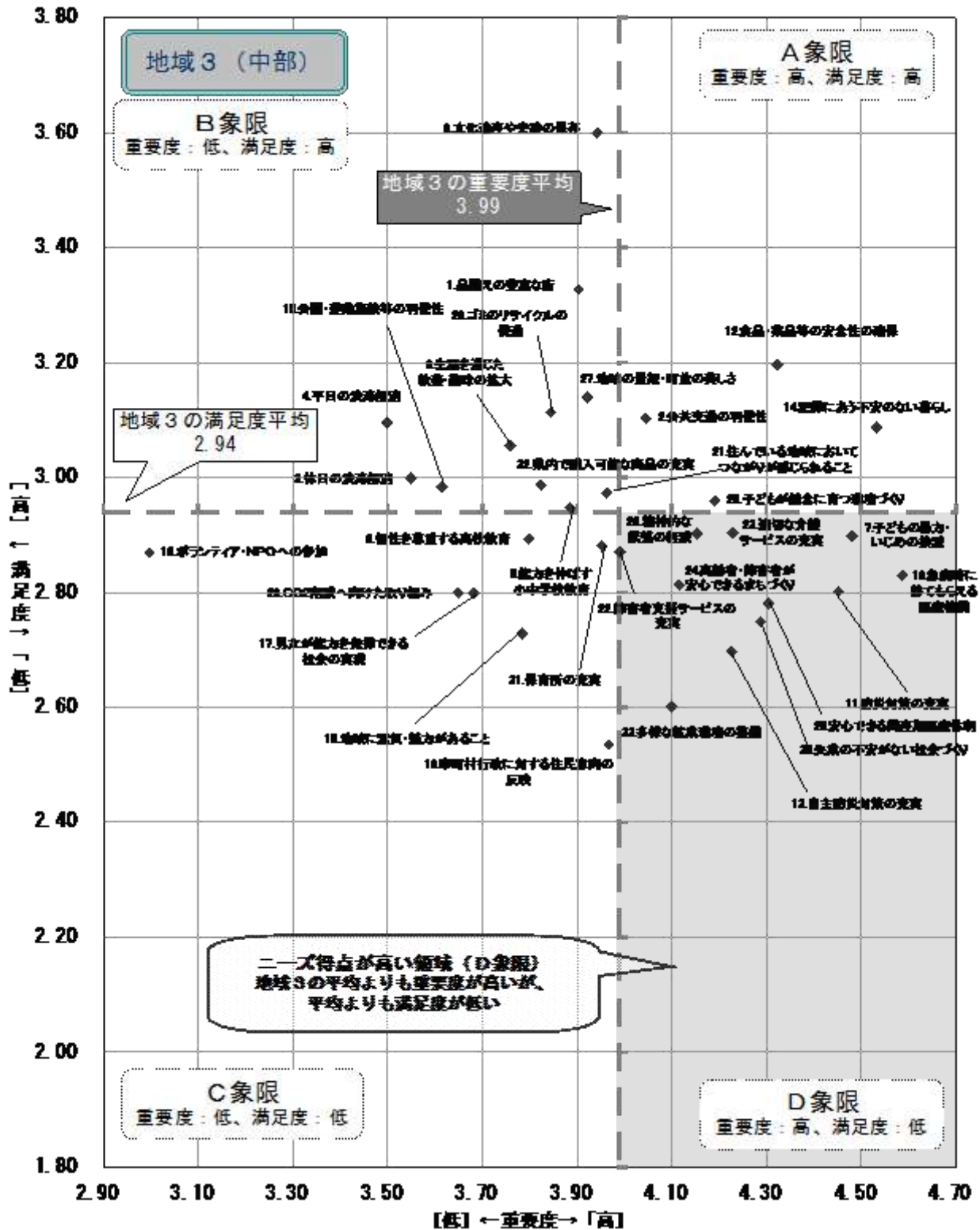
(注) 点数表記は小数第2位までだが、順位決定には小数第3位以下も考慮している。象限のA～Dの記号の対応は、53ページ参照。

網かけは、重要度では今回の点数が前回に比べて上昇したことを示し、満足度では今回の点数が前回に比べて低下したことを示している。ニーズ得点の太字は、ニーズ得点が高い上位3項目を示している。

■地域別 (地域3 (中部))

重要度が上昇したにも関わらず満足度が低下した項目は、「11. 防災対策の充実」「13. 自主防災対策の充実」「32. 県内で購入可能な商品の充実」など33項目中3項目となっています。

図表 今回調査の重要度と満足度の関係図（地域3（中部））



■地域別（地域3（中部））

『地域3（中部）』においては、「19. 急病時に診てもらえる医療機関」、「11. 防災対策の充実」、「13. 自主防災対策の充実」などのニーズ得点が高くなっています。

(4) 地域4 (東部)

図表 重要度と満足度の経年比較<平成28年度調査の重要度の高い順> (地域4 (東部))

順位	項目番号	項目の略称	重要度			満足度			象限	ニーズ 得点
			H28	H27	変化	H28	H27	変化		
1位	19	急病時に診てもらえる医療機関	4.63	4.63	+0.00	2.62	2.65	▲0.03	D	15.65
2位	14	犯罪にあう不安のない暮らし	4.46	4.49	▲0.03	3.20	3.05	+0.15	A	12.50
3位	11	防災対策の充実	4.44	4.39	+0.05	2.68	2.62	+0.06	D	14.75
4位	7	子どもの暴力・いじめの撲滅	4.43	4.43	+0.00	2.84	2.84	+0.00	D	14.00
5位	23	適切な介護サービスの充実	4.25	4.39	▲0.14	2.97	2.85	+0.12	A	12.88
6位	20	安心できる周産期医療体制	4.25	4.30	▲0.05	2.69	2.67	+0.02	D	14.05
7位	13	自主防災対策の充実	4.22	4.17	+0.04	2.63	2.63	▲0.00	D	14.22
8位	30	失業の不安がない社会づくり	4.20	4.34	▲0.14	2.63	2.51	+0.12	D	14.13
9位	12	食品・薬品等の安全性の確保	4.19	4.22	▲0.03	3.16	3.10	+0.06	A	11.89
10位	25	子どもが健全に育つ環境づくり	4.16	4.22	▲0.06	2.93	2.84	+0.09	A	12.77
11位	26	精神的な緊張の軽減	4.10	4.03	+0.07	2.90	2.89	+0.01	A	12.71
12位	24	高齢者・障害者が安心できるまちづくり	4.09	4.19	▲0.10	2.74	2.64	+0.10	D	13.31
13位	2	公共交通の利便性	4.06	4.01	+0.05	2.60	2.42	+0.18	D	13.80
14位	33	多様な就業環境の整備	4.03	4.01	+0.02	2.55	2.44	+0.11	D	13.92
15位	18	市町村行政に対する住民意向の反映	4.01	4.01	+0.00	2.37	2.44	▲0.07	D	14.55
16位	22	障害者支援サービスの充実	3.99	4.15	▲0.16	2.88	2.75	+0.13	A	12.46
17位	8	文化遺産や史跡の保存	3.97	3.87	+0.10	3.52	3.39	+0.13	A	9.84
18位	5	能力を伸ばす小中学校教育	3.95	3.85	+0.10	2.88	2.83	+0.05	A	12.31
19位	31	保育所の充実	3.91	3.83	+0.08	3.08	3.01	+0.07	B	11.44
20位	21	住んでいる地域においてつながりが感じられること	3.90	-	-	2.96	-	-	B	11.85
21位	1	品揃えの豊富な店	3.85	3.97	▲0.12	2.70	2.58	+0.12	C	12.68
22位	29	ゴミのリサイクルの促進	3.84	3.96	▲0.12	3.02	3.15	▲0.13	B	11.45
23位	32	県内で購入可能な商品の充実	3.83	3.73	+0.10	2.96	2.96	▲0.00	B	11.66
24位	15	地域に活気・魅力があること	3.83	3.87	▲0.04	2.41	2.36	+0.05	C	13.77
25位	27	地域の景観・町並の美しさ	3.83	3.90	▲0.07	3.13	3.00	+0.13	B	10.97
26位	6	個性を尊重する高校教育	3.81	3.81	+0.00	2.85	2.80	+0.05	C	12.00
27位	9	生涯を通じた教養・趣味の拡大	3.76	3.82	▲0.06	2.95	2.90	+0.05	B	11.45
28位	28	CO2削減へ向けた取り組み	3.69	3.76	▲0.07	2.80	2.86	▲0.06	C	11.81
29位	17	男女が能力を發揮できる社会の実現	3.61	3.63	▲0.02	2.73	2.67	+0.06	C	11.83
30位	10	公園・運動施設等の利便性	3.34	3.49	▲0.15	2.82	2.73	+0.09	C	10.62
31位	3	休日の渋滞解消	3.31	3.26	+0.05	3.19	3.12	+0.07	B	9.28
32位	4	平日の渋滞解消	3.29	3.18	+0.11	3.32	3.18	+0.14	B	8.80
33位	16	ボランティア・NPOへの参加	3.04	3.07	▲0.03	2.71	2.70	+0.01	C	10.00
項目全体の平均			3.95	3.97	▲0.02	2.86	2.80	+0.06	-	12.40

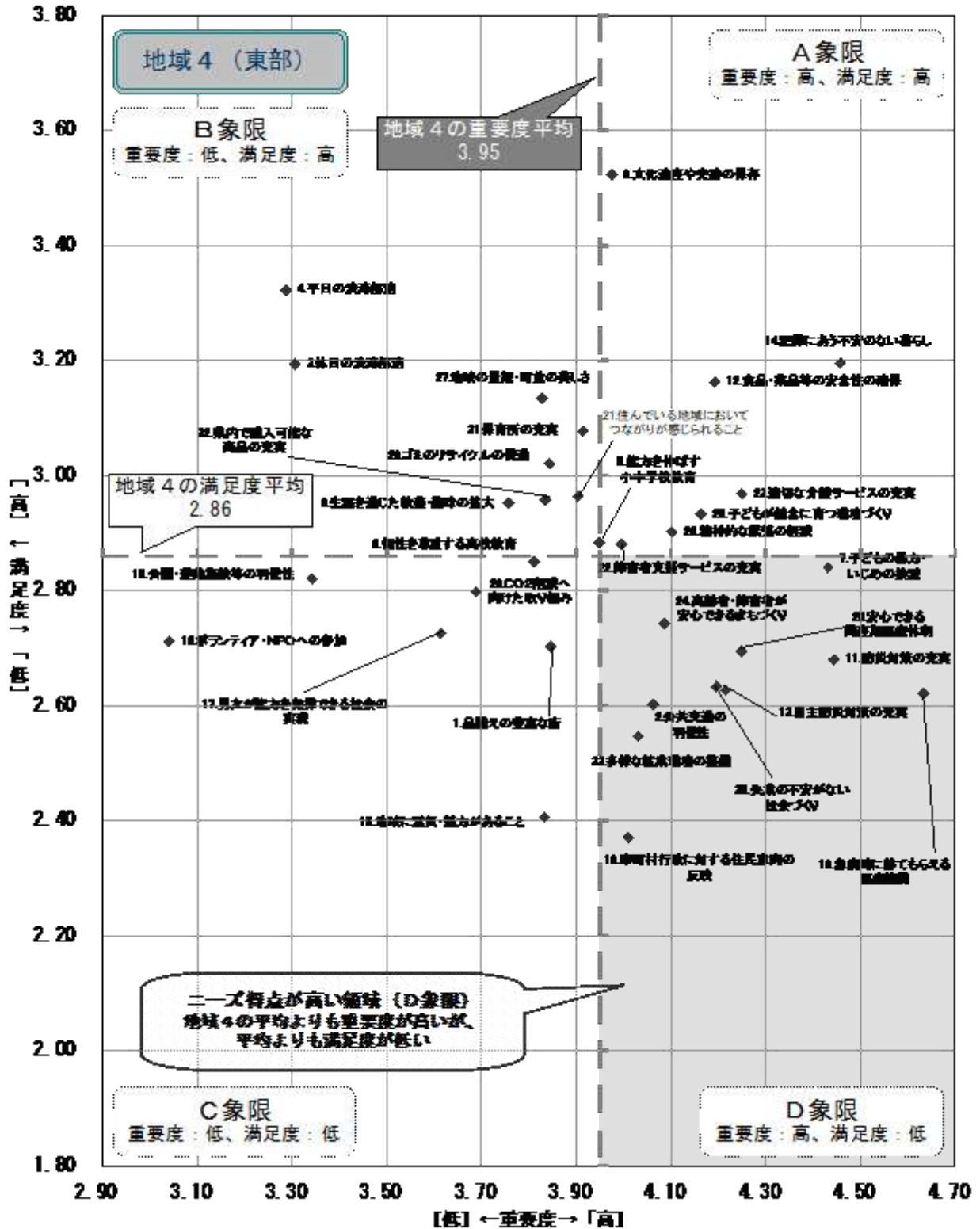
(注) 点数表記は小数第2位までだが、順位決定には小数第3位以下も考慮している。象限のA～Dの記号の対応は、53ページ参照。

網かけは、重要度では今回の点数が前回に比べて上昇したことを示し、満足度では今回の点数が前回に比べて低下したことを示している。ニーズ得点の太字は、ニーズ得点が高い上位3項目を示している。

■地域別 (地域4 (東部))

重要度が上昇したにも関わらず満足度が低下した項目は、「19. 急病時に診てもらえる医療機関」、「13. 自主防災対策の充実」「18. 市町村行政に対する住民意向の反映」、「32. 県内で購入可能な商品の充実」で、33項目中4項目となっています。

図表 今回調査の重要度と満足度の関係図（地域4（東部））



■地域別（地域4（東部））

『地域4（東部）』においては、「19. 急病時に診てもらえる医療機関」、「11. 防災対策の充実」「18. 市町村行政に対する住民意向の反映」などのニーズ得点が高くなっています。

(5) 地域5 (南東部)

図表 重要度と満足度の経年比較<平成28年度調査の重要度の高い順> (地域5 (南東部))

順位	項目番号	項目の略称	重要度			満足度			象限	ニーズ 得点
			H28	H27	変化	H28	H27	変化		
1位	19	急病時に診てもらえる医療機関	4.59	4.58	+0.01	2.56	2.33	+0.23	D	15.81
2位	11	防災対策の充実	4.48	4.53	▲0.05	2.69	2.73	▲0.04	D	14.85
3位	14	犯罪にあう不安のない暮らし	4.42	4.44	▲0.02	3.26	3.23	+0.03	A	12.11
4位	7	子どもの暴力・いじめの撲滅	4.37	4.40	▲0.03	3.05	3.11	▲0.06	A	12.89
5位	23	適切な介護サービスの充実	4.27	4.40	▲0.13	2.85	2.79	+0.06	A	13.48
6位	12	食品・薬品等の安全性の確保	4.25	4.26	▲0.01	3.04	2.91	+0.13	A	12.58
7位	13	自主防災対策の充実	4.22	4.16	+0.06	2.73	2.79	▲0.06	D	13.80
8位	20	安心できる周産期医療体制	4.20	4.39	▲0.19	2.21	1.95	+0.26	D	15.91
9位	30	失業の不安がない社会づくり	4.14	4.32	▲0.18	2.62	2.63	▲0.01	D	13.98
10位	25	子どもが健全に育つ環境づくり	4.11	4.22	▲0.11	3.01	3.01	▲0.00	A	12.31
11位	24	高齢者・障害者が安心できるまちづくり	4.05	4.15	▲0.10	2.68	2.49	+0.19	D	13.44
12位	21	住んでいる地域においてつながりが感じられること	4.03	-	-	3.12	-	-	A	11.60
13位	18	市町村行政に対する住民意向の反映	4.02	4.10	▲0.08	2.52	2.54	▲0.02	D	14.01
14位	22	障害者支援サービスの充実	4.02	4.25	▲0.23	2.78	2.61	+0.17	D	12.96
15位	33	多様な就業環境の整備	3.99	4.13	▲0.14	2.46	2.45	+0.01	D	14.15
16位	15	地域に活気・魅力があること	3.99	3.91	+0.08	2.26	2.26	+0.00	D	14.91
17位	8	文化遺産や史跡の保存	3.96	4.01	▲0.05	3.33	3.44	▲0.12	A	10.59
18位	5	能力を伸ばす小中学校教育	3.90	3.91	▲0.01	2.91	2.90	+0.01	B	12.06
19位	26	精神的な緊張の軽減	3.89	4.03	▲0.14	2.96	2.99	▲0.03	B	11.82
20位	2	公共交通の利便性	3.89	3.92	▲0.03	2.15	2.04	+0.11	C	15.00
21位	29	ゴミのリサイクルの促進	3.85	3.99	▲0.14	3.29	3.46	▲0.17	B	10.41
22位	27	地域の景観・町並の美しさ	3.82	3.90	▲0.08	3.22	3.30	▲0.08	B	10.62
23位	1	品揃えの豊富な店	3.81	3.74	+0.07	2.20	2.12	+0.08	C	14.50
24位	17	男女が能力を発揮できる社会の実現	3.77	3.76	+0.01	2.68	2.66	+0.02	C	12.50
25位	6	個性を尊重する高校教育	3.77	3.80	▲0.03	2.81	2.84	▲0.03	C	12.02
26位	31	保育所の充実	3.76	3.86	▲0.10	3.18	3.16	+0.02	B	10.60
27位	9	生涯を通じた教養・趣味の拡大	3.72	3.89	▲0.17	2.95	2.83	+0.12	B	11.36
28位	32	県内で購入可能な商品の充実	3.66	3.87	▲0.21	2.86	2.97	▲0.11	B	11.50
29位	28	CO2削減へ向けた取り組み	3.57	3.70	▲0.13	3.01	3.01	+0.00	B	10.66
30位	10	公園・運動施設等の利便性	3.40	3.37	+0.03	2.88	2.85	+0.03	B	10.60
31位	4	平日の渋滞解消	3.23	3.29	▲0.06	3.17	3.18	▲0.01	B	9.13
32位	3	休日の渋滞解消	3.20	3.22	▲0.02	3.03	3.01	+0.02	B	9.50
33位	16	ボランティア・NPOへの参加	3.14	3.18	▲0.04	2.74	2.76	▲0.02	C	10.23
項目全体の平均			3.92	3.99	▲0.07	2.82	2.79	+0.03	-	12.48

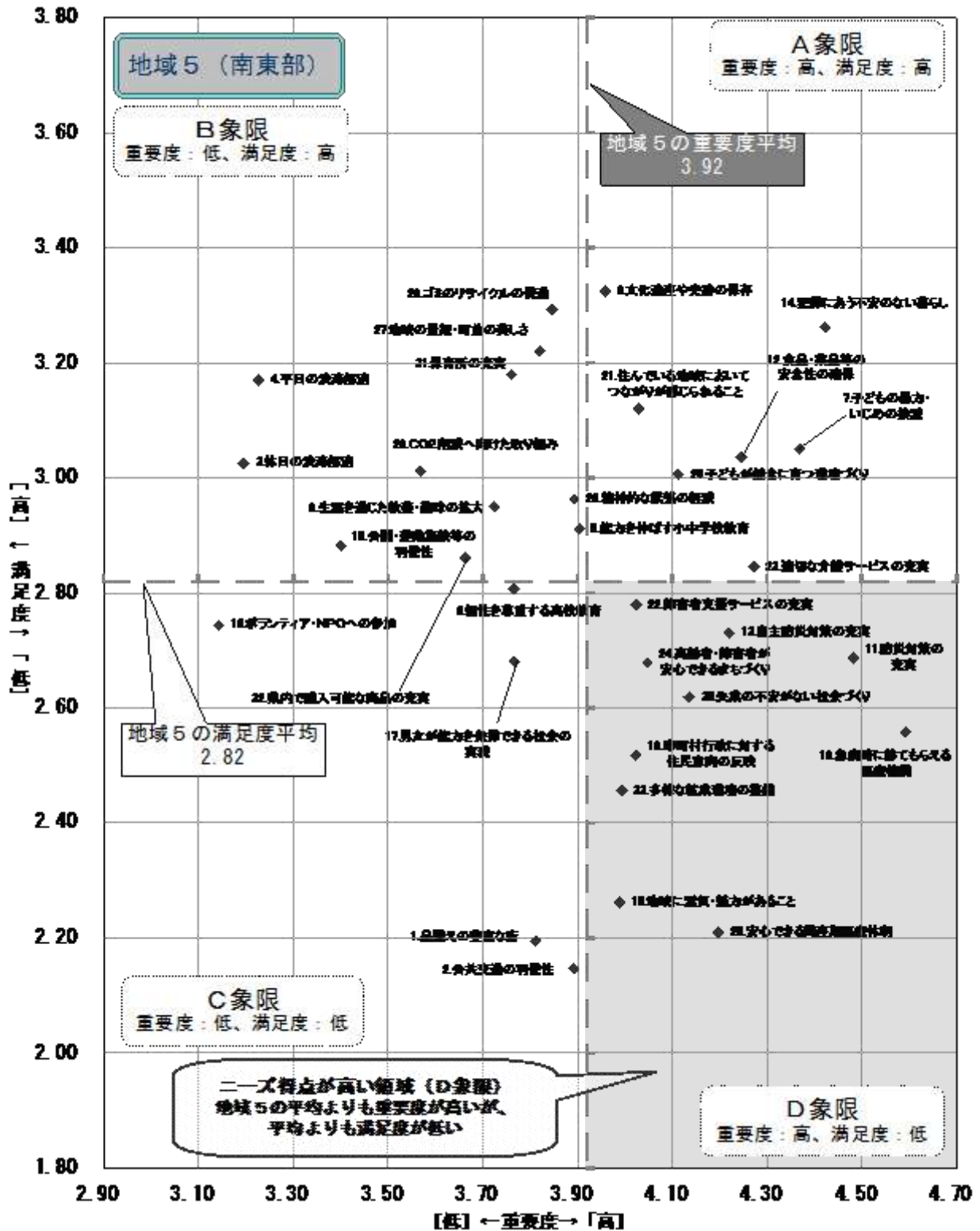
(注) 点数表記は小数第2位までだが、順位決定には小数第3位以下も考慮している。象限のA～Dの記号の対応は、53ページ参照。

網かけは、重要度では今回の点数が前回に比べて上昇したことを示し、満足度では今回の点数が前回に比べて低下したことを示している。ニーズ得点の太字は、ニーズ得点が高い上位3項目を示している。

■地域別 (地域5 (南東部))

重要度が上昇したにも関わらず満足度が低下した項目は、「13. 自主防災対策の充実」で、33項目中1項目となっています。

図表 今回調査の重要度と満足度の関係図（地域5（南東部））



■地域別（地域5（南東部））

『地域5（南東部）』においては、「20.安心できる周産期医療体制」「19.急病時に診てもらえる医療機関」、「2.公共交通の利便性」などのニーズ得点が高くなっています。

(6) 地域6 (南西部)

図表 重要度と満足度の経年比較<平成28年度調査の重要度の高い順> (地域6 (南西部))

順位	項目番号	項目の略称	重要度			満足度			象限	ニーズ得点
			H28	H27	変化	H28	H27	変化		
1位	19	急病時に診てもらえる医療機関	4.56	4.71	▲0.15	2.57	2.45	+0.12	D	15.65
2位	11	防災対策の充実	4.49	4.56	▲0.07	2.66	2.70	▲0.04	D	15.02
3位	14	犯罪にあう不安のない暮らし	4.47	4.49	▲0.02	3.08	3.08	+0.00	A	13.05
4位	7	子どもの暴力・いじめの撲滅	4.35	4.54	▲0.19	3.01	2.90	+0.11	A	13.01
5位	20	安心できる周産期医療体制	4.33	4.49	▲0.16	2.05	1.89	+0.16	D	17.13
6位	23	適切な介護サービスの充実	4.31	4.37	▲0.06	2.79	2.65	+0.14	A	13.84
7位	12	食品・薬品等の安全性の確保	4.31	4.23	+0.08	2.86	3.00	▲0.14	A	13.52
8位	13	自主防災対策の充実	4.25	4.21	+0.04	2.59	2.74	▲0.15	D	14.50
9位	30	失業の不安がない社会づくり	4.23	4.37	▲0.14	2.46	2.54	▲0.08	D	14.95
10位	24	高齢者・障害者が安心できるまちづくり	4.09	4.11	▲0.02	2.49	2.52	▲0.03	D	14.37
11位	25	子どもが健全に育つ環境づくり	4.08	4.36	▲0.28	2.72	2.79	▲0.07	D	13.39
12位	2	公共交通の利便性	4.06	3.84	+0.22	1.85	1.78	+0.07	D	16.84
13位	33	多様な就業環境の整備	4.06	4.20	▲0.14	2.34	2.30	+0.04	D	14.84
14位	22	障害者支援サービスの充実	4.05	4.19	▲0.14	2.70	2.47	+0.23	D	13.36
15位	18	市町村行政に対する住民意向の反映	4.03	4.04	▲0.01	2.53	2.43	+0.10	D	13.98
16位	29	ゴミのリサイクルの促進	4.03	3.99	+0.04	3.07	3.12	▲0.05	A	11.81
17位	32	県内で購入可能な商品の充実	3.95	3.79	+0.16	2.76	2.72	+0.04	B	12.79
18位	8	文化遺産や史跡の保存	3.94	3.94	+0.00	3.31	3.38	▲0.07	B	10.59
19位	21	住んでいる地域においてつながりが感じられること	3.92	-	-	2.98	-	-	B	11.86
20位	1	品揃えの豊富な店	3.92	3.70	+0.22	2.21	2.42	▲0.21	C	14.86
21位	5	能力を伸ばす小中学校教育	3.92	3.93	▲0.01	2.88	2.79	+0.09	B	12.22
22位	26	精神的な緊張の軽減	3.89	3.96	▲0.07	2.73	2.86	▲0.13	B	12.71
23位	28	CO2削減へ向けた取り組み	3.85	3.79	+0.06	2.80	2.83	▲0.03	B	12.33
24位	6	個性を尊重する高校教育	3.80	3.90	▲0.10	2.90	2.82	+0.08	B	11.78
25位	27	地域の景観・町並の美しさ	3.80	3.78	+0.02	3.08	2.97	+0.11	B	11.07
26位	31	保育所の充実	3.80	4.00	▲0.20	3.16	3.00	+0.16	B	10.76
27位	15	地域に活気・魅力があること	3.79	4.00	▲0.21	2.22	2.33	▲0.11	C	14.32
28位	17	男女が能力を発揮できる社会の実現	3.59	3.84	▲0.25	2.74	2.65	+0.09	B	11.70
29位	9	生涯を通じた教養・趣味の拡大	3.59	3.96	▲0.37	2.75	2.75	+0.00	B	11.66
30位	10	公園・運動施設等の利便性	3.45	3.55	▲0.10	2.59	2.63	▲0.04	C	11.76
31位	4	平日の渋滞解消	3.36	3.31	+0.05	3.15	3.03	+0.12	B	9.57
32位	3	休日の渋滞解消	3.32	3.30	+0.02	3.07	2.94	+0.13	B	9.73
33位	16	ボランティア・NPOへの参加	3.03	3.20	▲0.17	2.71	2.71	▲0.00	C	10.00
項目全体の平均			3.96	4.02	▲0.06	2.72	2.69	+0.03	-	13.00

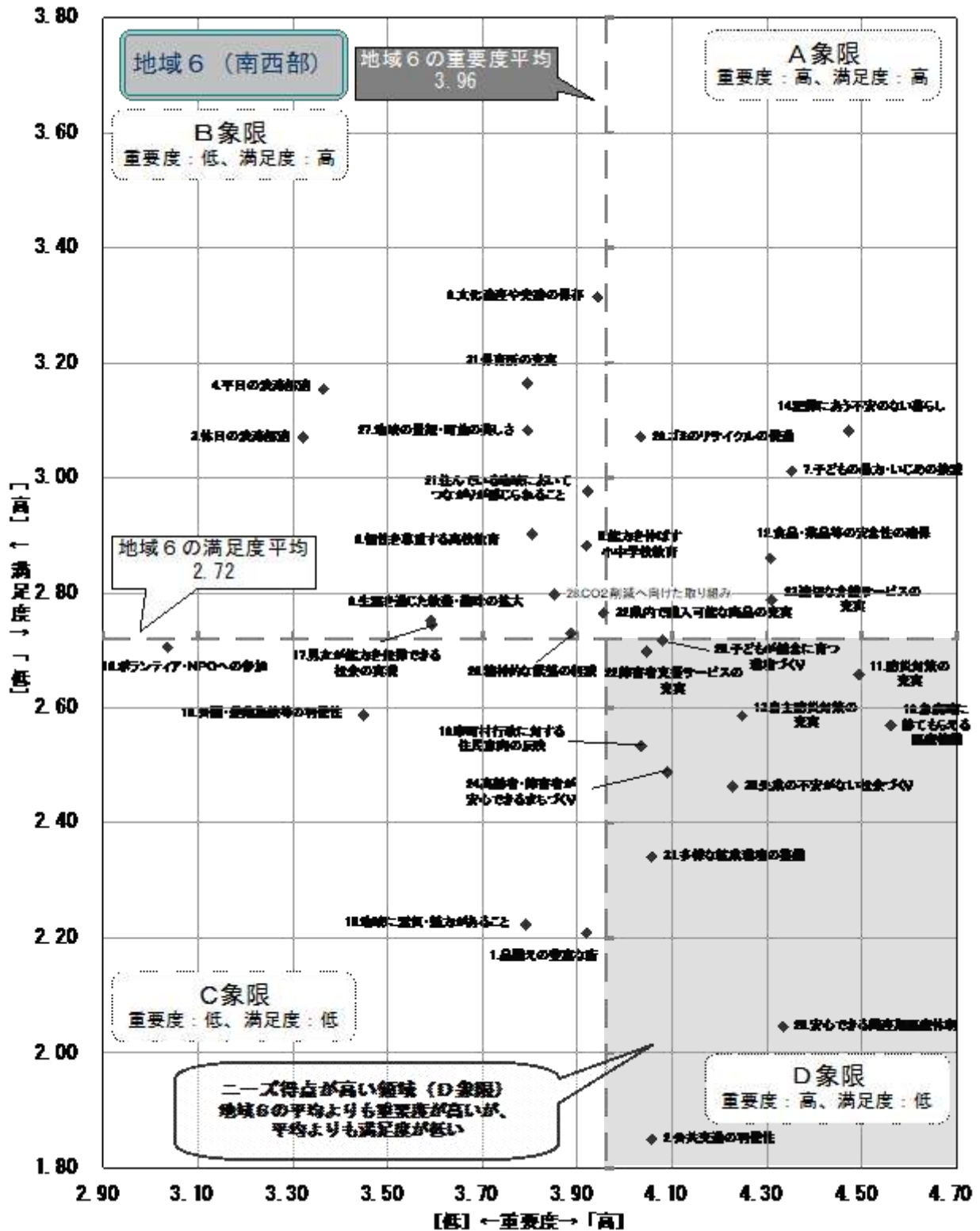
(注) 点数表記は小数第2位までだが、順位決定には小数第3位以下も考慮している。象限のA～Dの記号の対応は、53ページ参照。

網かけは、重要度では今回の点数が前回に比べて上昇したことを示し、満足度では今回の点数が前回に比べて低下したことを示している。ニーズ得点の太字は、ニーズ得点が高い上位3項目を示している。

■地域別 (地域6 (南西部))

重要度が上昇したにも関わらず満足度が低下した項目は、「12. 食品・薬品等の安全性の確保」「13. 自主防災対策の充実」「29. ゴミのリサイクルの促進」「8. 文化遺産や史跡の保存」「1. 品揃えの豊富な店」「28. CO2削減へ向けた取り組み」で、33項目中6項目となっています。

図表 今回調査の重要度と満足度の関係図（地域6（南西部））



■地域別（地域6（南西部））

『地域6（南西部）』においては、「20. 安心できる周産期医療体制」、「2. 公共交通の利便性」、「19. 急病時に診てもらえる医療機関」などのニーズ得点が高くなっています。

Ⅱ－４ 県全体と属性別の重要度・満足度の傾向の比較

(1) 地域別の重要度・満足度の比較

図表 「県全体」の重要度上位10項目及び地域別での比較

順位	項目番号	項目の略称	重要度						
			県全体	地域1 (北部)	地域2 (西部)	地域3 (中部)	地域4 (東部)	地域5 (南東部)	地域6 (南西部)
1位	19	急病時に診てもらえる医療機関	4.57	4.55	4.58	4.59	4.63	4.59	4.56
2位	14	犯罪にあう不安のない暮らし	4.50	4.51	4.51	4.53	4.46	4.42	4.47
3位	11	防災対策の充実	4.42	4.38	4.47	4.45	4.44	4.48	4.49
4位	7	子どもの暴力・いじめの撲滅	4.42	4.40	4.41	4.48	4.43	4.37	4.35
5位	12	食品・薬品等の安全性の確保	4.29	4.28	4.36	4.32	4.19	4.25	4.31
6位	23	適切な介護サービスの充実	4.26	4.26	4.31	4.23	4.25	4.27	4.31
7位	20	安心できる周産期医療体制	4.24	4.21	4.19	4.31	4.25	4.20	4.33
8位	30	失業の不安がない社会づくり	4.22	4.21	4.19	4.29	4.20	4.14	4.23
9位	13	自主防災対策の充実	4.19	4.16	4.22	4.23	4.22	4.22	4.25
10位	25	子どもが健全に育つ環境づくり	4.15	4.13	4.14	4.19	4.16	4.11	4.08

(注) 網かけは、地域別での重要度が「県全体」よりも高いことを示している。比較の際に小数第3位以下も考慮しているため、県全体と点数が同じ場合にも網かけをしていることがある。

■県全体の重要度との比較（地域別）

県全体の上位10項目を地域別にみると、県全体と比べて重要度が高い項目の数は『地域3（中部）』が9項目で最も多くなっています。一方、最も少ないのは『地域1（北部）』の2項目となっています。

図表 地域別の重要度上位5項目の傾向

	重要度				
	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
県全体	19 急病時に診てもらえる医療機関 4.57	14 犯罪にあう不安のない暮らし 4.50	11 防災対策の充実 4.42	7 子どもの暴力・いじめの撲滅 4.42	12 食品・薬品等の安全性の確保 4.29
地域1 (北部)	19 急病時に診てもらえる医療機関 4.55	14 犯罪にあう不安のない暮らし 4.51	7 子どもの暴力・いじめの撲滅 4.40	11 防災対策の充実 4.38	12 食品・薬品等の安全性の確保 4.28
地域2 (西部)	19 急病時に診てもらえる医療機関 4.58	14 犯罪にあう不安のない暮らし 4.51	11 防災対策の充実 4.47	7 子どもの暴力・いじめの撲滅 4.41	12 食品・薬品等の安全性の確保 4.36
地域3 (中部)	19 急病時に診てもらえる医療機関 4.59	14 犯罪にあう不安のない暮らし 4.53	7 子どもの暴力・いじめの撲滅 4.48	11 防災対策の充実 4.45	12 食品・薬品等の安全性の確保 4.32
地域4 (東部)	19 急病時に診てもらえる医療機関 4.63	14 犯罪にあう不安のない暮らし 4.46	11 防災対策の充実 4.44	7 子どもの暴力・いじめの撲滅 4.43	23 適切な介護サービスの充実 4.25
地域5 (南東部)	19 急病時に診てもらえる医療機関 4.59	11 防災対策の充実 4.48	14 犯罪にあう不安のない暮らし 4.42	7 子どもの暴力・いじめの撲滅 4.37	23 適切な介護サービスの充実 4.27
地域6 (南西部)	19 急病時に診てもらえる医療機関 4.56	11 防災対策の充実 4.49	14 犯罪にあう不安のない暮らし 4.47	7 子どもの暴力・いじめの撲滅 4.35	20 安心できる周産期医療体制 4.33

(注) 網かけは、地域にはあるが「県全体」の上位5項目にはない項目。

点数表記は小数第2位までだが、順位の設定には小数第3位以下も考慮し決定している。

■重要度上位5項目の傾向（地域別）

重要度上位5項目で、個別の地域にはあるが県全体にはない項目は、「20. 安心できる周産期医療体制」（『地域6（南西部）』）、「23. 適切な介護サービスの充実」（『地域4（東部）』、『地域5（南東部）』）となっています。

図表 県全体の満足度上位10項目と下位10項目及び地域別での比較

順位	項目番号	項目の略称	満足度						
			県全体	地域1 (北部)	地域2 (西部)	地域3 (中部)	地域4 (東部)	地域5 (南東部)	地域6 (南西部)
1位	8	文化遺産や史跡の保存	3.58	3.62	3.65	3.60	3.52	3.33	3.31
2位	27	地域の景観・町並の美しさ	3.19	3.22	3.26	3.14	3.13	3.22	3.08
3位	12	食品・薬品等の安全性の確保	3.18	3.20	3.20	3.20	3.16	3.04	2.86
4位	29	ゴミのリサイクルの促進	3.15	3.13	3.31	3.11	3.02	3.29	3.07
5位	14	犯罪にあう不安のない暮らし	3.14	3.12	3.24	3.09	3.20	3.26	3.08
6位	1	品揃えの豊富な店	3.09	3.21	3.11	3.33	2.70	2.20	2.21
7位	4	平日の渋滞解消	3.08	3.01	3.10	3.10	3.32	3.17	3.15
8位	9	生涯を通じた教養・趣味の拡大	3.02	3.04	3.07	3.06	2.95	2.95	2.75
9位	2	公共交通の利便性	3.01	3.22	3.08	3.10	2.60	2.15	1.85
10位	3	休日の渋滞解消	2.98	2.90	3.10	3.00	3.19	3.03	3.07
⋮	⋮	⋮							
24位	16	ボランティア・NPOへの参加	2.84	2.87	2.82	2.87	2.71	2.74	2.71
25位	11	防災対策の充実	2.83	2.87	3.00	2.80	2.68	2.69	2.66
26位	24	高齢者・障害者が安心できるまちづくり	2.80	2.83	2.84	2.81	2.74	2.68	2.49
27位	17	男女が能力を発揮できる社会の実現	2.78	2.80	2.78	2.80	2.73	2.68	2.74
28位	20	安心できる周産期医療体制	2.78	2.91	2.82	2.78	2.69	2.21	2.05
29位	30	失業の不安がない社会づくり	2.73	2.75	2.81	2.75	2.63	2.62	2.46
30位	13	自主防災対策の充実	2.72	2.73	2.82	2.70	2.63	2.73	2.59
31位	15	地域に活気・魅力があること	2.69	2.79	2.75	2.73	2.41	2.26	2.22
32位	33	多様な就業環境の整備	2.59	2.61	2.69	2.60	2.55	2.46	2.34
33位	18	市町村行政に対する住民意向の反映	2.53	2.53	2.64	2.54	2.37	2.52	2.53

(注) 網かけは、地域での満足度が「県全体」よりも低いことを示している。比較の際には小数第3位以下も考慮しているため、県全体と点数が同じ場合にも網かけをしていることがある。

■満足度上位10項目・下位10項目の傾向（地域別）

『県全体』の満足度の上位10項目について地域別でみると、『地域2（西部）』、『地域1（北部）』、『地域3（中部）』では『県全体』を下回る項目が少ないのに比べ、『地域6（南西部）』では上位10項目中8項目で『県全体』を下回っています。

また、下位10項目については、『地域1（北部）』ではすべてで『県全体』を上回っていますが、『地域4（東部）』は10項目すべてで、『地域5（南東部）』、『地域6（南西部）』では9項目で『県全体』を下回っています。

図表 地域別の満足度上位5項目の傾向

	満足度				
	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
県全体	8 文化遺産や史跡の保存	27 地域の景観・町並の美しさ	12 食品・薬品等の安全性の確保	29 ゴミのリサイクルの促進	14 犯罪にあう不安のない暮らし
	3.58	3.19	3.18	3.15	3.14
地域1 (北部)	8 文化遺産や史跡の保存	2 公共交通の利便性	27 地域の景観・町並の美しさ	1 品揃えの豊富な店	12 食品・薬品等の安全性の確保
	3.62	3.22	3.22	3.21	3.20
地域2 (西部)	8 文化遺産や史跡の保存	29 ゴミのリサイクルの促進	27 地域の景観・町並の美しさ	14 犯罪にあう不安のない暮らし	12 食品・薬品等の安全性の確保
	3.65	3.31	3.26	3.24	3.20
地域3 (中部)	8 文化遺産や史跡の保存	1 品揃えの豊富な店	12 食品・薬品等の安全性の確保	27 地域の景観・町並の美しさ	29 ゴミのリサイクルの促進
	3.60	3.33	3.20	3.14	3.11
地域4 (東部)	8 文化遺産や史跡の保存	4 平日の渋滞解消	14 犯罪にあう不安のない暮らし	3 休日の渋滞解消	12 食品・薬品等の安全性の確保
	3.52	3.32	3.20	3.19	3.16
地域5 (南東部)	8 文化遺産や史跡の保存	29 ゴミのリサイクルの促進	14 犯罪にあう不安のない暮らし	27 地域の景観・町並の美しさ	31 保育所の充実
	3.33	3.29	3.26	3.22	3.18
地域6 (南西部)	8 文化遺産や史跡の保存	31 保育所の充実	4 平日の渋滞解消	27 地域の景観・町並の美しさ	14 犯罪にあう不安のない暮らし
	3.31	3.16	3.15	3.08	3.08

(注) 網かけは、地域にはあるが「県全体」の上位5項目にはない項目。
 点数表記は小数第2位までだが、順位決定には小数第3位以下も考慮し決定している。

図表 地域別の満足度下位5項目の傾向

	満足度				
	第33位	第32位	第31位	第30位	第29位
県全体	18 市町村行政に対する住民意向の反映	33 多様な就業環境の整備	15 地域に活気・魅力があること	13 自主防災対策の充実	30 失業の不安がない社会づくり
	2.53	2.59	2.69	2.72	2.73
地域1 (北部)	18 市町村行政に対する住民意向の反映	33 多様な就業環境の整備	13 自主防災対策の充実	30 失業の不安がない社会づくり	15 地域に活気・魅力があること
	2.53	2.61	2.73	2.75	2.79
地域2 (西部)	18 市町村行政に対する住民意向の反映	33 多様な就業環境の整備	15 地域に活気・魅力があること	17 男女が能力を發揮できる社会の実現	30 失業の不安がない社会づくり
	2.64	2.69	2.75	2.78	2.81
地域3 (中部)	18 市町村行政に対する住民意向の反映	33 多様な就業環境の整備	13 自主防災対策の充実	15 地域に活気・魅力があること	30 失業の不安がない社会づくり
	2.54	2.60	2.70	2.73	2.75
地域4 (東部)	18 市町村行政に対する住民意向の反映	15 地域に活気・魅力があること	33 多様な就業環境の整備	2 公共交通の利便性	19 急病時に診てもらえる医療機関
	2.37	2.41	2.55	2.60	2.62
地域5 (南東部)	2 公共交通の利便性	1 品揃えの豊富な店	20 安心できる周産期医療体制	15 地域に活気・魅力があること	33 多様な就業環境の整備
	2.15	2.20	2.21	2.26	2.46
地域6 (南西部)	2 公共交通の利便性	20 安心できる周産期医療体制	1 品揃えの豊富な店	15 地域に活気・魅力があること	33 多様な就業環境の整備
	1.85	2.05	2.21	2.22	2.34

(注) 網かけは、地域にはあるが「県全体」の下位5項目にはない項目。
 点数表記は小数第2位までだが、順位決定には小数第3位以下も考慮し決定している。

■満足度上位5項目 (地域別)

地域別の満足度上位5項目で、個別の地域にあるが『県全体』にはない項目は、「1. 品揃えの豊富な店」(地域1 (北部)、地域3 (中部))、「2. 公共交通の利便性」(地域1 (北部))、「3. 休日の渋滞解消」(地域4 (東部))、「4. 平日の渋滞解消」(地域4 (東部)、地域6 (南西部))、「31. 保育所の充実」(地域5 (南東部)、地域6 (南西部))となっています。

■満足度下位5項目（地域別）

地域別の満足度下位5項目で、個別の地域にあるが『県全体』にはない項目は、「1. 品揃えの豊富な店」（地域5（南東部）、地域6（南西部））、「2. 公共交通の利便性」（地域4（東部）、地域5（南東部）、地域6（南西部））、「17. 男女が能力を発揮できる社会の実現」（地域2（西部））、「19. 急病時に診てもらえる医療機関」（地域4（東部））、「20. 安心できる周産期医療体制」（地域5（南東部）、地域6（南西部））となっています。

(2) ライフステージ別の重要度・満足度の比較

図表 県全体の重要度上位10項目及びライフステージ別での比較

順位	項目番号	項目の略称	重要度							
			県全体	若者	夫婦	育児期	教育期前期	教育期後期	単身高齢者	高齢者夫婦
1位	19	急病時に診てもらえる医療機関	4.57	4.60	4.60	4.66	4.57	4.53	4.61	4.49
2位	14	犯罪にあう不安のない暮らし	4.50	4.54	4.48	4.66	4.55	4.51	4.46	4.32
3位	11	防災対策の充実	4.42	4.44	4.45	4.40	4.46	4.41	4.36	4.27
4位	7	子どもの暴力・いじめの撲滅	4.42	4.46	4.28	4.75	4.61	4.42	4.32	4.31
5位	12	食品・薬品等の安全性の確保	4.29	4.34	4.28	4.35	4.29	4.30	4.28	4.17
6位	23	適切な介護サービスの充実	4.26	4.18	4.29	4.12	4.17	4.26	4.30	4.29
7位	20	安心できる周産期医療体制	4.24	4.41	4.22	4.48	4.27	4.21	4.27	4.08
8位	30	失業の不安がない社会づくり	4.22	4.45	4.21	4.31	4.30	4.20	4.05	3.95
9位	13	自主防災対策の充実	4.19	4.21	4.25	4.16	4.19	4.19	4.12	4.04
10位	25	子どもが健全に育つ環境づくり	4.15	4.20	3.99	4.44	4.33	4.11	4.17	4.06

(注) 網かけは、ライフステージ別での重要度が「県全体」よりも高いことを示している。比較の際に小数第3位以下も考慮しているため、県全体と点数が同じ場合にも網かけをしていることがある。

■県全体の重要度との比較（ライフステージ別）

『県全体』の重要度上位10項目をライフステージ別にみると、『若者』、『育児期』、『教育期前期』では『県全体』と比べ重要度が高い項目が多くなっています。一方で、『単身高齢者』、『高齢者夫婦』、『夫婦』、『教育期後期』では少なくなっています。

図表 ライフステージ別の重要度上位5項目の傾向

	重要度				
	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
県全体	19 急病時に診てもらえる医療機関 4.57	14 犯罪にあう不安のない暮らし 4.50	11 防災対策の充実 4.42	7 子どもの暴力・いじめの撲滅 4.42	12 食品・薬品等の安全性の確保 4.29
若者	19 急病時に診てもらえる医療機関 4.60	14 犯罪にあう不安のない暮らし 4.54	7 子どもの暴力・いじめの撲滅 4.46	30 失業の不安がない社会づくり 4.45	11 防災対策の充実 4.44
夫婦	19 急病時に診てもらえる医療機関 4.60	14 犯罪にあう不安のない暮らし 4.48	11 防災対策の充実 4.45	23 適切な介護サービスの充実 4.29	12 食品・薬品等の安全性の確保 4.28
育児期	7 子どもの暴力・いじめの撲滅 4.75	19 急病時に診てもらえる医療機関 4.66	14 犯罪にあう不安のない暮らし 4.66	20 安心できる周産期医療体制 4.48	25 子どもが健全に育つ環境づくり 4.44
教育期前期	7 子どもの暴力・いじめの撲滅 4.61	19 急病時に診てもらえる医療機関 4.57	14 犯罪にあう不安のない暮らし 4.55	11 防災対策の充実 4.46	25 子どもが健全に育つ環境づくり 4.33
教育期後期	19 急病時に診てもらえる医療機関 4.53	14 犯罪にあう不安のない暮らし 4.51	7 子どもの暴力・いじめの撲滅 4.42	11 防災対策の充実 4.41	12 食品・薬品等の安全性の確保 4.30
単身高齢者	19 急病時に診てもらえる医療機関 4.61	14 犯罪にあう不安のない暮らし 4.46	11 防災対策の充実 4.36	2 公共交通の利便性 4.36	7 子どもの暴力・いじめの撲滅 4.32
高齢者夫婦	19 急病時に診てもらえる医療機関 4.49	14 犯罪にあう不安のない暮らし 4.32	7 子どもの暴力・いじめの撲滅 4.31	23 適切な介護サービスの充実 4.29	11 防災対策の充実 4.27

(注) 網かけは、ライフステージにはあるが「県全体」の上位5項目にはない項目。
点数表記は小数第2位までだが、順位決定には小数第3位以下も考慮し決定している。

■重要度上位5項目の傾向（ライフステージ別）

ライフステージ別の重要度上位5項目で、個別のライフステージにあるが『県全体』にはない項目は、「2. 公共交通の利便性」（単身高齢者）、「20. 安心できる周産期医療体制」（育児期）、「23. 適切な介護サービスの充実」（夫婦、高齢者夫婦）「25. 子どもが健全に育つ環境づくり」（育児期、教育期前期）、「30. 失業の不安がない社会づくり」（若者）となっています。

図表 県全体の満足度上位10項目と下位10項目及びライフステージ別での比較

順位	項目番号	項目の略称	満足度							
			県全体	若者	夫婦	育児期	教育期前期	教育期後期	単身高齢者	高齢者夫婦
1位	8	文化遺産や史跡の保存	3.58	3.66	3.49	3.51	3.59	3.57	3.68	3.69
2位	27	地域の景観・町並の美しさ	3.19	3.28	3.11	3.16	3.17	3.23	3.20	3.21
3位	12	食品・薬品等の安全性の確保	3.18	3.30	3.03	3.17	3.21	3.23	3.13	3.20
4位	29	ゴミのリサイクルの促進	3.15	3.13	3.04	3.03	3.07	3.14	3.37	3.42
5位	14	犯罪にあう不安のない暮らし	3.14	3.16	3.10	3.16	3.14	3.14	3.10	3.21
6位	1	品揃えの豊富な店	3.09	2.98	3.01	3.07	3.19	3.10	3.30	3.24
7位	4	平日の渋滞解消	3.08	3.02	3.13	3.00	3.08	3.17	3.00	3.17
8位	9	生涯を通じた教養・趣味の拡大	3.02	3.01	2.92	2.98	3.00	2.95	3.15	3.23
9位	2	公共交通の利便性	3.01	2.88	2.99	2.92	2.93	3.00	3.29	3.24
10位	3	休日の渋滞解消	2.98	2.92	3.00	2.82	2.95	3.05	2.97	3.12
⋮	⋮	⋮								
24位	16	ボランティア・NPOへの参加	2.84	2.84	2.80	2.87	2.88	2.80	2.62	2.87
25位	11	防災対策の充実	2.83	2.83	2.76	2.90	2.85	2.80	3.10	2.98
26位	24	高齢者・障害者が安心できるまちづくり	2.80	2.88	2.70	2.86	2.88	2.72	2.77	2.84
27位	17	男女が能力を発揮できる社会の実現	2.78	2.91	2.69	2.81	2.80	2.73	2.54	2.84
28位	20	安心できる周産期医療体制	2.78	2.89	2.68	2.93	2.79	2.72	2.77	2.82
29位	30	失業の不安がない社会づくり	2.73	2.80	2.60	2.77	2.82	2.73	2.76	2.77
30位	13	自主防災対策の充実	2.72	2.62	2.70	2.81	2.76	2.72	2.75	2.81
31位	15	地域に活気・魅力があること	2.69	2.66	2.62	2.81	2.73	2.63	2.58	2.75
32位	33	多様な就業環境の整備	2.59	2.58	2.55	2.54	2.61	2.61	2.59	2.70
33位	18	市町村行政に対する住民意向の反映	2.53	2.58	2.53	2.52	2.52	2.52	2.52	2.57

（注）網かけは、ライフステージでの満足度が「県全体」よりも低いことを示している。比較の際には小数第3位以下も考慮しているため、県全体と点数が同じ場合にも網かけをしていることがある。

■満足度上位10項目・下位10項目の傾向（ライフステージ別）

『県全体』の満足度の上位10項目についてライフステージ別でみると、『高齢者夫婦』では『県全体』を下回る項目がない一方、『育児期』では10項目中9項目、『夫婦』では8項目で『県全体』を下回っています。

また、下位10項目については、『高齢者夫婦』ではすべてで『県全体』を上回っているのに比べ、『夫婦』ではすべてで下回っています。

図表 ライフステージ別の満足度上位5項目の傾向

	満足度				
	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
県全体	8 文化遺産や史跡の保存	27 地域の景観・町並の美しさ	12 食品・薬品等の安全性の確保	29 ゴミのリサイクルの促進	14 犯罪にあう不安のない暮らし
	3.58	3.19	3.18	3.15	3.14
若者	8 文化遺産や史跡の保存	12 食品・薬品等の安全性の確保	27 地域の景観・町並の美しさ	14 犯罪にあう不安のない暮らし	29 ゴミのリサイクルの促進
	3.66	3.30	3.28	3.16	3.13
夫婦	8 文化遺産や史跡の保存	4 平日の渋滞解消	27 地域の景観・町並の美しさ	14 犯罪にあう不安のない暮らし	29 ゴミのリサイクルの促進
	3.49	3.13	3.11	3.10	3.04
育児期	8 文化遺産や史跡の保存	12 食品・薬品等の安全性の確保	27 地域の景観・町並の美しさ	14 犯罪にあう不安のない暮らし	1 品揃えの豊富な店
	3.51	3.17	3.16	3.16	3.07
教育期前期	8 文化遺産や史跡の保存	12 食品・薬品等の安全性の確保	1 品揃えの豊富な店	27 地域の景観・町並の美しさ	14 犯罪にあう不安のない暮らし
	3.59	3.21	3.19	3.17	3.14
教育期後期	8 文化遺産や史跡の保存	27 地域の景観・町並の美しさ	12 食品・薬品等の安全性の確保	4 平日の渋滞解消	14 犯罪にあう不安のない暮らし
	3.57	3.23	3.23	3.17	3.14
単身高齢者	8 文化遺産や史跡の保存	29 ゴミのリサイクルの促進	1 品揃えの豊富な店	2 公共交通の利便性	27 地域の景観・町並の美しさ
	3.68	3.37	3.30	3.29	3.20
高齢者夫婦	8 文化遺産や史跡の保存	29 ゴミのリサイクルの促進	2 公共交通の利便性	1 品揃えの豊富な店	9 生涯を通じた教養・趣味の拡大
	3.69	3.42	3.24	3.24	3.23

(注) 網かけは、ライフステージにはあるが「県全体」の上位5項目にはない項目。
 点数表記は小数第2位までだが、順位決定には小数第3位以下も考慮し決定している。

図表 ライフステージ別の満足度下位5項目の傾向

	満足度				
	第33位	第32位	第31位	第30位	第29位
県全体	18 市町村行政に対する住民意向の反映	33 多様な就業環境の整備	15 地域に活気・魅力があること	13 自主防災対策の充実	30 失業の不安がない社会づくり
	2.53	2.59	2.69	2.72	2.73
若者	18 市町村行政に対する住民意向の反映	33 多様な就業環境の整備	13 自主防災対策の充実	15 地域に活気・魅力があること	32 県内で購入可能な商品の充実
	2.58	2.58	2.62	2.66	2.78
夫婦	18 市町村行政に対する住民意向の反映	33 多様な就業環境の整備	30 失業の不安がない社会づくり	15 地域に活気・魅力があること	20 安心できる周産期医療体制
	2.53	2.55	2.60	2.62	2.68
育児期	18 市町村行政に対する住民意向の反映	33 多様な就業環境の整備	30 失業の不安がない社会づくり	31 保育所の充実	15 地域に活気・魅力があること
	2.52	2.54	2.77	2.80	2.81
教育期前期	18 市町村行政に対する住民意向の反映	33 多様な就業環境の整備	15 地域に活気・魅力があること	13 自主防災対策の充実	19 急病時に診てもらえる医療機関
	2.52	2.61	2.73	2.76	2.76
教育期後期	18 市町村行政に対する住民意向の反映	33 多様な就業環境の整備	15 地域に活気・魅力があること	13 自主防災対策の充実	20 安心できる周産期医療体制
	2.52	2.61	2.63	2.72	2.72
単身高齢者	18 市町村行政に対する住民意向の反映	17 男女が能力を発揮できる社会の実現	15 地域に活気・魅力があること	33 多様な就業環境の整備	16 ボランティア・NPOへの参加
	2.52	2.54	2.58	2.59	2.62
高齢者夫婦	18 市町村行政に対する住民意向の反映	33 多様な就業環境の整備	15 地域に活気・魅力があること	30 失業の不安がない社会づくり	13 自主防災対策の充実
	2.57	2.70	2.75	2.77	2.81

(注) 網かけは、ライフステージにはあるが「県全体」の下位5項目にはない項目。
 点数表記は小数第2位までだが、順位決定には小数第3位以下も考慮し決定している。

■満足度上位5項目（ライフステージ別）

ライフステージ別の満足度上位5項目で、個別のライフステージにあるが『県全体』にはない項目は、「1.品揃えの豊富な店」（育児期、教育期前期、単身高齢者、高齢者夫婦）、「2.公共交通の利便性」（単身高齢者、高齢者夫婦）、「4.平日の渋滞解消」（夫婦、教育期後期）、「9.生涯を通じた教養・趣味の拡大」（高齢者夫婦）となっています。

■満足度下位5項目（ライフステージ別）

ライフステージ別の満足度下位5項目で、個別のライフステージにあるが『県全体』にはない項目は、「16.ボランティア・NPOへの参加」（単身高齢者）、「17.男女が能力を発揮できる社会の実現」（単身高齢者）、「19.急病時に診てもらえる医療機関」（教育期前期）、「20.安心できる周産期医療体制」（夫婦、教育期後期）、「31.保育所の充実」（育児期）、「32.県内で購入可能な商品の充実（若者）」となっています。

(3) 性別の重要度・満足度の比較

図表 県全体の重要度上位10項目及び性別での比較

順位	項目番号	項目の略称	重要度		
			県全体	男性	女性
1位	19	急病時に診てもらえる医療機関	4.57	4.50	4.62
2位	14	犯罪にあう不安のない暮らし	4.50	4.43	4.56
3位	11	防災対策の充実	4.42	4.32	4.50
4位	7	子どもの暴力・いじめの撲滅	4.42	4.32	4.50
5位	12	食品・薬品等の安全性の確保	4.29	4.18	4.37
6位	23	適切な介護サービスの充実	4.26	4.17	4.33
7位	20	安心できる周産期医療体制	4.24	4.16	4.30
8位	30	失業の不安がない社会づくり	4.22	4.13	4.29
9位	13	自主防災対策の充実	4.19	4.09	4.27
10位	25	子どもが健全に育つ環境づくり	4.15	4.08	4.20

(注) 網かけは、性別での重要度が「県全体」よりも高いことを示している。比較の際に小数第3位以下も考慮しているため、県全体と点数が同じ場合にも網かけをしていることがある。

■県全体の重要度との比較（性別）

『県全体』の重要度上位10項目を性別にみると、『女性』は10項目すべての重要度が『男性』と比べて高くなっています。

図表 性別の重要度上位5項目の傾向

	重要度				
	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
県全体	19 急病時に診てもらえる医療機関 4.57	14 犯罪にあう不安のない暮らし 4.50	11 防災対策の充実 4.42	7 子どもの暴力・いじめの撲滅 4.42	12 食品・薬品等の安全性の確保 4.29
男性	19 急病時に診てもらえる医療機関 4.50	14 犯罪にあう不安のない暮らし 4.43	11 防災対策の充実 4.32	7 子どもの暴力・いじめの撲滅 4.32	12 食品・薬品等の安全性の確保 4.18
女性	19 急病時に診てもらえる医療機関 4.62	14 犯罪にあう不安のない暮らし 4.56	11 防災対策の充実 4.50	7 子どもの暴力・いじめの撲滅 4.50	12 食品・薬品等の安全性の確保 4.37

(注) 網かけは、性別にはあるが「県全体」の上位5項目にはない項目。
点数表記は小数第2位までだが、順位の設定には小数第3位以下も考慮し決定している。

■重要度上位5項目の傾向（性別）

性別の重要度上位5項目で、性別にあるが『県全体』にはない項目は、1項目もない結果となっています。

図表 県全体の満足度上位10項目と下位10項目及び性別での比較

順位	項目番号	項目の略称	満足度		
			県全体	男性	女性
1位	8	文化遺産や史跡の保存	3.58	3.57	3.59
2位	27	地域の景観・町並の美しさ	3.19	3.16	3.21
3位	12	食品・薬品等の安全性の確保	3.18	3.21	3.15
4位	29	ゴミのリサイクルの促進	3.15	3.15	3.14
5位	14	犯罪にあう不安のない暮らし	3.14	3.16	3.12
6位	1	品揃えの豊富な店	3.09	3.11	3.08
7位	4	平日の渋滞解消	3.08	2.98	3.15
8位	9	生涯を通じた教養・趣味の拡大	3.02	3.03	3.02
9位	2	公共交通の利便性	3.01	3.09	2.95
10位	3	休日の渋滞解消	2.98	2.92	3.03
⋮	⋮	⋮			
24位	16	ボランティア・NPOへの参加	2.84	2.83	2.84
25位	11	防災対策の充実	2.83	2.85	2.81
26位	24	高齢者・障害者が安心できるまちづくり	2.80	2.82	2.78
27位	17	男女が能力を発揮できる社会の実現	2.78	2.82	2.75
28位	20	安心できる周産期医療体制	2.78	2.79	2.77
29位	30	失業の不安がない社会づくり	2.73	2.75	2.71
30位	13	自主防災対策の充実	2.72	2.75	2.70
31位	15	地域に活気・魅力があること	2.69	2.67	2.70
32位	33	多様な就業環境の整備	2.59	2.61	2.58
33位	18	市町村行政に対する住民意向の反映	2.53	2.50	2.55

(注) 網かけは、性別での満足度が「県全体」よりも低いことを示している。比較の際には小数第3位以下も考慮しているため、県全体と点数が同じ場合にも網かけをしていることがある。

■満足度上位10項目・下位10項目の傾向（性別）

『県全体』の満足度の上位・下位10項目について性別で見ると、『男性』では『県全体』を下回る項目が7項目に比べ、『女性』では13項目と多くなっています。

図表 性別の満足度上位5項目の傾向

	満足度				
	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
県全体	8 文化遺産や史跡の保存 3.58	27 地域の景観・町並の美しさ 3.19	12 食品・薬品等の安全性の確保 3.18	29 ゴミのリサイクルの促進 3.15	14 犯罪にあう不安のない暮らし 3.14
男性	8 文化遺産や史跡の保存 3.57	12 食品・薬品等の安全性の確保 3.21	27 地域の景観・町並の美しさ 3.16	14 犯罪にあう不安のない暮らし 3.16	29 ゴミのリサイクルの促進 3.15
女性	8 文化遺産や史跡の保存 3.59	27 地域の景観・町並の美しさ 3.21	4 平日の渋滞解消 3.15	12 食品・薬品等の安全性の確保 3.15	29 ゴミのリサイクルの促進 3.14

(注) 網かけは、性別にはあるが「県全体」の上位5項目にはない項目。
 点数表記は小数第2位までだが、順位の決定には小数第3位以下も考慮し決定している。

図表 性別の満足度下位5項目の傾向

	満足度				
	第33位	第32位	第31位	第30位	第29位
県全体	18 市町村行政に対する住民意向の反映 2.53	33 多様な就業環境の整備 2.59	15 地域に活気・魅力があること 2.69	13 自主防災対策の充実 2.72	30 失業の不安がない社会づくり 2.73
男性	18 市町村行政に対する住民意向の反映 2.50	33 多様な就業環境の整備 2.61	15 地域に活気・魅力があること 2.67	13 自主防災対策の充実 2.75	30 失業の不安がない社会づくり 2.75
女性	18 市町村行政に対する住民意向の反映 2.55	33 多様な就業環境の整備 2.58	13 自主防災対策の充実 2.70	15 地域に活気・魅力があること 2.70	30 失業の不安がない社会づくり 2.71

(注) 網かけは、性別にはあるが「県全体」の下位5項目にはない項目。
 点数表記は小数第2位までだが、順位の決定には小数第3位以下も考慮し決定している。

■満足度上位5項目（性別）

性別の満足度上位5項目で、性別にはあるが『県全体』にはない項目は、「4. 平日の渋滞解消」（女性）となっています。

■満足度下位5項目（性別）

性別の満足度下位5項目で、性別にはあるが『県全体』にはない項目は、1項目もない結果となっています。

(4) 年齢別の重要度・満足度の比較

図表 県全体の重要度上位10項目及び年齢別での比較

順位	項目番号	項目の略称	重要度						
			県全体	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上
1位	19	急病時に診てもらえる医療機関	4.57	4.60	4.59	4.55	4.59	4.58	4.50
2位	14	犯罪にあう不安のない暮らし	4.50	4.54	4.65	4.58	4.52	4.43	4.32
3位	11	防災対策の充実	4.42	4.44	4.44	4.47	4.47	4.40	4.28
4位	7	子どもの暴力・いじめの撲滅	4.42	4.46	4.59	4.47	4.38	4.35	4.35
5位	12	食品・薬品等の安全性の確保	4.29	4.35	4.34	4.34	4.32	4.24	4.16
6位	23	適切な介護サービスの充実	4.26	4.18	4.12	4.24	4.28	4.31	4.35
7位	20	安心できる周産期医療体制	4.24	4.41	4.44	4.16	4.16	4.22	4.14
8位	30	失業の不安がない社会づくり	4.22	4.44	4.34	4.28	4.27	4.06	4.03
9位	13	自主防災対策の充実	4.19	4.21	4.22	4.26	4.23	4.15	4.07
10位	25	子どもが健全に育つ環境づくり	4.15	4.19	4.27	4.19	4.07	4.11	4.13

(注) 網かけは、年齢別での重要度が「県全体」よりも高いことを示している。比較の際に小数第3位以下も考慮しているため、県全体と点数が同じ場合にも網かけをしていることがある。

■県全体の重要度との比較（年齢別）

『県全体』の重要度上位10項目を年齢別にみると、『20歳代』、『30歳代』では『県全体』と比べ重要度が高い項目が10項目中9項目と多くなっています。一方で、『70歳代以上』では1項目、『60歳代』では2項目と少なくなっています。

図表 年齢別の重要度上位5項目の傾向

	重要度				
	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
県全体	19 急病時に診てもらえる医療機関 4.57	14 犯罪にあう不安のない暮らし 4.50	11 防災対策の充実 4.42	7 子どもの暴力・いじめの撲滅 4.42	12 食品・薬品等の安全性の確保 4.29
20歳代	19 急病時に診てもらえる医療機関 4.60	14 犯罪にあう不安のない暮らし 4.54	7 子どもの暴力・いじめの撲滅 4.46	30 失業の不安がない社会づくり 4.44	11 防災対策の充実 4.44
30歳代	14 犯罪にあう不安のない暮らし 4.65	19 急病時に診てもらえる医療機関 4.59	7 子どもの暴力・いじめの撲滅 4.59	11 防災対策の充実 4.44	20 安心できる周産期医療体制 4.44
40歳代	14 犯罪にあう不安のない暮らし 4.58	19 急病時に診てもらえる医療機関 4.55	7 子どもの暴力・いじめの撲滅 4.47	11 防災対策の充実 4.47	12 食品・薬品等の安全性の確保 4.34
50歳代	19 急病時に診てもらえる医療機関 4.59	14 犯罪にあう不安のない暮らし 4.52	11 防災対策の充実 4.47	7 子どもの暴力・いじめの撲滅 4.38	12 食品・薬品等の安全性の確保 4.32
60歳代	19 急病時に診てもらえる医療機関 4.58	14 犯罪にあう不安のない暮らし 4.43	11 防災対策の充実 4.40	7 子どもの暴力・いじめの撲滅 4.35	23 適切な介護サービスの充実 4.31
70歳代以上	19 急病時に診てもらえる医療機関 4.50	7 子どもの暴力・いじめの撲滅 4.35	23 適切な介護サービスの充実 4.35	14 犯罪にあう不安のない暮らし 4.32	11 防災対策の充実 4.28

(注) 網かけは、年齢別にはあるが「県全体」の上位5項目にはない項目。
点数表記は小数第2位までだが、順位決定には小数第3位以下も考慮し決定している。

■重要度上位5項目の傾向（年齢別）

年齢別の重要度上位5項目で、個別の年齢にあるが『県全体』にはない項目は、「20. 安心できる周産期医療体制」（30歳代）、「23. 適切な介護サービスの充実」（60歳代、70歳代以上）、「30. 失業の不安がない社会づくり」（20歳代）となっています。

図表 県全体の満足度上位10項目と下位10項目及び年齢別での比較

順位	項目番号	項目の略称	満足度						
			県全体	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上
1位	8	文化遺産や史跡の保存	3.58	3.67	3.55	3.57	3.50	3.56	3.74
2位	27	地域の景観・町並の美しさ	3.19	3.27	3.11	3.18	3.17	3.19	3.26
3位	12	食品・薬品等の安全性の確保	3.18	3.29	3.16	3.19	3.13	3.11	3.29
4位	29	ゴミのリサイクルの促進	3.15	3.12	2.96	3.05	3.09	3.21	3.49
5位	14	犯罪にあう不安のない暮らし	3.14	3.14	3.03	3.15	3.12	3.15	3.22
6位	1	品揃えの豊富な店	3.09	2.97	3.07	3.08	3.08	3.09	3.28
7位	4	平日の渋滞解消	3.08	3.02	2.92	3.10	3.11	3.11	3.18
8位	9	生涯を通じた教養・趣味の拡大	3.02	3.00	2.96	3.00	2.94	3.05	3.27
9位	2	公共交通の利便性	3.01	2.88	2.92	2.96	2.99	3.06	3.28
10位	3	休日の渋滞解消	2.98	2.92	2.79	2.98	3.03	3.02	3.10
⋮	⋮	⋮							
24位	16	ボランティア・NPOへの参加	2.84	2.84	2.86	2.86	2.80	2.85	2.82
25位	11	防災対策の充実	2.83	2.82	2.78	2.85	2.75	2.82	3.03
26位	24	高齢者・障害者が安心できるまちづくり	2.80	2.87	2.76	2.89	2.74	2.72	2.89
27位	17	男女が能力を発揮できる社会の実現	2.78	2.89	2.78	2.85	2.73	2.71	2.80
28位	20	安心できる周産期医療体制	2.78	2.88	2.82	2.79	2.71	2.72	2.86
29位	30	失業の不安がない社会づくり	2.73	2.79	2.63	2.81	2.70	2.68	2.77
30位	13	自主防災対策の充実	2.72	2.60	2.68	2.77	2.67	2.73	2.86
31位	15	地域に活気・魅力があること	2.69	2.65	2.74	2.74	2.63	2.64	2.79
32位	33	多様な就業環境の整備	2.59	2.57	2.51	2.61	2.57	2.60	2.70
33位	18	市町村行政に対する住民意向の反映	2.53	2.57	2.49	2.55	2.51	2.50	2.60

(注) 網かけは、年齢別での満足度が「県全体」よりも低いことを示している。比較の際には小数第3位以下も考慮しているため、県全体と点数が同じ場合にも網かけをしていることがある。

■満足度上位10項目・下位10項目の傾向（年齢別）

『県全体』の満足度の上位・下位10項目について年齢別でみると、『70歳代以上』では『県全体』を下回る項目が1項目もないのに比べ、『30歳代』では上位10項目で、『50歳代』では下位10項目で『県全体』を下回る項目が多くなっています。

図表 年齢別の満足度上位5項目の傾向

	満足度				
	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
県全体	8 文化遺産や史跡の保存 3.58	27 地域の景観・町並の美しさ 3.19	12 食品・薬品等の安全性の確保 3.18	29 ゴミのリサイクルの促進 3.15	14 犯罪にあう不安のない暮らし 3.14
20歳代	8 文化遺産や史跡の保存 3.67	12 食品・薬品等の安全性の確保 3.29	27 地域の景観・町並の美しさ 3.27	14 犯罪にあう不安のない暮らし 3.14	29 ゴミのリサイクルの促進 3.12
30歳代	8 文化遺産や史跡の保存 3.55	12 食品・薬品等の安全性の確保 3.16	27 地域の景観・町並の美しさ 3.11	1 品揃えの豊富な店 3.07	14 犯罪にあう不安のない暮らし 3.03
40歳代	8 文化遺産や史跡の保存 3.57	12 食品・薬品等の安全性の確保 3.19	27 地域の景観・町並の美しさ 3.18	14 犯罪にあう不安のない暮らし 3.15	4 平日の渋滞解消 3.10
50歳代	8 文化遺産や史跡の保存 3.50	27 地域の景観・町並の美しさ 3.17	12 食品・薬品等の安全性の確保 3.13	14 犯罪にあう不安のない暮らし 3.12	4 平日の渋滞解消 3.11
60歳代	8 文化遺産や史跡の保存 3.56	29 ゴミのリサイクルの促進 3.21	27 地域の景観・町並の美しさ 3.19	14 犯罪にあう不安のない暮らし 3.15	12 食品・薬品等の安全性の確保 3.11
70歳代以上	8 文化遺産や史跡の保存 3.74	29 ゴミのリサイクルの促進 3.49	12 食品・薬品等の安全性の確保 3.29	1 品揃えの豊富な店 3.28	2 公共交通の利便性 3.28

(注) 網かけは、年齢別にはあるが「県全体」の上位5項目にはない項目。
 点数表記は小数第2位までだが、順位の決定には小数第3位以下も考慮し決定している。

図表 年齢別の満足度下位5項目の傾向

	満足度				
	第33位	第32位	第31位	第30位	第29位
県全体	18 市町村行政に対する住民意向の反映 2.53	33 多様な就業環境の整備 2.59	15 地域に活気・魅力があること 2.69	13 自主防災対策の充実 2.72	30 失業の不安がない社会づくり 2.73
20歳代	18 市町村行政に対する住民意向の反映 2.57	33 多様な就業環境の整備 2.57	13 自主防災対策の充実 2.60	15 地域に活気・魅力があること 2.65	7 子どもの暴力・いじめの撲滅 2.78
30歳代	18 市町村行政に対する住民意向の反映 2.49	33 多様な就業環境の整備 2.51	30 失業の不安がない社会づくり 2.63	19 急病時に診てもらえる医療機関 2.66	13 自主防災対策の充実 2.68
40歳代	18 市町村行政に対する住民意向の反映 2.55	33 多様な就業環境の整備 2.61	15 地域に活気・魅力があること 2.74	13 自主防災対策の充実 2.77	19 急病時に診てもらえる医療機関 2.78
50歳代	18 市町村行政に対する住民意向の反映 2.51	33 多様な就業環境の整備 2.57	15 地域に活気・魅力があること 2.63	13 自主防災対策の充実 2.67	30 失業の不安がない社会づくり 2.70
60歳代	18 市町村行政に対する住民意向の反映 2.50	33 多様な就業環境の整備 2.60	15 地域に活気・魅力があること 2.64	30 失業の不安がない社会づくり 2.68	17 男女が能力を発揮できる社会の実現 2.71
70歳代以上	18 市町村行政に対する住民意向の反映 2.60	33 多様な就業環境の整備 2.70	30 失業の不安がない社会づくり 2.77	15 地域に活気・魅力があること 2.79	17 男女が能力を発揮できる社会の実現 2.80

(注) 網かけは、年齢別にはあるが「県全体」の下位5項目にはない項目。
 点数表記は小数第2位までだが、順位の決定には小数第3位以下も考慮し決定している。

■満足度上位5項目（年齢別）

年齢別の満足度上位5項目で、個別の年齢にあるが『県全体』にはない項目は、「1. 品揃え豊富な店」（30歳代、70歳代以上）、「2. 公共交通の利便性」（70歳代以上）、「4. 平日の渋滞解消」（40歳代、50歳代）となっています。

■満足度下位5項目（年齢別）

年齢別の満足度下位5項目で、個別の年齢にあるが『県全体』にはない項目は、「7. 子どもの暴力・いじめの撲滅」（20歳代）、「17. 男女が能力を発揮できる社会の実現」（60歳代、70歳代以上）、「19. 急病時に診てもらえる医療機関」（30歳代、40歳代）となっています。

(5) 旧住民・新住民別の重要度・満足度の比較

図表 県全体の重要度上位10項目及び旧住民・新住民別での比較

順位	項目番号	項目の略称	重要度		
			県全体	奈良県にずっと住んでいる人	奈良県に新しくきた人
1位	19	急病時に診てもらえる医療機関	4.57	4.57	4.58
2位	14	犯罪にあう不安のない暮らし	4.50	4.49	4.52
3位	11	防災対策の充実	4.42	4.43	4.42
4位	7	子どもの暴力・いじめの撲滅	4.42	4.43	4.41
5位	12	食品・薬品等の安全性の確保	4.29	4.25	4.34
6位	23	適切な介護サービスの充実	4.26	4.23	4.29
7位	20	安心できる周産期医療体制	4.24	4.27	4.21
8位	30	失業の不安がない社会づくり	4.22	4.24	4.20
9位	13	自主防災対策の充実	4.19	4.19	4.20
10位	25	子どもが健全に育つ環境づくり	4.15	4.14	4.16

(注) 網かけは、旧住民・新住民別での重要度が「県全体」よりも高いことを示している。比較の際に小数第3位以下も考慮しているため、県全体と点数が同じ場合にも網かけをしていることがある。

■県全体の重要度との比較（旧住民・新住民別）

『県全体』の重要度上位 10項目を旧住民・新住民別にみると、『奈良県にずっと住んでいる人』では『県全体』と比べ4項目で重要度が高く、『奈良県に新しくきた人』では6項目で重要度が高くなっています。

図表 旧住民・新住民別の重要度上位5項目の傾向

	重要度				
	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
県全体	19 急病時に診てもらえる医療機関 4.57	14 犯罪にあう不安のない暮らし 4.50	11 防災対策の充実 4.42	7 子どもの暴力・いじめの撲滅 4.42	12 食品・薬品等の安全性の確保 4.29
奈良県にずっと住んでいる人	19 急病時に診てもらえる医療機関 4.57	14 犯罪にあう不安のない暮らし 4.49	7 子どもの暴力・いじめの撲滅 4.43	11 防災対策の充実 4.43	20 安心できる周産期医療体制 4.27
奈良県に新しくきた人	19 急病時に診てもらえる医療機関 4.58	14 犯罪にあう不安のない暮らし 4.52	11 防災対策の充実 4.42	7 子どもの暴力・いじめの撲滅 4.41	12 食品・薬品等の安全性の確保 4.34

(注) 網かけは、旧住民・新住民別にはあるが「県全体」の上位5項目にはない項目。
点数表記は小数第2位までだが、順位の設定には小数第3位以下も考慮し決定している。

■重要度上位5項目の傾向（旧住民・新住民別）

旧住民・新住民別の重要度上位5項目で、旧住民・新住民別にあるが『県全体』にはない項目は、「20. 安心できる周産期医療体制」（『奈良県にずっと住んでいる人』）となっています。

図表 県全体の満足度上位10項目と下位10項目及び旧住民・新住民別での比較

順位	項目番号	項目の略称	県全体	満足度	
				奈良県にずっと住んでいる人	奈良県に新しくきた人
1位	8	文化遺産や史跡の保存	3.58	3.56	3.61
2位	27	地域の景観・町並の美しさ	3.19	3.18	3.21
3位	12	食品・薬品等の安全性の確保	3.18	3.19	3.17
4位	29	ゴミのリサイクルの促進	3.15	3.14	3.16
5位	14	犯罪にあう不安のない暮らし	3.14	3.14	3.13
6位	1	品揃えの豊富な店	3.09	3.03	3.17
7位	4	平日の渋滞解消	3.08	3.07	3.10
8位	9	生涯を通じた教養・趣味の拡大	3.02	2.99	3.06
9位	2	公共交通の利便性	3.01	2.93	3.11
10位	3	休日の渋滞解消	2.98	2.95	3.02
⋮	⋮	⋮			
24位	16	ボランティア・NPOへの参加	2.84	2.81	2.87
25位	11	防災対策の充実	2.83	2.79	2.88
26位	24	高齢者・障害者が安心できるまちづくり	2.80	2.79	2.81
27位	17	男女が能力を発揮できる社会の実現	2.78	2.79	2.78
28位	20	安心できる周産期医療体制	2.78	2.74	2.82
29位	30	失業の不安がない社会づくり	2.73	2.71	2.75
30位	13	自主防災対策の充実	2.72	2.67	2.77
31位	15	地域に活気・魅力があること	2.69	2.64	2.74
32位	33	多様な就業環境の整備	2.59	2.58	2.61
33位	18	市町村行政に対する住民意向の反映	2.53	2.51	2.55

(注) 網かけは、旧住民・新住民別での満足度が「県全体」よりも低いことを示している。比較の際には小数第3位以下も考慮しているため、県全体と点数が同じ場合にも網かけをしていることがある。

■満足度上位10項目・下位10項目の傾向（旧住民・新住民別）

『県全体』の満足度の上位・下位10項目について旧住民・新住民別でみると、上位では10項目中8項目、下位では10項目中9項目で『奈良県にずっと住んでいる人』が『県全体』を下回っています。

図表 旧住民・新住民別の満足度上位5項目の傾向

	満足度				
	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
県全体	8 文化遺産や史跡の保存 3.58	27 地域の景観・町並の美しさ 3.19	12 食品・薬品等の安全性の確保 3.18	29 ゴミのリサイクルの促進 3.15	14 犯罪にあう不安のない暮らし 3.14
奈良県にずっと住んでいる人	8 文化遺産や史跡の保存 3.56	12 食品・薬品等の安全性の確保 3.19	27 地域の景観・町並の美しさ 3.18	14 犯罪にあう不安のない暮らし 3.14	29 ゴミのリサイクルの促進 3.14
奈良県に新しくきた人	8 文化遺産や史跡の保存 3.61	27 地域の景観・町並の美しさ 3.21	12 食品・薬品等の安全性の確保 3.17	1 品揃えの豊富な店 3.17	29 ゴミのリサイクルの促進 3.16

(注) 網かけは、旧住民・新住民別にはあるが「県全体」の上位5項目にはない項目。
 点数表記は小数第2位までだが、順位決定には小数第3位以下も考慮し決定している。

図表 旧住民・新住民別の満足度下位5項目の傾向

	満足度				
	第33位	第32位	第31位	第30位	第29位
県全体	18 市町村行政に対する住民意向の反映 2.53	33 多様な就業環境の整備 2.59	15 地域に活気・魅力があること 2.69	13 自主防災対策の充実 2.72	30 失業の不安がない社会づくり 2.73
奈良県にずっと住んでいる人	18 市町村行政に対する住民意向の反映 2.51	33 多様な就業環境の整備 2.58	15 地域に活気・魅力があること 2.64	13 自主防災対策の充実 2.67	30 失業の不安がない社会づくり 2.71
奈良県に新しくきた人	18 市町村行政に対する住民意向の反映 2.55	33 多様な就業環境の整備 2.61	15 地域に活気・魅力があること 2.74	30 失業の不安がない社会づくり 2.75	13 自主防災対策の充実 2.77

(注) 網かけは、旧住民・新住民別にはあるが「県全体」の上位5項目にはない項目。
 点数表記は小数第2位までだが、順位決定には小数第3位以下も考慮し決定している。

■満足度上位5項目（旧住民・新住民別）

旧住民・新住民別の満足度上位5項目で、旧住民・新住民別にあるが『県全体』にはない項目は、「1.品揃えの豊富な店」（『奈良県に新しくきた人』）となっています。

■満足度下位5項目（旧住民・新住民別）

旧住民・新住民別の満足度下位5項目で、旧住民・新住民別にあるが『県全体』にはない項目は、1項目もない結果となっています。

(6) 奈良での就労別の重要度・満足度の比較

図表 県全体の重要度上位10項目及び奈良での就労別での比較

順位	項目番号	項目の略称	重要度		
			県全体	奈良県内で働いている人	奈良県外で働いている人
1位	19	急病時に診てもらえる医療機関	4.57	4.58	4.51
2位	14	犯罪にあう不安のない暮らし	4.50	4.50	4.55
3位	11	防災対策の充実	4.42	4.42	4.40
4位	7	子どもの暴力・いじめの撲滅	4.42	4.42	4.39
5位	12	食品・薬品等の安全性の確保	4.29	4.27	4.28
6位	23	適切な介護サービスの充実	4.26	4.24	4.14
7位	20	安心できる周産期医療体制	4.24	4.26	4.19
8位	30	失業の不安がない社会づくり	4.22	4.26	4.23
9位	13	自主防災対策の充実	4.19	4.19	4.20
10位	25	子どもが健全に育つ環境づくり	4.15	4.15	4.08

(注) 網かけは、奈良での就労別での重要度が「県全体」よりも高いことを示している。比較の際に小数第3位以下も考慮しているため、県全体と点数が同じ場合にも網かけをしていることがある。

■県全体の重要度との比較（奈良での就労別）

『県全体』の重要度上位10項目を奈良での就労別にみると、『奈良県内で働いている人』では『県全体』と比べて6項目で重要度が高く、『奈良県外で働いている人』では3項目で重要度が高くなっています。

図表 奈良での就労別の重要度上位5項目の傾向

	重要度				
	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
県全体	19 急病時に診てもらえる医療機関 4.57	14 犯罪にあう不安のない暮らし 4.50	11 防災対策の充実 4.42	7 子どもの暴力・いじめの撲滅 4.42	12 食品・薬品等の安全性の確保 4.29
奈良県内で働いている人	19 急病時に診てもらえる医療機関 4.58	14 犯罪にあう不安のない暮らし 4.50	11 防災対策の充実 4.42	7 子どもの暴力・いじめの撲滅 4.42	12 食品・薬品等の安全性の確保 4.27
奈良県外で働いている人	14 犯罪にあう不安のない暮らし 4.55	19 急病時に診てもらえる医療機関 4.51	11 防災対策の充実 4.40	7 子どもの暴力・いじめの撲滅 4.39	12 食品・薬品等の安全性の確保 4.28

(注) 網かけは、奈良での就労別にはあるが「県全体」の上位5項目にはない項目。
点数表記は小数第2位までだが、順位の決定には小数第3位以下も考慮し決定している。

■重要度上位5項目の傾向（奈良での就労別）

奈良での就労別の重要度上位5項目で、奈良での就労別にあるが『県全体』にはない項目は、1項目もない結果となっています。

図表 県全体の満足度上位10項目と下位10項目及び奈良での就労別での比較

順位	項目番号	項目の略称	県全体	満足度	
				奈良県内で働いている人	奈良県外で働いている人
1位	8	文化遺産や史跡の保存	3.58	3.53	3.61
2位	27	地域の景観・町並の美しさ	3.19	3.18	3.18
3位	12	食品・薬品等の安全性の確保	3.18	3.13	3.25
4位	29	ゴミのリサイクルの促進	3.15	3.08	3.11
5位	14	犯罪にあう不安のない暮らし	3.14	3.09	3.15
6位	1	品揃えの豊富な店	3.09	3.08	3.05
7位	4	平日の渋滞解消	3.08	3.02	3.05
8位	9	生涯を通じた教養・趣味の拡大	3.02	2.99	3.01
9位	2	公共交通の利便性	3.01	2.91	3.13
10位	3	休日の渋滞解消	2.98	2.91	2.99
∴	∴	∴			
24位	16	ボランティア・NPOへの参加	2.84	2.82	2.85
25位	11	防災対策の充実	2.83	2.77	2.88
26位	24	高齢者・障害者が安心できるまちづくり	2.80	2.74	2.89
27位	17	男女が能力を発揮できる社会の実現	2.78	2.76	2.83
28位	20	安心できる周産期医療体制	2.78	2.72	2.83
29位	30	失業の不安がない社会づくり	2.73	2.74	2.81
30位	13	自主防災対策の充実	2.72	2.69	2.73
31位	15	地域に活気・魅力があること	2.69	2.63	2.72
32位	33	多様な就業環境の整備	2.59	2.60	2.59
33位	18	市町村行政に対する住民意向の反映	2.53	2.47	2.56

(注) 網かけは、奈良での就労別での満足度が「県全体」よりも低いことを示している。比較の際には小数第3位以下も考慮しているため、県全体と点数が同じ場合にも網かけをしていることがある。

■満足度上位10項目・下位10項目の傾向（奈良での就労別）

『県全体』の満足度の上位・下位10項目について奈良での就労別でみると、上位では『奈良県内で働いている人』は10項目すべてで、『奈良県外で働いている人』は10項目中5項目で『県全体』を下回っています。一方下位では『奈良県内で働いている人』は10項目中8項目で、『奈良県外で働いている人』は10項目中1項目で『県全体』を下回っています。

図表 奈良での就労別の満足度上位5項目の傾向

	満足度				
	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
県全体	8 文化遺産や史跡の保存 3.58	27 地域の景観・町並の美しさ 3.19	12 食品・薬品等の安全性の確保 3.18	29 ゴミのリサイクルの促進 3.15	14 犯罪にあう不安のない暮らし 3.14
奈良県内で働いている人	8 文化遺産や史跡の保存 3.53	27 地域の景観・町並の美しさ 3.18	12 食品・薬品等の安全性の確保 3.13	14 犯罪にあう不安のない暮らし 3.09	29 ゴミのリサイクルの促進 3.08
奈良県外で働いている人	8 文化遺産や史跡の保存 3.61	12 食品・薬品等の安全性の確保 3.25	27 地域の景観・町並の美しさ 3.18	14 犯罪にあう不安のない暮らし 3.15	2 公共交通の利便性 3.13

(注) 網かけは、奈良での就労別にはあるが「県全体」の上位5項目にはない項目。
 点数表記は小数第2位までだが、順位決定には小数第3位以下も考慮し決定している。

■満足度上位5項目（奈良での就労別）

奈良での就労別の満足度上位5項目で、奈良での就労別にあるが『県全体』にはない項目は、「2.公共交通の利便性」（『奈良県外で働いている人』）となっています。

図表 奈良での就労別の満足度下位5項目の傾向

	満足度				
	第33位	第32位	第31位	第30位	第29位
県全体	18 市町村行政に対する住民意向の反映 2.53	33 多様な就業環境の整備 2.59	15 地域に活気・魅力があること 2.69	13 自主防災対策の充実 2.72	30 失業の不安がない社会づくり 2.73
奈良県内で働いている人	18 市町村行政に対する住民意向の反映 2.47	33 多様な就業環境の整備 2.60	15 地域に活気・魅力があること 2.63	13 自主防災対策の充実 2.69	20 安心できる周産期医療体制 2.72
奈良県外で働いている人	18 市町村行政に対する住民意向の反映 2.56	33 多様な就業環境の整備 2.59	15 地域に活気・魅力があること 2.72	13 自主防災対策の充実 2.73	30 失業の不安がない社会づくり 2.81

(注) 網かけは、奈良での就労別にはあるが「県全体」の上位5項目にはない項目。
 点数表記は小数第2位までだが、順位決定には小数第3位以下も考慮し決定している。

■満足度下位5項目（奈良での就労別）

奈良での就労別の満足度下位5項目で、奈良での就労別にあるが『県全体』にはない項目は、「20.安心できる周産期医療体制」（『奈良県内で働いている人』）となっています。

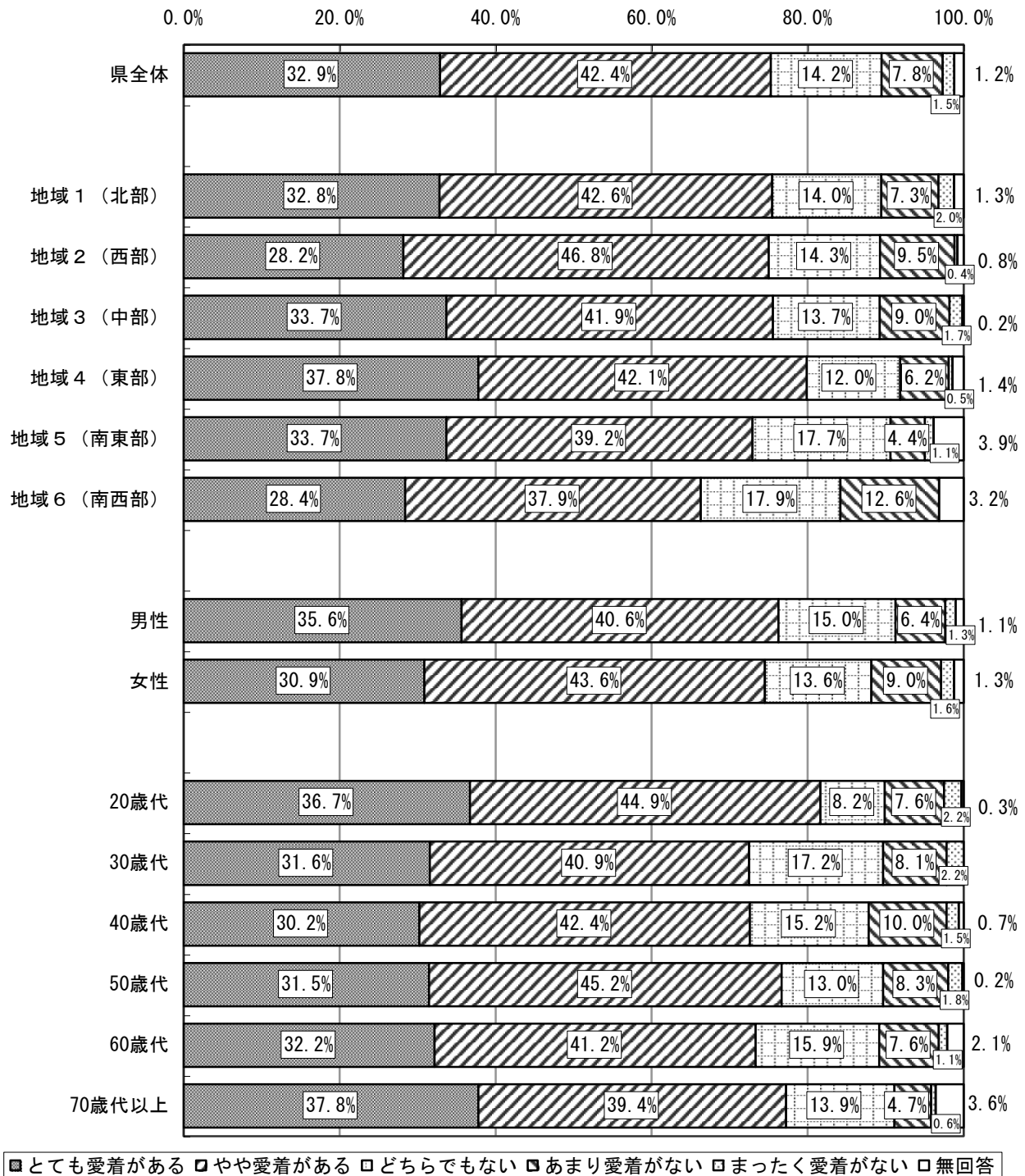
Ⅲ～Ⅺ 県民の生活に関する意識やニーズについて

Ⅲ 奈良県への愛着について

図表 奈良県への愛着（問12 単数回答／県全体、地域別、性別、年齢別、ライフステージ別、旧住民・新住民別、奈良での就労別）

		全 体	と も 愛 着 が あ る	や や 愛 着 が あ る	ど ち ら で も な い	い あ ま り 愛 着 が な い	な ま い た く 愛 着 が な い	無 回 答	『 愛 着 が あ る 』	『 愛 着 が な い 』
県全体		2,667	877 32.9%	1,131 42.4%	378 14.2%	209 7.8%	40 1.5%	32 1.2%	2,008 75.3%	249 9.3%
地域別	地域1（北部）	1,271	417 32.8%	542 42.6%	178 14.0%	93 7.3%	25 2.0%	16 1.3%	959 75.5%	118 9.3%
	地域2（西部）	252	71 28.2%	118 46.8%	36 14.3%	24 9.5%	1 0.4%	2 0.8%	189 75.0%	25 9.9%
	地域3（中部）	659	222 33.7%	276 41.9%	90 13.7%	59 9.0%	11 1.7%	1 0.2%	498 75.6%	70 10.6%
	地域4（東部）	209	79 37.8%	88 42.1%	25 12.0%	13 6.2%	1 0.5%	3 1.4%	167 79.9%	14 6.7%
	地域5（南東部）	181	61 33.7%	71 39.2%	32 17.7%	8 4.4%	2 1.1%	7 3.9%	132 72.9%	10 5.5%
	地域6（南西部）	95	27 28.4%	36 37.9%	17 17.9%	12 12.6%	0 0.0%	3 3.2%	63 66.3%	12 12.6%
性別	男性	1,142	407 35.6%	464 40.6%	171 15.0%	73 6.4%	15 1.3%	12 1.1%	871 76.3%	88 7.7%
	女性	1,519	469 30.9%	663 43.6%	207 13.6%	136 9.0%	25 1.6%	19 1.3%	1,132 74.5%	161 10.6%
年齢別	20歳代	316	116 36.7%	142 44.9%	26 8.2%	24 7.6%	7 2.2%	1 0.3%	258 81.6%	31 9.8%
	30歳代	320	101 31.6%	131 40.9%	55 17.2%	26 8.1%	7 2.2%	0 0.0%	232 72.5%	33 10.3%
	40歳代	460	139 30.2%	195 42.4%	70 15.2%	46 10.0%	7 1.5%	3 0.7%	334 72.6%	53 11.5%
	50歳代	553	174 31.5%	250 45.2%	72 13.0%	46 8.3%	10 1.8%	1 0.2%	424 76.7%	56 10.1%
	60歳代	656	211 32.2%	270 41.2%	104 15.9%	50 7.6%	7 1.1%	14 2.1%	481 73.3%	57 8.7%
	70歳代以上	360	136 37.8%	142 39.4%	50 13.9%	17 4.7%	2 0.6%	13 3.6%	278 77.2%	19 5.3%
ライフステージ別 （複数回答）	若者	306	114 37.3%	137 44.8%	25 8.2%	22 7.2%	7 2.3%	1 0.3%	251 82.0%	29 9.5%
	夫婦	292	104 35.6%	117 40.1%	42 14.4%	26 8.9%	1 0.3%	2 0.7%	221 75.7%	27 9.2%
	育児期	239	74 31.0%	108 45.2%	31 13.0%	20 8.4%	5 2.1%	1 0.4%	182 76.2%	25 10.5%
	教育期前期	484	136 28.1%	204 42.1%	83 17.1%	51 10.5%	9 1.9%	1 0.2%	340 70.2%	60 12.4%
	教育期後期	256	81 31.6%	112 43.8%	39 15.2%	19 7.4%	4 1.6%	1 0.4%	193 75.4%	23 9.0%
	単身高齢者	74	27 36.5%	29 39.2%	12 16.2%	3 4.1%	0 0.0%	3 4.1%	56 75.7%	3 4.1%
	高齢者夫婦	359	116 32.3%	146 40.7%	61 17.0%	20 5.6%	3 0.8%	13 3.6%	262 73.0%	23 6.4%
新住民・ 旧住民別	奈良県にずっと 住んでいる人	1,385	586 42.3%	546 39.4%	162 11.7%	63 4.5%	8 0.6%	20 1.4%	1,132 81.7%	71 5.1%
	奈良県に新しく きた人	1,262	285 22.6%	577 45.7%	213 16.9%	145 11.5%	32 2.5%	10 0.8%	862 68.3%	177 14.0%
就労別の 奈良での	奈良県内で 働いている人	1,178	389 33.0%	507 43.0%	168 14.3%	89 7.6%	17 1.4%	8 0.7%	896 76.1%	106 9.0%
	奈良県外で 働いている人	449	141 31.4%	199 44.3%	59 13.1%	38 8.5%	10 2.2%	2 0.4%	340 75.7%	48 10.7%

図表 奈良県への愛着（問12 単数回答／県全体、地域別、性別、年齢別）



(注) 母数については前ページの表参照

IV 産業構造の改革について

(1) 「奈良のブランド」として全国に発信できるキーワード

図表 「奈良のブランド」として全国に発信できるキーワード（問13 3つ以内で複数回答／県全体、地域別、性別、年齢別、ライフステージ別、旧住民・新住民別、奈良での就労別）（1）

		全 体	大 仏	鹿	世 界 遺 産	柿 の 葉 ず し	三 輪 素 麺	吉 野 杉	奈 良 漬	吉 野 山	飛 鳥	平 城 京	柿
県全体		2,667	1,252 46.9%	833 31.2%	754 28.3%	642 24.1%	595 22.3%	398 14.9%	382 14.3%	374 14.0%	369 13.8%	322 12.1%	315 11.8%
地域別	地域1（北部）	1,271	648 51.0%	469 36.9%	390 30.7%	266 20.9%	244 19.2%	152 12.0%	239 18.8%	117 9.2%	118 9.3%	233 18.3%	105 8.3%
	地域2（西部）	252	103 40.9%	78 31.0%	93 36.9%	56 22.2%	62 24.6%	32 12.7%	43 17.1%	38 15.1%	34 13.5%	23 9.1%	43 17.1%
	地域3（中部）	659	316 48.0%	200 30.3%	140 21.2%	194 29.4%	157 23.8%	73 11.1%	64 9.7%	103 15.6%	140 21.2%	45 6.8%	89 13.5%
	地域4（東部）	209	87 41.6%	56 26.8%	54 25.8%	44 21.1%	87 41.6%	31 14.8%	24 11.5%	28 13.4%	46 22.0%	12 5.7%	16 7.7%
	地域5（南東部）	181	57 31.5%	17 9.4%	52 28.7%	50 27.6%	26 14.4%	84 46.4%	5 2.8%	70 38.7%	24 13.3%	7 3.9%	19 10.5%
	地域6（南西部）	95	41 43.2%	13 13.7%	25 26.3%	32 33.7%	19 20.0%	26 27.4%	7 7.4%	18 18.9%	7 7.4%	2 2.1%	43 45.3%
性別	男性	1,142	524 45.9%	333 29.2%	332 29.1%	262 22.9%	224 19.6%	181 15.8%	145 12.7%	160 14.0%	187 16.4%	163 14.3%	129 11.3%
	女性	1,519	727 47.9%	496 32.7%	422 27.8%	380 25.0%	370 24.4%	217 14.3%	236 15.5%	214 14.1%	182 12.0%	158 10.4%	186 12.2%
年齢別	20歳代	316	133 42.1%	107 33.9%	72 22.8%	105 33.2%	48 15.2%	28 8.9%	46 14.6%	34 10.8%	28 8.9%	36 11.4%	24 7.6%
	30歳代	320	160 50.0%	120 37.5%	86 26.9%	80 25.0%	59 18.4%	46 14.4%	44 13.8%	47 14.7%	27 8.4%	26 8.1%	25 7.8%
	40歳代	460	224 48.7%	152 33.0%	126 27.4%	128 27.8%	104 22.6%	68 14.8%	63 13.7%	62 13.5%	61 13.3%	33 7.2%	48 10.4%
	50歳代	553	277 50.1%	190 34.4%	153 27.7%	129 23.3%	136 24.6%	82 14.8%	72 13.0%	79 14.3%	98 17.7%	63 11.4%	55 9.9%
	60歳代	656	316 48.2%	166 25.3%	202 30.8%	131 20.0%	159 24.2%	106 16.2%	86 13.1%	103 15.7%	109 16.6%	103 15.7%	94 14.3%
	70歳代以上	360	141 39.2%	96 26.7%	115 31.9%	69 19.2%	89 24.7%	68 18.9%	70 19.4%	49 13.6%	46 12.8%	61 16.9%	69 19.2%
ライフステージ別 （複数回答）	若者	306	129 42.2%	102 33.3%	70 22.9%	101 33.0%	45 14.7%	26 8.5%	45 14.7%	33 10.8%	28 9.2%	35 11.4%	24 7.8%
	夫婦	292	143 49.0%	76 26.0%	79 27.1%	66 22.6%	67 22.9%	50 17.1%	47 16.1%	41 14.0%	46 15.8%	40 13.7%	35 12.0%
	育児期	239	131 54.8%	99 41.4%	55 23.0%	57 23.8%	46 19.2%	36 15.1%	36 15.1%	25 10.5%	25 10.5%	22 9.2%	19 7.9%
	教育期前期	484	248 51.2%	169 34.9%	124 25.6%	134 27.7%	108 22.3%	77 15.9%	53 11.0%	67 13.8%	67 13.8%	49 10.1%	47 9.7%
	教育期後期	256	135 52.7%	104 40.6%	61 23.8%	70 27.3%	59 23.0%	38 14.8%	33 12.9%	30 11.7%	37 14.5%	28 10.9%	24 9.4%
	単身高齢者	74	28 37.8%	18 24.3%	27 36.5%	16 21.6%	20 27.0%	10 13.5%	16 21.6%	15 20.3%	7 9.5%	12 16.2%	14 18.9%
	高齢者夫婦	359	150 41.8%	86 24.0%	115 32.0%	68 18.9%	80 22.3%	63 17.5%	52 14.5%	59 16.4%	63 17.5%	58 16.2%	64 17.8%
新旧住民別	奈良県にずっと 住んでいる人	1,385	638 46.1%	417 30.1%	362 26.1%	340 24.5%	298 21.5%	230 16.6%	183 13.2%	204 14.7%	205 14.8%	152 11.0%	156 11.3%
	奈良県に新しく きた人	1,262	602 47.7%	410 32.5%	388 30.7%	299 23.7%	293 23.2%	165 13.1%	198 15.7%	167 13.2%	164 13.0%	167 13.2%	159 12.6%
奈良での 就労別	奈良県内で 働いている人	1,178	575 48.8%	371 31.5%	298 25.3%	305 25.9%	257 21.8%	184 15.6%	180 15.3%	159 13.5%	172 14.6%	118 10.0%	134 11.4%
	奈良県外で 働いている人	449	206 45.9%	159 35.4%	145 32.3%	106 23.6%	88 19.6%	49 10.9%	62 13.8%	70 15.6%	57 12.7%	69 15.4%	34 7.6%

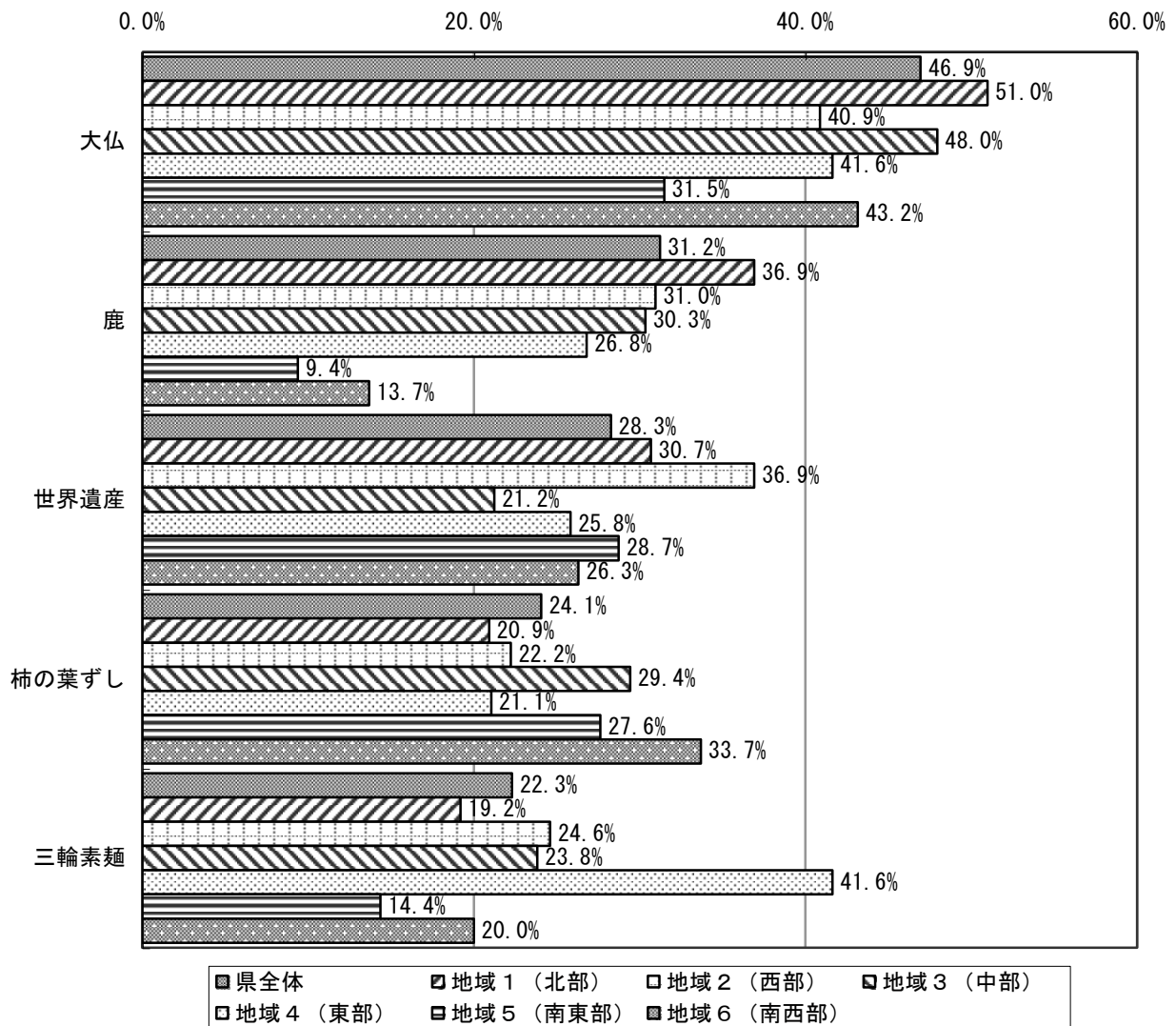
（注）集計結果は県全体の多い順（「その他」と無回答は除く）に並べている。太字は「無回答」を除いた各属性区分の上位3項目を示し、濃い網掛けは最多項目を、薄い網掛けは2番目に多い項目を示している。

図表 「奈良のブランド」として全国に発信できるキーワード（問13 3つ以内で複数回答／県全体、地域別、性別、年齢別、ライフステージ別、旧住民・新住民別、奈良での就労別）（2）

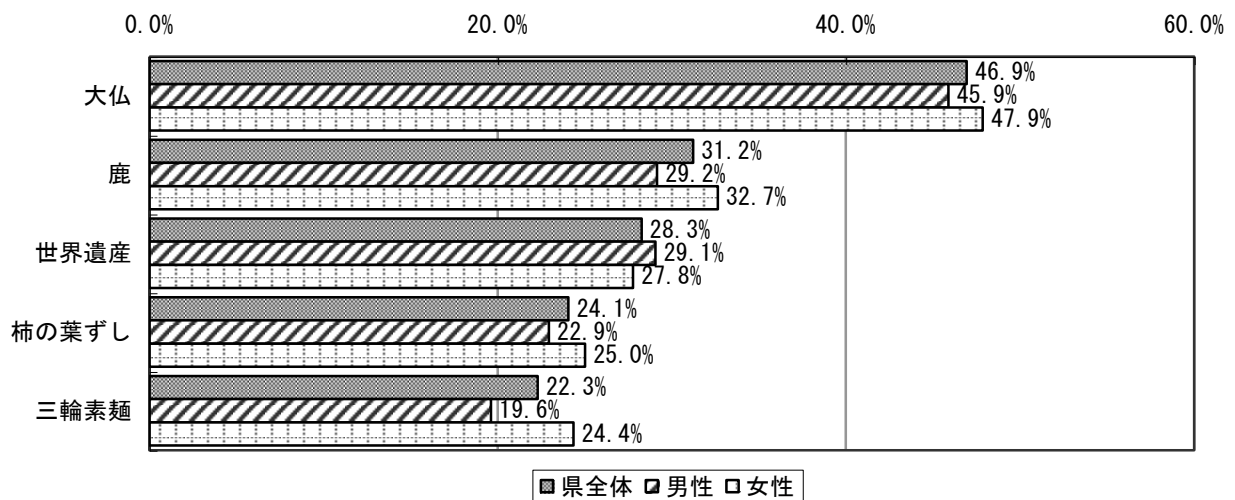
		全 体	桜	古 墳	ん せん と く	茶 茶 （ 大 和	な ら ま ち	い ち ご	靴 下	燈 花 会	尼 薬 （ 陀 羅	そ の 他	無 回 答
県全体		2,667	286 10.7%	210 7.9%	192 7.2%	186 7.0%	168 6.3%	145 5.4%	117 4.4%	114 4.3%	65 2.4%	56 2.1%	50 1.9%
地域別	地域1（北部）	1,271	99 7.8%	85 6.7%	91 7.2%	108 8.5%	112 8.8%	74 5.8%	46 3.6%	78 6.1%	27 2.1%	25 2.0%	21 1.7%
	地域2（西部）	252	25 9.9%	23 9.1%	16 6.3%	17 6.7%	12 4.8%	18 7.1%	11 4.4%	8 3.2%	5 2.0%	5 2.0%	6 2.4%
	地域3（中部）	659	76 11.5%	65 9.9%	56 8.5%	23 3.5%	31 4.7%	37 5.6%	54 8.2%	20 3.0%	14 2.1%	19 2.9%	8 1.2%
	地域4（東部）	209	22 10.5%	22 10.5%	18 8.6%	19 9.1%	6 2.9%	9 4.3%	2 1.0%	5 2.4%	4 1.9%	3 1.4%	6 2.9%
	地域5（南東部）	181	47 26.0%	11 6.1%	8 4.4%	14 7.7%	5 2.8%	5 2.8%	4 2.2%	2 1.1%	13 7.2%	3 1.7%	7 3.9%
	地域6（南西部）	95	17 17.9%	4 4.2%	3 3.2%	5 5.3%	2 2.1%	2 2.1%	0 0.0%	1 1.1%	2 2.1%	1 1.1%	2 2.1%
性別	男性	1,142	129 11.3%	94 8.2%	72 6.3%	80 7.0%	65 5.7%	63 5.5%	42 3.7%	34 3.0%	23 2.0%	34 3.0%	26 2.3%
	女性	1,519	157 10.3%	116 7.6%	119 7.8%	106 7.0%	100 6.6%	81 5.3%	75 4.9%	80 5.3%	42 2.8%	22 1.4%	23 1.5%
年齢別	20歳代	316	48 15.2%	14 4.4%	46 14.6%	13 4.1%	35 11.1%	29 9.2%	14 4.4%	35 11.1%	9 2.8%	9 2.8%	2 0.6%
	30歳代	320	40 12.5%	22 6.9%	43 13.4%	23 7.2%	31 9.7%	19 5.9%	12 3.8%	16 5.0%	11 3.4%	10 3.1%	1 0.3%
	40歳代	460	50 10.9%	35 7.6%	31 6.7%	28 6.1%	36 7.8%	29 6.3%	20 4.3%	19 4.1%	5 1.1%	12 2.6%	6 1.3%
	50歳代	553	49 8.9%	44 8.0%	44 8.0%	22 4.0%	22 4.0%	26 4.7%	18 3.3%	17 3.1%	11 2.0%	12 2.2%	8 1.4%
	60歳代	656	72 11.0%	65 9.9%	23 3.5%	53 8.1%	23 3.5%	23 3.5%	31 4.7%	18 2.7%	21 3.2%	10 1.5%	17 2.6%
	70歳代以上	360	27 7.5%	30 8.3%	5 1.4%	47 13.1%	20 5.6%	18 5.0%	22 6.1%	9 2.5%	8 2.2%	3 0.8%	16 4.4%
ライフステージ別（複数回答）	若者	306	47 15.4%	14 4.6%	46 15.0%	12 3.9%	35 11.4%	27 8.8%	14 4.6%	34 11.1%	9 2.9%	9 2.9%	2 0.7%
	夫婦	292	31 10.6%	23 7.9%	16 5.5%	18 6.2%	15 5.1%	19 6.5%	9 3.1%	16 5.5%	10 3.4%	8 2.7%	9 3.1%
	育児期	239	24 10.0%	10 4.2%	34 14.2%	8 3.3%	17 7.1%	15 6.3%	11 4.6%	12 5.0%	7 2.9%	8 3.3%	2 0.8%
	教育期前期	484	37 7.6%	34 7.0%	34 7.0%	34 7.0%	33 6.8%	32 6.6%	19 3.9%	11 2.3%	5 1.0%	12 2.5%	8 1.7%
	教育期後期	256	20 7.8%	23 9.0%	29 11.3%	16 6.3%	13 5.1%	11 4.3%	9 3.5%	9 3.5%	4 1.6%	4 1.6%	1 0.4%
	単身高齢者	74	4 5.4%	11 14.9%	2 2.7%	7 9.5%	3 4.1%	2 2.7%	4 5.4%	2 2.7%	1 1.4%	2 2.7%	3 4.1%
	高齢者夫婦	359	26 7.2%	32 8.9%	5 1.4%	37 10.3%	21 5.8%	15 4.2%	23 6.4%	6 1.7%	9 2.5%	1 0.3%	13 3.6%
新旧住民別	奈良県にずっと住んでいる人	1,385	173 12.5%	98 7.1%	108 7.8%	104 7.5%	86 6.2%	82 5.9%	61 4.4%	61 4.4%	38 2.7%	28 2.0%	28 2.0%
	奈良県に新しくきた人	1,262	110 8.7%	112 8.9%	83 6.6%	77 6.1%	82 6.5%	61 4.8%	55 4.4%	52 4.1%	27 2.1%	28 2.2%	20 1.6%
奈良での就労別	奈良県内で働いている人	1,178	139 11.8%	95 8.1%	93 7.9%	83 7.0%	67 5.7%	78 6.6%	48 4.1%	46 3.9%	33 2.8%	24 2.0%	14 1.2%
	奈良県外で働いている人	449	42 9.4%	32 7.1%	35 7.8%	23 5.1%	39 8.7%	17 3.8%	12 2.7%	28 6.2%	2 0.4%	14 3.1%	7 1.6%

（注）集計結果は県全体の多い順（「その他」と無回答は除く）に並べている。太字は「無回答」を除いた各属性区分の上位3項目を示し、濃い網掛けは最多項目を、薄い網掛けは2番目に多い項目を示している。

図表 「奈良のブランド」として全国に発信できるキーワード（問13 3つ以内で複数回答／県全体上位5項目、地域別）

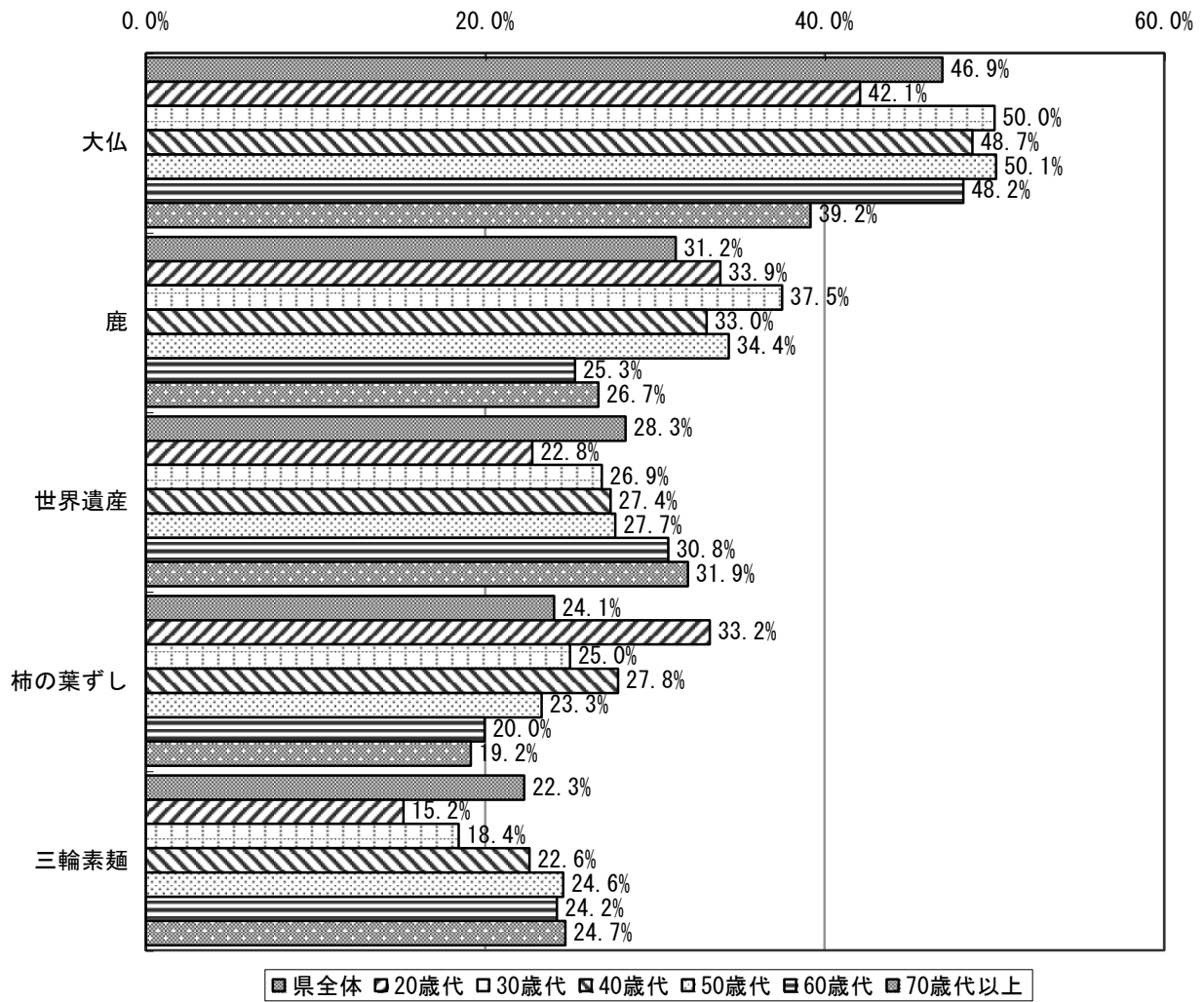


図表 「奈良のブランド」として全国に発信できるキーワード（問13 3つ以内で複数回答／県全体上位5項目、性別）



(注) 母数については前ページの表参照

図表 「奈良のブランド」として全国に発信できるキーワード（問13 3つ以内で複数回答／県全体上位5項目、年齢別）



(注) 母数については前ページの表参照

(2) 奈良県の特産品の認知度

図表 奈良県の特産品の認知度（問14 複数回答／県全体、地域別、性別、年齢別、ライフステージ別、旧住民・新住民別、奈良での就労別）（1）

		全 体	柿 の 葉 ず し	奈 良 漬	素 麺	葛 (く ず)	靴 下	箸 ・ 割 り 箸	日 本 酒	製 菓	ミ ッ グ ロ ー ブ	和 紙	蚊 帳
県全体		2,667	2,592 97.2%	2,561 96.0%	2,474 92.8%	2,361 88.5%	2,055 77.1%	1,461 54.8%	1,298 48.7%	1,242 46.6%	1,235 46.3%	714 26.8%	657 24.6%
地域別	地域1(北部)	1,271	1,237 97.3%	1,233 97.0%	1,164 91.6%	1,112 87.5%	904 71.1%	580 45.6%	624 49.1%	477 37.5%	522 41.1%	290 22.8%	439 34.5%
	地域2(西部)	252	244 96.8%	244 96.8%	239 94.8%	226 89.7%	214 84.9%	115 45.6%	113 44.8%	94 37.3%	137 54.4%	45 17.9%	55 21.8%
	地域3(中部)	659	640 97.1%	637 96.7%	618 93.8%	592 89.8%	571 86.6%	392 59.5%	311 47.2%	384 58.3%	334 50.7%	155 23.5%	83 12.6%
	地域4(東部)	209	202 96.7%	197 94.3%	202 96.7%	185 88.5%	163 78.0%	139 66.5%	95 45.5%	119 56.9%	122 58.4%	77 36.8%	35 16.7%
	地域5(南東部)	181	175 96.7%	165 91.2%	164 90.6%	165 91.2%	133 73.5%	162 89.5%	108 59.7%	119 65.7%	88 48.6%	122 67.4%	34 18.8%
	地域6(南西部)	95	94 98.9%	85 89.5%	87 91.6%	81 85.3%	70 73.7%	73 76.8%	47 49.5%	49 51.6%	32 33.7%	25 26.3%	11 11.6%
性別	男性	1,142	1,107 96.9%	1,091 95.5%	1,042 91.2%	975 85.4%	855 74.9%	614 53.8%	595 52.1%	535 46.8%	613 53.7%	289 25.3%	212 18.6%
	女性	1,519	1,479 97.4%	1,464 96.4%	1,426 93.9%	1,380 90.8%	1,196 78.7%	843 55.5%	701 46.1%	706 46.5%	620 40.8%	423 27.8%	443 29.2%
年齢別	20歳代	316	307 97.2%	302 95.6%	258 81.6%	224 70.9%	203 64.2%	100 31.6%	94 29.7%	87 27.5%	121 38.3%	76 24.1%	29 9.2%
	30歳代	320	310 96.9%	308 96.3%	288 90.0%	283 88.4%	225 70.3%	131 40.9%	133 41.6%	109 34.1%	94 29.4%	65 20.3%	55 17.2%
	40歳代	460	446 97.0%	437 95.0%	428 93.0%	405 88.0%	356 77.4%	230 50.0%	223 48.5%	209 45.4%	202 43.9%	100 21.7%	96 20.9%
	50歳代	553	544 98.4%	539 97.5%	533 96.4%	516 93.3%	472 85.4%	328 59.3%	300 54.2%	309 55.9%	296 53.5%	145 26.2%	145 26.2%
	60歳代	656	637 97.1%	631 96.2%	628 95.7%	608 92.7%	517 78.8%	438 66.8%	355 54.1%	354 54.0%	347 52.9%	210 32.0%	207 31.6%
	70歳代以上	360	346 96.1%	342 95.0%	337 93.6%	323 89.7%	280 77.8%	233 64.7%	191 53.1%	173 48.1%	174 48.3%	117 32.5%	124 34.4%
	ライフステージ別 (複数回答)	若者	306	297 97.1%	292 95.4%	250 81.7%	215 70.3%	195 63.7%	97 31.7%	90 29.4%	83 27.1%	119 38.9%	74 24.2%
夫婦		292	279 95.5%	284 97.3%	279 95.5%	269 92.1%	224 76.7%	185 63.4%	164 56.2%	147 50.3%	145 49.7%	75 25.7%	89 30.5%
育児期		239	231 96.7%	228 95.4%	212 88.7%	207 86.6%	168 70.3%	86 36.0%	85 35.6%	75 31.4%	68 28.5%	31 13.0%	40 16.7%
教育期前期		484	471 97.3%	463 95.7%	450 93.0%	427 88.2%	383 79.1%	251 51.9%	227 46.9%	214 44.2%	221 45.7%	114 23.6%	95 19.6%
教育期後期		256	252 98.4%	247 96.5%	245 95.7%	237 92.6%	222 86.7%	146 57.0%	130 50.8%	135 52.7%	137 53.5%	68 26.6%	59 23.0%
単身高齢者		74	70 94.6%	68 91.9%	67 90.5%	63 85.1%	55 74.3%	40 54.1%	41 55.4%	27 36.5%	26 35.1%	22 29.7%	24 32.4%
高齢者夫婦		359	346 96.4%	340 94.7%	344 95.8%	329 91.6%	287 79.9%	239 66.6%	192 53.5%	182 50.7%	187 52.1%	108 30.1%	114 31.8%
新旧住民別		奈良県にずっと 住んでいる人	1,385	1,344 97.0%	1,320 95.3%	1,278 92.3%	1,203 86.9%	1,084 78.3%	836 60.4%	680 49.1%	712 51.4%	724 52.3%	451 32.6%
	奈良県に新しく きた人	1,262	1,230 97.5%	1,224 97.0%	1,180 93.5%	1,144 90.6%	957 75.8%	613 48.6%	610 48.3%	521 41.3%	505 40.0%	257 20.4%	344 27.3%
奈良での 就労別	奈良県内で 働いている人	1,178	1,145 97.2%	1,133 96.2%	1,099 93.3%	1,041 88.4%	920 78.1%	656 55.7%	593 50.3%	584 49.6%	577 49.0%	309 26.2%	278 23.6%
	奈良県外で 働いている人	449	438 97.6%	436 97.1%	417 92.9%	387 86.2%	329 73.3%	239 41.9%	188 49.2%	165 36.7%	180 40.1%	82 18.3%	83 18.5%

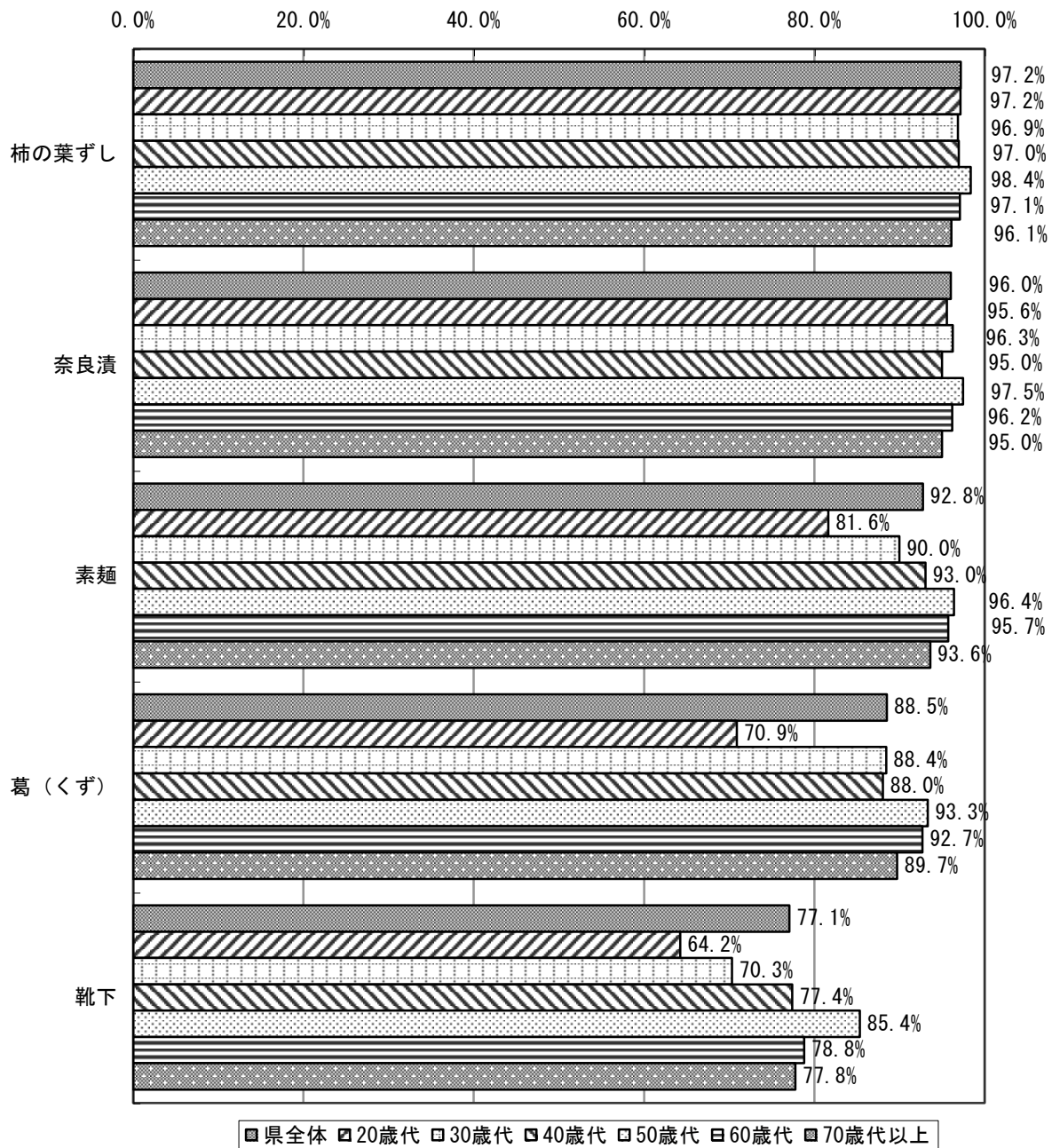
(注) 集計結果は県全体の多い順(「その他」と無回答は除く)に並べている。太字は「無回答」を除いた各属性区分の上位3項目を示し、濃い網掛けは最多項目を、薄い網掛けは2番目に多い項目を示している。

図表 奈良県の特産品の認知度（問14 複数回答／県全体、地域別、性別、年齢別、ライフステージ別、旧住民・新住民別、奈良での就労別）（2）

		全 体	貝 ボ タ ン	醬 油	ニ ツ ト	ス キ ー 靴	ク ブ 製 ラ ス チ ッ	そ の 他	無 回 答
県全体		2,667	591 22.2%	522 19.6%	382 14.3%	355 13.3%	305 11.4%	98 3.7%	24 0.9%
地域別	地域1（北部）	1,271	251 19.7%	167 13.1%	137 10.8%	163 12.8%	115 9.0%	50 3.9%	12 0.9%
	地域2（西部）	252	60 23.8%	61 24.2%	35 13.9%	34 13.5%	23 9.1%	9 3.6%	1 0.4%
	地域3（中部）	659	173 26.3%	124 18.8%	136 20.6%	91 13.8%	105 15.9%	22 3.3%	3 0.5%
	地域4（東部）	209	56 26.8%	48 23.0%	29 13.9%	35 16.7%	20 9.6%	8 3.8%	3 1.4%
	地域5（南東部）	181	34 18.8%	99 54.7%	35 19.3%	22 12.2%	30 16.6%	6 3.3%	4 2.2%
	地域6（南西部）	95	17 17.9%	23 24.2%	10 10.5%	10 10.5%	12 12.6%	3 3.2%	1 1.1%
性別	男性	1,142	269 23.6%	220 19.3%	179 15.7%	203 17.8%	145 12.7%	44 3.9%	7 0.6%
	女性	1,519	321 21.1%	301 19.8%	202 13.3%	151 9.9%	159 10.5%	54 3.6%	17 1.1%
年齢別	20歳代	316	44 13.9%	38 12.0%	19 6.0%	28 8.9%	15 4.7%	11 3.5%	3 0.9%
	30歳代	320	48 15.0%	47 14.7%	34 10.6%	12 3.8%	24 7.5%	10 3.1%	2 0.6%
	40歳代	460	95 20.7%	81 17.6%	70 15.2%	44 9.6%	63 13.7%	15 3.3%	3 0.7%
	50歳代	553	146 26.4%	129 23.3%	104 18.8%	109 19.7%	75 13.6%	32 5.8%	3 0.5%
	60歳代	656	178 27.1%	156 23.8%	103 15.7%	115 17.5%	80 12.2%	19 2.9%	6 0.9%
	70歳代以上	360	79 21.9%	70 19.4%	51 14.2%	47 13.1%	47 13.1%	11 3.1%	7 1.9%
ライフステージ別 （複数回答）	若者	306	43 14.1%	37 12.1%	19 6.2%	28 9.2%	15 4.9%	10 3.3%	3 1.0%
	夫婦	292	77 26.4%	67 22.9%	49 16.8%	40 13.7%	34 11.6%	23 7.9%	3 1.0%
	育児期	239	37 15.5%	32 13.4%	21 8.8%	12 5.0%	17 7.1%	7 2.9%	3 1.3%
	教育期前期	484	102 21.1%	82 16.9%	80 16.5%	56 11.6%	58 12.0%	19 3.9%	2 0.4%
	教育期後期	256	68 26.6%	61 23.8%	45 17.6%	50 19.5%	42 16.4%	16 6.3%	1 0.4%
	単身高齢者	74	12 16.2%	14 18.9%	11 14.9%	6 8.1%	7 9.5%	3 4.1%	2 2.7%
	高齢者夫婦	359	87 24.2%	81 22.6%	52 14.5%	58 16.2%	43 12.0%	8 2.2%	7 1.9%
新旧住民別・ 奈良での就労別	奈良県にずっと 住んでいる人	1,385	371 26.8%	323 23.3%	223 16.1%	233 16.8%	202 14.6%	48 3.5%	13 0.9%
	奈良県に新しく きた人	1,262	216 17.1%	196 15.5%	156 12.4%	121 9.6%	101 8.0%	50 4.0%	9 0.7%
奈良県内で 働いている人	奈良県内で 働いている人	1,178	297 25.2%	252 21.4%	192 16.3%	163 13.8%	150 12.7%	45 3.8%	7 0.6%
	奈良県外で 働いている人	449	54 12.0%	57 12.7%	48 10.7%	53 11.8%	28 6.2%	15 3.3%	2 0.4%

（注）集計結果は県全体の多い順（「その他」と無回答は除く）に並べている。太字は「無回答」を除いた各属性区分の上位3項目を示し、濃い網掛けは最多項目を、薄い網掛けは2番目に多い項目を示している。

図表 奈良県の特産品の認知度（問14 複数回答／県全体上位5項目、年齢別）



(注) 母数については前ページの表参照

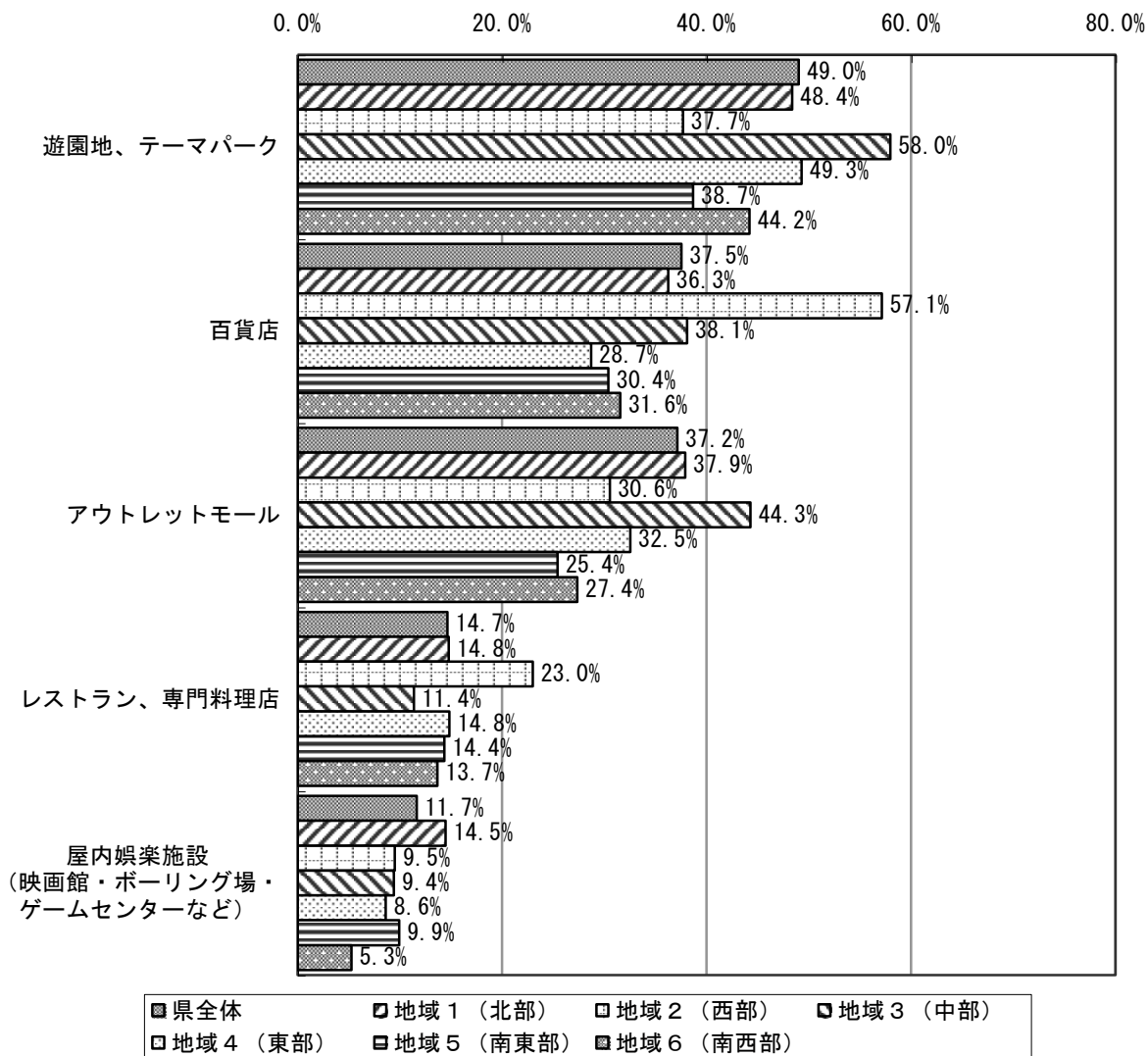
(3) 県外で利用することが多い商業施設

図表 県外で利用することが多い商業施設（問15 2つ以内で複数回答／県全体、地域別、性別、年齢別、ライフステージ別、旧住民・新住民別、奈良での就労別）

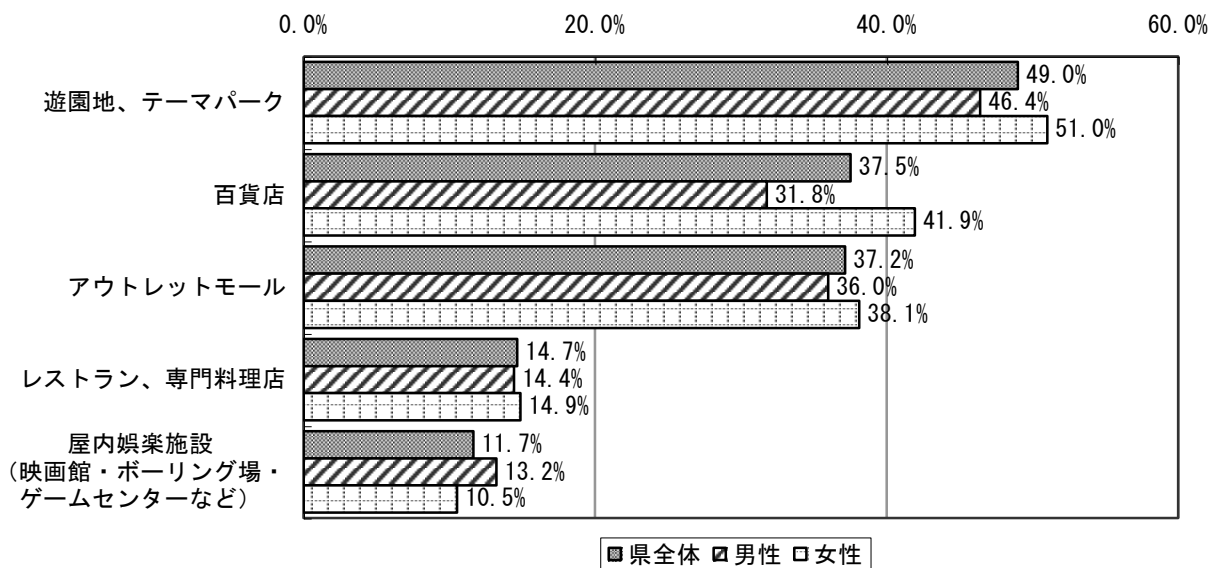
	全 体	遊 園 地 、 テ マ パ ー ク	百 貨 店	ア ウ ト レ ッ ト モ ー ル	レ ス ト ラ ン 、 専 門 料 理 店	タ ー リ ン グ 場 ・ ゲ ー ム セ ン	屋 内 娯 楽 施 設 （ 映 画 館 ・ ボ ー リ ン グ 場 ・ ゲ ー ム セ ン	特 に な し	複 合 商 業 施 設	ス ー パ ー マ ー ケ ッ ト	家 電 量 販 店	ラ ン グ ビ ニ エ ン ス ス ト ア 、 ド	そ の 他	無 回 答	
県全体	2,667	1,307 49.0%	1,001 37.5%	991 37.2%	391 14.7%	311 11.7%	262 9.8%	256 9.6%	133 5.0%	117 4.4%	65 2.4%	71 2.7%	48 1.8%		
地域別	地域1（北部）	1,271	615 48.4%	461 36.3%	482 37.9%	188 14.8%	184 14.5%	122 9.6%	129 10.1%	51 4.0%	55 4.3%	25 2.0%	32 2.5%	18 1.4%	
	地域2（西部）	252	95 37.7%	144 57.1%	77 30.6%	58 23.0%	24 9.5%	23 9.1%	26 10.3%	7 2.8%	9 3.6%	4 1.6%	4 1.6%	5 2.0%	
	地域3（中部）	659	382 58.0%	251 38.1%	292 44.3%	75 11.4%	62 9.4%	51 7.7%	63 9.6%	18 2.7%	20 3.0%	8 1.2%	24 3.6%	4 0.6%	
	地域4（東部）	209	103 49.3%	60 28.7%	68 32.5%	31 14.8%	18 8.6%	19 9.1%	20 9.6%	28 13.4%	11 5.3%	11 5.3%	6 2.9%	5 2.4%	
	地域5（南東部）	181	70 38.7%	55 30.4%	46 25.4%	26 14.4%	18 9.9%	31 17.1%	12 6.6%	16 8.8%	13 7.2%	12 6.6%	2 2.2%	4 6.6%	12 6.6%
	地域6（南西部）	95	42 44.2%	30 31.6%	26 27.4%	13 13.7%	5 5.3%	16 16.8%	6 6.3%	13 13.7%	9 9.5%	5 5.3%	1 1.1%	4 4.2%	
性別	男性	1,142	530 46.4%	363 31.8%	411 36.0%	165 14.4%	151 13.2%	145 12.7%	103 9.0%	50 4.4%	58 5.1%	32 2.8%	36 3.2%	17 1.5%	
	女性	1,519	775 51.0%	637 41.9%	579 38.1%	226 14.9%	160 10.5%	116 7.6%	151 9.9%	82 5.4%	59 3.9%	33 2.2%	35 2.3%	30 2.0%	
年齢別	20歳代	316	188 59.5%	74 23.4%	167 52.8%	34 10.8%	79 25.0%	11 3.5%	53 16.8%	11 3.5%	11 3.5%	5 1.6%	9 2.8%	2 0.6%	
	30歳代	320	199 62.2%	127 39.7%	167 52.2%	40 12.5%	34 10.6%	12 3.8%	44 13.8%	14 4.4%	14 4.4%	10 3.1%	6 1.9%	1 0.3%	
	40歳代	460	276 60.0%	155 33.7%	201 43.7%	43 9.3%	47 10.2%	33 7.2%	55 12.0%	23 5.0%	19 4.1%	13 2.8%	18 3.9%	3 0.7%	
	50歳代	553	283 51.2%	229 41.4%	227 41.0%	81 14.6%	47 8.5%	52 9.4%	43 7.8%	16 2.9%	20 3.6%	9 1.6%	18 3.3%	2 0.4%	
	60歳代	656	257 39.2%	279 42.5%	178 27.1%	119 18.1%	63 9.6%	99 15.1%	35 5.3%	45 6.9%	34 5.2%	17 2.6%	15 2.3%	14 2.1%	
	70歳代以上	360	103 28.6%	136 37.8%	50 13.9%	74 20.6%	41 11.4%	55 15.3%	25 6.9%	24 6.7%	19 5.3%	11 3.1%	5 1.4%	26 7.2%	
	ライフステージ別（複数回答）	若者	306	183 59.8%	71 23.2%	159 52.0%	33 10.8%	78 25.5%	11 3.6%	48 15.7%	10 3.3%	11 3.6%	5 1.6%	9 2.9%	2 0.7%
夫婦		292	123 42.1%	132 45.2%	107 36.6%	46 15.8%	32 11.0%	33 11.3%	30 10.3%	9 3.1%	13 4.5%	8 2.7%	6 2.1%	4 1.4%	
育児期		239	161 67.4%	88 36.8%	119 49.8%	17 7.1%	21 8.8%	10 4.2%	30 12.6%	13 5.4%	8 3.3%	5 2.1%	9 3.8%	1 0.4%	
教育期前期		484	334 69.0%	146 30.2%	221 45.7%	36 7.4%	42 8.7%	36 7.4%	43 8.9%	22 4.5%	16 3.3%	8 1.7%	20 4.1%	4 0.8%	
教育期後期		256	129 50.4%	95 37.1%	106 41.4%	35 13.7%	23 9.0%	26 10.2%	19 7.4%	11 4.3%	11 4.3%	2 0.8%	8 3.1%	3 1.2%	
単身高齢者		74	16 21.6%	31 41.9%	4 5.4%	13 17.6%	10 13.5%	13 17.6%	3 4.1%	9 12.2%	8 10.8%	3 4.1%	2 2.7%	6 8.1%	
高齢者夫婦		359	117 32.6%	150 41.8%	71 19.8%	82 22.8%	28 7.8%	55 15.3%	20 5.6%	25 7.0%	15 4.2%	7 1.9%	5 1.4%	20 5.6%	
新旧住民別	奈良県にずっと住んでいる人	1,385	741 53.5%	450 32.5%	566 40.9%	170 12.3%	150 10.8%	123 8.9%	144 10.4%	80 5.8%	52 3.8%	39 2.8%	30 2.2%	29 2.1%	
	奈良県に新しくきた人	1,262	561 44.5%	544 43.1%	422 33.4%	217 17.2%	156 12.4%	137 10.9%	111 8.8%	51 4.0%	64 5.1%	26 2.1%	41 3.2%	17 1.3%	
奈良での就労別	奈良県内で働いている人	1,178	645 54.8%	391 33.2%	513 43.5%	120 10.2%	129 11.0%	110 9.3%	130 11.0%	56 4.8%	42 3.6%	34 2.9%	37 3.1%	9 0.8%	
	奈良県外で働いている人	449	222 49.4%	202 45.0%	192 42.8%	98 21.8%	64 14.3%	25 5.6%	56 12.5%	15 3.3%	25 5.6%	13 2.9%	9 2.0%	2 0.4%	

（注）集計結果は県全体の多い順（「その他」と無回答は除く）に並べている。太字は「無回答」を除いた各属性区分の上位3項目を示し、濃い網掛けは最多項目を、薄い網掛けは2番目に多い項目を示している。

図表 県外で利用することが多い商業施設（問15 2つ以内で複数回答／県全体上位5項目、地域別）

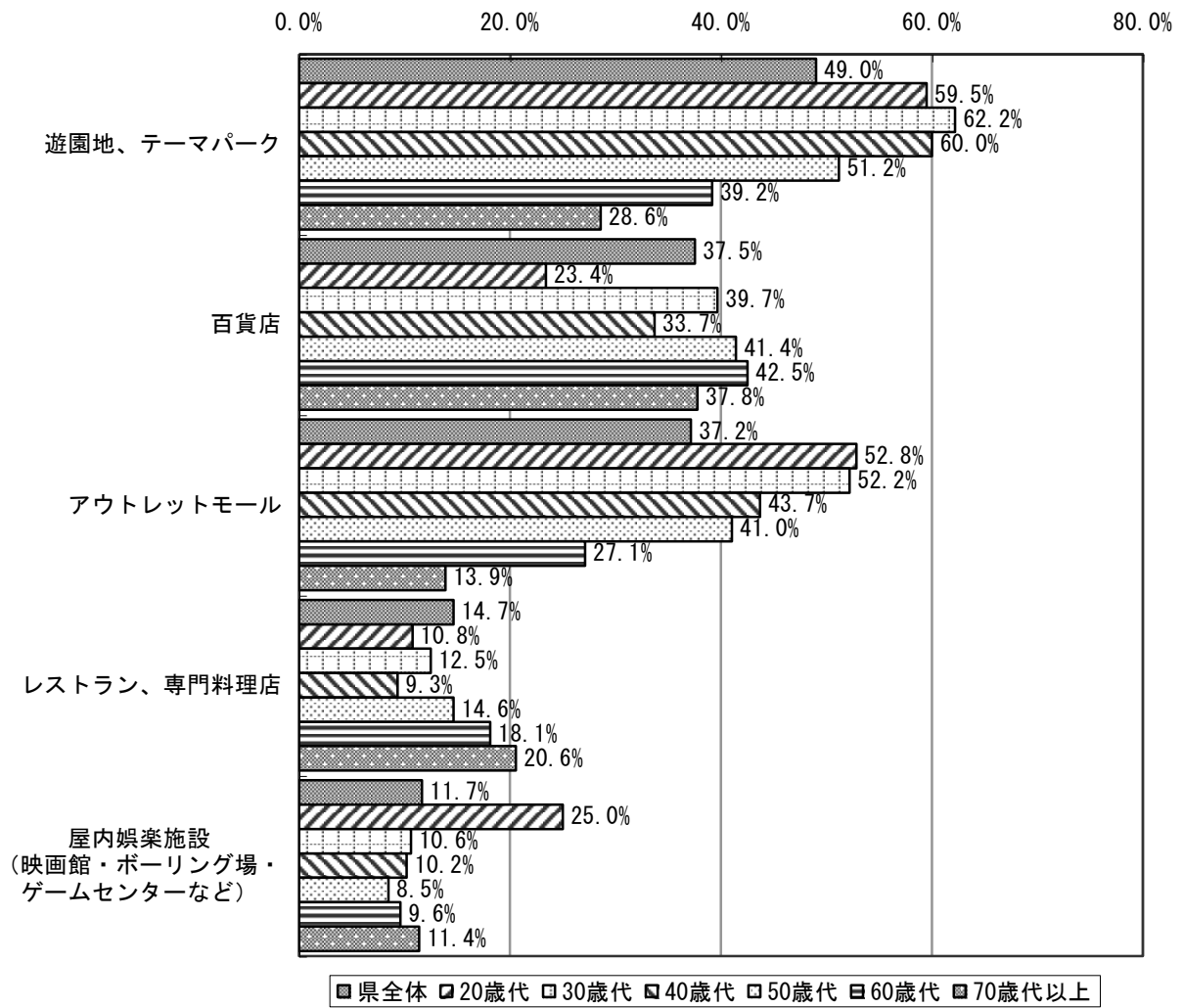


図表 県外で利用することが多い商業施設（問15 2つ以内で複数回答／県全体上位5項目、性別）



(注) 母数については前ページの表参照

図表 県外で利用することが多い商業施設（問15 2つ以内で複数回答／県全体上位5項目、地域別、性別、年齢別）



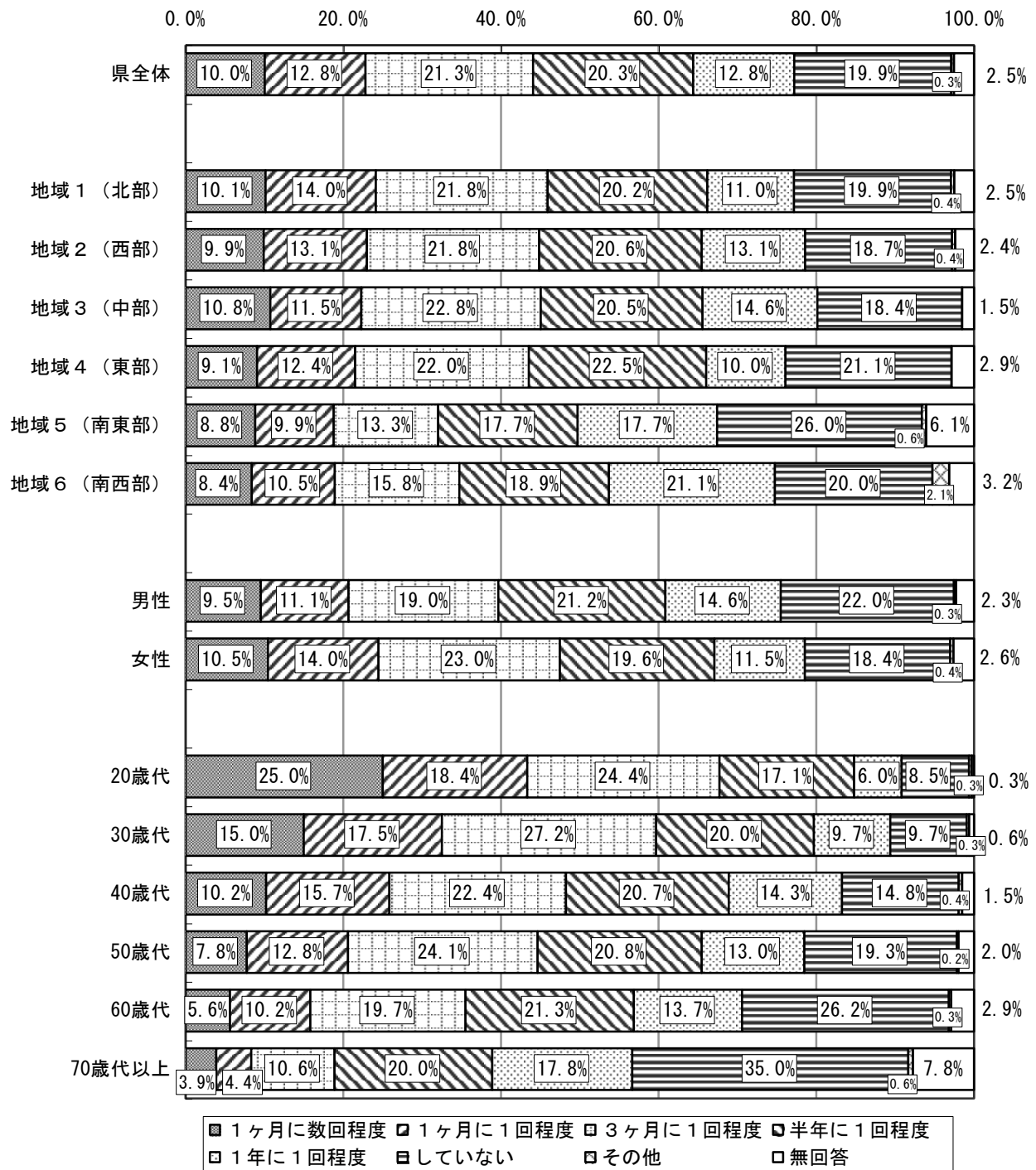
(注) 母数については前ページの表参照

(4) 日用品以外の県外での買い物の頻度

図表 日用品以外の県外での買い物の頻度 (問16 単数回答/県全体、地域別、性別、年齢別、ライフステージ別、旧住民・新住民別、奈良での就労別)

		全 体	回1 程 度 月 に 数	回1 程 度 月 に 1	回3 程 度 月 に 1	程半 度年 に 1 回	程1 度年 に 1 回	して い な い	そ の 他	無 回 答
県全体		2,667	268 10.0%	341 12.8%	567 21.3%	541 20.3%	342 12.8%	531 19.9%	9 0.3%	68 2.5%
地域別	地域1(北部)	1,271	129 10.1%	178 14.0%	277 21.8%	257 20.2%	140 11.0%	253 19.9%	5 0.4%	32 2.5%
	地域2(西部)	252	25 9.9%	33 13.1%	55 21.8%	52 20.6%	33 13.1%	47 18.7%	1 0.4%	6 2.4%
	地域3(中部)	659	71 10.8%	76 11.5%	150 22.8%	135 20.5%	96 14.6%	121 18.4%	0 0.0%	10 1.5%
	地域4(東部)	209	19 9.1%	26 12.4%	46 22.0%	47 22.5%	21 10.0%	44 21.1%	0 0.0%	6 2.9%
	地域5(南東部)	181	16 8.8%	18 9.9%	24 13.3%	32 17.7%	32 17.7%	47 26.0%	1 0.6%	11 6.1%
	地域6(南西部)	95	8 8.4%	10 10.5%	15 15.8%	18 18.9%	20 21.1%	19 20.0%	2 2.1%	3 3.2%
性別	男性	1,142	109 9.5%	127 11.1%	217 19.0%	242 21.2%	167 14.6%	251 22.0%	3 0.3%	26 2.3%
	女性	1,519	159 10.5%	213 14.0%	349 23.0%	298 19.6%	174 11.5%	280 18.4%	6 0.4%	40 2.6%
年齢別	20歳代	316	79 25.0%	58 18.4%	77 24.4%	54 17.1%	19 6.0%	27 8.5%	1 0.3%	1 0.3%
	30歳代	320	48 15.0%	56 17.5%	87 27.2%	64 20.0%	31 9.7%	31 9.7%	1 0.3%	2 0.6%
	40歳代	460	47 10.2%	72 15.7%	103 22.4%	95 20.7%	66 14.3%	68 14.8%	2 0.4%	7 1.5%
	50歳代	553	43 7.8%	71 12.8%	133 24.1%	115 20.8%	72 13.0%	107 19.3%	1 0.2%	11 2.0%
	60歳代	656	37 5.6%	67 10.2%	129 19.7%	140 21.3%	90 13.7%	172 26.2%	2 0.3%	19 2.9%
	70歳代以上	360	14 3.9%	16 4.4%	38 10.6%	72 20.0%	64 17.8%	126 35.0%	2 0.6%	28 7.8%
ライフステージ別(複数回答)	若者	306	78 25.5%	56 18.3%	71 23.2%	54 17.6%	19 6.2%	26 8.5%	1 0.3%	1 0.3%
	夫婦	292	26 8.9%	31 10.6%	79 27.1%	59 20.2%	35 12.0%	54 18.5%	0 0.0%	8 2.7%
	育児期	239	21 8.8%	47 19.7%	56 23.4%	56 23.4%	27 11.3%	28 11.7%	1 0.4%	3 1.3%
	教育期前期	484	40 8.3%	62 12.8%	122 25.2%	94 19.4%	76 15.7%	80 16.5%	1 0.2%	9 1.9%
	教育期後期	256	17 6.6%	37 14.5%	64 25.0%	49 19.1%	39 15.2%	45 17.6%	1 0.4%	4 1.6%
	単身高齢者	74	2 2.7%	3 4.1%	11 14.9%	14 18.9%	9 12.2%	27 36.5%	1 1.4%	7 9.5%
	高齢者夫婦	359	15 4.2%	26 7.2%	58 16.2%	84 23.4%	52 14.5%	103 28.7%	0 0.0%	21 5.8%
新住民別	奈良県にずっと住んでいる人	1,385	153 11.0%	171 12.3%	268 19.4%	287 20.7%	185 13.4%	280 20.2%	5 0.4%	36 2.6%
	奈良県に新しくきた人	1,262	114 9.0%	167 13.2%	296 23.5%	248 19.7%	156 12.4%	247 19.6%	4 0.3%	30 2.4%
奈良での就労別	奈良県内で働いている人	1,178	102 8.7%	166 14.1%	266 22.6%	247 21.0%	154 13.1%	220 18.7%	4 0.3%	19 1.6%
	奈良県外で働いている人	449	97 21.6%	81 18.0%	106 23.6%	76 16.9%	44 9.8%	35 7.8%	3 0.7%	7 1.6%

図表 日用品以外の県外での買い物の頻度（問16 単数回答／県全体、年度別、地域別、性別、年齢別）



(注) 母数については前ページの表参照

(5) 日用品以外を県外で購入する理由

図表 日用品以外を県外で購入する理由（問17 3つ以内で複数回答／県全体、地域別、性別、年齢別、ライフステージ別、旧住民・新住民別、奈良での就労別）

	全 体	品 揃 え が 多 い か ら	奈 良 県 に な い 商 品 が あ る	お 店 の 選 択 肢 が 豊 富 だ	行 く 商 品 の 良 い お 店 や 流 	食 事 を し た り 、 遊 び か ら な	か ら 価 格 が 安 い も の が あ る	ら ブ ラ ン ド 商 品 が あ る か	か ら 行 き つ け の お 店 が あ る	い る か ら 県 外 へ 通 勤 、 通 学 し て	が 高 機 能 ・ 高 品 質 の 品 物 が あ る か ら	か ら 生 活 圏 内 に お 店 が あ る	そ の 他	無 回 答	
県全体	2,667	1,250 46.9%	874 32.8%	823 30.9%	753 28.2%	649 24.3%	627 23.5%	349 13.1%	229 8.6%	219 8.2%	184 6.9%	156 5.8%	64 2.4%	223 8.4%	
地域別	地域1（北部）	1,271	594 46.7%	455 35.8%	396 31.2%	385 30.3%	302 23.8%	274 21.6%	149 11.7%	106 8.3%	104 8.2%	94 7.4%	62 4.9%	33 2.6%	114 9.0%
	地域2（西部）	252	115 45.6%	67 26.6%	88 34.9%	72 28.6%	28 11.1%	39 15.5%	48 19.0%	26 10.3%	33 13.1%	25 9.9%	14 5.6%	3 1.2%	20 7.9%
	地域3（中部）	659	317 48.1%	236 35.8%	216 32.8%	192 29.1%	160 24.3%	175 26.6%	97 14.7%	46 7.0%	64 9.7%	36 5.5%	23 3.5%	15 2.3%	33 5.0%
	地域4（東部）	209	94 45.0%	61 29.2%	58 27.8%	44 21.1%	57 27.3%	63 30.1%	26 12.4%	17 8.1%	12 5.7%	15 7.2%	27 12.9%	1 0.5%	21 10.0%
	地域5（南東部）	181	86 47.5%	38 21.0%	45 24.9%	37 20.4%	40 22.1%	51 28.2%	19 10.5%	16 8.8%	3 1.7%	12 6.6%	13 7.2%	5 2.8%	27 14.9%
	地域6（南西部）	95	44 46.3%	17 17.9%	20 21.1%	23 24.2%	18 18.9%	25 26.3%	10 10.5%	18 18.9%	3 3.2%	2 2.1%	17 17.9%	7 7.4%	8 8.4%
性別	男性	1,142	526 46.1%	384 33.6%	338 29.6%	258 22.6%	218 19.1%	309 27.1%	157 13.7%	83 7.3%	131 11.5%	90 7.9%	83 7.3%	22 1.9%	90 7.9%
	女性	1,519	721 47.5%	490 32.3%	483 31.8%	494 32.5%	431 28.4%	318 20.9%	192 12.6%	145 9.5%	88 5.8%	93 6.1%	73 4.8%	42 2.8%	130 8.6%
年齢別	20歳代	316	158 50.0%	137 43.4%	119 37.7%	104 32.9%	80 25.3%	59 18.7%	47 14.9%	27 8.5%	51 16.1%	15 4.7%	12 3.8%	6 1.9%	7 2.2%
	30歳代	320	167 52.2%	150 46.9%	117 36.6%	114 35.6%	84 26.3%	63 19.7%	57 17.8%	27 8.4%	26 8.1%	21 6.6%	10 3.1%	3 0.9%	13 4.1%
	40歳代	460	216 47.0%	188 40.9%	138 30.0%	133 28.9%	108 23.5%	113 24.6%	59 12.8%	25 5.4%	50 10.9%	29 6.3%	20 4.3%	17 3.7%	16 3.5%
	50歳代	553	258 46.7%	164 29.7%	170 30.7%	154 27.8%	146 26.4%	142 25.7%	96 17.4%	41 7.4%	46 8.3%	31 5.6%	36 6.5%	16 2.9%	33 6.0%
	60歳代	656	297 45.3%	153 23.3%	189 28.8%	175 26.7%	147 22.4%	177 27.0%	52 7.9%	76 11.6%	40 6.1%	54 8.2%	53 8.1%	14 2.1%	76 11.6%
	70歳代以上	360	152 42.2%	81 22.5%	90 25.0%	72 20.0%	84 23.3%	73 20.3%	38 10.6%	32 8.9%	6 1.7%	34 9.4%	25 6.9%	8 2.2%	78 21.7%
	ライフステージ別（複数回答）	若者	306	150 49.0%	131 42.8%	115 37.6%	101 33.0%	76 24.8%	59 19.3%	46 15.0%	26 8.5%	50 16.3%	15 4.9%	12 3.9%	6 2.0%
夫婦	292	138 47.3%	80 27.4%	98 33.6%	96 32.9%	80 27.4%	60 20.5%	38 13.0%	32 11.0%	16 5.5%	19 6.5%	22 7.5%	9 3.1%	21 7.2%	
育児期	239	105 43.9%	102 42.7%	73 30.5%	88 36.8%	52 21.8%	56 23.4%	37 15.5%	17 7.1%	19 7.9%	16 6.7%	7 2.9%	8 3.3%	14 5.9%	
教育期前期	484	222 45.9%	198 40.9%	130 26.9%	138 28.5%	121 25.0%	123 25.4%	71 14.7%	28 5.8%	37 7.6%	28 5.8%	23 4.8%	16 3.3%	28 5.8%	
教育期後期	256	132 51.6%	91 35.5%	83 32.4%	73 28.5%	64 25.0%	63 24.6%	40 15.6%	15 5.9%	25 9.8%	15 5.9%	11 4.3%	8 3.1%	11 4.3%	
単身高齢者	74	24 32.4%	18 24.3%	16 21.6%	9 12.2%	17 23.0%	15 20.3%	4 5.4%	13 17.6%	4 5.4%	13 17.6%	7 9.5%	3 4.1%	17 23.0%	
高齢者夫婦	359	163 45.4%	80 22.3%	92 25.6%	94 26.2%	78 21.7%	82 22.8%	40 11.1%	34 9.5%	5 1.4%	31 8.6%	21 5.8%	5 1.4%	58 16.2%	
新旧住民別	奈良県にずっと住んでいる人	1,385	667 48.2%	475 34.3%	420 30.3%	390 28.2%	326 23.5%	332 24.0%	201 14.5%	115 8.3%	101 7.3%	79 5.7%	94 6.8%	32 2.3%	117 8.4%
	奈良県に新しくきた人	1,262	575 45.6%	396 31.4%	397 31.5%	361 28.6%	317 25.1%	291 23.1%	148 11.7%	111 8.8%	115 9.1%	103 8.2%	61 4.8%	32 2.5%	101 8.0%
奈良での就労別	奈良県内で働いている人	1,178	560 47.5%	419 35.6%	382 32.4%	337 28.6%	312 26.5%	301 25.6%	177 15.0%	96 8.1%	11 0.9%	85 7.2%	57 4.8%	28 2.4%	77 6.5%
	奈良県外で働いている人	449	214 47.7%	153 34.1%	145 32.3%	129 28.7%	82 18.3%	98 21.8%	66 14.7%	32 7.1%	163 36.3%	24 5.3%	42 9.4%	9 2.0%	11 2.4%

（注）集計結果は県全体の多い順（「その他」と無回答は除く）に並べている。太字は「無回答」を除いた各属性区分の上位3項目を示し、濃い網掛けは最多項目を、薄い網掛けは2番目に多い項目を示している。

(6) 日用品以外を県外で購入する頻度の増減

図表 日用品以外を県外で購入する頻度の増減(問18 単数回答/県全体、地域別、性別、年齢別、ライフステージ別、旧住民・新住民別、奈良での就労別)

		全 体	増 え た	やや 増 え た	やや 減 つ た	減 つ た	変 わ ら な い	わ か ら な い	無 回 答
県 全 体		2,667	212 7.9%	175 6.6%	271 10.2%	344 12.9%	1,475 55.3%	120 4.5%	70 2.6%
地域 別	地域1(北部)	1,271	92 7.2%	87 6.8%	117 9.2%	165 13.0%	718 56.5%	64 5.0%	28 2.2%
	地域2(西部)	252	17 6.7%	14 5.6%	37 14.7%	36 14.3%	132 52.4%	6 2.4%	10 4.0%
	地域3(中部)	659	65 9.9%	46 7.0%	59 9.0%	77 11.7%	380 57.7%	25 3.8%	7 1.1%
	地域4(東部)	209	17 8.1%	12 5.7%	26 12.4%	30 14.4%	108 51.7%	9 4.3%	7 3.3%
	地域5(南東部)	181	10 5.5%	11 6.1%	20 11.0%	29 16.0%	85 47.0%	12 6.6%	14 7.7%
	地域6(南西部)	95	11 11.6%	5 5.3%	12 12.6%	7 7.4%	52 54.7%	4 4.2%	4 4.2%
性別	男性	1,142	96 8.4%	78 6.8%	99 8.7%	119 10.4%	662 58.0%	63 5.5%	25 2.2%
	女性	1,519	116 7.6%	97 6.4%	171 11.3%	225 14.8%	809 53.3%	57 3.8%	44 2.9%
年齢 別	20歳代	316	71 22.5%	29 9.2%	30 9.5%	22 7.0%	155 49.1%	9 2.8%	0 0.0%
	30歳代	320	28 8.8%	23 7.2%	30 9.4%	32 10.0%	189 59.1%	17 5.3%	1 0.3%
	40歳代	460	38 8.3%	44 9.6%	29 6.3%	35 7.6%	291 63.3%	21 4.6%	2 0.4%
	50歳代	553	40 7.2%	37 6.7%	47 8.5%	70 12.7%	338 61.1%	16 2.9%	5 0.9%
	60歳代	656	27 4.1%	38 5.8%	87 13.3%	103 15.7%	333 50.8%	36 5.5%	32 4.9%
	70歳代以上	360	8 2.2%	4 1.1%	48 13.3%	82 22.8%	167 46.4%	21 5.8%	30 8.3%
ライフ ス テ ー ジ 別 (複 数 回 答)	若者	306	67 21.9%	28 9.2%	28 9.2%	21 6.9%	153 50.0%	9 2.9%	0 0.0%
	夫婦	292	21 7.2%	18 6.2%	35 12.0%	44 15.1%	157 53.8%	10 3.4%	7 2.4%
	育児期	239	14 5.9%	13 5.4%	32 13.4%	30 12.6%	135 56.5%	12 5.0%	3 1.3%
	教育期前期	484	45 9.3%	35 7.2%	35 7.2%	43 8.9%	303 62.6%	19 3.9%	4 0.8%
	教育期後期	256	16 6.3%	25 9.8%	17 6.6%	30 11.7%	153 59.8%	14 5.5%	1 0.4%
	単身高齢者	74	2 2.7%	0 0.0%	8 10.8%	18 24.3%	33 44.6%	2 2.7%	11 14.9%
	高齢者夫婦	359	11 3.1%	10 2.8%	61 17.0%	66 18.4%	172 47.9%	17 4.7%	22 6.1%
新旧 住 民 別	奈良県にずっと 住んでいる人	1,385	116 8.4%	96 6.9%	136 9.8%	173 12.5%	760 54.9%	65 4.7%	39 2.8%
	奈良県に新しく きた人	1,262	95 7.5%	79 6.3%	132 10.5%	167 13.2%	704 55.8%	55 4.4%	30 2.4%
奈良 で の 就 労 別	奈良県内で 働いている人	1,178	93 7.9%	91 7.7%	110 9.3%	122 10.4%	682 57.9%	63 5.3%	17 1.4%
	奈良県外で 働いている人	449	56 12.5%	29 6.5%	36 8.0%	27 6.0%	289 64.4%	10 2.2%	2 0.4%

図表 日用品以外を県外で購入する頻度の増減（問18 単数回答／県全体、年度別、地域別、性別、年齢別）



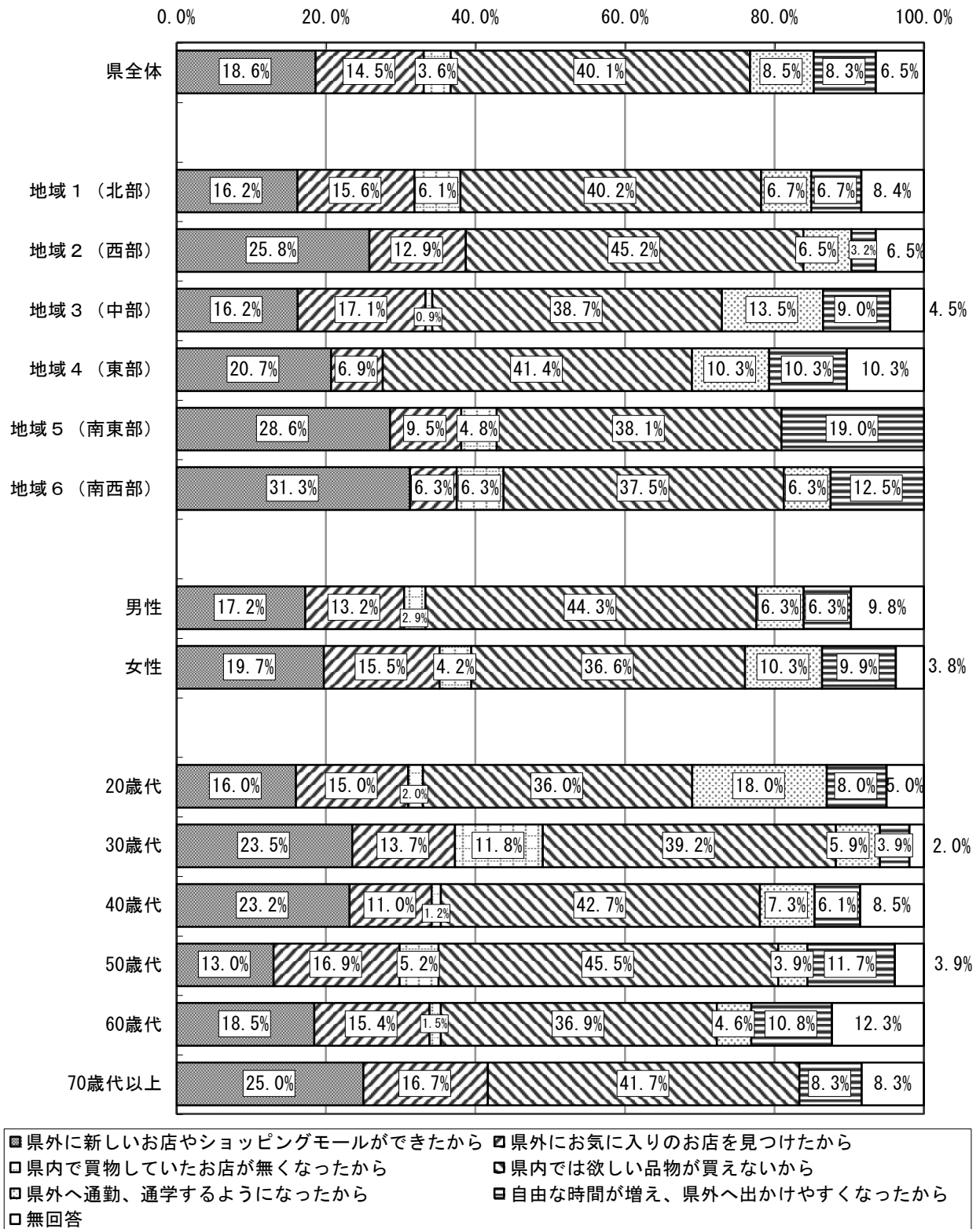
（注）母数については前ページの表参照

(7) 日用品以外を県外で購入する頻度の変化の理由

図表 日用品以外を県外で購入する頻度が増えた理由（問19-① 単数回答／県全体、年度別、地域別、性別、年齢別、ライフステージ別、旧住民・新住民別、奈良での就労別）

		全 体	が シ 県 外 に 新 し い お 店 ル や	お 店 外 に お つ け た 入 り の	ら お 店 内 で 無 く な つ た た	が 県 内 で は 欲 し い 品 物	る 県 外 へ 通 勤 、 通 学 す	な つ た へ 出 か け や す く	無 回 答
県全体		387	72 18.6%	56 14.5%	14 3.6%	155 40.1%	33 8.5%	32 8.3%	25 6.5%
地域別	地域1（北部）	179	29 16.2%	28 15.6%	11 6.1%	72 40.2%	12 6.7%	12 6.7%	15 8.4%
	地域2（西部）	31	8 25.8%	4 12.9%	0 0.0%	14 45.2%	2 6.5%	1 3.2%	2 6.5%
	地域3（中部）	111	18 16.2%	19 17.1%	1 0.9%	43 38.7%	15 13.5%	10 9.0%	5 4.5%
	地域4（東部）	29	6 20.7%	2 6.9%	0 0.0%	12 41.4%	3 10.3%	3 10.3%	3 10.3%
	地域5（南東部）	21	6 28.6%	2 9.5%	1 4.8%	8 38.1%	0 0.0%	4 19.0%	0 0.0%
	地域6（南西部）	16	5 31.3%	1 6.3%	1 6.3%	6 37.5%	1 6.3%	2 12.5%	0 0.0%
性別	男性	174	30 17.2%	23 13.2%	5 2.9%	77 44.3%	11 6.3%	11 6.3%	17 9.8%
	女性	213	42 19.7%	33 15.5%	9 4.2%	78 36.6%	22 10.3%	21 9.9%	8 3.8%
年齢別	20歳代	100	16 16.0%	15 15.0%	2 2.0%	36 36.0%	18 18.0%	8 8.0%	5 5.0%
	30歳代	51	12 23.5%	7 13.7%	6 11.8%	20 39.2%	3 5.9%	2 3.9%	1 2.0%
	40歳代	82	19 23.2%	9 11.0%	1 1.2%	35 42.7%	6 7.3%	5 6.1%	7 8.5%
	50歳代	77	10 13.0%	13 16.9%	4 5.2%	35 45.5%	3 3.9%	9 11.7%	3 3.9%
	60歳代	65	12 18.5%	10 15.4%	1 1.5%	24 36.9%	3 4.6%	7 10.8%	8 12.3%
	70歳代以上	12	3 25.0%	2 16.7%	0 0.0%	5 41.7%	0 0.0%	1 8.3%	1 8.3%
ライフステージ別 （複数回答）	若者	95	16 16.8%	15 15.8%	2 2.1%	34 35.8%	18 18.9%	8 8.4%	2 2.1%
	夫婦	39	3 7.7%	2 5.1%	1 2.6%	24 61.5%	0 0.0%	3 7.7%	6 15.4%
	育児期	27	7 25.9%	5 18.5%	3 11.1%	9 33.3%	1 3.7%	1 3.7%	1 3.7%
	教育期前期	80	17 21.3%	10 12.5%	4 5.0%	30 37.5%	6 7.5%	7 8.8%	6 7.5%
	教育期後期	41	10 24.4%	5 12.2%	0 0.0%	15 36.6%	2 4.9%	3 7.3%	6 14.6%
	単身高齢者	2	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%
新旧住民別	高年齢者夫婦	21	5 23.8%	5 23.8%	0 0.0%	8 38.1%	0 0.0%	2 9.5%	1 4.8%
	奈良県にずっと 住んでいる人	212	43 20.3%	26 12.3%	7 3.3%	85 40.1%	22 10.4%	15 7.1%	14 6.6%
奈良での 就労別	奈良県に新しく きた人	174	29 16.7%	30 17.2%	7 4.0%	70 40.2%	10 5.7%	17 9.8%	11 6.3%
	奈良県内で 働いている人	184	40 21.7%	29 15.8%	9 4.9%	74 40.2%	3 1.6%	16 8.7%	13 7.1%
	奈良県外で 働いている人	85	7 8.2%	10 11.8%	1 1.2%	33 38.8%	23 27.1%	2 2.4%	9 10.6%

図表 日用品以外を県外で購入する頻度が増えた理由（問19-① 単数回答／県全体、年度別、地域別、性別、年齢別）

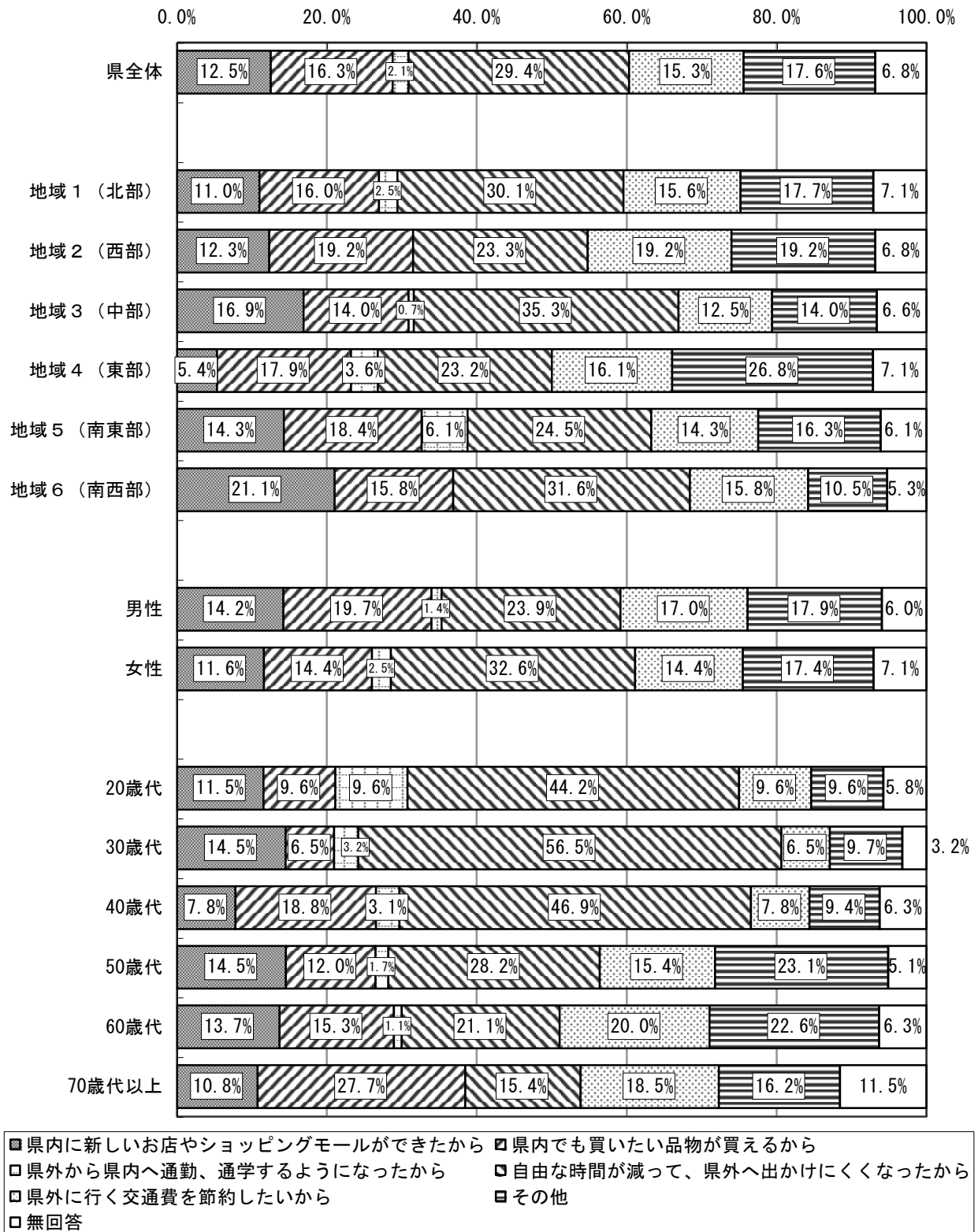


(注) 母数については前ページの表参照

図表 日用品以外を県外で購入する頻度が減った理由（問19-②） 単数回答／県全体、地域別、性別、年齢別、ライフステージ別、旧住民・新住民別、奈良での就労別

		全 体	が シ 県 内 に 買 え る お 店 ル や	物 県 内 で も 買 い たい 品	な 勤 県 外 か ら 通 学 す る よ う に	く て 自 由 な 時 間 が 減 け つ に	節 県 外 に 行 く 交 通 費 を	そ の 他	無 回 答
県全体		615	77 12.5%	100 16.3%	13 2.1%	181 29.4%	94 15.3%	108 17.6%	42 6.8%
地域別	地域1（北部）	282	31 11.0%	45 16.0%	7 2.5%	85 30.1%	44 15.6%	50 17.7%	20 7.1%
	地域2（西部）	73	9 12.3%	14 19.2%	0 0.0%	17 23.3%	14 19.2%	14 19.2%	5 6.8%
	地域3（中部）	136	23 16.9%	19 14.0%	1 0.7%	48 35.3%	17 12.5%	19 14.0%	9 6.6%
	地域4（東部）	56	3 5.4%	10 17.9%	2 3.6%	13 23.2%	9 16.1%	15 26.8%	4 7.1%
	地域5（南東部）	49	7 14.3%	9 18.4%	3 6.1%	12 24.5%	7 14.3%	8 16.3%	3 6.1%
	地域6（南西部）	19	4 21.1%	3 15.8%	0 0.0%	6 31.6%	3 15.8%	3 10.5%	2 5.3%
性別	男性	218	31 14.2%	43 19.7%	3 1.4%	52 23.9%	37 17.0%	39 17.9%	13 6.0%
	女性	396	46 11.6%	57 14.4%	10 2.5%	129 32.6%	57 14.4%	69 17.4%	28 7.1%
年齢別	20歳代	52	6 11.5%	5 9.6%	5 9.6%	23 44.2%	5 9.6%	5 9.6%	3 5.8%
	30歳代	62	9 14.5%	4 6.5%	2 3.2%	35 56.5%	4 6.5%	6 9.7%	2 3.2%
	40歳代	64	5 7.8%	12 18.8%	2 3.1%	30 46.9%	5 7.8%	6 9.4%	4 6.3%
	50歳代	117	17 14.5%	14 12.0%	2 1.7%	33 28.2%	18 15.4%	27 23.1%	6 5.1%
	60歳代	190	26 13.7%	29 15.3%	2 1.1%	40 21.1%	38 20.0%	43 22.6%	12 6.3%
	70歳代以上	130	14 10.8%	36 27.7%	0 0.0%	20 15.4%	24 18.5%	21 16.2%	15 11.5%
ライフステージ別（複数回答）	若者	49	6 12.2%	5 10.2%	5 10.2%	21 42.9%	4 8.2%	5 10.2%	3 6.1%
	夫婦	79	8 10.1%	15 19.0%	2 2.5%	20 25.3%	19 24.1%	11 13.9%	4 5.1%
	育児期	62	6 9.7%	3 4.8%	1 1.6%	42 67.7%	2 3.2%	4 6.5%	4 6.5%
	教育期前期	78	11 14.1%	8 10.3%	1 1.3%	38 48.7%	3 3.8%	11 14.1%	6 7.7%
	教育期後期	47	8 17.0%	5 10.6%	1 2.1%	12 25.5%	8 17.0%	11 23.4%	2 4.3%
	単身高齢者	26	4 15.4%	5 19.2%	0 0.0%	1 3.8%	8 30.8%	6 23.1%	2 7.7%
	高齢者夫婦	127	16 12.6%	34 26.8%	2 1.6%	20 15.7%	20 15.7%	22 17.3%	13 10.2%
新旧住民別	奈良県にずっと住んでいる人	309	39 12.6%	52 16.8%	5 1.6%	101 32.7%	45 14.6%	46 14.9%	21 6.8%
	奈良県に新しくきた人	299	37 12.4%	46 15.4%	8 2.7%	80 26.8%	46 15.4%	62 20.7%	20 6.7%
就労別の 奈良での	奈良県内で働いている人	232	34 14.7%	31 13.4%	9 3.9%	99 42.7%	27 11.6%	25 10.8%	7 3.0%
	奈良県外で働いている人	63	9 14.3%	13 20.6%	2 3.2%	12 19.0%	6 9.5%	15 23.8%	6 9.5%

図表 日用品以外を県外で購入する頻度が減った理由（問19-② 単数回答／県全体、年度別、地域別、性別、年齢別）



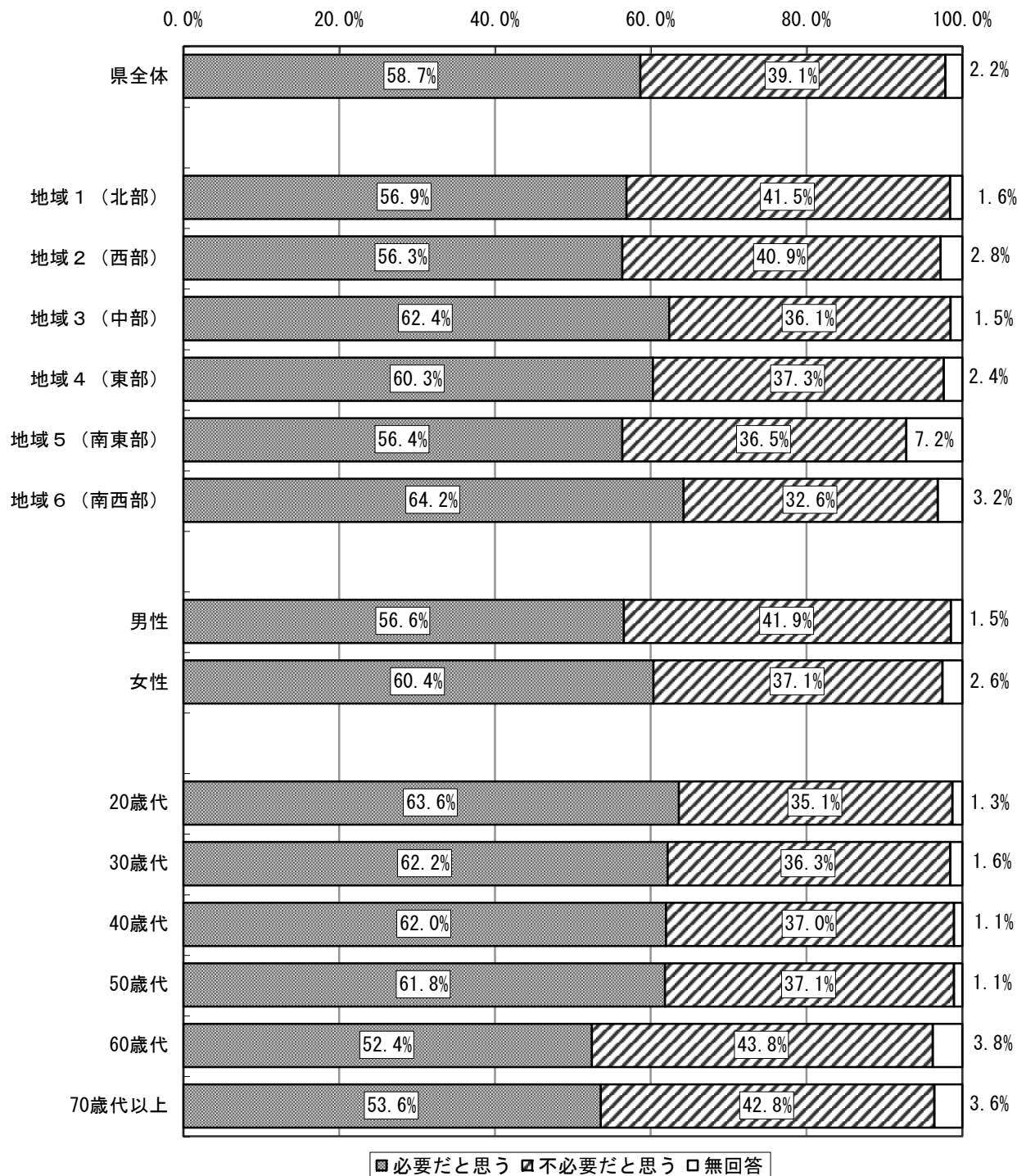
(注) 母数については前ページの表参照

(8) プレミアム商品券の是非

図表 プレミアム商品券の是非(問20 単数回答/県全体、地域別、性別、年齢別、ライフステージ別、旧住民・新住民別、奈良での就労別)

		全 体	必 要 だ と 思 う	不 必 要 だ と 思 う	無 回 答
県全体		2,667	1,565 58.7%	1,044 39.1%	58 2.2%
地域別	地域1(北部)	1,271	723 56.9%	528 41.5%	20 1.6%
	地域2(西部)	252	142 56.3%	103 40.9%	7 2.8%
	地域3(中部)	659	411 62.4%	238 36.1%	10 1.5%
	地域4(東部)	209	126 60.3%	78 37.3%	5 2.4%
	地域5(南東部)	181	102 56.4%	66 36.5%	13 7.2%
	地域6(南西部)	95	61 64.2%	31 32.6%	3 3.2%
性別	男性	1,142	646 56.6%	479 41.9%	17 1.5%
	女性	1,519	917 60.4%	563 37.1%	39 2.6%
年齢別	20歳代	316	201 63.6%	111 35.1%	4 1.3%
	30歳代	320	199 62.2%	116 36.3%	5 1.6%
	40歳代	460	285 62.0%	170 37.0%	5 1.1%
	50歳代	553	342 61.8%	205 37.1%	6 1.1%
	60歳代	656	344 52.4%	287 43.8%	25 3.8%
	70歳代以上	360	193 53.6%	154 42.8%	13 3.6%
ライフステージ別 (複数回答)	若者	306	195 63.7%	107 35.0%	4 1.3%
	夫婦	292	175 59.9%	112 38.4%	5 1.7%
	育児期	239	170 71.1%	63 26.4%	6 2.5%
	教育期前期	484	308 63.6%	168 34.7%	8 1.7%
	教育期後期	256	162 63.3%	90 35.2%	4 1.6%
	単身高齢者	74	30 40.5%	39 52.7%	5 6.8%
	高齢者夫婦	359	182 50.7%	164 45.7%	13 3.6%
新旧住民別	奈良県にずっと 住んでいる人	1,385	829 59.9%	523 37.8%	33 2.4%
	奈良県に新しく きた人	1,262	725 57.4%	514 40.7%	23 1.8%
奈良での 就労別	奈良県内で 働いている人	1,178	730 62.0%	430 36.5%	18 1.5%
	奈良県外で 働いている人	449	257 57.2%	186 41.4%	6 1.3%

図表 プレミアム商品券の是非（問20 単数回答／県全体、地域別、性別、年齢別）



(注) 母数については前ページの表参照

(9) 今後期待する県内産業・経済活性化に向けた「産業興し」の取組

図表 今後期待する県内産業・経済活性化に向けた「産業興し」の取組（問21 複数回答／県全体、地域別、性別、年齢別、ライフステージ別、旧住民・新住民別、奈良での就労別）（1）

	全 体	つどす農 な力、林 が・地観 る認光 施知資 策度源 アのの ッ県 プら に有	すり街空 るとの 施一活 策体性 となを つて消 ちや 振づ商 興く店	施どウカ 策へのレ の誘ツ 致ト商 をモ業 促進ル規 するなへ 集	さ代や企 せへの業 とウの い引ハ持 くきウつ 施継を優 策ぎ、次 発の技 展世術	大す優企 にるれ業 向なたが けだ商開 支販を・ 援売広製 施先く造 策先紹す の紹介	やな欲 すどがの くがある す起る 施業若 策・創 業女 し性	産通た事 業じ習や年 のたいシ者 の振学事向 興びなけ 施をどを 策提生象 すずす涯 とをしい
県全体	2,667	1,400 52.5%	1,273 47.7%	977 36.6%	962 36.1%	911 34.2%	878 32.9%	648 24.3%
地域別	地域1（北部）	1,271 650 51.1%	630 49.6%	489 38.5%	445 35.0%	425 33.4%	403 31.7%	308 24.2%
	地域2（西部）	252 141 56.0%	122 48.4%	87 34.5%	100 39.7%	93 36.9%	84 33.3%	69 27.4%
	地域3（中部）	659 345 52.4%	306 46.4%	259 39.3%	245 37.2%	211 32.0%	207 31.4%	162 24.6%
	地域4（東部）	209 114 54.5%	91 43.5%	70 33.5%	77 36.8%	73 34.9%	81 38.8%	48 23.0%
	地域5（南東部）	181 98 54.1%	86 47.5%	40 22.1%	64 35.4%	70 38.7%	67 37.0%	36 19.9%
	地域6（南西部）	95 52 54.7%	38 40.0%	32 33.7%	31 32.6%	39 41.1%	36 37.9%	25 26.3%
性別	男性	1,142 612 53.6%	515 45.1%	414 36.3%	389 34.1%	403 35.3%	369 32.3%	228 20.0%
	女性	1,519 786 51.7%	755 49.7%	561 36.9%	573 37.7%	507 33.4%	507 33.4%	420 27.6%
年齢別	20歳代	316 156 49.4%	143 45.3%	154 48.7%	99 31.3%	90 28.5%	115 36.4%	75 23.7%
	30歳代	320 151 47.2%	141 44.1%	158 49.4%	100 31.3%	86 26.9%	100 31.3%	76 23.8%
	40歳代	460 214 46.5%	213 46.3%	178 38.7%	140 30.4%	139 30.2%	141 30.7%	108 23.5%
	50歳代	553 317 57.3%	260 47.0%	187 33.8%	209 37.8%	202 36.5%	165 29.8%	124 22.4%
	60歳代	656 374 57.0%	342 52.1%	203 30.9%	264 40.2%	251 38.3%	234 35.7%	175 26.7%
	70歳代以上	360 187 51.9%	173 48.1%	96 26.7%	150 41.7%	143 39.7%	123 34.2%	90 25.0%
ライフステージ別 （複数回答）	若者	306 153 50.0%	139 45.4%	148 48.4%	97 31.7%	88 28.8%	114 37.3%	73 23.9%
	夫婦	292 154 52.7%	147 50.3%	101 34.6%	103 35.3%	101 34.6%	88 30.1%	82 28.1%
	育児期	239 102 42.7%	97 40.6%	127 53.1%	62 25.9%	58 24.3%	87 36.4%	50 20.9%
	教育期前期	484 227 46.9%	205 42.4%	197 40.7%	152 31.4%	134 27.7%	158 32.6%	112 23.1%
	教育期後期	256 149 58.2%	118 46.1%	80 31.3%	88 34.4%	95 37.1%	74 28.9%	65 25.4%
	単身高齢者	74 40 54.1%	38 51.4%	18 24.3%	27 36.5%	23 31.1%	27 36.5%	18 24.3%
	高齢者夫婦	359 189 52.6%	167 46.5%	109 30.4%	144 40.1%	142 39.6%	118 32.9%	85 23.7%
新旧住民別	奈良県にずっと 住んでいる人	1,385 713 51.5%	642 46.4%	521 37.6%	499 36.0%	454 32.8%	452 32.6%	315 22.7%
	奈良県に新しく きた人	1,262 675 53.5%	619 49.0%	449 35.6%	457 36.2%	449 35.6%	420 33.3%	326 25.8%
奈良での 就労別	奈良県内で 働いている人	1,178 584 49.6%	580 49.2%	441 37.4%	404 34.3%	376 31.9%	390 33.1%	269 22.8%
	奈良県外で 働いている人	449 251 55.9%	203 45.2%	188 41.9%	144 32.1%	149 33.2%	144 32.1%	103 22.9%

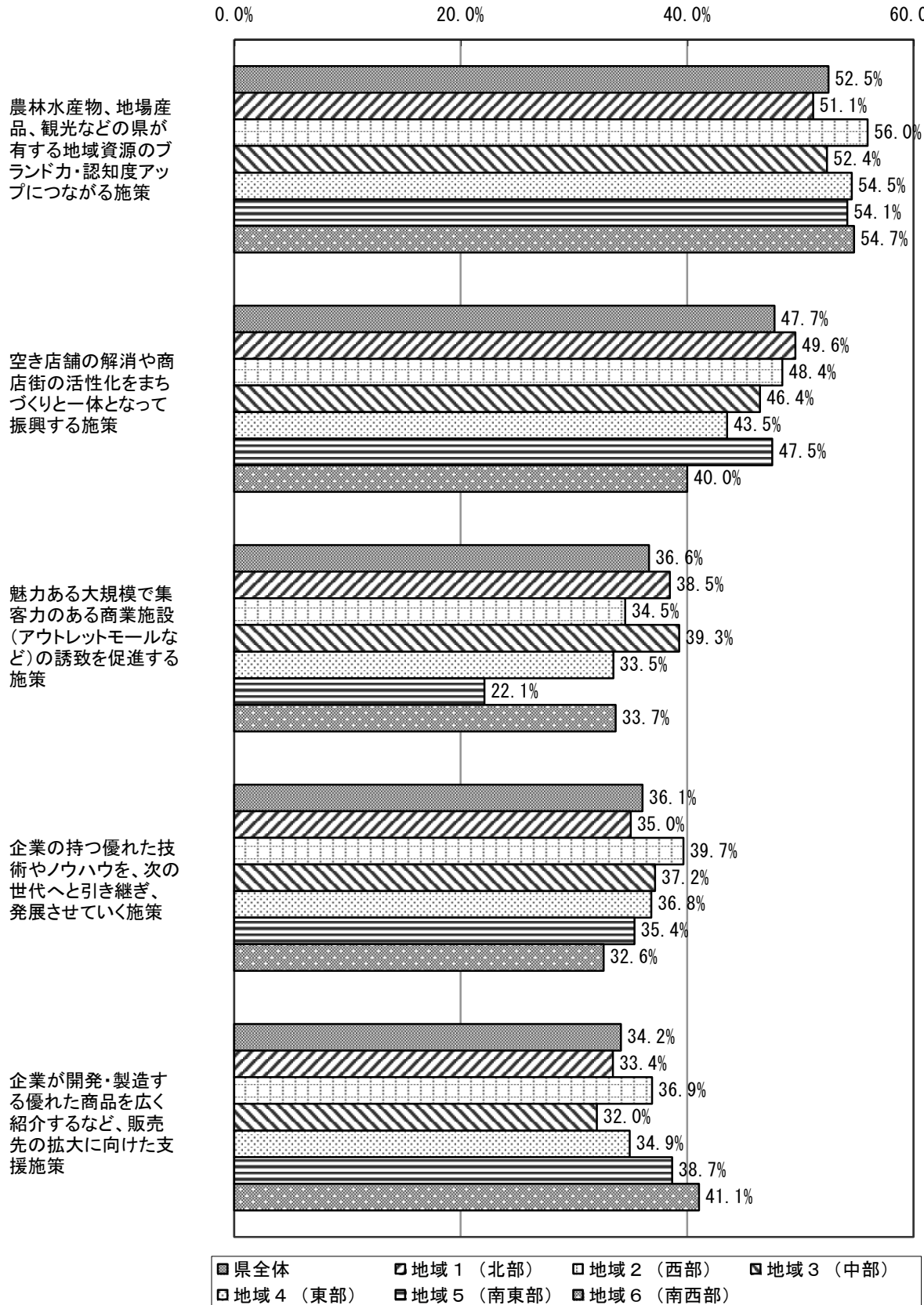
（注）集計結果は県全体の多い順（「その他」と無回答は除く）に並べている。太字は「無回答」を除いた各属性区分の上位3項目を示し、濃い網掛けは最多項目を、薄い網掛けは2番目に多い項目を示している。

図表 今後期待する県内産業・経済活性化に向けた「産業興し」の取組（問21 複数回答／県全体、地域別、性別、年齢別、ライフステージ別、旧住民・新住民別、奈良での就労別）（2）

		全 体	施 策 の 振 興	企 業 の 促 進	海 外 の 支 援	産 業 の 振 興	の め ざ る 研 究 開 発	方 策 の 振 興	そ の 他	無 回 答
県全体		2,667	646 24.2%	561 21.0%	478 17.9%	478 17.9%	360 13.5%	101 3.8%	124 4.6%	
地域別	地域1（北部）	1,271	331 26.0%	261 20.5%	233 18.3%	239 18.8%	157 12.4%	51 4.0%	63 5.0%	
	地域2（西部）	252	62 24.6%	53 21.0%	44 17.5%	54 21.4%	36 14.3%	12 4.8%	7 2.8%	
	地域3（中部）	659	160 24.3%	128 19.4%	112 17.0%	106 16.1%	81 12.3%	24 3.6%	25 3.8%	
	地域4（東部）	209	47 22.5%	62 29.7%	45 21.5%	39 18.7%	38 18.2%	8 3.8%	12 5.7%	
	地域5（南東部）	181	34 18.8%	37 20.4%	28 15.5%	33 18.2%	36 19.9%	3 1.7%	14 7.7%	
	地域6（南西部）	95	12 12.6%	20 21.1%	16 16.8%	7 7.4%	12 12.6%	3 3.2%	3 3.2%	
性別	男性	1,142	260 22.8%	310 27.1%	244 21.4%	255 22.3%	134 11.7%	56 4.9%	44 3.9%	
	女性	1,519	386 25.4%	251 16.5%	234 15.4%	222 14.6%	226 14.9%	45 3.0%	78 5.1%	
年齢別	20歳代	316	106 33.5%	50 15.8%	47 14.9%	72 22.8%	37 11.7%	13 4.1%	7 2.2%	
	30歳代	320	81 25.3%	42 13.1%	64 20.0%	56 17.5%	33 10.3%	13 4.1%	10 3.1%	
	40歳代	460	131 28.5%	84 18.3%	70 15.2%	86 18.7%	53 11.5%	20 4.3%	13 2.8%	
	50歳代	553	120 21.7%	106 19.2%	89 16.1%	100 18.1%	62 11.2%	29 5.2%	14 2.5%	
	60歳代	656	130 19.8%	178 27.1%	126 19.2%	112 17.1%	105 16.0%	17 2.6%	37 5.6%	
	70歳代以上	360	78 21.7%	100 27.8%	82 22.8%	52 14.4%	69 19.2%	9 2.5%	43 11.9%	
ライフステージ別 （複数回答）	若者	306	104 34.0%	50 16.3%	46 15.0%	70 22.9%	35 11.4%	12 3.9%	7 2.3%	
	夫婦	292	73 25.0%	64 21.9%	47 16.1%	49 16.8%	46 15.8%	15 5.1%	9 3.1%	
	育児期	239	63 26.4%	32 13.4%	43 18.0%	45 18.8%	20 8.4%	11 4.6%	11 4.6%	
	教育期前期	484	121 25.0%	77 15.9%	78 16.1%	80 16.5%	41 8.5%	27 5.6%	18 3.7%	
	教育期後期	256	69 27.0%	51 19.9%	48 18.8%	51 19.9%	30 11.7%	8 3.1%	3 1.2%	
	単身高齢者	74	13 17.6%	16 21.6%	20 27.0%	6 8.1%	10 13.5%	2 2.7%	7 9.5%	
	高齢者夫婦	359	65 18.1%	87 24.2%	75 20.9%	55 15.3%	62 17.3%	9 2.5%	34 9.5%	
旧住民・ 新住民別	奈良県にずっと 住んでいる人	1,385	332 24.0%	315 22.7%	239 17.3%	237 17.1%	184 13.3%	48 3.5%	68 4.9%	
	奈良県に新しく きた人	1,262	310 24.6%	241 19.1%	236 18.7%	240 19.0%	172 13.6%	51 4.0%	53 4.2%	
奈良での 就労別	奈良県内で 働いている人	1,178	280 23.8%	252 21.4%	206 17.5%	205 17.4%	152 12.9%	55 4.7%	40 3.4%	
	奈良県外で 働いている人	449	134 29.8%	91 20.3%	80 17.8%	107 23.8%	51 11.4%	24 5.3%	6 1.3%	

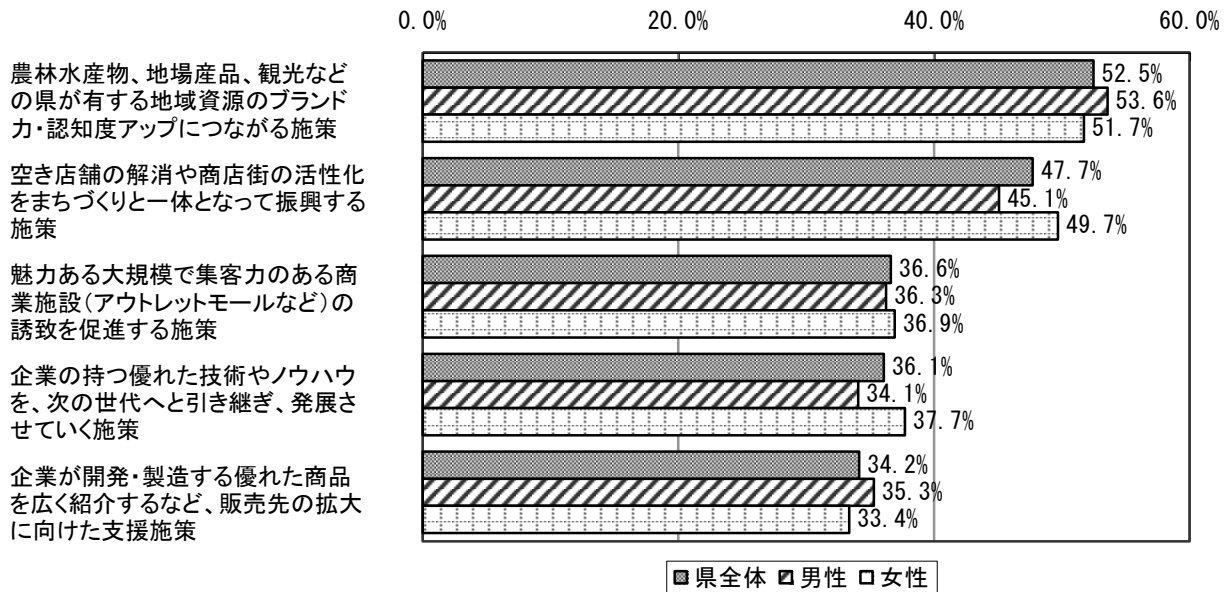
（注）集計結果は県全体の多い順（「その他」と無回答は除く）に並べている。太字は「無回答」を除いた各属性区分の上位3項目を示し、濃い網掛けは最多項目を、薄い網掛けは2番目に多い項目を示している。

図表 今後期待する県内産業・経済活性化に向けた「産業興し」の取組（問21 複数回答／県全体上位5項目、地域別）

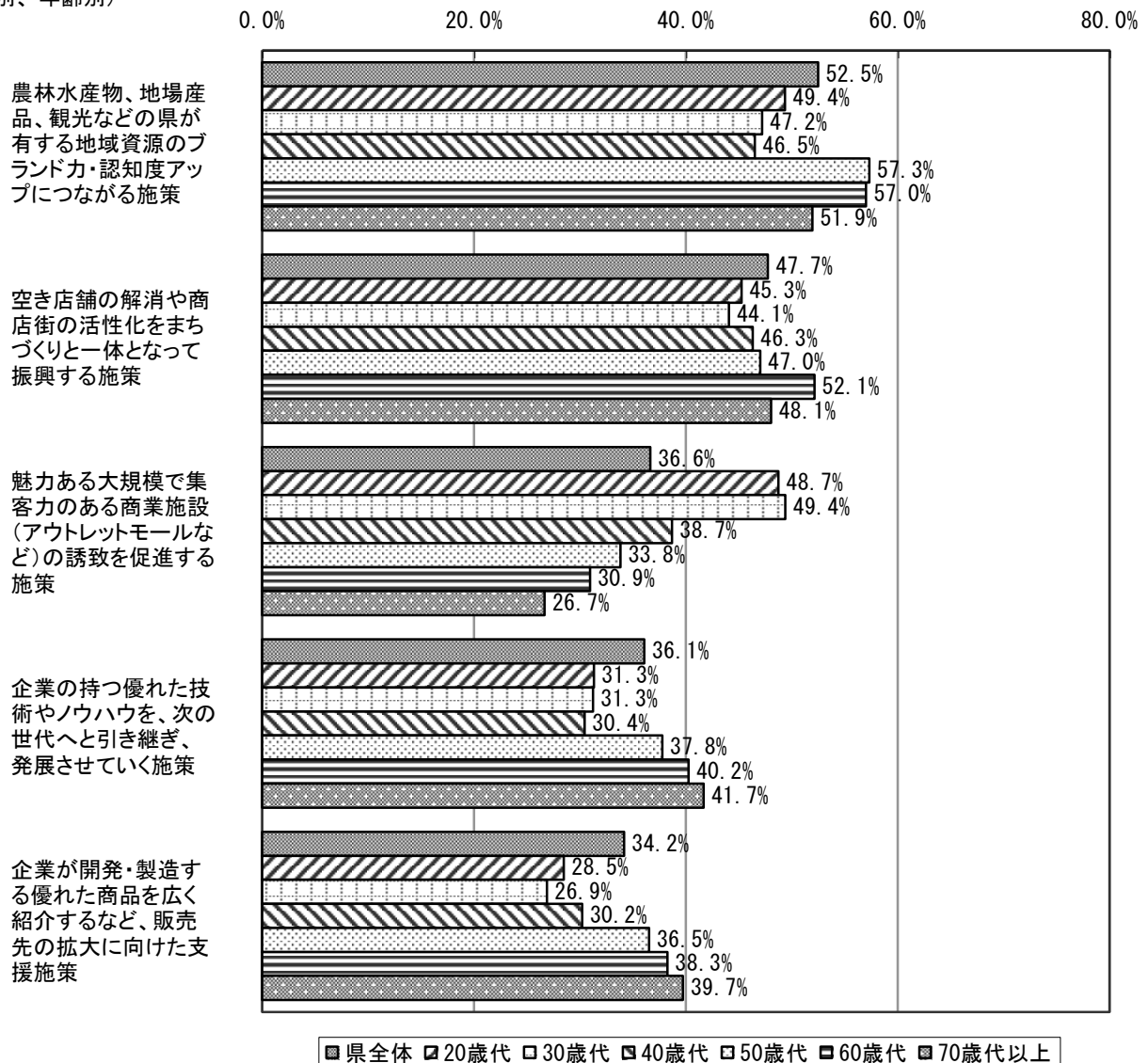


(注) 母数については前ページの表参照

図表 今後期待する県内産業・経済活性化に向けた「産業興し」の取組（問21 複数回答／県全体上位5項目、性別）



図表 今後期待する県内産業・経済活性化に向けた「産業興し」の取組（問21 複数回答／県全体上位5項目、地域別、性別、年齢別）



(注) 母数については前ページの表参照